松本市文化財調査報告No.177

長野県松本市

OHMURA

大村遺跡 VI

—緊急発掘調査報告書—

富山大学附属図書館
定期刊行物

2005.2

松本市教育委員会

長野県松本市

OHMURA

大村遺跡 Ⅵ

―緊急発掘調査報告書―

2005.2

松本市教育委員会

序

大村遺跡は松本市の北東部、古くから宅地化が進んでいる地区に位置します。本遺跡は昭和25年に初めて発掘調査が行われて以来、弥生時代から中世に至る幅広い時代の良好な資料が得られる遺跡として知られており、松本市教育委員会としては今回で6回目の調査となります。

このたび当地に農村振興総合整備統合補助事業大村工区は場整備事業が計画されたため、大村は場整備組合の協力を得て、埋蔵文化財の保護を図るため松本市教育委員会が発掘調査を実施することになりました。

発掘調査は市教育委員会によって、平成15年10月から平成16年3月にかけて行われました。寒風吹きすさぶ中、降雪に悩まされながらの作業となりましたが、参加者の皆様のご尽力により無事終了することができました。その結果、古墳時代から中世のものを中心として様々な遺構・遺物を確認することができました。これらは、今後地域の歴史解明に大変役立つ資料になることと思われます。

しかしながら開発事業に先立って行われる発掘調査は、記録保存という遺跡の破壊を前提とする側面があることも事実です。開発により私たちの生活が豊かになる一方、それにともない歴史遺産が失われてしまうことは残念なことですが、発掘調査により当時の生活が明らかとなり、私たちの郷土松本が歩んできた歴史が一つずつでも解き明かされることは大変貴重なことだと考えます。

最後になりましたが、発掘調査にご協力いただいた参加者の皆様、また調査の実施に際して、多大なご理解とご協力をいただいた大村ほ場整備組合の皆様、そして地元の関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成17年2月

松本市教育委員会　教育長　竹　淵　公　章

例　言

1　本書は、平成15年11月19日から平成16年３月25日にかけて行われた、松本市大字大村５番地１他に所在する大村遺跡の発掘調査報告書である。

2　本調査は、農村振興総合整備統合補助事業大村工区ほ場整備事業に伴って松本市教育委員会が行ったものである。

3　本遺跡は、平成15年度に発掘調査を行い、平成16年度に発掘調査報告書の作成を行った。

4　本書の執筆分担は次の通りである。

第１章：事務局

第２章　第１節　：森　義直

第３章　第３節１：澤柳秀利、菊池直哉（P55～62）

第３章　第３節２：三村竜一、内堀　団（P88～90）、岡崎武祥（P76～87）

第３章　第３節３：内堀　団

上記以外：澤柳秀利

5　本書の作成、編集にあたっての作業分担は次の通りである。

遺物洗浄・接合：五十嵐周子、中澤温子、百瀬二三子

土器・陶磁器実測：白鳥文彦、竹内直美、竹平悦子、松尾明恵、松山あずさ、八板千佳

土器・陶磁器トレース：竹内直美、松山あずさ、八板千佳

瓦実測・拓本・瓦トレース：三村竜一、白鳥文彦、村山牧枝、竹内直美、八板千佳

石器実測・トレース：村山牧枝、澤柳秀利

金属器保存処理：内堀　団、澗澤文江

金属器実測・トレース：澗澤文江

遺構図調整・整理：澤柳秀利、松山あずさ、村山牧枝

遺構図トレース：澤柳秀利、松山あずさ

図版組み：澤柳秀利、内堀　団、清水　究、白鳥文彦、竹内直美、松山あずさ、村山牧枝、八板千佳

写真撮影（現場写真）：栗田幸信、澤柳秀利、菊池直哉、中村慎吾

（遺物写真）：宮嶋洋一

（航空写真）：株式会社地図測量

編集：澤柳秀利

6　本書の中で使用した遺構名の呼称は次の通りである。

第１号住居址→１住、第１号土坑→１土、第１号ピット→P1、第１号竪穴状遺構→１竪、

第１号溝址→１溝、第１号流路址→流路１、第１号集石遺構→集石１、第１号焼土範囲→焼土１、

第１号台状地形→台状地形１、第１号凹地状遺構→凹地１、第１号石列→石列１、

トレンチ１→T1、サブトレンチ→ST、グリッド→G、住居址内ピット１→P1

遺物包含層調査におけるグリッド番号は、そのグリッド北東隅の座標を用いている。

7　土器・陶磁器の実測図において断面図の白抜きは縄文土器（縄文）及び土師器である。スミ塗りは須恵器、陶器、磁器で、（青）は青磁、（白）は白磁、（NS）は軟質須恵器、（K）は灰釉陶器、（陶）は陶器を示し、表示のないものは須恵器である。

8　本調査における出土遺物及び現場で作成した測量図、写真類の諸記録は松本市教育委員会が管理し、松本市立考古博物館に保管・収納されている。（松本市立考古博物館：〒390-0823 長野県松本市大字中山3738番地１ TEL：0263-86-4710　FAX：0263-86-9189）

目　次

序
例言
目次

第1章　調査の経緯 …… 5
　第1節　調査に至る経過 …… 5
　第2節　調査体制 …… 5

第2章　遺跡の環境 …… 6
　第1節　大村遺跡の地形・地質 …… 6
　第2節　歴史的環境 …… 8
　第3節　過去の調査 …… 10

第3章　調査結果 …… 13
　第1節　調査の概要 …… 13
　第2節　遺構 …… 17
　　1　竪穴住居址 …… 17
　　2　土坑 …… 23
　　3　ピット …… 23
　　4　竪穴状遺構 …… 24
　　5　集石遺構 …… 24
　　6　石列 …… 25
　　7　焼土範囲 …… 26
　　8　台状地形 …… 26
　　9　凹地状遺構 …… 27
　　10　溝址・流路址 …… 27
　第3節　遺物 …… 46
　　1　土器・陶磁器 …… 46
　　2　古瓦 …… 73
　　3　金属器 …… 96
　　4　石器 …… 98

第4章　調査のまとめ …… 99

写真図版

図版目次

第1図　大村遺跡6次各地区基準土層柱状図 …… 7
第2図　遺跡の位置と周辺遺跡 …… 9
第3図　調査範囲 …… 12
第4図　A地区北西遺構配置図 …… 14
第5図　A地区北東・南東・B, D, E地区遺構配置図 …… 15
第6図　C地区遺構配置図(1, 2面) …… 16
第7図　第78, 81, 87, 92号住居址 …… 32
第8図　第84, 86, 91, 93号住居址 …… 33
第9図　第82, 83, 85, 89, 95, 96号住居址 …… 34
第10図　第97～100, 104, 105号住居址 …… 35
第11図　第101～103, 106～109号住居址 …… 36
第12図　第110～113号住居址 …… 37
第13図　土坑(1) …… 38
第14図　土坑(2)・溝址・流路址 …… 39
第15図　集石遺構・竪穴状遺構 …… 40
第16図　石列1, 2・凹地状遺構 …… 41
第17図　石列3 …… 42
第18図　石列4, 5 …… 43
第19図　台状地形1 …… 44
第20図　各地区土層 …… 45
第21図　土器・陶磁器(A地区1) …… 63
第22図　土器・陶磁器(A地区2) …… 64
第23図　土器・陶磁器(A地区3) …… 65
第24図　土器・陶磁器(A地区4) …… 66
第25図　土器・陶磁器(A地区5) …… 67
第26図　土器・陶磁器(A地区6, D, E地区) …… 68
第27図　土器・陶磁器(B地区1) …… 69
第28図　土器・陶磁器(B地区2, C地区1) …… 70
第29図　土器・陶磁器(C地区2) …… 71
第30図　土器・陶磁器(C地区3) …… 72
第31図　瓦分布図 …… 88
第32図　瓦種別コード1・3・6分布図 …… 89
第33図　瓦種別コード2・4・5分布図 …… 90
第34図　古瓦実測図(1) 鴟尾 …… 91
第35図　鴟尾模式図 …… 92
第36図　古瓦実測図(2) 軒丸瓦 …… 92
第37図　古瓦実測図(3) 軒平瓦・隅平瓦・不明品 …… 93
第38図　古瓦実測図(4) 平瓦 …… 94
第39図　古瓦実測図(5) 平瓦・丸瓦 …… 95
第40図　金属器実測図 …… 97
第41図　石器実測図 …… 98

表目次

第1表　大村遺跡周辺の過去の調査 …… 11
第2表　住居址一覧表 …… 29
第3表　土坑一覧表 …… 30
第4表　石列一覧表 …… 30
第5表　溝址一覧表 …… 31
第6表　流路址一覧表 …… 31
第7表　集石遺構・竪穴状遺構一覧表 …… 31
第8表　台状地形一覧表 …… 31
第9表　土器観察表 …… 55
第10表　古瓦一覧表 …… 76
第11表　凡例 …… 85
第12表　軒平瓦観察表 …… 85
第13表　軒丸瓦観察表 …… 85
第14表　側面・端面の形状の分類 …… 86
第15表　古瓦接合状況 …… 87
第16表　瓦主要諸元 …… 88
第17表　個体別資料一覧項目コード …… 88
第18表　瓦種別コード …… 88
第19表　一覧項目16・17問題コード …… 88
第20表　一覧項目16・17問題コード単位問題個体数と解決率 … 88
第21表　地区・問題含有項目単位個体数 …… 88
第22表　地区・瓦種単位プロット個体数と率 …… 88
第23表　金属製遺物主要諸元 …… 96
第24表　地点別遺構単位製品率 …… 96
第25表　金属器一覧 …… 96
第26表　石器一覧表 …… 98

第1章　調査の経緯

第1節　調査に至る経緯

文書記録

発掘調査について

平成14年12月	平成15年度文化財関係国庫補助事業計画書提出。
平成15年4月	平成15年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付申請書提出。
平成15年5月30日	平成15年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付決定（通知）。
平成15年10月	大村遺跡第6次発掘調査開始。
平成16年3月	発掘調査終了報告書提出。
	平成15年度国宝重要文化財等保存整備費補助金実績報告書提出。
平成16年4月14日	平成15年度国宝重要文化財等保存整備費補助金の額の確定（通知）。

整理作業・報告書作成について

平成15年11月	平成16年度文化財関係国庫補助事業計画書提出。
平成16年4月	平成16年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付申請書提出。
平成16年6月16日	平成16年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付決定（通知）。
平成17年2月	大村遺跡第6次調査発掘調査報告書刊行。

第2節　調査体制

（1）調査団

調査団長　竹淵公章（松本市教育長）

調査担当者　直井雅尚、栗田幸信、澤柳秀利、菊池直哉、中村慎吾

調査員　今村　克、西沢寿晃、松尾明恵、宮嶋洋一、森　義直

協力者　荒井留美子、飯田三男、五十嵐周子、入山正男、川崎勝美、久保田澄子、河野清司、小松栄一、笹井トキ子、澤柳　博、清水陽子、清水洋輔、白鳥文彦、鈴木幸子、曽根原隆男、高桑俊孝、高橋登喜雄、竹内直美、竹平悦子、田中一雄、寺島　実、兎川國明、中上昇一、中川佳子、中澤温子、中村恵子、中山自子、藤井道明、藤井弥三郎、布野行雄、布野和嘉夫、布山　洋、洞澤文江、待井敏夫、松山あずさ、三澤栄子、道浦久美子、宮田美智子、三代沢二三恵、三代沢宗俊、村山牧枝、望月佳代子、本木修次、百瀬二三子、八板千佳、山崎照友、渡辺順子

（2）事務局

松本市教育委員会教育部文化課（～平成16年6月30日）
文化財保護課（平成16年7月1日～）
有賀一誠（課長 ～平成16年3月31日）、池田英俊（同 平成16年4月1日～）
熊谷康治（課長補佐）、田口博敏（同 ～平成16年3月31日）、
川上百合子（文化財担当係長 平成16年4月1日～）、直井雅尚（主査）、
久保田　剛（主任 ～平成16年3月31日）、小山高志（主事　平成16年4月1日～）、
櫻井　了（同）、渡邊陽子（嘱託）、太田万喜子（同～平成16年8月31日）

第2章　遺跡の環境

第1節　大村遺跡の地形・地質

1　地形・地質の概観

昭和40年度以降女鳥羽川に関係のある市内の発掘報告書には毎回記しているので今回は要点のみを記す。

（1）　今から数十万年前の洪積世中期に起きた造盆地運動の一環として松本盆地も誕生した。即ち断層による構造性の盆地である。

（2）　今から数万年前の洪積世の末になって、松本の旧市街地付近が局部的に沈下を始め、城山側が傾動しながら隆起し現在に至っている。

（3）　その結果、女鳥羽川は大口沢方面に西流していたものが、次第に城山方面へ、そして更に東へ流路を変え稲倉付近を扇頂として南に広がる扇状地を形成し、更に東から流入する薄川により入山辺地区の西端付近を扇頂として西に広がる扇状地を形成しつつ湯川付近で女鳥羽川扇状地と接し複合扇状地を形成している。

2　女鳥羽川扇状地形について

（1）　扇状地の常として、中央部の岡田町～護国神社にかけて高くなっている。

（2）　西側には三段の段丘があり、平安時代の中頃まで女鳥羽川が流れており、凹地形がみられる。その左岸に当たる岡田町寄りには、点々と残丘が存在する。

（3）　平安後期頃の大洪水により、上流の和田・桜田付近に川自身が運べきた土砂が一気に堆積し自然堤防となり、流路が扇状地の東端に変わり現在に至っている。（岡田町の平安時代後期の住居址の上に、この時の洪水による黒色粘土が厚く堆積している。）

3　発掘地点の地形・地質について

今回の発掘地点は大村地籍の女鳥羽川左岸で、東山の山麓近くの標高630～634mの間にあり、南に向かって緩く傾斜している。この地籍は昭和40年と61年に調査のため開けたトレンチと一部重なる部分もある。この付近一帯は度重なる調査にもかかわらず遺跡や遺構が断片的で、その上永続性に乏しく不明な点が多かったが、その原因はこの付近の立地条件によるものであることが次第に判明してきた。前述した如く平安後期になって岡田町の東に流路を変えた女鳥羽川は、稲倉～上浅間西側の原地籍とそれより下流では状況が異なり、上流では細かく蛇行し、下流では原地籍付近を起点（2次的扇頂）として、現流路の西へ約400m、東へ約500m（本発掘地点も入る）の間に流路が首振りをしている。しかも、この大村は後述する松本湖の東北隅に当たり、地盤が沈下するため女鳥羽川の本流が離れたときには、東部山地から運ばれた第三紀層の風化粘土による沼地ができ、ヨシやオギ、ガマなどの湿原となり漆黒色粘土層が堆積する。従って本流が近くを流れているときは〔砂礫土〕、離れると〔シルト質〕、遠くになると〔腐植の多い漆黒色粘土〕と変化し、流路の首振りにより繰り返している。このようにこの付近の住民は堤防が備するまで長年月、出水率の大きな女鳥羽川の流路の首振りと地盤沈下による低湿地化に振り回されてきたが、それにもかかわらず種々の遺構が存在するのは、地理的にみて好都合の地であったためと推定される。

(注)　松本湖について

洪積世の末旧市街地が沈下し、城山側が隆起したことは前述したが、この地殻変動は一時的なものではなく、六九第4次報告書に記した如く六九付近は年平均1.6～1.7㎜の割合で堆積しており、更に平成16年11月の東町の発掘では今までの最高の年平均2.3㎜の速さで堆積している。逆にいえばその速さで沈下しつづけていることになり、その結果生じた沼沢地を松本湖または松本湖沼と仮称している。（松本盆地中心の新村～穂高付近の堆積速度は年平均1㎜である。）

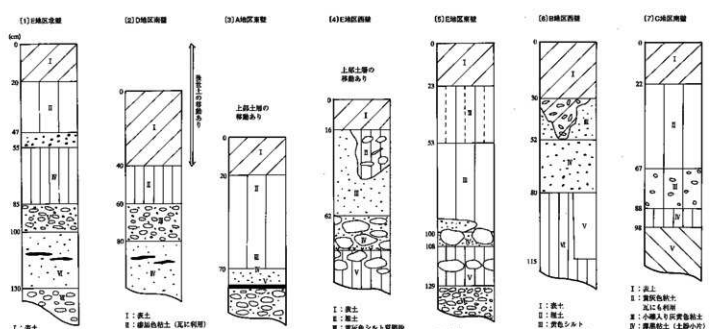
4　土層について

土層は大きくみて3ブロックに分かれ、①　A地区の東端～E地区～D地区（柱状図1～5）、②　B地区～C地区（柱状図6～7）、③　A地区西側、となる。

この大村地区は上述した如く洪水や地盤沈下に伴う沼沢地の外に、開田時の土層の移動、瓦に適した粘土層があるため随所で採土、不要な瓦や礫などの埋立て等変化の多いところである。したがって比較的原形を保っているとみられるE地区の土層柱状図〔1〕を基準とする。A地区の東端の一部とE、D地区は平安の洪水禍をまともに被り、上流（北側）から時代の異なる遺物の破片が多く混入している。この洪水後沼地化し漆黒色土が堆積、この漆黒色土は昭和の発掘でも広く覆っていることが判明しており、平安の洪水後広く湿地帯となっていたことがわかる。このE地区の沼地に列状の石がある。その後中世頃沼地に砂の流入があり漆黒色土中の列状石の真上に東～西の石列を作っている。時代は下の列状石は平安後期頃、上の石列は中世のものとみられる。石列の目的については、この石列の北側は漆黒色土層が厚く洪水も北から来るために、南側の何かを守るための、一種の土手のようなものかと思われる。B、C地区は平安の洪水層はみられず、平安・奈良時代の住居跡の保存は良好であるが、土層の上部は人工的出入りが激しい。A地区は水路西側にあるN－S方向の石列は新しく、江戸時代とみられるが、この石列を境にして西側から漆黒色土帯が迫っており、東側の何かを守るための石列のようにも思える。

5　まとめ

昭和40年度以後の度重なる発掘を通して全般をみたとき、平安時代までは住居跡や遺跡などが多いが、平安時代以降急に少なくなる傾向がある。これは女鳥羽川の流路と深く関係しているように思われる。おそらく平安時代の中頃までは伊深の上流、和田・桜田付近で分流し主流は岡田町の西側を、支流は岡田町の東側を流れていたものが平安後期～末の大洪水による自然堤防で本流は塞き止められ全て東流するようになり、大村地区を始め女鳥羽川流域はしばしば洪水禍を被るようになったのが住居址が少なくなった原因と考える。



第1図　大村遺跡6次各地区基準土層柱状図

第２節　歴史的環境

大村遺跡は、現在の行政区画では松本市大字大村、浅間温泉にかけて存在する遺跡である。

縄文時代には、すぐ西に隣接する柳田遺跡が中期～後晩期の著名な遺跡として知られ、特に昭和54年に行われた分布確認調査では、釣手土器の他多量の土器を伴って住居址が確認されている。

弥生時代については、南東に隣接する大村古屋敷遺跡において、後期の住居址が17軒確認され、集落が営まれており、遺物も多い。しかしこの近辺ではその他にみられず、遺跡数は少ない。

古墳時代には、大村遺跡の東側、浅間温泉から里山辺御母家にかけての尾根上にいくつか古墳が造られている。そのうち浅間温泉にある桜ヶ丘古墳からは昭和30～31年の調査で金箔を施した金銅製天冠が出土しており、現在県宝に指定されている。また調査区のすぐ東に隣接する妙義山古墳群からは、同年の調査で玉類、刀類を伴って石室が確認されており、古墳時代中期の築造と考えられている。

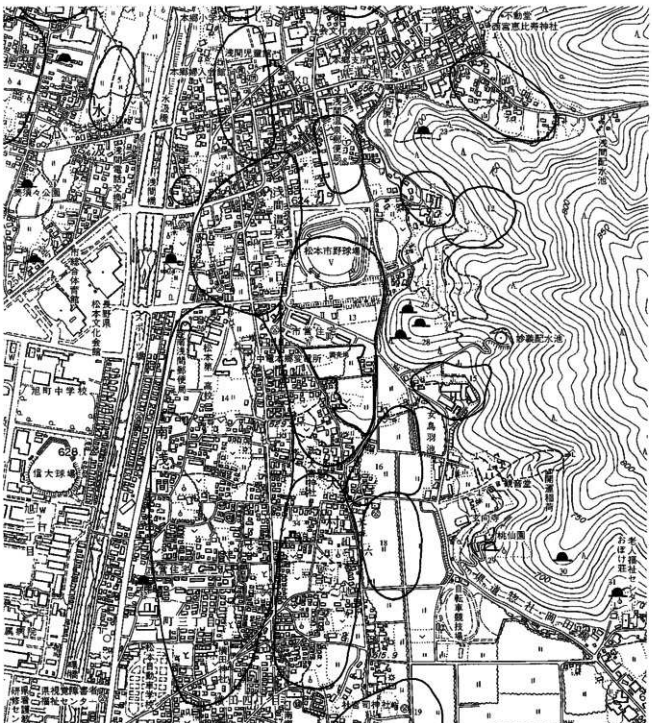
奈良・平安時代になると、この地域を語る上で無視できない存在として信濃国府と大村廃寺がある。現在まで、奈良時代末或いは平安時代初期に小県郡から移転したとされる国府については時期・位置ともに諸説ある。位置については惣社、大村といったこの周辺もその推定地の一つであるが、昭和57～61年の５次にわたる推定信濃国府確認調査ではその位置を捉えられず、未だその実体は不明である。近年大村遺跡の南西、大輔原遺跡において鋳帯、円面硯が住居址内から出土、また北西の柳田遺跡では大形掘立柱建物の検出などが相次いでいる。大村廃寺については今回の調査と大きく関わっている。後述するが、この周辺では以前から古瓦が出土することが知られ、周囲の小字名と合わせてこの付近に古代寺院（大村廃寺）が存在したとの指摘があり、昭和20年代には掘立柱建物址とみられる柱痕の調査や、昭和40年には学術調査も実施されている。しかしこれらはトレンチ調査であるため寺院に関する有力な遺構確認はされていない。その後も市営球場、市営住宅などに先立つ調査の結果、住居に伴い多くの古瓦が出土しているが、やはり古代の寺院・官衙に関わる直接的な遺構の発見には至っていない。

中世になると、この周辺でも調査例が少ないことから不明な点も多い。鎌倉時代の文書資料では嘉暦４年（1329）の「諏訪社上社造営目録」など、諏訪神社関係の史料に大村郷の名がみられる。戦国時代の文書にも記載があることから、諏訪社との関連の深さが窺われる。今回の調査において、中世とみられる多数のピットの他、いくつかの遺構が検出され、また少ないながら中世の遺物も出土していることから、これが文書に表れた大村郷と関連するのかもしれない。

近世以降、この辺りは周辺の浅間村、横田村、惣社村等とともに松本藩領岡田組に属した。周囲には女鳥羽川の渇水に備えて多くの溜池が築造された。この周辺では雁金池、女鳥羽池、横田池、真観寺池が築かれるが、現在では女鳥羽池以外は埋め立てられて消滅している。また調査区の南に隣接して大村郷倉跡がある。

近代になり、昭和６年に浅間競馬場が、県営運動場南側隣接地に造成され、その際に周辺の水田なども削平されたといわれる。競馬は春秋年２回開催されたが、それほど盛んではなかったようで、本郷村誌にも昭和８年以降の記載がないため不明である。程なく閉鎖されてしまったようで、その後再び農地に戻され、現在の景観になったと思われる。

参考文献
『松本市史　－第二巻　歴史編１－』　松本市1993
『松本市史　－第四巻　旧市町村編１－』　松本市1993
『本郷村誌』本郷村誌編纂会　1983
『東筑摩郡松本市塩尻市誌　第二巻　歴史上』東筑摩郡松本市塩尻市郷土資料編纂会　1973



1：朴坂遺跡、2：本郷上高田遺跡、3：鳥居前遺跡、4：松岡七日市場遺跡、5：水汲西原遺跡、
6：本郷高田遺跡、7：大音寺遺跡、8：新湯南裏遺跡、9：芝田遺跡、10：柳田遺跡、11：真観寺遺跡、
12：飯治洞遺跡、13：大村遺跡（Ⅰ～Ⅴは前回までの調査地）、14：大輔原遺跡、15：大村新切古窯址、
16：大村古屋敷遺跡、17：大村立石遺跡、18：大村前田遺跡、19：大村塚田遺跡、20：水汲5号古墳、
21：水汲4号古墳、22：水汲1号古墳、23：桜ヶ丘古墳、24：大屋敷1号古墳、25：大屋敷2号古墳、
26：妙義山2号古墳、27：妙義山1号古墳、28：妙義山3号古墳、29：桃仙園古墳、30：御母家2号古墳、
31：御母家1号古墳、32：国司塚古墳、33：浅間館跡、34：大村館跡

第2図　遺跡の位置と周辺遺跡

第３節　過去の調査

今回で大村遺跡の調査は６回目となるが、大輔原遺跡など、かつて大村遺跡として調査が行われ、遺跡範囲の再確認などにより変更されたものもあるため、ここでは大村遺跡及び周辺遺跡の過去の調査について簡単に整理してみたい。

第１次調査以前

前述の古瓦出土等から、この地に廃寺が存在したとする指摘があり、昭和25年、境の木地籍の水田から偶然発見された建物址の柱痕の調査が行われている。詳細な調査地は知ることができないが、当時を知る人の話によれば、現在の県道惣社岡田線と市道出川浅間線の交差点付近であるという。その際にも土器などが出土しているようだが、詳細は不明である。昭和40～41年には、新産業都市指定に伴って周辺の埋蔵文化財緊急分布調査が行われ、今回調査区のD地区にあたる部分でもトレンチ調査が行われ、瓦などが出土しているようであるが、廃寺に関わる具体的な遺構確認はされていない。

第１・２次調査

昭和61～62年に実施した。市営庭球場およびそのクラブハウス建設に伴うもので、１・２次合わせて竪穴住居址が３軒、掘立柱建物址４棟等が検出され、土器・陶磁器の他古瓦・銙帯といった特殊遺物が出土している。しかし寺院に関する遺構は確認されなかった。

第３・４次調査

昭和63～平成元年に実施した。市営住宅建設に伴うもので、両調査合わせて竪穴住居址が46軒、掘立柱建物址が１棟という大きな成果を得た。また古瓦も多く出土している。

第５次調査

平成元年に実施した。市営球場改築に伴うもので、竪穴住居址２軒などを確認したが、遺構密度は低く、大村遺跡の北限ではないかと考えている。

柳田遺跡の調査

昭和54年の県営住宅建設に伴う１次調査では、グリッド調査ながら縄文時代中期～後晩期の住居址３軒が確認され、ほぼ完形の釣手土器等多量の遺物が出土した。平成10年の消防施設建設に伴う調査では、方形柱穴の大形掘立柱建物址が確認された。

大村立石遺跡の調査

平成元年の民間アパート建設に伴うもので、小規模調査ながら縄文時代の竪穴住居址を確認している。

大村塚田遺跡の調査

平成２年のほ場整備に伴うもので、縄文時代中期後葉を中心とする住居址47軒を検出し、有孔鍔付土器を含め、整理用コンテナ90箱という多量の土器が出土している。

大村古屋敷・前田遺跡の調査

両遺跡とも平成３年に行われたほ場整備に伴う調査である。前田遺跡は、遺構密度は低い。古屋敷遺跡は、弥生時代～中世の遺構が密集して検出された。上層が中世、下層が弥生～平安時代で、特に弥生時代の住居址は多く、比較的大規模な集落が存在していたようである。ここでは古瓦が出土している。

大輔原遺跡の調査

教員住宅建設に伴う第２次調査では、狭隘な面積ながら奈良時代の良好な住居址が確認されている。松本第一高校改築に伴う４・８・９次調査では、遺構密度が非常に高く、円面硯、銙帯を出土する住居址がある。

第1表　大村遺跡周辺の過去の調査

遺跡名	調査次数	調査年次	発掘原因	調査主体	面積	検出遺構	出土遺物	時代	備考（報告書No.）
大村（13）		1950（昭25）	柱痕の調査	大場磐雄 藤島亥二郎		掘立柱建物址1	柱痕		
		1951（昭26）	出土瓦の調査	石田茂作			古瓦		
		1965（昭40）	新産都市指定地区埋蔵文化財緊急分布調査	原嘉藤		暗渠排水	古代土器・陶器、古瓦（平・丸・軒丸）、銭貨		トレンチ調査
		1966（昭41）	大村廃寺のための学術調査	内藤正恒			古代土器・陶器、古瓦（平・丸・軒丸）、自然遺物		トレンチ調査
	1	1986（昭61）	庭球場拡張造成	松本市教育委員会	1,582	竪穴住居址1、竪穴状遺構1 掘立柱建物址1、柱列3、溝址3	古代土器・陶器、古瓦（平・丸）、加工木材、鋳帯	平安時代	
	2	1987（昭62）	庭球場クラブハウス建築	松本市教育委員会	164.6	竪穴住居址2、土坑3	古代土器・陶器、銅製品（鋳帯）	平安時代	
	3	1988（昭63）	市営住宅建設	松本市教育委員会	2,000	竪穴住居址23、竪穴状遺構2 土坑18、ピット7、溝址1	古代土器・陶器、古瓦（平・丸）、銭貨	平安時代	概報1989年
	4	1989（平元）	市営住宅建設	松本市教育委員会	6,000	竪穴住居址60、掘立柱建物址1、土坑50、溝址10	古代土器・陶磁器、石器、鉄器、古瓦（平・軒丸）、獣骨	奈良・平安時代	
	5	1989（平元）	市営球場改築	松本市教育委員会	3,600	竪穴住居址2、土坑1、流路4	古代土器・陶器、石器	平安時代	大村遺跡の北限か
柳田（10）	1	1979（昭54）	県営住宅建設	松本市教育委員会	5,200	竪穴住居址3、集石3	縄文土器、石器	縄文時代中期～後・晩期	グリッド調査報告書1979年
	2	1990（平2）	民間アパート建設	松本市教育委員会	250	竪穴住居址1、掘立柱建物址1、竪穴状遺構1、ピット20	縄文土器、石器、古代土器・陶器	縄文時代、奈良時代	
	3	1998（平10）	消防施設建設	松本市教育委員会	200	掘立柱建物址1、土坑8	古代土器	奈良時代	
大村立石（17）	1	1989（平元）	民間アパート建設	松本市教育委員会	50	竪穴住居址2、ピット2	縄文土器、石器、古代土器	縄文時代	
大村塚田（19）	1	1991（平3）	ほ場整備	松本市教育委員会	2,555	竪穴住居址47、土坑30、配石1	縄文土器、弥生土器、石器	縄文時代中期、弥生時代後期	報告書No.96
大村古屋敷（16）	1	1991（平3）	ほ場整備	松本市教育委員会	1,630	竪穴住居址67、掘立柱建物址1、墓址4、土坑105、ピット525	縄文土器、弥生土器、古代土器・陶磁器、石器、古瓦（平）、金属器	弥生時代後期、古墳時代中・後期、奈良・平安時代	報告書No.103
大村前田（18）	1	1991（平3）	ほ場整備	松本市教育委員会	280	竪穴住居址3	古代土器・陶磁器	古墳時代末～奈良・平安時代	報告書No.103
大輔原（14）	1	1986（昭61）	学術調査（グリッド調査）	松本市教育委員会	750	竪穴住居址5、ピット12	縄文土器、古代土器・陶磁器	古墳時代末～奈良時代、平安時代	推定信濃国府V 報告書No.56
	2	1989（平元）	教員住宅建設	松本市教育委員会	970	竪穴住居址1、土坑20	古代土器・陶磁器、円面硯	奈良時代	
	3	1992（平4）	市営住宅建設	松本市教育委員会	887	竪穴住居址1、土坑1、ピット3、溝址2	縄文土器、古代土器・陶器	縄文時代、平安時代	
	4	1993（平5）	高校体育館建設	松本市教育委員会	560	竪穴住居址12、掘立柱建物址10、土坑29、ピット21、溝址3	古代土器・陶器、鉄器、円面硯	古墳時代～奈良・平安時代	
	5	1994（平6）	市営住宅建設	松本市教育委員会	2,535	竪穴住居址3、掘立柱建物址3、土坑4、ピット46、溝址2	古代土器	奈良・平安時代、中世	
	6	1995（平7）	民間アパート建設	松本市教育委員会	550	竪穴住居址7、掘立柱建物址1、土坑2、竪穴状遺構3、溝址1	古代土器、鉄器	平安時代	
	7	1996（平8）	福祉施設建設	松本市教育委員会	2,535	竪穴住居址2、土坑3、ピット79、溝址1	縄文土器、石器、古代土器・陶器	平安時代	
	8	1997（平9）	高校校舎改築	松本市教育委員会	662	竪穴住居址14、掘立柱建物址1、土坑3、ピット79、溝址1	古代土器・陶器、円面硯、銅製品（鋳帯）	奈良・平安時代	報告書No.146
	9	1998（平10）	高校校舎改築	松本市教育委員会	200	竪穴住居址2、土坑29、ピット39、溝址1	古代土器	平安時代	報告書No.146

注１　大村一帯の遺跡名と調査名については、平成４年の大村塚田遺跡報告書において整理がされた。上の表はそれを補足したものである。

注２　遺跡名の（　）内の数字は、第２図の遺跡番号に対応する。

参考文献

『松本市大村遺跡群柳田遺跡分布確認調査報告書』 長野県企業局 松本市教育委員会　1979.12

『本郷村誌』 本郷村誌編纂会　1983.5

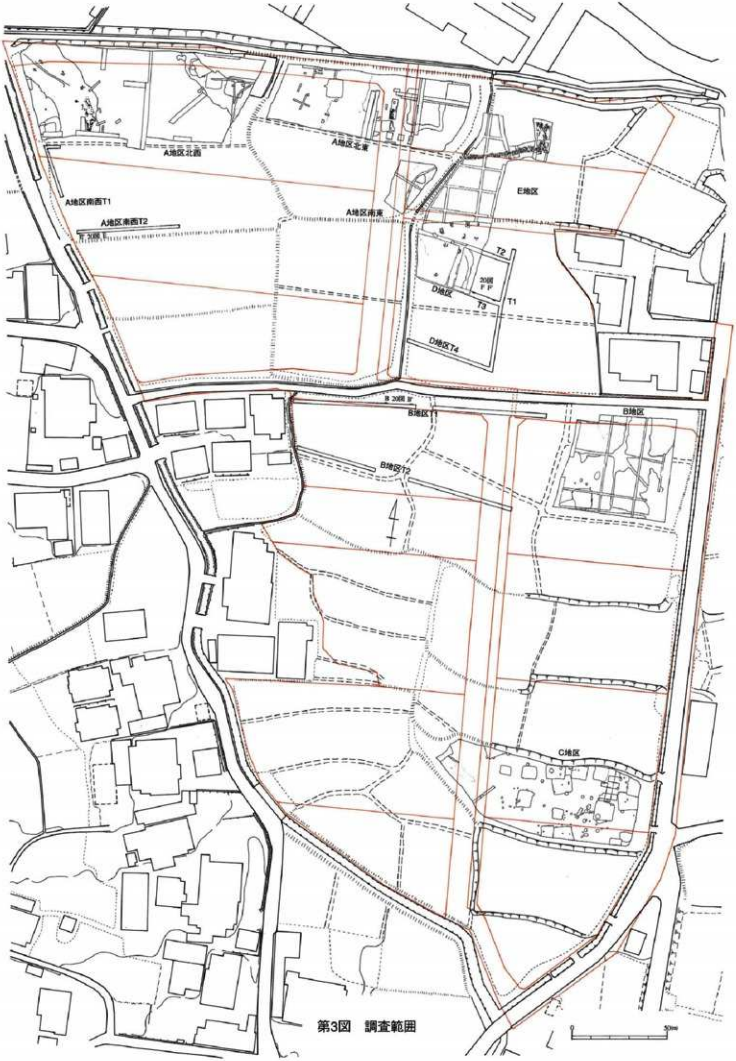
『推定信濃国府 第五次調査報告書』 松本市文化財調査報告No.56 松本市教育委員会　1987.3

『大村遺跡 古瓦を出土する平安時代集落址の発掘調査概報』 松本市教育委員会　1989.6

『松本市大村塚田遺跡 緊急発掘調査報告書』 松本市文化財調査報告No.96 松本市教育委員会　1992.3

『松本市大村古屋敷遺跡 前田遺跡 緊急発掘調査報告書』 松本市文化財調査報告No.103　1993.3

『長野県松本市大輔原遺跡 松本第一高等学校校舎建替に伴う緊急発掘調査報告書』 松本市文化財調査報告No.146　松本市教育委員会　2000.3


A地区北西
A地区北東
A地区南西T1
A地区南西T2
A地区南東
E地区
T2
D地区
T3
T1
D地区T4
B地区
B地区T1
B地区T2
C地区
50m

第3図　調査範囲

第3章 調査結果

第1節 調査の概要

1 調査地

今回の調査地は松本市大字大村5番地1他の、農村振興総合整備統合補助事業大村工区ほ場整備予定地で、現況は水田・畑地である。大村遺跡は前述の通り昭和61年以来現在まで5次の調査が行われ、今回が6次調査となる。調査対象ほは場整備範囲27,600㎡であるが、事前の試掘調査により遺構・遺物を確認した部分を中心に約13,500㎡の発掘調査（面的調査4,693.2㎡、トレンチ対象面積約8,800㎡）を実施した。

2 調査方法

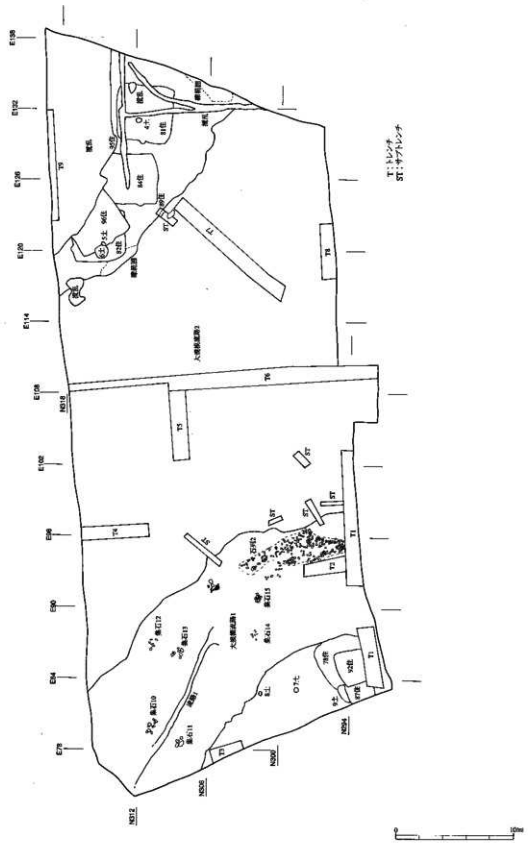
今回の調査では、調査区を現況水田の形状などにより便宜的にA～Eの5地区とした。開発区域北部のA地区は4,890㎡のうち北東、北西、南東の計2,335.9㎡を面的調査、南西はトレンチ調査とした。開発区域中央部のB地区は4,640㎡のうち東側715.9㎡を面的調査、西側3924.1㎡はトレンチ調査とした。開発区域南部のC地区は906.7㎡の面的調査を行った。D地区はB地区の北側1,940㎡で、トレンチ調査のみの予定であったが、瓦が多量に出土したため、そのうち300.4㎡について面的調査を行った。E地区は瓦の出土したA、D地区の間にあたり、1,130㎡のうち430.7㎡を面的に調査した。なお第3図では面的調査実施部分のみをA～E地区と表示している。面的調査の方法は重機により耕作土、基盤土を除去し、検出以後の作業は人力で行った。方位については横田1丁目6番所在の本屋敷三等三角点を基準として、トラバース測量により開発区域内にある測量基準点の座標を測定した。各地区遺構配置図中のN, S, E, Wは方位を表し、数字は基準点からの距離を示している。遺構番号は住居址のみ第5次調査の番号を継承し、その他の遺構については1から付している。

3 遺構

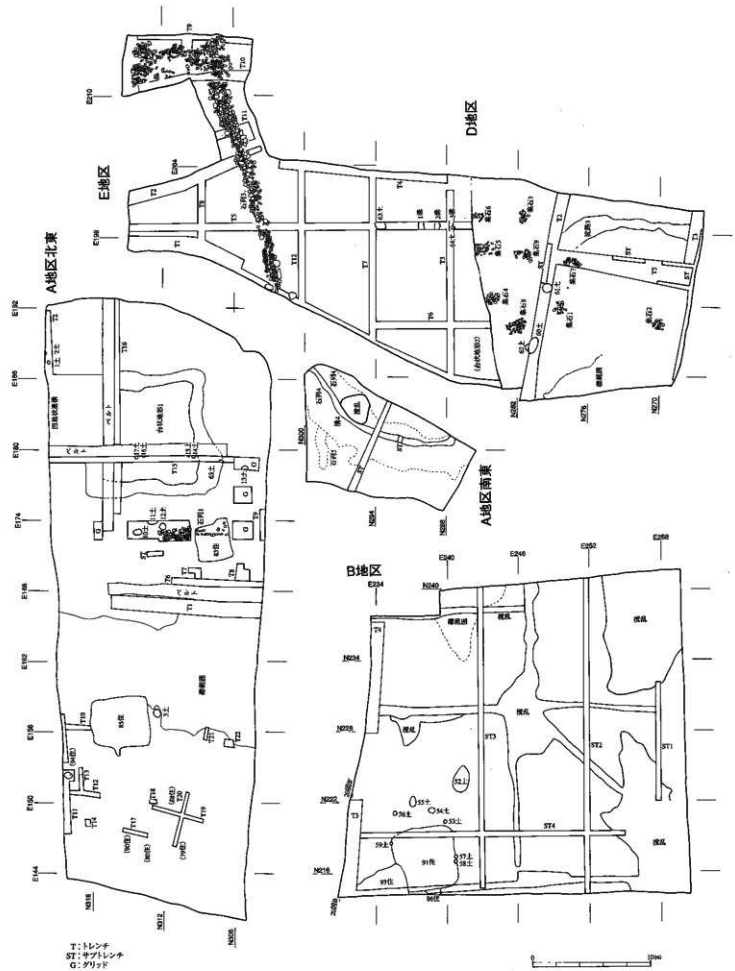
竪穴住居址36軒、土坑62基、ピット155個、竪穴状遺構1基、集石遺構15ヶ所、溝址4条、流路址5条（うち2条は大穴川の旧流路とみられる大規模流路址）、台状地形（人為的に土を盛り上げた硬化面）2ヶ所、凹地状遺構（緩やかな段を持つ掘り込み）1ヶ所、石列5本、焼土範囲9ヶ所を検出した。住居址は古墳時代から奈良・平安時代に属するものがみられる。土坑については用途不明のものがほとんどで、中世に属するものもみられる。ピットは中世の建物址を構成するものが多いと考えられるが、その構成について判断できるものはない。集石遺構は、一部が建物址のグリ石である可能性がある。石列は土留め、水路等の用途が考えられる。台状地形、凹地状遺構はともに中世に属するとみられるが用途は不明である。流路は大穴川に関連するものとみられる。溝は何らかの区画溝、水路とみられる。

4 遺物

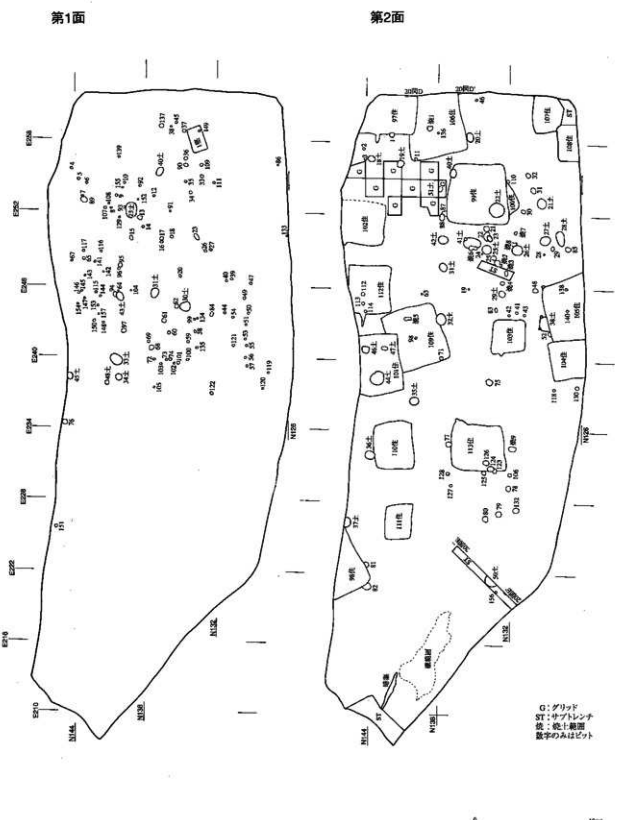
縄文時代から奈良・平安時代、中世にかけての遺物が出土している。縄文時代の土器・石器は遺構に伴うものではないが、近接する柳田遺跡との関連が考えられる。古墳時代の遺物は土師器杯・高杯等の食膳具、甕等の煮炊具がみられる。奈良・平安時代の遺物は土師器、黒色土器、須恵器、灰釉陶器の杯・椀・高盤といった食膳具、土師器甕・羽釜等の煮炊具、須恵器甕・壺等の貯蔵具がみられる。また青磁・白磁といった輸入陶磁器もみられる。文字資料としては円面硯が2点出土している。特記すべきものとして、A・D・E地区を中心に布目瓦が小片を合わせると1000点以上出土しており、軒丸・軒平瓦の他鴟尾の一部とみられるものも出土している。中世の遺物は渥美産蓮弁文壺、古瀬戸産碗といった陶器等がみられる。金属器は中・近世銭貨の他釘などが若干出土している。石器では打製石斧、石匙、砥石、紡錘車等がみられる。



第4図　A地区北西遺構配置図　　S=1:320



第5図　A地区北東・南東・B, D, E地区遺構配置図



第6図　C地区遺構配置図(1,2面)　S=1:320

第2節　遺構

ここでは、本調査において検出した遺構について述べていく。なお、検出位置の記述について、A地区は現況水田の形状により北西、北東、南東、南西と分かれていることから（南西はトレンチのみ）、その中での位置を記している。その他の地区については、各地区の中で位置の記述をしている。

1　竪穴住居址（第7～12図、第2表）

今回の調査では36軒の住居址を確認している。しかし、そのうち第79、80、88、90、94号住居址は、遺物の確認或いはトレンチによる確認で、遺構として捉えられていないため、本来は欠番扱いすべきものであろうと思われるが、まとまった形で時期を決定しうる遺物を出土しているため、実体の伴わない住居址として文章による記述をしている。なお遺構番号については、調査の手順上必ずしも調査区順（A地区→E地区）とはなっていないことをここに記しておく。

第78号住居址（第7図）

A地区北西の西部で検出した。他遺構との切り合い関係は92住に切られる。また、大六川の旧流路とみられる大規模流路址2に一部破壊されている。87住と同様トレンチ1の断面により確認されたが、土色から平面での切り合い関係を明らかにすることは困難であり、調査の過程で本址を切る92住の存在が明らかになった。ピットは7個確認したがいずれも柱穴と確認できない。うちP7は貯蔵穴とみられる大形のピットで、内部からは甕等が出土している。カマドは東壁北寄りにある石組粘土カマドで、天井部こそ残存しないが火床部はよく被熱しており、良好な状態で検出された。内部及び周囲からの遺物も多い。煙道は大規模流路址2に破壊されている。床面は暗褐色粘質土でやや硬い。壁はよく残存し、ほぼ垂直に立ち上がる。遺物は多く、図化し得るものだけで25点を数える。カマドを中心に甕、小型甕等の煮炊具が主体を占める。食膳具は須恵器杯がみられる。本址の時期は、遺物から判断して7世紀後半の古墳時代後期に属すると考えるが、羽釜等も出土していることから、本址と後述する92住を切る古代11～12期・10世紀後半～11世紀前半に属する遺構が存在していた可能性がある。

第79号住居址

A地区北東の西部において、遺物および礫の多く集中する範囲を確認したため、トレンチ19、20を設定して調査したが遺構の実体を確認することはできなかった。遺物は図化し得るものが6点で、須恵器杯、灰釉陶器椀等の食膳具、煮炊具として土師器甕等がみられる。時期については古代9～13期・10～11世紀の平安時代後半に属すると考える。この範囲に遺構があったと思われるため、実体不明の住居址とした。

第80号住居址

A地区北東の西部において、遺物の多く集中する範囲を確認した。しかし遺構の実体を確認することはできなかった。遺物は図化し得るものが4点と少ないが、ほぼ完形の黒色土師皿や残存度の高い黒色土器杯、土師器小型甕がみられることからこの範囲に遺構があったことは確かだと思われるため、実体不明の住居址とした。時期は、遺物から判断して古代7期・9世紀後半の平安時代前期に属すると考える。

第81号住居址（第7図）

A地区北西の東部で検出した。他遺構との切り合い関係は4土に切られる。一部撹乱及び暗渠により破壊されている。ピットは15個確認し、そのうちP1、P2、P3、P4が主柱穴であると考える。カマドは西壁中央で確認した石組粘土カマドで袖の一部が残る。火床部はよく被熱しており、煙道も立ち上がり部分が残存する。壁はよく残存し、ほぼ垂直に立ち上がる。床面は黄褐色砂質土で硬く締まっている。その他の施設としては南壁及び東壁際の一部に周溝がみられる。遺物としては、土師器、黒色土器の杯・椀、灰釉陶器椀等の食膳具、土師器の甕・小型甕といった煮炊具がみられる。特殊品として、カマド脇から軒平瓦片が出土した。時期の判断に

ついて、遺物からみると大きくは8世紀代のものと、中心とみられる9世紀後半のものとに分かれ、さらに中世の遺物が混入しているようである。本址の検出時、その上面において住居址の床面と考えられる範囲不明瞭な硬化面を確認しているが、遺構の実体をつかむことができなかった。これらの時期の異なる遺物のあり方は、それらに伴う遺物が混在していた可能性がある。本址の時期は、遺物の分布から判断して古代8期、9世紀後半の平安時代前期と考える。

第82号住居址（第9図）

A地区北西の東部で検出した。他遺構との切り合い関係は96住，6土に切られる。ピット、カマドは確認できなかった。床面は茶褐色粘質土でやや硬い。壁はあまり残存しないが、ほぼ垂直に立ち上がる。遺物はそれほど多くないが、土師器、須恵器の杯、黒色土器椀といった食膳具の他、煮炊具として土師器甕がみられる。本址の時期は、遺物から判断して古代7～8期、9世紀後半の平安時代前期に属すると考える。

第83号住居址（第9図）

A地区北東の東部で検出した。他遺構との切り合い関係は石列1を切る。ピット、カマドは確認できなかった。東壁南寄りに突出部があり、大形の石はあるが焼土はなく、カマドと考えることは難しい。床面は暗茶褐色粘質土であまり硬くない。壁はよく残存し、ほぼ垂直に立ち上がる。遺物としては、土師器、黒色土器の杯・椀、灰釉陶器の椀といった食膳具が主体を占め、煮炊具、貯蔵具はほとんどみられない。本址の時期は、遺物から判断して古代14～15期、11世紀後半の平安時代後期に属すると考える。

第84号住居址（第8図）

A地区北西の東部で検出した。北側の一部は攪乱により残存しない。また暗渠により一部破壊されている。他遺構との切り合い関係はない。ピットは確認できない。カマドは西壁中央南寄りで確認された石組粘土カマドで、一部袖が滅失しているが火床部は残存する。煙道は削平されており残存しない。床面は小礫混じりの暗茶褐色で硬い。壁はあまり残存せず、立ち上がりもやや緩やかである。遺物としては食膳具が多く須恵器杯・杯蓋、土師器杯・椀、黒色土器杯・椀、灰釉陶器椀等がみられる。煮炊具は土師器甕・小型甕等がみられ、図化し得るものだけで37点と多い。本址の時期は、遺物から判断して古代8期、9世紀後半の平安時代前期に属すると考える。

第85号住居址（第9図）

A地区北東の西部で検出した。広い範囲で遺物を確認したことから複数の切り合い関係が存在した可能性はある。ピットは4個確認したがいずれも柱穴と判断できない。カマドは西壁中央で確認した石組粘土カマドで、火床部、煙道ともによく残存する。床は小礫混じりの灰茶～茶褐色土で硬い。壁はよく残存し、ほぼ垂直に立ち上がる。遺物としては古墳時代後期の土師器杯・高杯等と平安時代前期の黒色土器杯・椀がみられる。本址の時期は、遺物から判断して古代7～8期・9世紀代の平安時代前期に属すると考えるが、古墳時代の遺構を切っている可能性がある。

第86号住居址（第8図）

B地区南西部で検出した。他遺構との切り合い関係は91住に切られ、大半は南側調査区外である。91住の調査中、その南側に黒色土の範囲を検出し、床面とみられるやや硬い面を確認したため住居址とした。ピットは1個確認したが、柱穴と判断できない。プランも不明瞭で遺物も少なく、詳細は不明である。

第87号住居址（第7図）

A地区北西の西部、トレンチ1の断面により確認された。土色から切り合い関係を明らかにすることは困難であった。92住に切られ、西側の一部が調査区外にかかる。ピットは10個確認したがいずれも柱穴と確定できない。カマドは確認できなかった。床面は茶褐色砂質土であまり硬くない。壁はよく残存しほぼ垂直に立ち上がる。遺物としては黒色土器杯、須恵器杯等の食膳具、煮炊具は土師器の小型甕、貯蔵具は須恵器甕がみられる。本址の時期は、遺物から判断して古代7～8期・9世紀後半の平安時代初頭に属すると考える。

第88号住居址

A地区北東の西部において、遺物・礫の多く集中する範囲を確認した。79住と同様トレンチ19、20を設定して調査したが遺構の実体を確認することはできなかった。遺物は少ないが、土師器杯、黒色土器杯、土師器小型甕D、灰釉陶器椀がみられる。この範囲に遺構があったと思われるため、実体不明の住居址とした。時期については、遺物から判断して古代９期以降の平安時代中期以降と考える。

第89号住居址（第９図）

A地区北西の東部で検出した。大規模流路址２上面に不自然な大礫があるため、その確認を目的としてトレンチを設定したところ、多量の土器が出土し、また床面とみられる硬化面及び壁を確認した。トレンチのみのため全容は不明である。この確認トレンチのすぐ南西のA地区北西トレンチ７内からは若干の出土遺物はあるものの床面の続きは確認されないため、西側は大規模流路址２に切られるとみられる。遺物としては、食膳具では土師器椀・耳皿、須恵器杯、灰釉陶器椀等が、煮炊具では土師器小型甕がみられた。本址の時期は遺物から判断して古代14期・11世紀後半の平安時代後期と考える。

第90号住居址

A地区北東の西部において、遺物の多く集中する範囲を確認した。トレンチ19により調査したが遺構は確認できなかった。遺物も図化し得るものは土師器椀、灰釉陶器椀等３点と少ないが、この範囲に古代９期・10世紀前半の平安時代後期に属する遺構が存在したとみられるため、実体不明の住居址とした。

第91号住居址（第８図）

B地区南西部で検出した。他遺構との切り合い関係は86住を切り、93住他いくつかの土坑に切られる。当初はこの周辺全体に広がる暗褐色土範囲の土層確認のため設定したトレンチにより確認された。ピットは11個確認し、そのうちP3、P4、P5、P6が主柱穴であると考える。またカマド横には貯蔵穴とみられるP1があり、内部からは遺物が多く出土した。カマドは西壁中央で確認した石組粘土カマドで、火床部は残存、燃道も93住に貼られながら部分的に残存する。壁はよく残存しほぼ垂直に立ち上がる。北辺にはテラス状の段が造られている。床面は黄褐色土でやや硬く貼り床になっている。貼り床を除去すると、暗茶褐色土の地山面となり、一面に不整三角形～不整形の黄褐色土塊がみられたが、一定の方向であることや断面形から、これらは掘り下げた際の、粗い掘り方の工具痕ではないかと考える。北側のテラス状の段も、その粗掘り後に土を盛って造ったことが、土層及び除去後の下の工具痕より判明した。遺物としては、須恵器の杯・高盤といった食膳具の他、土師器甕・小型甕等の煮炊具、貯蔵具がみられ、図化し得たものだけで31点を数える。特殊なものとして円面硯が１点出土した。本址の時期は、遺物から判断して古代１～２期・８世紀の奈良時代に属すると考える。

第92号住居址（第７図）

A地区北西の西部で検出した。本址は78住と同様、当初設定したトレンチ１の断面により確認されたが、土色から平面での切り合い関係を明らかにすることは困難であり、調査の過程で78住を切る本址の存在が明らかになった。ピットは7個確認したが、いずれも柱穴と判断できない。カマドは西壁中央とみられたもので、石組粘土カマドと考えられるが、87住との切り合いにより不明な点が多い。火床部はよく被熱している。覆土中にみられる礫は雑然としており、投げ込みなどによるものではないかと考える。床面は暗茶褐色粘質土であまり硬くない。遺物は多く、土師器杯、黒色土器杯・椀、灰釉陶器椀等がみられる。本址の時期は、遺物から判断して古代８期・９世紀後半の平安時代前期に属すると考える。

第93号住居址（第８図）

B地区南西部で検出した。南側の大半は調査区外にかかる。他遺構との切り合い関係は91住を切る。当初本址の貼る91住との切り合い関係が不明瞭であったことから、91住の調査が先行してしまったため、構造について不明な点も残る。ピットは床面で２個、貼り床下から１個確認しているが、いずれも柱穴と判断できない。カマドは、東壁中央と思われる石組粘土カマドである。詳細については不明であるが、火床部はよく被熱している。床面は暗茶褐色粘質土で硬く、粗掘りした地山の礫層の上に貼り床を施したものである。床面の一部か

ら炭化材がみられ、また覆土中に焼土粒が含まれていることから、本址は焼失した住居址である可能性もある。遺物はそれほど多くなく、図化し得たものは須恵器甕1点のみである。本址の時期は、遺物から判断して古代5～8期・9世紀の平安時代前期に属すると考えられる。

第94号住居址

A地区北東において遺物の多く集中する範囲および焼土範囲を確認した。トレンチ11、12、13を設定して調査したが遺構の実体を確認することはできなかった。遺物は図化し得るものはほとんどなく、土師器杯1点のみであるが、この範囲に古代8期以降の遺構が存在したと考えられるため、実体不明の住居址とした。

第95号住居址（第9図）

A地区北西の東部で検出した。他遺構との切り合い関係は81、84住に切られる。喰渠、撹乱により残存部分は少ない。ピットは1個確認され、位置から柱穴の可能性がある。カマドは確認できない。床面は小礫混じりの茶褐色土で硬い。壁はよく残存し、ほぼ垂直に立ち上がる。遺物はそれほど多くないが、土師器杯・鉢・小型甕、黒色土器椀、須恵器杯・甕、灰釉陶器椀がみられる。本址の時期は、遺物から判断して古代9期・9世紀後半の平安時代前期に属すると考える。

第96号住居址（第9図）

A地区北西の東部で検出した。他遺構との切り合い関係は82住を切り、5、6土に切られる。北東の一部は撹乱を受けている。ピットは確認できない。カマドは西壁中央の石組粘土カマドで、火床部もよく残存する。床面は礫混じりの茶褐色土で硬い。覆土中カマド周辺を中心に礫が多くみられるが、住居廃絶時に投げ込まれたものかもしれない。壁はよく残存しほぼ垂直に立ち上がる。遺物は図化し得るものだけで30点を数える。土師器、黒色土器、軟質須恵器、灰釉陶器の杯等の食膳具、煮炊具では土師器甕、貯蔵具では須恵器壺がみられる。本址の時期は、遺物から判断して古代8期・9世紀後半の平安時代前期に属すると考える。

第97号住居址（第10図）

C地区東部で検出した。北東の一部は調査区外にかかる。他遺構との切り合い関係は106住を切り、P1に切られる。ピットは1個で、その位置から柱穴と考える。カマドは西壁中央の石組粘土カマドで、火床部もよく被熱し、残存状態も良好である。また煙道も一部残存する。床面は茶褐色粘質土であまり硬くない。一部に土色の違いがあるが、地山の違いのようである。壁はよく残存しほぼ垂直に立ち上がる。その他の施設としては南壁の一部に周溝がある。遺物はそれほど多くなく、カマド周辺から須恵器杯、土師器甕・小型甕がみられる。本址の時期は、遺物から判断して古代2～4期・8世紀の奈良時代に属すると考える。

第98号住居址（第10図）

C地区西部で検出した。北側の大半は調査区外にかかる。他遺構との切り合い関係は37土、P81、P82を切る。ピットは2個確認され、そのうちP1からは柱痕が確認され、主柱穴とみられる。カマドは西壁中央と思われる位置で確認されたもので、石組粘土カマドとみられるが、袖石は削平されているため残存しない。床面は暗茶褐色砂質土で硬く、一部に炭化物範囲がある。壁も削平されたとみられ、ほとんど残存しないがほぼ垂直に立ち上がる。本址からの遺物は少なく、土師器杯、甕等が若干出土しており、また黒色土器や灰釉陶器も含まれることから、上面に新しい遺構が存在した可能性もある。本址の時期は、遺物などから判断して、古代1～2期・7世紀後半の古墳時代後期～奈良時代に属すると考える。

第99号住居址（第10図）

C地区東部で検出した。他遺構との切り合い関係は100住を切り、22土、40土の他、P95などいくつかのピットに切られる。ピットは7個確認され、その位置からP1、P3、P4が主柱穴と考えられる。カマドは西壁中央で確認した石組粘土カマドで、火床部はよく被熱している。煙道は上面が削平されたため残存しない。床面は暗茶褐色砂質土でやや硬い。壁はよく残存し、ほぼ垂直に立ち上がる。遺物は土師器杯などの食膳具、煮炊具では土師器甕が出土している。本址の時期は、遺物などから判断して古代1～3期・7世紀末～8世紀初頭の古墳時代末～奈良時代初頭と考える。

第100号住居址（第10図）

C地区東部で検出した。他遺構との切り合い関係は99住に切られる。床面は暗茶褐色粘質土でやや硬い。ピット、カマドは確認できない。遺物は滑石製紡錘車が1点出土した以外はほとんどみられない。本址の時期は、遺物が少ないため判然としないが、古墳時代後期に属すると考えられる。

第101号住居址（第11図）

C地区東部で検出した。北側の一部が調査区外にかかる。他遺構との切り合い関係は、44土等の土坑に切られる。ピットは10個検出したがいずれも柱穴と判断できない。カマドは東壁南隅で確認した石組粘土カマドで、火床部、煙道ともよく残存する。床面は黄褐色砂質土で硬い。壁はほとんど残存せず、立ち上がりは明瞭ではない。遺物は少なく、土師器甕片等がわずかに出土している。本址の時期は、遺物等から判断して、古代1～2期・7世紀末～8世紀初めにかけての古墳時代後期～奈良時代前期に属すると考える。

第102号住居址（第11図）

C地区東部で検出した。北側の一部が調査区外にかかる。他遺構との切り合い関係はない。ピットは5個確認したがいずれも柱穴と判断できない。カマドは西壁北寄りとみられる石組粘土カマドで、火床部、煙道ともよく残存する。床面は黄褐色砂質土で硬い。壁はほとんど残存せず、立ち上がりは明瞭ではない。東側は壁の確認ができず、床面範囲から判断した。遺物はカマドを中心に土師器甕・小型甕といった煮炊具が多く出土している。食膳具は須恵器杯がみられるが少ない。本址の時期は、遺物から判断して、古代1～3期・7世紀後半の古墳時代後期～奈良時代前期に属すると考える。

第103号住居址（第11図）

C地区南部で検出した。他遺構との切り合い関係はP84に切られる。ピットは1個確認し、その位置から柱穴と考える。カマドは西壁北寄りで確認した石組粘土カマドで、火床部はよく残存し、煙道も一部残存する。床面は茶褐色粘質土で硬い。壁はよく残存し、ほぼ垂直に立ち上がる。遺物は小破片が多く、図化し得たものは須恵器高杯、灰釉陶器椀1点ずつのみである。本址の時期は、遺物から判断して古代11～15期・11世紀代の平安時代後期に属すると考えられる。また、本址の四隅外側にある4個のピット（P54、P121、P134、P165）も関連があるとみられる。

第104号住居址（第10図）

C地区南部で検出した。南側の一部は調査区外にかかる。他遺構との切り合い関係は105住を切り、P118、119に切られる。ピットは2個確認したが、いずれも柱穴と判断しがたい。カマドは確認されない。床面は礫混じりの暗茶褐色で硬い。壁はよく残存し、ほぼ垂直に立ち上がる。遺物はあまり多くなく、土師器・須恵器高杯、土師器甕などが出土している。本址の時期は、遺物などから判断して7世紀末の古墳時代後期に属すると考えるが、羽釜もみられることから、上面に10世紀代の遺構が存在していた可能性もある。

第105号住居址（第10図）

C地区南部で検出した。南側の一部は調査区外にかかる。他遺構との切り合い関係は104住、P48、138、140に切られる。ピットは6個確認され、その位置からP_1、P_2、P_4が主柱穴と考えられる。P_5は貯蔵穴とみられ、遺物が出土している。カマドは確認できない。床面は茶褐色粘質土でやや硬い。壁はよく残存し、ほぼ垂直に立ち上がる。遺物はそれほど多くないが、須恵器杯・高杯・鉢、土師器甕等が出土している。本址の時期は、遺物から判断して7世紀末の古墳時代後期に属すると考えられる。

第106号住居址（第11図）

C地区東部で検出した。東側の一部が調査区外にかかる。他遺構との切り合い関係は97住、流路2、及びP11など数個のピットに切られる。ピットは1個確認した。カマドは確認できない。床面は黄褐色砂質土で硬い。壁はあまり残存せず、立ち上がりもやや緩やかである。遺物は少なく、土師器高杯等、若干の遺物がみられた。本址の時期は、遺物から判断して古墳時代後期に属すると考える。なお、本址中央部床面よりやや高い部分において焼土範囲1を確認しているが、本址検出時において、黒色土器Bの椀片なども出土していること

と合わせて、上面にそれらを伴う11世紀代の遺構が存在していた可能性がある。

第107号住居址（第11図）

C地区南東部で検出した。南東側の一部は調査区外にかかる。他遺構との切り合い関係は108住に切られる。ピットは2個確認したがいずれも柱穴と判断できない。カマドは確認できない。床面は茶褐色粘質土でやや硬い。壁はよく残存し、垂直に立ち上がる。遺物はそれほど多くないが、須恵器杯・高杯・鉢、土師器小型甕等が出土している。本址の時期は、遺物などから判断して古代1～2期・7世紀末～8世紀初めの古墳時代後期～奈良時代前期に属すると考える。

第108号住居址（第11図）

C地区南東部で検出した。南側の一部は調査区外にかかる。他遺構との切り合い関係は107住を切る。ピットは3個確認したがいずれも柱穴と判断できない。P_2の周囲から焼土範囲が確認されているが、用途は不明である。カマドは確認できない。床面は茶褐色粘質土でやや硬い。壁はよく残存し垂直に立ち上がる。遺物は土師器甕など若干出土がみられる、図化し得るものは須恵器杯1点のみである。本址の時期は、遺物から判断して古代1～2期・7世紀末～8世紀初頭の古墳時代後期～奈良時代前期に属すると考える。

第109号住居址（第11図）

C地区北部で検出した。他遺構との切り合い関係は、101住、33土等の土坑・ピットに切られる。ピットは3個確認したがいずれも柱穴と判断できない。カマドは確認できない。床面は黄褐色砂質土で硬い。壁はよく残存し、ほぼ垂直に立ち上がる。遺物は非常に少なく土師器甕片等若干出土したのみである。本址の時期は、遺物から判断して古代1～2期・7世紀末～8世紀初めにかけての古墳時代後期～奈良時代前期に属すると考える。なお、本址中央部の床面よりやや高い部分において焼土範囲5を確認しているが、本址に伴うものではなく、上面にそれを伴う遺構が存在したと考える。

第110号住居址（第12図）

C地区西部で検出した。他遺構との切り合い関係はない。ピットは3個確認したが、いずれも柱穴と判断できない。カマドは西壁北隅にある石組粘土カマドであるが、袖はあまり残存しない。火床面はよく被熱しているが煙道は残存しない。床面は黄褐色粘質土で硬い。壁はあまり残存せず、やや緩やかに立ち上がる。遺物は比較的多く、土師器杯・盤といった食膳具、土師器甕・甑等煮炊具、須恵器甕などの貯蔵具がみられた。本址の時期は、遺物から判断して古代15期・11世紀末の平安時代後期に属すると考えるが、古墳時代の遺物も含まれているため、そうした時期の遺構を切っていた可能性もある。

第111号住居址（第12図）

C地区西部で検出した。他遺構との切り合い関係はない。ピットは1個で、カマド脇の貯蔵穴とみられる。カマドは東壁北寄りの石組粘土カマドで、袖は残らないが袖の芯石は残存する。火床部はよく被熱するが、煙道は削平され残存しない。床面は黄褐色粘質土で硬い。壁は部分的に残存し、ほぼ垂直に立ち上がる。遺物は多く、土師器杯・椀等の食膳具が、煮炊具では羽釜がみられた。貯蔵具は須恵器甕があるが、混入品であろう。本址の時期は、遺物から判断して古代14～15期・11世紀末の平安時代後期に属すると考える。

第112号住居址（第12図）

C地区西部で検出した。北西の一部が調査区外にかかる。他遺構との切り合い関係は、P155等のピットに切られる。ピットは2個確認した。そのうちP_1は貯蔵穴とみられ、遺物を出土する。P_2は柱穴とみられる。カマドは西壁中央とみられる石組粘土カマドで、袖もよく残存する。火床面もよく被熱し、煙道も残存する。床面は黄灰褐色粘質土で非常に硬い。壁はよく残存し、垂直に立ち上がる。遺物は土師器甕、棒状の土製品がみられた。本址の時期は、遺物から判断して7世紀後半の古墳時代後期に属すると考える。

第113号住居址（第12図）

C地区西部で検出した。他遺構との切り合い関係は、P77等のピットに切られる。ピットは7個確認され、そのうちP_2、P_4は柱穴の可能性がある。カマドは東壁北隅で確認した石組粘土カマドで、袖はほとんどないが

袖石は残存する。火床部はよく被熱し、煙道も一部残存する。床面は茶褐色粘質土で硬い。一部で焼土範囲、炭化材が確認されているため、焼失した住居址である可能性もある。壁はカマド周辺以外ではあまり残存せず、ほぼ垂直に立ち上がる。遺物は比較的多く、土師器杯・盤等の食膳具、貯蔵具では灰釉陶器短頸壺がある。本址の時期は、遺物から判断して古代13期・11世紀中頃の平安時代後期に属すると考える。

2 土坑（第13・14図、第3表）

今回の調査では62基の土坑を検出した。用途、時期の判明できるものは少ないが、いくつかからは遺物の出土もみられる。ここでは遺物を伴うもの、時期・用途について考えうるものの数基について述べていく。

第4号土坑

A地区北西の北東部で検出した。81住の掘り下げ中に確認したもので、81住を貼る。覆土中に焼土及び炭化物を含んでいるが、出土遺物はみられない。用途についても不明であるが、81住の検出中、その上面で住居址の床面状の硬化範囲を確認しており、それが上面の住居址だとすれば、そのカマドなどである可能性もあるが、遺物を伴わないため、81住より新しい時代の遺構であるとしかいい得ない。

第17号土坑

A地区北東、台状地形構造確認のためのトレンチ15掘り下げ中に確認した。覆土は台状地形下層の暗褐色粘質土である。遺物としては白磁碗片が1点出土している。本址の時期については、後述する台状地形1の遺物と合わせて判断すると、古代末～中世になると考えられ、この周囲の14、15、16土も同様と考える。

第44号土坑（第14図）

C地区東部で検出した。101住の掘り下げ中に確認したもので、101住を貼る。全体的に焼土を含んでおり、底も被熱している。用途については不明であるが、覆土中の焼土や袖石とみられる礫もあることから、住居址のカマドであった可能性がある。後述の焼土範囲と同様、上面に遺構が存在したが、開田などにより削平されてしまったと考える。本址の時期は101住より新しい、奈良時代以降の遺構であると考える。

第60号土坑（第14図）

D地区北部で検出した。瓦・遺物を包含する暗灰色粘土を除去して表れた黄褐色砂質土の地山を掘り込み、他遺構との切り合い関係は62土を切る。覆土は小礫を含む暗褐色土で、遺物として須恵器杯の他、瓦も含まれる。本址の用途は明らかではない。時期については、遺物を包含する上層が後述する中世以前とみられる台状遺構からの続きであり、その堆積する以前であるため、詳細は不明ながら古代に属すると考える。

第62号土坑（第14図）

D地区東部で検出した。60土と同様、黄褐色砂質土の地山を掘り込む。60土に切られる。覆土は暗褐色土で、遺物として瓦を出土している。本址も、その用途を明らかにすることはできないが、60土と同様、時期については古代に属すると考える。

第63号土坑（第14図）

E地区南部で検出した。瓦・遺物を包含する暗灰色粘土は、E地区全体にも分布がみられ、本址もそれを除去したトレンチ内から確認された。砂礫混じりの灰色土に掘り込まれ、他遺構との切り合い関係はない。本址は柱穴であったとみられ、粘土により腐食を免れた木質が中心部に残存する。底部の扁平な礫は礎板とみられる。建物址を構成するものとみられるが、時間的制約から周辺の確認調査をしておらず、不明である。本址の時期は、中世以前と考えられる上層が堆積する以前であるため、詳細な時期は不明であるが古代に属すると考える。

3 ピット

今回の調査では155個のピットを検出した。いずれもC地区から検出されている。これらのピットは大きくは二つに分けられる。一つは住居址など遺構の上面から掘り込まれている、第6図において第1検出面として

扱ったもので、これらは中世に属すると考えられ、灰褐色土を覆土とするものと、もう一つは住居址などと同一面からの掘り込みとみられるものである。前者は規模も径20cm前後のものが大半で、これらは柱穴とみられることから中世の建物址等に伴うものと考えられるが、その構成については明瞭に捉えうるものはみられず不明である。P54、P121、P134、P165は、103住の四隅にあたることから、その関連が考えられる。後者は覆土が暗茶褐色を基調とするもので、規模もそれぞれ異なるため、用途などについては明らかにできない。また、遺物を含むものもあるがP26の黒雲母片岩製垂飾状石製品以外はいずれも土師器などの小片であり、時期等を判断することはできない。

4 竪穴状遺構（第15図）

C地区東部で検出した第1号竪穴状遺構のみである。黄褐色砂質土の地山を掘り込み、床面は平坦で硬い。内部にはピット等の施設はみられない。壁はよく残存し、垂直に立ち上がる。遺物は少ないが、内耳鍋片がみられるため、本址の時期は中世2期・室町時代に属すると考える。用途については不明である。

5 集石遺構（第15図、第7表）

A地区で6ヶ所、D地区で9ヶ所検出した。A地区のものは大規模流路址2の覆土である黄褐色砂質土を掘り込み、径5～20cmの礫がみられる。これらはいずれも、大六川が現在の流路に変わってから以降に作られたものである。D地区のものは茶褐色土の地山を掘り込み、径5～20cmの礫がみられる。周囲及び内部から瓦が多く出土するため、大形建物に関連すると考えられるものもある。

集石1（第15図）

D地区中央部で検出した。平面形は方形に近い不整形で、上面に5～30cm大の礫がある。トレンチ調査により、茶褐色土の地山に浅い皿形に掘り込まれるのが確認された。出土遺物は瓦の他、須恵器杯等が若干みられる。本址の用途は明確ではないが、形状から大形建物の基礎であった可能性がある。時期については古代に属すると考えるが、詳細については不明である。

集石2（第15図）

D地区南部で検出した。平面形は円形で、上面に5～30cm大の礫がある。本址は、盛り土保存がされるため、トレンチ掘り下げは行っていない。遺物は、周囲を含めて多くの瓦片がみられるが、特殊遺物として鴟尾の一部（D001）が出土している。本址の用途は明確ではないが、形状から大形建物の基礎であった可能性がある。時期については、瓦などの遺物から古代とみられるが、詳細な時期は不明である。

集石3（第15図）

D地区北東部で検出した。平面形は楕円形で、上面に5～30cm大の礫がある。トレンチ調査を行ったが、掘り方などの確認はできなかった。出土遺物は、周囲を含めて多量の瓦の他、須恵器杯等がみられる。本址の用途は明確ではないが、形状から大形建物の基礎であった可能性がある。時期については、遺物から判断して古代3～4期、8世紀の奈良時代に属すると考える。

集石4（第15図）

D地区北部で検出した。北側の一部はE地区の台状地形2の下部に入るため、調査区外である。平面形は不整円形で、上面に5～30cm大の礫がある。トレンチ調査を行ったが、掘り方等の確認はできなかった。出土遺物は周囲を含めて多量の瓦がみられる。本址の用途は明確ではないが、形状から大形建物の基礎であった可能性がある。時期については、遺物から判断して、詳細な時期は不明ながら古代とみられる。

集石5・6・8（第15図）

集石5・8はD地区北部、6は北東部で検出した。平面形は円形或いは不整形で、上面に5～20cm大の礫がみられる。掘り方の確認はしていない。遺物は周囲を含めて多くの瓦がみられる。これらはその周囲の地山にも礫が多く含まれていることから、遺構というよりは地山の、礫の多い部分であるという可能性もある。

集石7（第15図）

D地区中央部で検出した。平面形は円形で、上面に5～30cm大の礫がある。トレンチ調査により、茶褐色土の地山に浅い皿形に掘り込まれるのが確認された。遺物は、周囲を含めて多量の瓦がみられ、特殊遺物として鴟尾の一部（D826）がみられる。本址の用途は明確ではないが、形状から大形建物の基礎であった可能性がある。時期については、遺物から判断して古代に属すると考えるが、詳細については不明である。

集石9（第15図）

D地区北東部で検出した。平面形は不整形である。トレンチ調査を行ったが、掘り方等の確認はできなかった。出土遺物は多量の瓦の他須恵器杯・甕の小片が若干みられる。本址の用途は明確ではないが、形状から大形建物の基礎であった可能性がある。時期については詳細な時期は不明ながら古代に属すると考える。

集石10～14（第15図）

A地区北西の西部で検出した。平面形は楕円形、不整形などである。いずれも大規模流路1の黄褐色砂質土を掘り込む。当初は遺構と考えなかったが、大規模流路1の覆土中は砂質土で、少なくとも上面では礫はみられないため、不自然なこれらの集石は人工的なものと考える。これらからの出土遺物はほとんどないため時期については不明であり、いずれも大六川の流路変更以降のものであるが、古代以降としかいえない。

集石15（第15図）

A地区北西の西部で検出した。集石10～14と同様、いずれも大規模流路1の黄褐色砂質土を掘り込む。礎石立ち建物の礎石下グリ石状を呈するが、組み合わせとなる遺構が検出されないため、用途については不明である。本址からの出土遺物はみられず、時期については不明であり、いずれも大六川の流路変更以降のものであるが、古代以降としかいえない。

6　石列（第16～18図、第4表）

石列1（第16図）

A地区北東の東部において、83住の床面精査中に確認しており、他遺構との切り合い関係は83住に切られる。確認された長さは884cmで、部分的に蓋石のある水路状を呈するが、83住の掘り込みにより一部破壊されている。北側の端は溝状となり、一つピットが掘り込まれる。南端は列が疎となり、石列の体をなさない。方向はN－2°－Wを示す。水路の内側幅は概ね25cm前後で、両側の石は乾立している。石組自体の掘り方は確認できなかったが、部分的に両側一列ではなく、外側にも裏込め的な石もみられる。底部は茶褐色粘質土で硬い。本址の掘り込まれた暗黄褐色砂質土面は、83住などの掘り込まれた暗灰褐色粘質土層を取り除いて確認された面である。用途については、当初後世の暗渠の可能性を考えたが、上面からの掘り込みはみられず、また83住に貼られるため、少なくとも中世以前の遺構であり、形状から水路と考えるのが妥当であろう。遺物としては土師器・須恵器杯がみられた。時期については、遺物及び土層から判断して古代に属すると考えるが、詳細については不明である。

石列2（第16図）

A地区北西の西部で検出した。第1号大規模流路址の東側、2条ある大規模流路址の中間部分の、鉄分の沈澱する硬化面の縁に沿って確認された。確認された長さはおよそ1160cmであるが、埋没している部分もあるため、全長は不明である。A地区北西トレンチ1の断面観察によれば、断面形は三角形を呈し、検出面に露出している部分はその頂部とみられる。基部の両側とも砂礫層である。本址は大六川流路の護岸的な役割をしているようにもみえるが、近世における大町市常盤の乳川石堤（江戸時代後期1817年）のような緻密な積み方ではなく、また平田本郷遺跡第3次調査において確認された護岸状遺構とは構造も異なるため、その用途については不明である。本址の時期は、大六川の旧流路が流れていた時期のものと考えられるが、遺物を伴わないため、平安時代以降であるとしかいえない。また、明らかな人工物（遺構）であるという確証もない。

石列３（第17図）

E地区中央で検出した。当初はほぼ東西方向（N―75°―E）を指向し、検出した礫も人頭大以上のものも多いことから、寺院などに関連する遺構である可能性を考えた。平面形はL字型で、確認された規模は、東西方向に幅110～190cmで長さ2300cmであり、調査区東端で北に折れ、幅230～290cmで長さ880cmを測り、北端部でさらに広がるようであるが、調査範囲の関係上それ以上の確認はできない。使用されている礫は川原石で、大きさも10cm～人頭大とばらつきがある。並び方については法則性がなく不規則であるが、上面の標高は633.72m～633.85mでほぼ一定している。本址の両側（南北）は、暗灰色粘土が堆積しており、その下面が茶褐色砂礫層である。西端部分では、その砂礫層と本址はほぼ同一面で検出されているが、東に向かって下面の砂礫層面は下がっていき、その上面の粘土の堆積は厚くなるため、本址の中央付近では完全に下面の砂礫層と乖離している。粘土中に浮いた体を示していることから、本址はこの粘土堆積後に造られたようである。トレンチの断面によっても掘り込みはみられず、粘土上面に載せただけという感を受ける。遺物は、礫間から出土したものは土師器・須恵器杯等が若干のみである。用途については湿地帯の土留めとも考えられるが不明である。時期については遺物から判断できず不明であるが、南側の粘土層が E区南端部において後述する台状地形２の黒褐色粘質土の上面にあたることから、詳細は不明ながら中世以降と考える。

石列４（第18図）

A地区南東で検出した。北側の一部は撹乱を受ける。当初は後述する台状地形２の一部であると考えたが、それを切る弧状の溝状遺構（第４号溝址）両側の集石であることが判った。溝の幅は40～80cmで、石組の水路とみられる。右岸（西側）には50cm大の石が一段列で屹立し、その裏込め状を呈する形で幅140～180cmの石列がある。底部は石ではないが黒褐色粘質土で硬い。左岸（東側）は、右岸のような明瞭な石組ではなく、底面の黒褐色粘質土がそのまま壁となっており、その上に石列の礫が載った形となっている。溝の覆土は灰色砂層である。本址からの出土遺物はほとんどなく、若干の近世陶磁器片、瓦片がみられた他は、礫に混じって数点の布目瓦がみられたに留まる。時期については、遺物から判断して近世に下ると考える。また用途については、形状通り水路であると考えられる。このすぐ東に現況水路が存在することから、その古い段階のもので、水路を造る際に使われた礫であると考える。

石列５（第18図）

A地区南東の北部で検出した。石列４西側の黒色粘質土上面で、石列４に切られる形で確認された。確認された長さは364cmで、幅は概ね100cm前後である。本址からの遺物の出土はみられない。用途・時期については不明であるが、E地区で確認した石列３の延長上にあり、また上面標高も633.65mと、石列３とほぼ同様であるため、同一のものである可能性がある。

7　焼土範囲

C地区において、住居址などに伴わない焼土の広がりを９ヶ所確認し、またこの他にも、焼土の散布している範囲が確認されている。これらの存在については二つの理由が考えられる。検出が非常な困難なため、遺構覆土中の焼土を確認した可能性と、中世以降に削平されたことにより、上面に存在した住居址などの遺構の焼土が残存した可能性が挙げられる。今回焼土範囲としたものは、７を除いていずれも内部に遺物を伴っておらず、カマドの火床面のみが残存したものとみられ、後者にあたると考えられる。散見された焼土のある部分については前者、つまり住居址などの遺構が存在した可能性はあるが、その確認には至っていない。焼土範囲７からは内耳鍋片がみられ、中世の遺構に伴うものであるとみられる。

8　台状地形（第19図、第８表）

２ヶ所確認している。いずれも黒色土を硬く締めているが版築はみられない。一段高い台地状の地形であるが上面に礎石等がみられないため、名称を台状地形とした。２は、形状不明なため図化していない。

台状地形１（第19図）

A地区北東の東部で検出した。重機により水田耕作土及び基盤土を除去した段階で、約７ｍ四方の方形の黒色土硬化面範囲を確認した。またその上面から10cm～人頭大の礫がみられた。上層の土を取り除いて確認された本址の範囲は、上端で東西800～900cm、南北800～850cm、下端で東西1,000～1,100cm、南北1,100cmであり、平面形は方形の台状を呈する。上面はほぼ平坦であるが、水田開田により削平された可能性がある。上面の礫に、礎石等と考えられるものはない。比高は西側で約15～20cm、東側及び南側は10～15cm、北側は不明であるが５cm前後を測る。周囲から瓦が多く出土するため、寺院の基壇跡である可能性を考えた。構造確認のため東西方向、南北方向にトレンチを入れたところ、黒色粘質土内には若干の土質の差はあるものの、版築としての土層はみられない。南北方向のトレンチ16の下面からは数基の土坑を検出しており、本址はそれらを貼って造られたとみられる。黒色粘質土中の出土遺物は非常に少なく、土師器甕、須恵器杯等の小片がみられたにとどまるが、上面からは12世紀代の渥美産蓮弁文壺がみられた。本址の時期は遺物から判断して、詳細時期不明な中世と考えるのが自然である。用途については、形状は基壇状であるが版築がみられず、また礎石等も残存せず上面構造が明らかではないことから不明である。ただし、蓮弁文壺の存在から、仏教に関わる施設である可能性はある。

台状地形２

E地区南西部で検出した。南側はD地区との境で、水田の土手築造に伴って一部削られている。西側はA地区南東に続いているようであり、端部は不明である。上面はA地区南東において近世及び近代の水路により一部破壊されている。本址も、台状地形１と同様、上層の耕作土及び基盤土を除去したところ確認された硬化面で、上面に10～30cm大の礫がみられた。平面形は南側が水田法面として削られているため不明である。寺院の基壇跡等の可能性を考えて東西方向、南北方向にトレンチを入れたところ、黒色粘質土内には若干の土質の差はあるものの、いわゆる版築としての土層はみられない。出土遺物は瓦片、土師器甕小片等がみられるが量は少ない。本址の性格は、基壇の可能性があるが、版築を施していないことと、平面形及び上面の構造が明らかでなく、礎石等も残存しないことから判然としない。時期については、上面から中世の青磁碗片が出土していること等から、台状地形１と同様、詳細な時期は不明ながら中世に属すると考える。

9　凹地状遺構（第16図）

A地区北東の東部で検出した。他遺構との関係は台状地形１の下層にあたる。当初は前述の台状地形の下層を確認するため一部を掘り下げたところ、台状地形の黒色土下より、瓦を含む礫集中範囲が確認された。この礫集中範囲は雑然としていることから、これらの礫は投げ込み等と考えられる。当初は住居址と考えたが、礫を取り除いた形状が段を持つ幅広の溝状を呈する凹地であることから凹地状遺構１とした。用途については不明である。出土遺物は瓦類の他、土師器杯、須恵器杯・蓋、灰釉陶器皿がみられる。本址の時期は、遺物から判断して古代９期・10世紀前半の平安時代中期とみられるが、台状地形築造の時点で埋没したと考えられるため、台状地形１と同様、詳細な時期は不明ながら中世に属する可能性もある。

10　溝址・流路址（第14図、第５・６表）

溝址（第14図）

４条確認している。第１～３号溝址はいずれもE地区の、粘土層を取り除いた礫層上面での確認である。形状より溝と考えたが、トレンチ調査のみであるため断定はできない。３条並んだ形で、いずれも断面形は浅い皿形である。遺物は須恵器壷等若干の出土がみられた。時期については、粘土層の下であることと遺物から、詳細は不明ながら９世紀代以前の古代に属すると思われる。第４号溝址はA地区南東において確認された石組水路で、石列５、台状地形２を切る。出土遺物は近世陶磁器片、近世以降の瓦片がみられるため、近世に属するものと考える。A地区とD・E地区の間を流れる現況水路にほぼ並行していることから、その古い段階のも

のである可能性がある。

流路址（第14図）

第１号流路址はA地区北西、次述の大規模流路址１上面で確認した。断面形は浅い皿形である。大規模流路址１堙没後の一時的な流路址のようであるが詳細な時期は不明である。第２号流路址はC地区東壁の断面のみで確認した。調査区東側に現況水路（山田川）があることから、その旧流路と考えられるが平面的な確認はできない。遺物としては砥石等がみられるが時期についてそれらから判断することは難しい。第３号流路址はD地区中央部で検出したもので、ごく浅いものであることから、流路というより北側湿地帯からのオーバーフローとみられる。遺物として瓦が多量に出土する。時期については古代以降であるとしかいえない。

大規模流路址（第4図）

A地区北西部の大半を占める形で確認された。基本的には一つの河川址と考えられるが、中州状部分を挟み大きく２条に分かれることから、西側のものを大規模流路址１、東側のものを大規模流路址２とした。覆土は基本的に黄褐色砂質土で、底部は礫層である。西側の大規模流路址１は、開発区域西側を流れる大六川の旧流路とみられ、上面にみられる集石遺構の存在から近世以前であると考える。右岸からは77住、92住などの住居址が確認され、現在の大村集落北側の台地と繋がっていたようである。左岸に鉄分の沈澱する硬い面があり、その範囲からは土師器・須恵器の他円面硯片もみられたが、遺構の存在は確認できない。しかしこの硬い面の縁に前述の石列２があることから、何らかの生活痕跡があった可能性はある。東側の大規模流路２も、基本的には大六川の旧流路であると考えられるが、右岸にあたる硬い面との関係が不明瞭な点など、不明な部分も多い。左岸からは81住、82住など多くの住居址が検出されているが、89住のように、この流路によって破壊・埋没した住居址もあり、また遺物として須恵器杯・甕等がみられることから、時期的には11世紀後半の平安時代後期以降に形成されたものと考えられる。

第2表　住居址一覧表

（ ）：推定、〈 〉：残存

住居No.	地区	平面形	規模		主軸方向	カマド		ピット	時期	備考
			長軸×短軸×深さ(cm)	床面積(㎡)		位置	種類			
78	A北西	方形か	〈434〉×〈426〉×32	〈8.04〉	N・65°・E	東壁北寄	石組粘土	7	7C後 古墳後	大規模流路址1・92・87住に切られる
79	A北東	−	−	−	−	−	−	−	10C後〜11C前 平安後	遺物の存在から想定するが不明
80	A北東	−	−	−	−	−	−	−	9C後 平安前	遺物の存在から想定するが不明
81	A北西	方形	508×496×20	19.91	N・89°・W	西壁中央	石組粘土	15	9C後 平安前	4土に貼られる、中央部暗渠により破壊、東側一部撹乱、周溝有。
82	A北西	方形	452×424×12	(17.49)	N・3°・W	不明	−	−	9C後 平安前	96住・6土に切られる。
83	A北東	方形	328×300×21	8.25	N・84°・E	東壁南寄	−	−	11C後 平安後	石列1を切る、東壁南寄の突出部がカマドの可能性有するが不明
84	A北西	方形	〈484〉×456×26	〈16.74〉	N・91°・W	西壁南寄	石組粘土	−	9C後 平安前	北側撹乱、中央部暗渠により破壊
85	A北東	方形	500×432×34	17.63	N・94°・W	西壁中央	石組粘土	4	9C 平安前	2時期の遺物の存在から切り合い関係あるとみられるが不明
86	B	不明	〈146〉×〈82〉×9	〈0.54〉	不明	不明	−	1	不明・8C以前	91住に切られる、南側調査区外
87	A北西	方形か	248×〈176〉×27	〈3.33〉	N・25°・W	不明	−	10	9C後 平安前	92住に切られる、西側調査区外
88	A北東	−	−	−	−	−	−	−	10C以降 平安中期以降	遺物の存在から想定するが不明
89	A北西	不明	不明	−	不明	不明	−	−	11C後 平安後	大規模流路２に切られる、トレンチにより壁、床面の一部を確認
90	A北東	−	−	−	−	−	−	−	10C前 平安中	遺物の存在から想定するが不明
91	B	方形	526×504×57	21.17	N・100°・W	西壁中央	石組粘土	11	8C 奈良	86住を切る、93住・57・58・59土に切られる、床面工具痕有
92	A北西	方形か	296×〈248〉×20	〈5.93〉	N・107°・W	西壁中央	不明	8	9C後 平安前	87住を切る
93	B	方形か	440×〈280〉×25	〈7.19〉	N・92°・E	東壁中央	石組粘土	2	9C 平安前	91住を切る、南側調査区外
94	A北東	−	−	−	−	−	−	−	不明・平安	遺物の存在から想定するが不明
95	A北西	−	−	−	N・20°・E	不明	−	1	9C後 平安前	81・84住に切られる、北側、中央部撹乱を受ける
96	A北西	方形か	460×〈424〉×19	〈11.78〉	N・122°・W	西壁中央	石組粘土	−	9C後 平安前	82住を切る、5・6土に切られる、北側撹乱を受ける
97	C	方形か	〈46〉×〈340〉×30	〈12.34〉	N・89°・W	西壁中央	石組粘土	−	8C 奈良	P1に切られる、北東側調査区外
98	C	方形か	〈524〉×〈360〉×12	〈8.3〉	N・117°・W	西壁中央	石組粘土	−	7C後 古墳後〜奈良	37土・P81・82を切る、北側調査区外
99	C	方形	530×506×25	22.03	N・91°・W	西壁中央	石組粘土	−	7C後〜8C前 古墳後〜奈良	100住を切る、22・40土・P12・33・34・35・90・91・95・109・111に切られる
100	C	不明 方形か	〈270〉×〈124〉×19	〈1.45〉	N・26°・W	不明	−	−	7C・古墳後か	99住・P110・111に切られる
101	C	方形か	512×〈372〉×9	〈14.85〉	N・92°・E	東壁南寄	石組粘土	10	7C後〜8C前 古墳後〜奈良	44・45・46・47・48土に切られる、北側調査区外
102	C	方形か	〈372〉×〈368〉×4	〈12.12〉	N・89°・W	西壁北寄	石組粘土	5	7C後 古墳後	東側壁不明、北側調査区外
103	C	方形	290×284×17	5.94	N・95°・W	西壁北寄	石組粘土	1	11C 平安後	P84に切られる、外側にある４個のピット関連有か
104	C	方形か	〈332〉×〈314〉×25	〈8.93〉	N・10°・W	不明	−	3	7C後 古墳後	105住を切る、P118・119に切られる、南側調査区外
105	C	方形か	〈530〉×〈390〉×18	〈15.24〉	N・12°・W	不明	−	6	7C後 古墳後	104住・P47・138・140に貼られる、南側調査区外
106	C	長方形か	〈570〉×490×20	〈21.05〉	N・11°・W	不明	−	1	7C後 古墳後	97住・P11・139に切られる、P136・137・焼土1に貼られる、東側調査区外
107	C	方形か	〈322〉×〈264〉×40	〈6.65〉	N・1°・W	不明	−	2	7C後〜8C前 古墳後〜奈良	108住に切られる、東側調査区外。
108	C	方形か	312×〈176〉×29	〈4.54〉	N・2°・W	不明	−	3	7C後〜8C前 古墳後〜奈良	107住を切る、床面に焼土範囲有、南側調査区外
109	C	方形か	518×452×7	(21.46)	N・17°・W	不明	−	3	7C後〜8C前 古墳後〜奈良	101住・32・33土・P68・69・71・97・98・148・150・157・焼土5に切られる
110	C	長方形	406×338×16	11.71	N・92°・W	西壁北隅	石組粘土	3	11C末 平安後	
111	C	長方形	304×236×21	5.46	N・90°・E	東壁北寄	石組粘土	1	11C末 平安後	
112	C	方形	404×376×15	(12.93)	N・87°・W	西壁中央	石組粘土	2	7C後 古墳後	P112・113・114・115・143・145・146・147に切られる、P153・154に貼られる
113	C	方形	472×396×17	15.85	N・90°・E	東壁北隅	石組粘土	7	11C中 平安後	P77・123・124・125・126に切られる

第3表　土抗一覧表

（ ）：推定、〈 〉：残存

No	地区	図	平面形	規模 長軸×短軸×深さ(cm)	遺物	時期	備考
1	A北東		円形	26×22×12			粘土層下層で確認
2	A北東		円形か	20×〈12〉×10			粘土層下層で確認
3	A北東	13	楕円形	70×50×23	土師器小片		
4	A北西		円形か	(58)×(55)×17		中世か	81住を貼る遺構に伴うものか、底面に焼土有
5	A北西	13	円形	36×32×11	土師器杯、黒色土器杯	平安時代	82住、96住、6土を切る
6	A北西	13	円形	110×102×7			82住、96住を切る、5土に切られる
7	A北西	13	円形	36×34×20	土師器杯A		
8	A北西	13	円形	30×28×18	土師器杯D		
9	A北西	13	長円形か	154×〈60〉×8	須恵器甕、土師器小片		78住を切る、77住に切られる、内部にピット1個有
10	A北東	13	楕円形	72×46×40			粘土層下層で確認
11	A北東	13	楕円形か	84×〈24〉×26			粘土層下層で確認
12	A北東	13	円形	60×52×24			粘土層下層で確認
13	A北東		円形か	52×〈34〉×22			粘土層下層で確認
14	A北東		円形か	38×〈18〉×23		中世か	台状地形下層で確認
15	A北東		円形	26×26×12		中世か	台状地形下層で確認
16	A北東		円形	26×24×18		中世か	台状地形下層で確認
17	A北東		円形か	27×〈23〉×18	白磁碗	中世か	台状地形下層で確認
18	C	13	円形	56×50×28	土師器甕	古墳～奈良時代	
19	C	13	円形	62×54×17			
20	C	13	楕円形	66×50×29	土師器小片		
21	C	13	円形	80×74×35	土師器小片		
22	C	14	円形	126×120×7	土師器小片など		99住を切る
23	C	14	長円形	132×88×32	須恵器甕片など		
24	C	13	円形	84×68×29	土師器甕	古墳～奈良時代	P24に切られる
25	C	13	円形	84×74×27			
26	C	13	円形	86×78×19	青白磁輪花皿	中世	
27	C	13	楕円形	88×72×23	土師器甕片など	平安時代	
28	C	13	楕円形	128×70×21	土師器甕A片など	古墳～奈良時代	
29	C	13	円形	54×52×28			
30	C	13	円形	88×76×22			
31	C	13	円形	82×66×10	土師器小片		
32	C	13	円形	96×78×18	土師器鉢、灰釉陶器椀	平安時代末か	109住を切る
33	C	13	楕円形	106×82×7			内部にピット2個有
34	C	13	円形	62×52×18			
35	C	13	円形	74×68×28			
36	C	13	円形	80×70×30	土師器杯・甕片	平安時代	
37	C	13	円形	〈64〉×64×22			98住を切る
38	C	13	方形か	120×〈96〉×14			105住、P50、P51、P52に切られる
39	欠番						
40	C	13	長円形	76×46×14	土師器小片		99住を切る
41	C	14	楕円形	144×92×8	土師器甕		P18に切られる
42	C	13	円形	68×56×27	土師器杯・甕片	平安時代	
43	C	13	円形	76×66×14			P94を切る
44	C	14	円形	126×110×11			101住を切る
45	C	14	円形	56×48×10			101住を切る
46	C	14	不整形	64×56×28			101住を切る
47	C	14	楕円形	58×36×26			101住を切る
48	C	14	円形	38×36×26	土師器小片		101住を切る
49	欠番						
50	C	14	円形か	108×〈60〉×22			谷状地形確認トレンチ内で確認
51	C	14	円形か	46×〈34〉×23	土師器小片		グリッド下から確認
52	B	14	楕円形	224×132×17	土師器杯など	古墳～奈良時代か	
53	B	14	円形	30×26×35	土師器高杯	古墳～奈良時代か	
54	B	14	楕円形	58×42×38	土師器甕A	古墳～奈良時代か	
55	B	14	楕円形	82×50×51			
56	B	14	円形	36×32×25			
57	B	14	円形	30×26×14			91住を切る
58	B	14	円形	28×24×21			91住を切る
59	B	14	円形	24×22×11			91住を切る
60	D	14	長円形	140×72×19	瓦片、須恵器杯片	平安時代か	62土に切られる
61	D	14	円形	78×74×32		平安時代か	
62	D	14	楕円形	75×60×45	瓦片	平安時代か	60土を切る
63	E	14	方形か	86×〈58〉×34		平安時代か	粘土層の下、柱とみられる木質遺存体有
64	E	14	円形	36×30×21		平安時代か	粘土層の下、3溝に切られる

第4表　石列一覧表

〈 〉：残存

No	地区	図	起点 近似点	終点 近似点	断面形	規模(cm) NS、EWは方向を表す 長さ	 幅	 深さ	方向	時期	備考
1	A北東	16	N313.6 E174.6	N304.8 E173.9	溝状	752	112	14 ～28	N-2°-W	古代か	蓋石のある石組水路（幅24cm）とみられる。
2	A北西	16	N306.0 E95.6	N293.4 E95.6	三角形	〈1312〉	88 ～292	50	N-13°-W	不明 (古代以降)	
3	E	17	N303.4 E193.2	N308.0 E214.0	逆皿形	東西 〈2216〉	東西 126～188	東西 32～35	東西 N-75°-E	中世か	調査区東端でほぼ直角に北にL字型に折れる
			N308.0 E214.0	N314.6 E212.0	逆皿形か	南北 〈856〉	南北 280～320	南北 －	南北 N-11°-W		
4	A南東	18	N299.6 E186.4	N286.0 E189.2	溝状	〈1680〉	260 ～280	18～34	N-27°-E	近世か	水路跡とみられる溝（溝4）の両側である。
5	A南東	18	N278.3 E181.4	N298.3 E177.8	逆皿形	〈362〉	104	－	N-88°-E	中世か	石列3の延長上にあたるとみられるが不明。

第5表　溝址一覧表

（ ）：推定、〈 〉：残存

No	検出面地区	図	起点近似点	終点近似点	断面形	規模(cm) 長さ	幅	深さ	時期	備考
01	E	14	—	—	皿形	〈60〉	45	10	不明 平安か	トレンチ確認のみのため全容不明
02	E	14	—	—	皿形	〈60〉	45	11	不明 平安か	トレンチ確認のみのため全容不明
03	E	14	—	—	皿形	〈60〉	45	10	不明 平安か	トレンチ確認のみのため全容不明
04	A南東	18	N299.2 E196.6	N287.0 E186.6	方形	〈1440〉	60	22～30	近世か	両側の石組を石列4とした

第6表　流路址一覧表

（ ）：推定、〈 〉：残存

No	検出面地区	図	起点近似点	終点近似点	断面形	規模(cm) NS、EWは方向を表す 長さ	幅	深さ	時期	備考
01	A北西		N310.4 E178.0	N306.0 E187.0	皿形	970	40	6～9	近世か	大規模流路址1上面
02	C		—	—	不明	—	—	—	不明 中世か	調査区境で断面により確認
03	D		N278.6 E197.0	N267.8 E198.4	浅い皿形	〈1160〉	90～170	5	古代か	オーバーフローとみられる
大01	A北西		—	—	不明	—	1000 前後	不明	11C以降	大六川の旧流路か
大02	A北西		—	—	不明	—	2500 前後	不明	11C以降	大六川の旧流路か

第7表　集石遺構一覧表

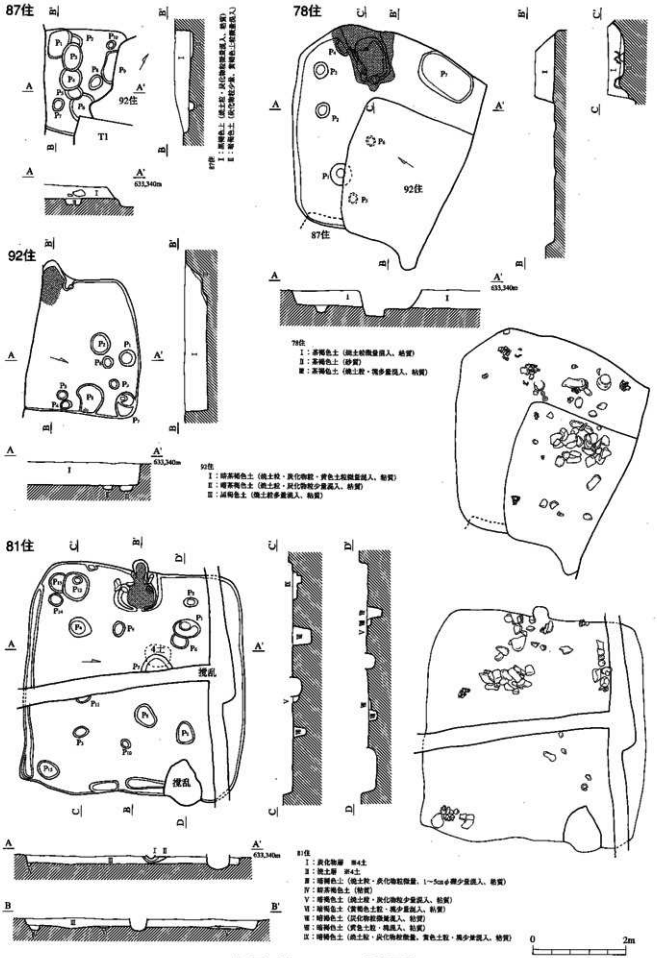
（ ）：推定、〈 〉：残存

No	検出面地区	図	平面図	断面形	規模(cm) 長軸	短軸	深さ	出土遺物	時期	備考
01	D	15	不整形	皿形	152	130	26	周囲を含め瓦片多数 須恵器杯片 土師器高杯片、	平安か	建物基礎か
02	D	15	円形	—	112	96	—	鴟尾（D001） 周囲を含め瓦片多数	古代か	建物基礎か
03	D	15	楕円形	—	120	95	—	周囲を含め瓦片多数 須恵器塊・壺類片	平安か	建物基礎か
04	D	15	長円形	—	〈200〉	124	—	周囲を含め瓦片多数	古代か	建物基礎か 北側調査区外（未掘）
05	D	15	円形	—	174	160	—	周囲を含め瓦片若干	古代か	地山礫の可能性
06	D	15	不整形	—	80	64	—	周囲を含め瓦片若干	古代か	地山礫の可能性
07	D	15	円形	皿形	160	152	16	鴟尾（D826） 周囲を含め瓦片多数	古代か	建物基礎か
08	D	15	不整形	—	244	156	—	周囲を含め瓦片若干	古代か	地山礫の可能性
09	D	15	不整形	—	170	136	—	周囲を含め瓦片多数 須恵器杯・甕片	平安か	建物基礎か
10	A 北西	15	不整形	—	144	107	—	—	古代以降	
11	A 北西	15	不整形	—	100	62	—	—	古代以降	
12	A 北西	15	不整形	—	104	44	—	—	古代以降	
13	A 北西	15	不整形	—	110	104	—	—	古代以降	
14	A 北西	15	不整形	—	84	48	—	—	古代以降	
15	A 北西	15	楕円形	—	80	65	—	—	古代以降	建物基礎か

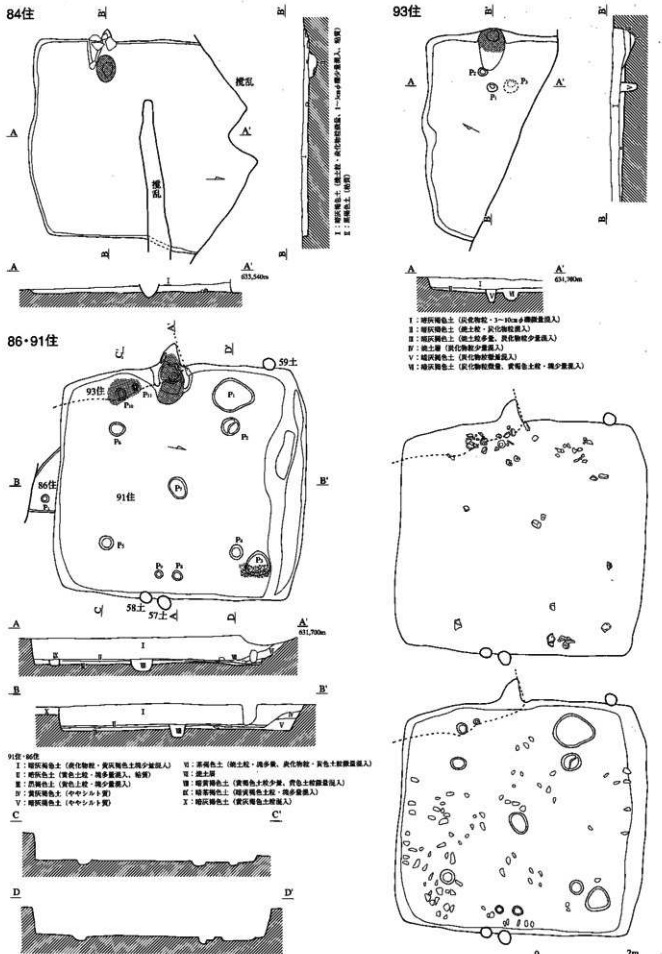
第8表　台状地形一覧表

（ ）：推定、〈 〉：残存

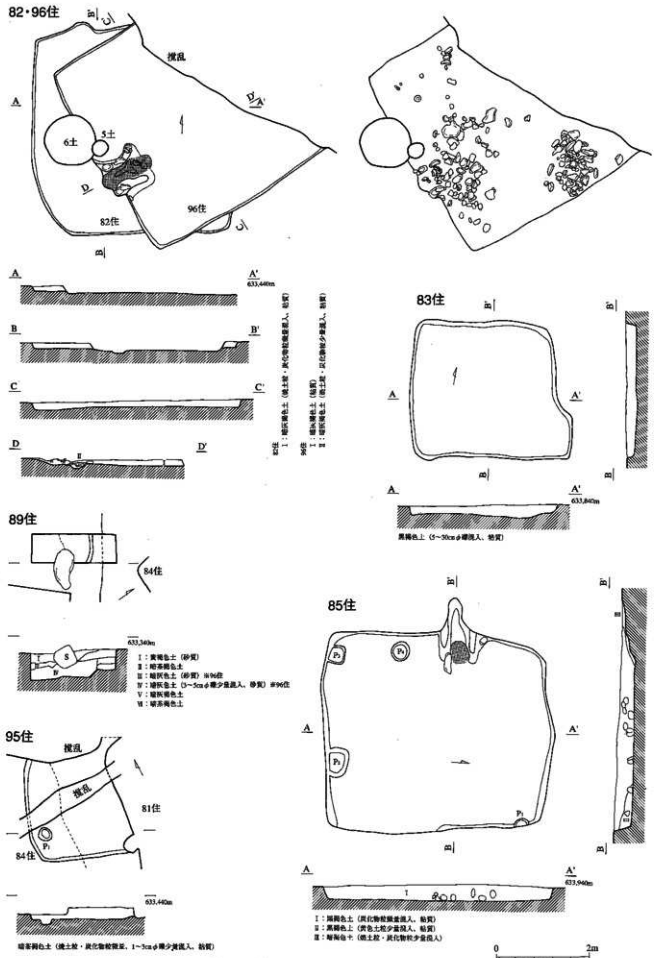
No	地区	図	規模(cm) 上面主軸長(平均)	上面幅(平均)	下面主軸長(平均)	下面幅(平均)	比高(平均)	比高(最大)	主軸方向(南北)	備考
1	A 北東	19	825	850	1100	1050	13	20	N－0°	上面に人頭大礫あり、遺物として溶美産壺片など 覆土中遺物：瓦、土師器杯、須恵器杯、陶器碗など 下層に凹地状遺構1、14、15、16、17土
2	E	—	340	〈480〉	〈700〉	〈960〉	17	33	N－4°－W	上面に人頭大礫あり、遺物として青磁碗片など 覆土中遺物：瓦、土師器杯、須恵器杯など



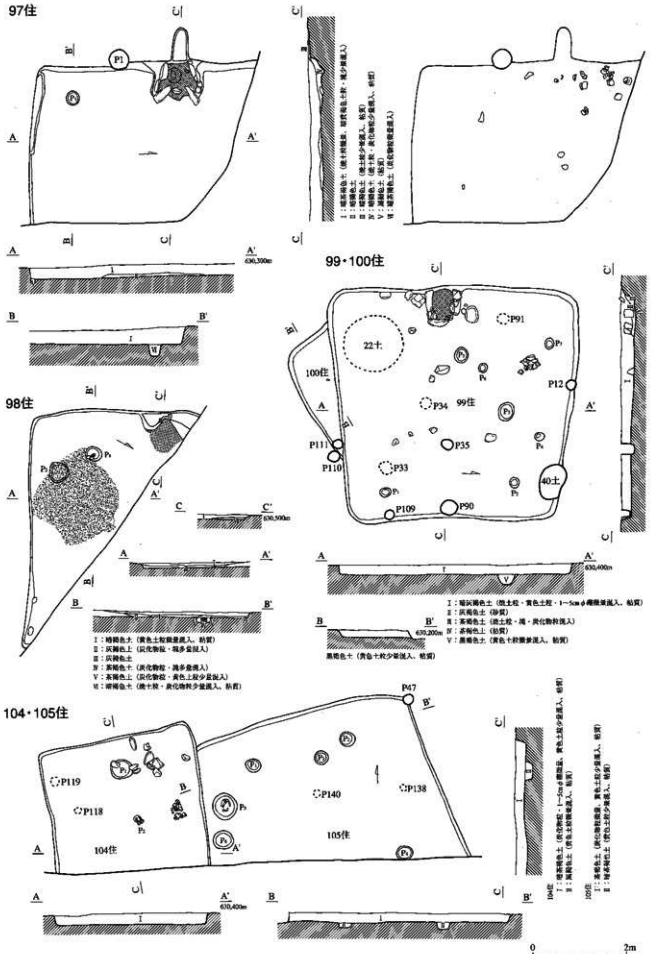
第7図　第78,81,87,92号住居址



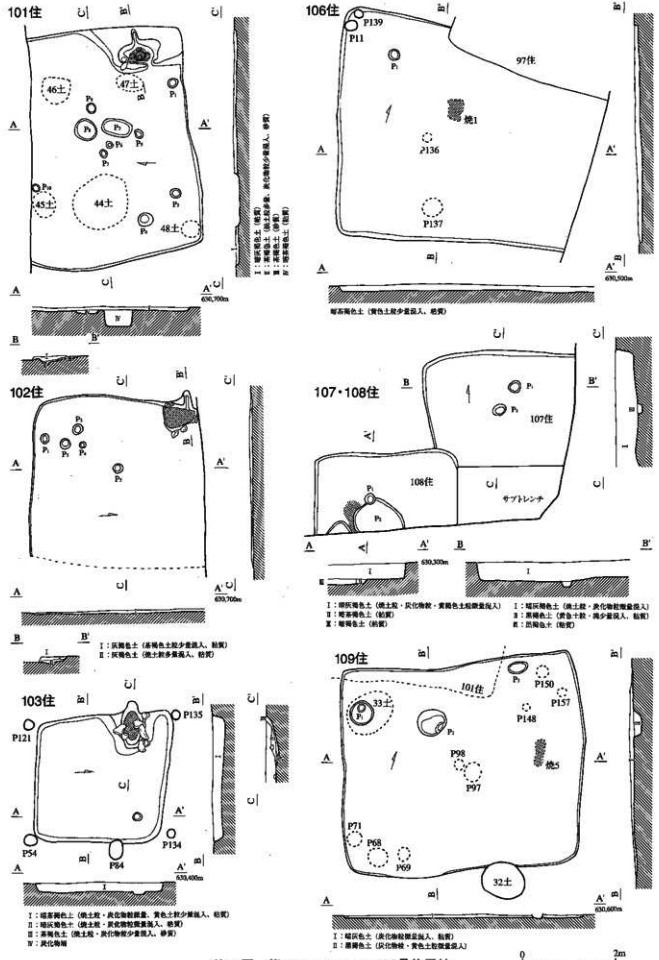
第8図　第84, 86, 91, 93号住居址



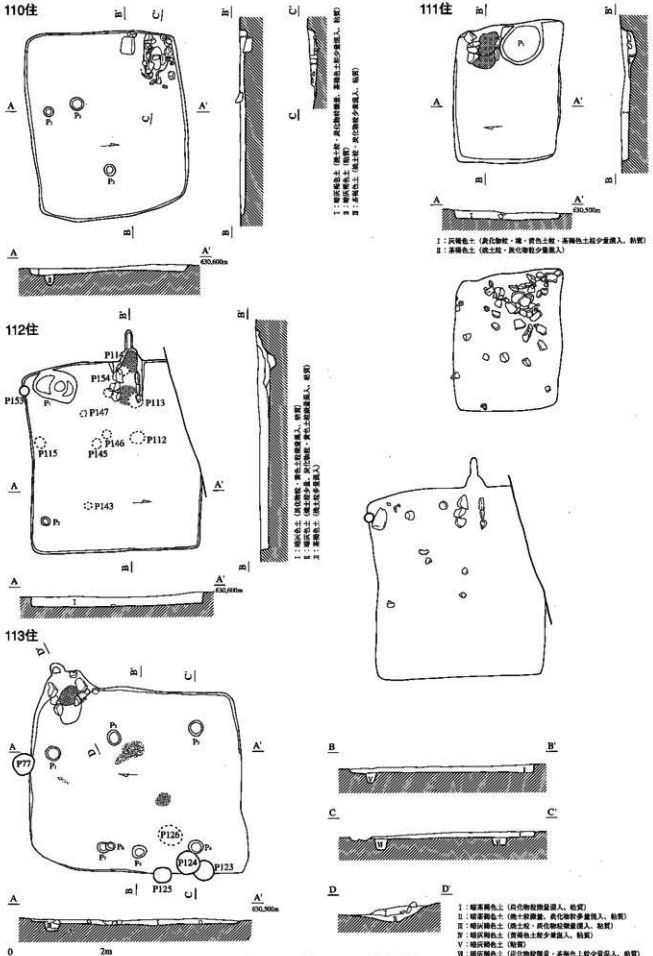
第9図　第82, 83, 85, 89, 95, 96号住居址



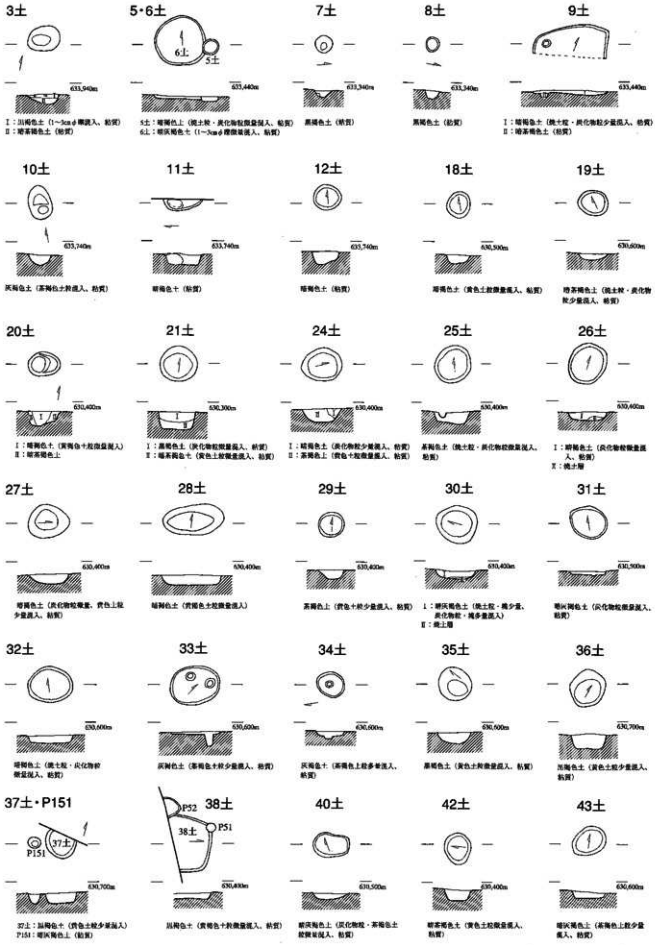
第10図　第97～100, 104, 105号住居址



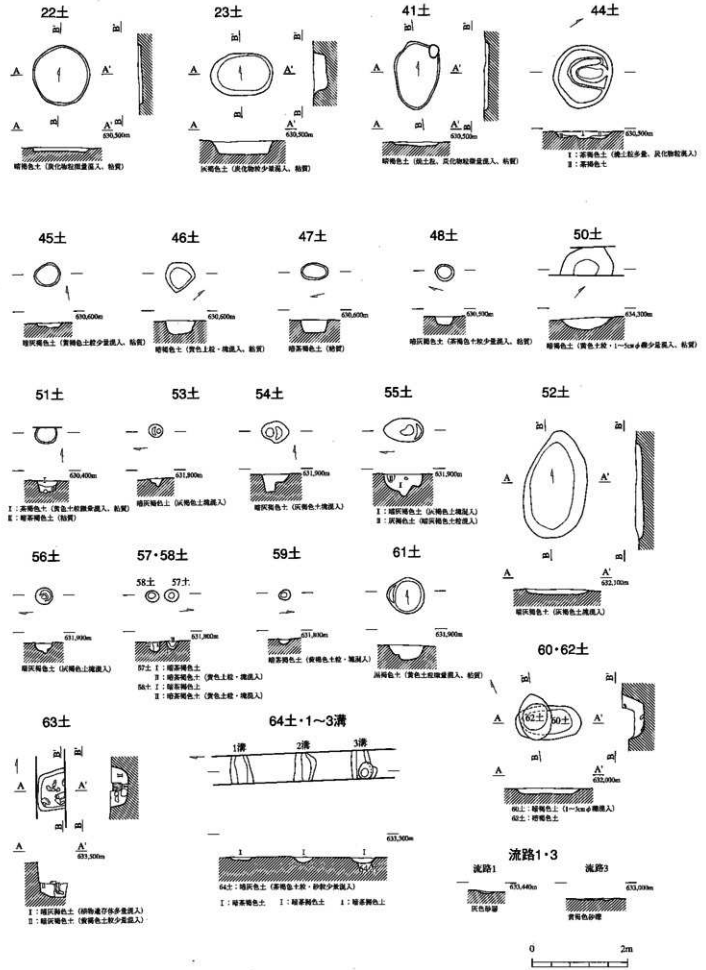
第11図　第101～103, 106～109号住居址



第12図　第110～113号住居址

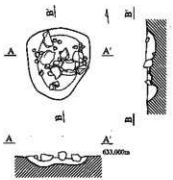

3土
633.940m
I：淡褐色土（1～3cmφ 暗褐土、粘質）
II：暗茶褐色土（粘質）
5・6土
6土
5土
633.440m
5土：暗褐色土（微土粒・炭化物粒微量混入、粘質）
6土：暗灰褐色七（1～3cmφ 程度混入、粘質）
7土
633.340m
黒褐色土（粘質）
8土
633.340m
黒褐色土（粘質）
9土
633.440m
I：暗褐色土（微土粒・炭化物粒少量混入、粘質）
II：暗茶褐色土（粘質）
10土
633.740m
灰褐色土（茶褐色土粒混入、粘質）
11土
633.740m
暗褐色土（粘質）
12土
633.740m
暗褐色土（粘質）
18土
630.500m
暗褐色土（黄色土粒微量混入、粘質）
19土
630.600m
暗茶褐色土（微土粒・炭化物粒少量混入、粘質）
20土
630.400m
I：暗褐色土（黄褐色十粒微量混入）
II：暗茶褐色土
21土
630.300m
I：黒褐色土（炭化物粒微量混入、粘質）
II：暗茶褐色七（黄色土粒微量混入、粘質）
24土
630.400m
I：暗褐色土（炭化物粒少量混入、粘質）
II：茶褐色土（黄色十粒微量混入、粘質）
25土
630.400m
黒褐色土（微土粒・炭化物粒微量混入、粘質）
26土
630.600m
I：暗褐色土（炭化物粒微量混入、粘質）
II：焼土層
27土
630.400m
暗褐色土（炭化物粒微量、黄色土粒少量混入、粘質）
28土
630.400m
暗褐色土（黄褐色土粒微量混入）
29土
630.400m
茶褐色土（黄色十粒少量混入、粘質）
30土
630.400m
I：暗灰褐色土（微土粒・焼少量、炭化物粒・焼多量混入）
II：焼土層
31土
630.900m
暗灰褐色土（炭化物粒微量混入、粘質）
32土
630.600m
暗褐色土（微七粒・炭化物粒微量混入、粘質）
33土
630.600m
灰褐色土（茶褐色十粒少量混入、粘質）
34土
630.000m
灰褐色十（茶褐色上粒多量混入、粘質）
35土
630.900m
暴褐色土（黄色土粒微量混入、粘質）
36土
630.700m
茶褐色土（黄色土粒少量混入、粘質）
37土・P151
P151
37土
630.700m
37土：茶褐色土（黄色土粒少量混入）
P151：暗灰褐色土（粘質）
38土
P52
P51
630.400m
茶褐色土（黄色十粒微量混入、粘質）
40土
630.500m
暗灰褐色土（炭化物粒・茶褐色土粒微量混入、粘質）
42土
630.400m
暗茶褐色土（黄色土粒微量混入、粘質）
43土
630.600m
暗灰褐色土（茶褐色上粒少量混入、粘質）
0
2m

第13図　土抗(1)



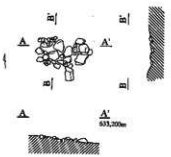
第14図　土抗(2)・溝址・流路址

集石1

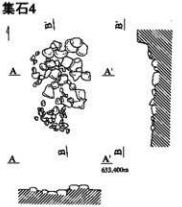


暗褐色土（茶褐色土粒・黄色土粒微量混入。粘質）

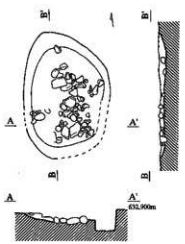
集石3



集石4

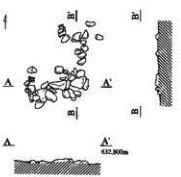


集石7

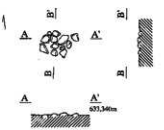


暗褐色土（粘質）

集石9



集石15



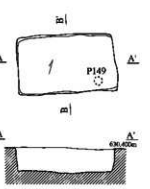
集石2

集石5

集石6

集石8

1竪



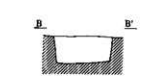
集石10

集石11

集石12

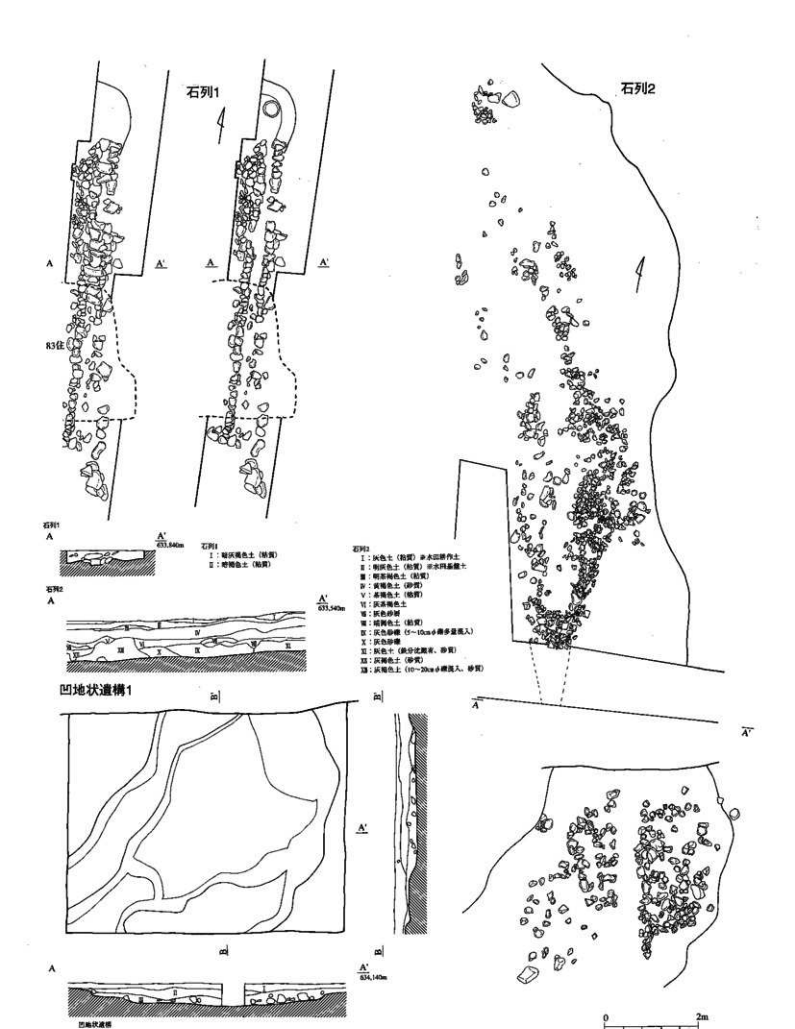
集石13

集石14

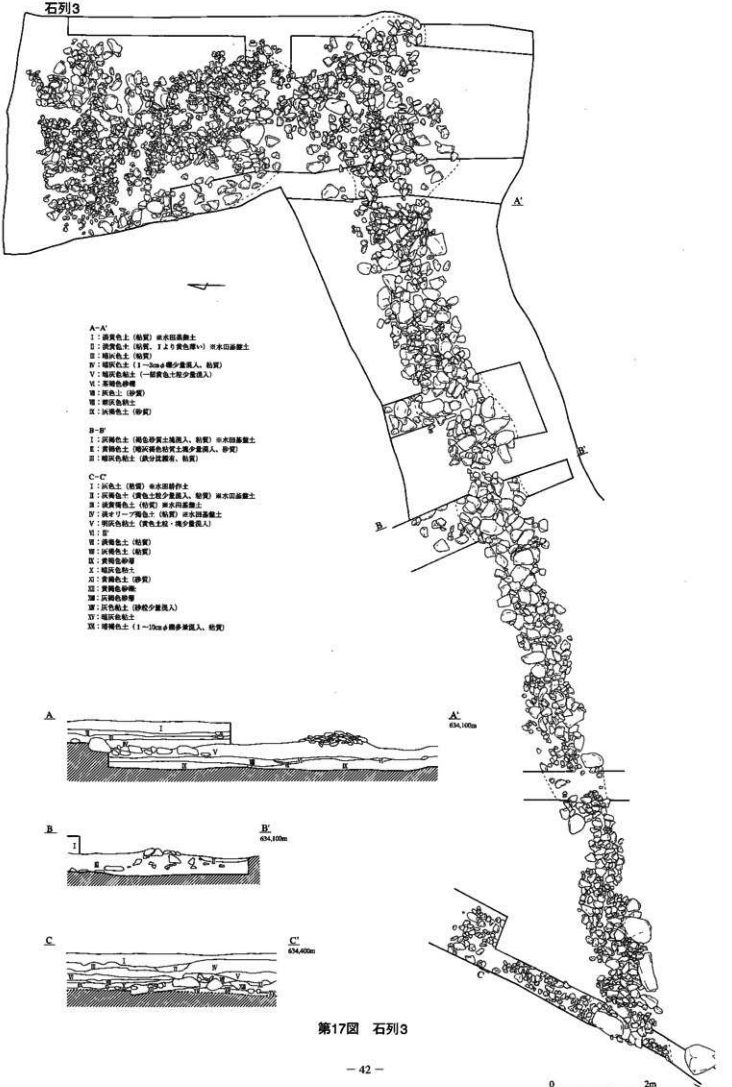


暗茶色土（茶褐色土粒微量混入。粘質）

第15図　集石遺構・竪穴状遺構

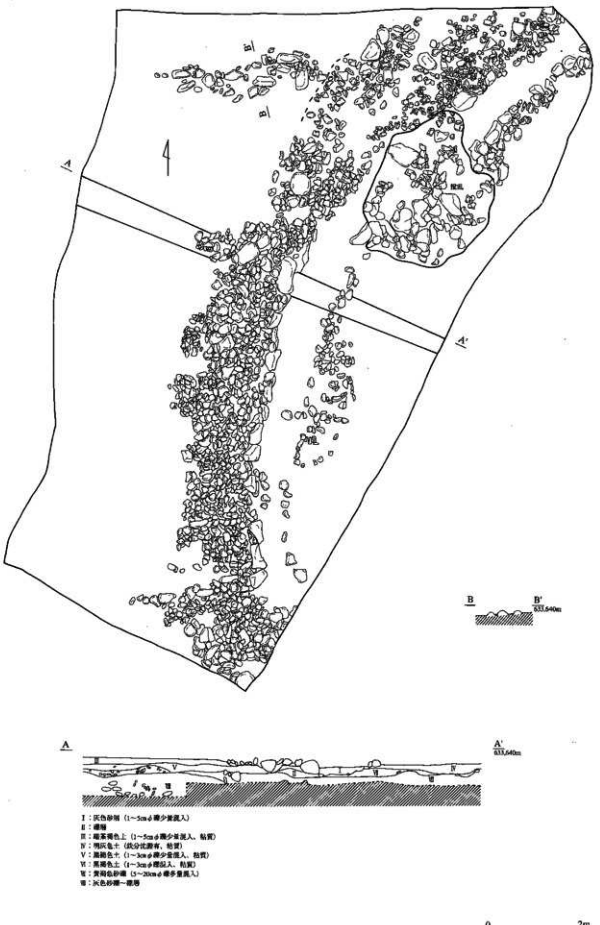


第16図　石列1,2・凹地状遺構

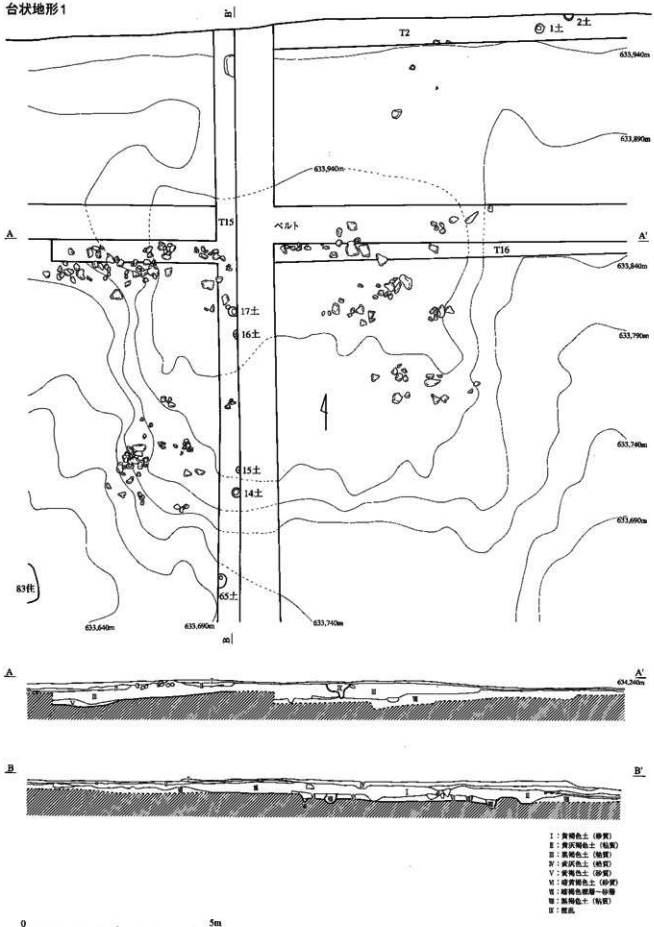

石列3
A-A'
Ⅰ：淡黄色土（粘質）※水田基盤土
Ⅱ：淡黄色土（粘質、Ⅰより黄色薄い）※水田基盤土
Ⅲ：暗灰色土（粘質）
Ⅳ：暗灰色土（1～3cmφ礫少量混入、粘質）
Ⅴ：暗灰色粘土（一部黄色土粒少量混入）
Ⅵ：茶暗色砂礫
Ⅶ：灰色土（砂質）
Ⅷ：明灰色粘土
Ⅸ：灰暗色土（砂質）
B-B'
Ⅰ：灰暗色土（暗色砂質土地混入、粘質）※水田基盤土
Ⅱ：黄暗色土（暗灰暗色粘質土地少量混入、砂質）
Ⅲ：暗灰色粘土（鉄分比較高、粘質）
C-C'
Ⅰ：灰色土（粘質）※水田耕作土
Ⅱ：灰暗色土（黄色土粒少量混入、粘質）※水田基盤土
Ⅲ：淡黄暗色土（粘質）※水田基盤土
Ⅳ：淡オリーブ暗色土（粘質）※水田基盤土
Ⅴ：明灰色粘土（黄色土粒・地少量混入）
Ⅵ：Ⅱ'
Ⅶ：淡暗色土（粘質）
Ⅷ：灰暗色土（粘質）
Ⅸ：黄暗色砂礫
Ⅹ：暗灰色粘土
Ⅺ：黄暗色土（砂質）
Ⅻ：黄暗色砂礫
Ⅼ：灰暗色砂礫
Ⅽ：灰色粘土（砂粒少量混入）
Ⅻ：暗灰色粘土
Ⅻ：暗暗色土（1～10cmφ礫多量混入、粘質）
A
A'
634,100m
B
B'
634,100m
C
C'
634,400m
0
2m

第17図　石列3

石列4,5

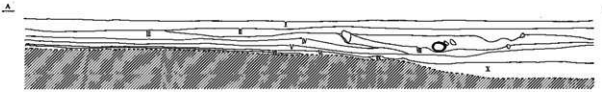


第18図　石列4,5


台状地形1
B
T2
1土
2土
633,940m
633,890m
633,940m
A
T15
ベルト
T16
A'
633,840m
17土
16土
633,790m
15土
14土
633,740m
633,690m
83住
65土
633,640m
633,690m
633,740m
m
A
A'
634,240m
B
B'
I：黄褐色土（砂質）
II：黄灰褐色土（粘質）
III：黒褐色土（粘質）
IV：灰灰色土（粘質）
V：黄褐色土（砂質）
VI：暗青褐色土（砂質）
VII：暗褐色礫層～砂層
VIII：黒褐色土（粘質）
IX：礫層
0
5m

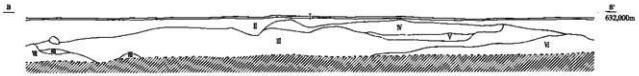
第19図　台状地形1

A地区南西トレンチ2西端部南面



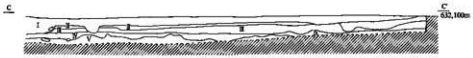
Ⅰ：灰色土（粘質）※水田耕作土
Ⅱ：黄褐色土（灰色土粒混入、粘質、Ⅲより灰色強い）※水田高畑土
Ⅲ：黄褐色土（灰色土粒、小礫微量混入）
Ⅳ：黄褐色土（灰色土粒、小礫微量混入、Ⅲより褐色強い）
Ⅴ：暗灰色土（灰色土粒、小礫微量混入、鉄分沈着有、粘質）
Ⅵ：暗灰色土（灰色土粒、小礫少量混入、鉄分沈着有、粘質）
Ⅶ：暗灰褐色土（灰色物粒・小礫微量混入、腐物包含）
Ⅷ：灰色土（褐色土粒混入）
Ⅸ：暗灰色土（小礫多量混入、鉄分沈着有、粘質）
Ⅹ：灰褐色土（褐色土粒少量混入、鉄分沈着有、砂質）

B地区トレンチ1中央部北面



Ⅰ：炭黄色土（粘質）※水田高畑土
Ⅱ：暗灰褐色土（小礫少量、砂粒混入）
Ⅲ：暗灰褐色土（3～40cmφ礫多量混入、砂質）
Ⅳ：灰褐色土（微細礫多量混入、砂質）
Ⅴ：灰褐色土（シルト質、鉄分沈着有）
Ⅵ：暗灰褐色土（シルト質、鉄分沈着有）
Ⅶ：暗灰褐色土（5～15cmφ礫少量混入、黒色強）
Ⅷ：灰色土（砂質）

B地区トレンチ3北端部西面



Ⅰ：黄灰褐色土　※高畑土
Ⅱ：灰褐色土（褐色土粒混入）
Ⅲ：暗灰褐色土（灰色粘質土塊少量、鉄分沈着有）
Ⅳ：暗灰褐色土（灰色粘質土塊微量混入、Ⅲより明るい）
Ⅴ：暗灰褐色土（1～20cmφ礫多量混入、黒色強い）

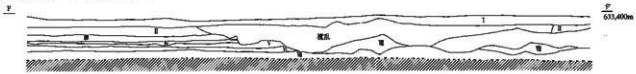
C地区東壁流路2部分

Ⅰ：暗褐色土
Ⅱ：灰色土（高褐色土粒微量混入、砂質）※流路2
Ⅲ：灰色砂層　※流路2
Ⅳ：灰褐色土（高褐色土粒少量混入、粘質）
Ⅴ：暗茶褐色土（黄色土粒少量混入、粘質）※106住覆土
Ⅵ：暗茶褐色土（砂土粒微量、暗黄褐色土粒・焼少量混入）※97住覆土

C地区谷状地形サブトレンチ東面

Ⅰ：赤褐色砂礫層（1～10cmφ礫多量混入）
Ⅱ：黄褐色土（砂質）
Ⅲ：暗褐色土（黄色土粒少量混入、粘質）
Ⅳ：暗褐色土（黄色土粒・1～5cmφ礫少量混入、粘質）※10土

D地区トレンチ3東半部北面



Ⅰ：灰褐色土　※耕作土
Ⅱ：灰褐色土（粘質、灰色強い）※高畑土
Ⅲ：褐色土（黄褐色土粒・微細礫微量混入）
Ⅳ：灰褐色土（褐色土塊混入、シルト質）
Ⅴ：灰褐色土（褐色土塊混入、砂質）
Ⅵ：暗灰褐色土（微細礫少量混入）
Ⅶ：暗灰褐色土（褐色土塊、1～3cmφ礫多量混入）
Ⅷ：灰褐色土（灰色土塊混入、粘質）

第20図　各地区土層

第3節　遺物

1 土器・陶磁器（第21～30図、第5表）

今回の調査によって出土した遺物は、整理用テンパコ22箱を数え、古墳から奈良・平安時代、及び中世の多量の良好な資料を得ることができた。それらは、多くは住居址などの遺構内から出土している。しかし、遺構検出が困難な場合も多く、それにもかかわらず完形に近い状態で出土する遺物もみられている。そうしたものについてはその出土位置を記録する上で、単に検出面遺物としては扱わず、3次元座標を記録した上で地区検出面Noとしているが、ここでは、帰属すべき遺構がないため検出面遺物他として一括で取り扱っている。図化し得たものは、土器、陶磁器438点である。ここではそれらの様相について各地区ごと、地区内においては遺構別に述べていく。なお、遺物の分類については、縄文時代の遺物は文献1、古墳時代の遺物は文献2、古代の遺物は文献3、中世の遺物のうち瀬戸文壺等常滑、渥美産の陶磁器については文献4にそれぞれ拠っている。また遺物Noは、第6表に示したものである。

（1）各地区ごとの様相

この大村遺跡の調査は、何度も述べているようにA、B、C、D、Eの5地区の調査に分かれ、更にA地区は北東、北西、南東、南西に分かれている。調査をしてみると、各地区の様相は別の遺跡といってもよいくらい様相が異なっている。ここでは、第9表の土器観察表の順に従い、各地区の様相を述べていく。

ア　A地区の様相（No.1～303）

A地区では遺構として、竪穴住居址16軒、土坑17基、石列4条、溝址1条、流路3条、台状地形1ヶ所、凹地状遺構1ヶ所を検出した。また、検出困難な遺構も多く、検出面扱いとした遺物等も多い。また、この地区では縄文土器の出土も若干みられる。ここでは出土した土器について、それらの遺構ごとに述べていく。

78住土器群

食膳具では土師器杯A3点（12、13、14）・黒色土器A杯A（16）・軟質須恵器杯A（21）・須恵器杯A4点（17、18、19、20）・蓋B（22）など、煮炊具では土師器甕A4点（7、8、9、10）・土師器甕F（11）・小型甕D4点（1、2、3、4）・羽釜（24）、貯蔵具では須恵器甕（23）がみられる。本址の時期決定については、カマド及びその脇のピット出土の甕類が古代1期前後の様相を呈していることから判断している。その他の須恵器杯・軟質須恵器などは古代8期前後の様相を呈し、本址を切る92住に属する可能性が高いが、羽釜は92住の時期より更に新しい古代11期以降とみられ、これらの住居址以外に遺構が存在した可能性を示している。

79住土器群

図化したものは食膳具では黒色土器A杯A・椀が各1点（27・28）、須恵器杯A・Bが各1点（29・30）、灰釉陶器椀が2点（31、32）みられ、煮炊具は土師器甕B・小型甕が各1点（25・26）みられた。本址の時期決定については2点の漬掛け施釉の灰釉陶器椀が古代9～13期の様相を呈しているため、それに拠っている。

80住土器群

図化したものは食膳具では黒色土器A杯Aが2点（34、35）、皿Bが1点（36）みられ、煮炊具は土師器小型甕Dが1点（33）みられた。本址の時期決定は、完形の黒色土器A皿Bとその他の遺物が7～8期の中で収まるため、それに拠っている。

81住土器群

図化したものは食膳具では土師器杯A2点（45・46）・椀1点（44）、黒色土器A杯A4点（48、49、50、54）、須恵器杯A3点（52、53、54）、杯B（55）、蓋B（51）、煮炊具では土師器甕が甕B3点（37、41、42）など、小型甕2点（39・40）、貯蔵具では陶器壺類（56）である。本址の時期決定については、比較的数のまとまった黒色土器杯A及び土師器甕Bにより古代7～8期としている。しかし古代1～3期とみられる須恵器杯、土師器甕や、13期以降とみられる器高の低い土師器杯A、中世の渥美・常滑産とみられる陶器壺類が出土してい

ることから、本址に関して時期的前後関係のある遺構の存在が考えられる。

82住土器群

食膳具では土師器杯A２点（61、62）、須恵器杯A１点（65）、杯蓋B１点（64）がみられ、煮炊具では土師器甕が２点（59、60）みられた。本址の時期決定については、土師器杯Aもみられるが、須恵器杯Aもみられ、また甕Bとみられる甕の底径が8.4cmであることなどから、古代７～８期と判断している。

83住土器群

図化したものは食膳具では土師器杯A３点（72、73、74）、椀（75）、皿A（71）、黒色土器A杯A２点（68、69）、椀（70）、灰釉陶器椀２点（76、77）等、煮炊具では土師器小型甕D（66）である。本址の時期決定については、土師器のうち古代14期以降にみられる皿A・小型化した器高1.8cmの杯Aと、灰釉陶器椀の共伴により古代14～15期と判断している。古代5～8期の黒色土器椀などは混入品と考える。

84住土器群

図化したものは食膳具では土師器杯A５点（84、85、86、87、88）、椀５点（89、90、91、92、93）、黒色土器A杯A３点（96、97、98）、椀（99）、須恵器杯B２点（101、102）、杯蓋B（100）、灰釉陶器椀が５点（108、109、110、112、113）、皿２点（107、111）等がみられ、煮炊具は土師器甕B２点（80、82）、小型甕D３点（78、81、83）、貯蔵具では須恵器甕A２点（104、105）、甕D（106）、短頸壺（103）と、遺物は非常に多い。本址の時期決定については、土師器杯A・椀と黒色土器杯A・椀との共伴関係及び煮炊具として土師器甕Bが出土していることから、古代８期前後と判断した。灰釉陶器椀・皿は、漬掛け施釉される大原２号窯式に比定されるもので、古代９期前後の様相を呈することから、本址を切る遺構の存在が考えられる。

85住土器群

図化したものは食膳具では土師器杯３点（115、116、117）・高杯（118）、黒色土器A杯A６点（127、128、129、130、131、132）・椀５点（133、134、135、136、137）、煮炊具では甕が２点（124、125）、甑（126）等、貯蔵具は須恵器壺類２点（138、139）みられる。本址の時期決定については、比較的量の多い、古代７～８期の様相を呈している黒色土器A杯A・椀に拠っている。煮炊具は、甕Aなど全て古い様相（古代１～３期以前）を示しているため、混入の可能性があるが、比較的大きな破片であり、該期の遺構が存在していたのかもしれない。また土製品では鞴羽口（140）があり、一部被熱していることから、A地区北東部で何点か鉄滓がみられることと合わせて、周辺での鍛冶遺構の存在が考えられる。

87住土器群

図化したものは食膳具では黒色土器A杯A（150）、須恵器杯A２点（147、148）、杯B（149）、蓋B３点（144、145、146）がみられ、煮炊具では小型甕（151）がみられる。本址の時期決定については、土師器、黒色土器A杯Aの時期が７～８期で、須恵器甕の時期も収まるため、それに拠った。また本址からは土製品鞴羽口が２点（152、153）みられ、鍛冶遺構の存在が考えられる。また、本址には混入品であるが縄文時代中期中葉の深鉢把手とみられる小破片（141）がある。

88住土器群

図化したものはないが、土師器杯・小型甕D、黒色土器A杯A、灰釉陶器椀等がみられる。本址の時期決定については、漬掛け施釉される灰釉陶器の存在から、古代９期以降の遺構が存在したと考える。

89住土器群

図化したものは食膳具では土師器耳皿（156）、椀（157）、黒色土器A椀２点（158、159）須恵器杯A（160）、杯B（161）、灰釉陶器椀（162）がみられ、煮炊具では土師器円筒形土器（154）、小型甕D（155）がみられた。本址の時期決定については、覆土下層出土の耳皿が古代14期とみられるため、それに拠った。須恵器杯などは、上層の大規模流路２によって堆積した土中であるため、判断はし難い。

90住土器群

図化したものは土師器杯A（163）、灰釉陶器椀（164）のみである。本址の時期決定については、大原２号

窯式に比定される灰釉陶器の時期から古代９期と判断した。

92住土器群

図化したものは、食膳具では土師器杯A４点（167、168、169、170）、須恵器杯A２点（182、183）、黒色土器A杯Aが７点（171、172、173、174、175、176、177）、椀２点（179、180）、灰釉陶器椀（186）がみられた。煮炊具では小型甕D２点（165、166）がみられた。貯蔵具では須恵器短頸壷（181）がみられた。本址の時期決定については、土師器杯A、黒色土器杯Aの共伴関係から、古代８期前後と判断した。

94住土器群

図化したものは土師器杯A（187）のみである。底径6.8cmと推定されるが、土師器杯Aは古代8～15期にみられるもので、本址の時期も古代8～15期に収まるとしか判断できなかった。

95住土器群

図化したものは食膳具では土師器杯Aが２点（192、193）、盤A（194）、黒色土器A椀（191）、灰釉陶器椀３点（196、197、198）、煮炊具では土師器小型甕Dが３点（188、189、190）である。本址の時期決定については、３点みられた灰釉陶器椀が、古代９期に比定される大原２号窯式であることと、小型甕の時期が５～９期に収まることから９期前後と判断した。

96住土器群

図化したものは、食膳具では土師器杯Aが６点（214、215、216、217、218、219）、須恵器杯A（225）、軟質須恵器杯（224）、黒色土器A杯Aが７点（199、200、201、202、204、205、206）、灰釉陶器椀が２点（226、228）等がみられ、煮炊具では土師器甕Bが３点（208、209、212）、小型甕Dが３点（210、211、213）、貯蔵具では灰釉陶器小瓶（222）等がみられた。本址の時期決定については、食膳具に土師器杯A、黒色土器A杯Aが共伴し、また軟質須恵器杯がみられることから古代８期前後と判断した。土師器甕Bも、該期に収まるものである。須恵器杯等は混入品かもしれない。また灰釉陶器椀を含む遺構が存在した可能性もある。

土坑出土の土器

A地区では、遺物を含む土坑は少ないが、３点図化している。７土の土師器杯A（229）は、平安時代に広範的に用いられるもので、時期の特定は難しい。８土の須恵器杯D（230）は、古代１～３期に伴うもので、近接する78住と近い時代のものである。17土の白磁碗（231）は、内面見込み部に櫛目紋が施されるもので、中世１期の遺物である。

凹地状遺構出土土器

図化したものは、土師器杯A（232）、黒色土器A杯A（233）、須恵器杯A６点（236、237、238、239、240、241）、壷B２点（234、235）、灰釉陶器皿（243）、須恵器壷類（242）がみられる。これらには時期差があり、最も新しい243は漬掛け施釉される大原２号窯式に比定されるもので、古代９期とみられる。

石列の土器

石列１で図化したものは、土師器杯A２点（244、245）、須恵器杯A（246）であるが、土師器杯は、平安時代後半において主な食膳具の一つであり、時期については大きな幅があるといえる。石列４で図化したものは山茶碗（247）、山皿（248）、青磁碗（249）で、いわゆる山茶碗類は、東海系無釉陶器に含まれるもので、中世の遺構から出土することが知られる。青磁碗とともに、中世以降の遺構であることを示している。

トレンチ・サブトレンチ・グリッド・検出面の土器

検出面で採取した遺物は非常に多く、遺構確認のためトレンチ、サブトレンチを数多く設定した。また、遺構を確認しえず、且つ器形として残存部分の大きいなどの特殊な状態での遺物は、前述の通り検出面Noという扱いで取り上げている。図化したものは食膳具では須恵器杯A・B・壷B、土師器杯A・椀・盤B、黒色土器A杯A・椀、灰釉陶器椀、山茶碗、白磁碗がみられ、煮炊具では土師器甕、貯蔵具では須恵器甕類、壷類、特殊品として須恵器円面硯、陶器運弁文壷など、古代から中世にかけての生活具が混在している。これらは、洪水などにより運ばれたものや、確認し得なかった遺構の遺物であろうと思われる。縄文土器もみられ、トレンチ

出土の265、検出面の251の２点で、いずれも深鉢とみられる。251は検出時にまとまった形で発見されたもので、中期中葉に属するとみられる。口縁部が一部残存し、胴部には縄文が施される。265は時期不明な深鉢の底部で、網代痕がみられる。

ウ　B地区の様相（304～337）

B地区では、３軒の竪穴住居址と８基の土坑を検出した。検出段階での遺物は他地区と比べて少ないが、サブトレンチ調査の結果確認した91住は、遺物の多い奈良時代の良好な住居址であった。ここでは、それらを中心に述べていく。

86住土器群

ほとんどが小破片であり、本址の時期決定しうる遺物はみられない。土師器の器種不明な小片等が若干出土しているのみである。

91住土器群

図化したものは食膳具では須恵器杯Ａ４点（328、329、330、331）、椀（332）、蓋Ｂ４点（323、324、325、326）、高盤２点（321、322）等で、煮炊具は土師器甕Ａ７点（304、305、308、309、312、313、314）、甕Ｂ３点（306、318、319）、小型甕Ａ３点（311、315、317）等である。本址の時期決定については、底部をヘラ切り調整される須恵器杯Ａ、高盤の存在、１～３期に存在する甕Ａの出土等の理由により、古代１～２期と判断した。なお、本址からは文字資料として円面硯（333）がみられるが、それについては後述する。その他に古墳時代中期の土師器高杯（327）、後期の土師器杯（328）がみられるが混入と考える。

93住土器群

図化したものは貯蔵具須恵器甕Ｂ（335）のみである。本址の時期決定については、須恵器甕Ｂが５～８期の範囲に収まるとみられ、それに拠った。

土坑出土の土器

Ｂ地区の土坑では、52、53、54土から遺物が出土している。図化したものは52土出土の土師器高杯（336）と54土出土の土師器甕（337）である。いずれも古墳時代後期～奈良時代の様相を呈するもので、近接する91住の遺物とよく似た様相を呈している。

検出面・トレンチ・サブトレンチ・グリッドの土器

検出面全体としても遺物は少なく、またトレンチ調査図化したものはないが、土師器杯・高杯・甕類・壷類とみられる小破片が確認されているのにとどまる。

エ　C地区の様相（338～420）

C地区では、遺構として住居址17軒、竪穴状遺構１基、土坑32基、ピット155個、焼土範囲9ヶ所、流路１条を確認している。焼土範囲としたものなど、遺構の存在を想定させるが詳細の不明なものなど、後述する検出面遺物の多い所以を表している。

97住土器群

図化したものは食膳具では須恵器杯Ａ（342）、煮炊具では土師器甕Ｂ３点（338、339、341）、小型甕Ｄ（340）である。出土位置のほとんどがカマド及びその周辺である。本址の時期決定については、342の底部がヘラ切り後ナデという古代２～４期という様相を持ち、共伴する小型甕Ｄが４期以降表れることから、古代４期とした。

98住土器群

図化したものは食膳具土師器杯Ｄ２点（343、344）である。本址の時期決定については、これらの非ロクロ調整の杯Ｄが古代１～２期にみられることから、それに拠った。

99住土器群

図化したものは食膳具土師器杯Ｄ２点（348、349）、杯Ｆ（350）、煮炊具は甕Ａ２点（346、347）、甕Ｂ（345）である。本址の時期決定については、土師器杯Ｄ、甕Ａとも古代１～３期にみられ、また甕Ｂが表れているこ

とから、古代１～３期と判断した。

100住土器群

図化したものはないが、土師器甕Aとみられる小片など若干の出土がみられる。本址の時期決定については、土師器甕Aが、主に古代１～３期においてみられるため、それに拠った。

101住土器群

図化したものはないが、食膳具としては土師器杯、煮炊具としては土師器甕がみられる。本址の時期決定について、遺物はいずれも小片が多く、詳細については不明であるが、口縁の厚い杯類と、輪積み痕のみられる甕類の組み合わせから、古墳時代後期～奈良時代前期の様相を呈していることから、それに拠った。

102住土器群

図化したものは食膳具では須恵器杯D（360）のみである。他は煮炊具で、土師器甕A（354、355、356、357、358）、小型甕A３点（351、352、353）等がみられる。本址の時期決定については、甕Aが古代１～３期の主要煮炊具であり、また甕Aと同技法で底部に木葉圧痕を持つ小型甕Aがみられるため、それに拠った。

103住土器群

図化したものは食膳具で灰釉陶器椀（361）のみである。本址の時期決定については、361が丸石２号窯式とみられ、これは古代11～15期に比定されていることから、それに拠った。

104住土器群

図化したものは食膳具では土師器高杯（363）、須恵器高杯（362）がみられ、煮炊具では土師器甕２点（364、365）、土師器羽釜（366）がみられる。本址の時期決定については、土師器甕が古墳時代後期の様相を呈することから、それに拠った。なお、366の羽釜も比較的大きな破片で存在することから、本址を切る10世紀代の遺構の存在も考えられる。

105住土器群

図化したものは食膳具では須恵器高杯（369）、擂鉢（371）杯（370）がみられ、煮炊具では土師器甕２点（367、368）がみられた。本址の時期決定については、特に輪積み痕が明瞭で内外面ナデ調整される土師器甕が古墳時代後期の様相を呈することから、それに拠った。

106住土器群

図化したものは食膳具の土師器杯或いは高杯とみられる372が１点のみである。本址の時期決定については、372が、磨耗により調整が不明ながら、古墳時代後期の様相を呈することから、それに拠った。

107住土器群

図化したものは食膳具では須恵器杯２点（375、376）高杯（377）、蓋A（374）、鉢（378）で、煮炊具では土師器甕B（373）がみられた。本址の時期決定については、特にかえりを持つ蓋374が古墳時代後期の様相を呈することから、それに拠った。

108住土器群

図化したものは須恵器杯（379）１点のみである。本址の時期決定については、379の底部が回転ヘラ切り調整されることから、古墳時代から奈良時代前期の様相を呈することから、それに拠った。

109住土器群

遺物は少なく、図化したものはないが、土師器甕小片が若干みられた。本址の時期決定については、甕片は内側に輪積み痕を明瞭に残すもので、ナデ調整される古墳時代後期の様相を呈するもので、それに拠った。

110住土器群

図化したものは、食膳具では土師器杯６点（385、386、387、388、389、390）等、煮炊具では土師器甕３点（382、383、384）、甑（381）、貯蔵具では土師器壷（384）がみられた。本址の時期決定については、ロクロ調整される土師器杯Aのうち、小型化の進んだ古代15期にみられるものであることから、それに拠った。また土師器杯のうち385、386、387はロクロ調整ではなく手持ちヘラ削り調整される古墳時代後期の様相を呈するた

め、古墳時代の遺構が存在した可能性がある。

111住土器群

図化したものは、食膳具では土師器杯A２点（393、394）、椀（396）、皿（395）、黒色土器椀（397）、灰釉陶器椀３点（398、399、400）で、煮炊具では土師器羽釜（392）がみられる。本址の時期決定については、古代14～15期にかけて小型化が顕著となる土師器杯Aの存在などから、それに拠った。

112住土器群

図化したものは全て煮炊具で、土師器甕３点（403、404、405）、小型甕２点（401、402）である。本址の時期決定については、これらの甕、小型甕が内外面に粘土紐の輪積み痕を明瞭に残し、また底部に木葉痕を有するもの（405）などの古墳時代後期の様相がみられることから、それに拠った。

113住土器群

図化したものは、食膳具では土師器盤B２点（406、407）、貯蔵具では灰釉陶器短頸壺（408）である。本址の時期決定については、土師器盤Bが古代11期以降にみられる器形であることから、それに拠った。

土坑・ピット・流路出土の土器

遺物を出土した土坑は17基、ピットは29個あるが、図化したものは24土（409）、26土（410）、32土（411、412）、P68（413）、P117（414）、流路２（415）である。409は底部に植物圧痕のある土師器甕で古墳時代後期に属するとみられる。410は青白磁の輪花碗の小破片であることから、26土は中世に属すると考える。32土からは411と412がみられ、411は古墳時代後期の様相を持つ鉢であるが、412が漬掛け施釉の灰釉陶器椀であることから、古代９期以降とみられる。ピット内からの413、414はいずれも古墳時代後期の甕とみられ、特に414は内面に輪積み痕が残りナデ調整される特徴的なものである。

検出面確認の土器

図化し得なかった土器・陶磁器は非常に多い。それらには食膳具として土師器杯A・椀、黒色土器A杯A・椀、須恵器杯A・杯B、煮炊具として土師器甕、貯蔵具として須恵器甕類・壺類、合わせて整理用コンテナ２箱を数える。図化したものは土師器甕３点（418、419、420）で、特に419は口縁の3/4を除いて底部まで残存するもので、古墳時代後期に属するものであるが、帰属すべき遺構を確認できなかった。その他の甕も、輪積み痕を残すなど、古墳時代～奈良時代の様相を呈するものが多い。その他の土師器、須恵器、灰釉陶器の類は、古墳時代から平安時代末までの様相を持つものが幅広くみられ、それらを伴う遺構が、検出されたもの以外にも存在したことが窺われる。

オ　D地区の様相（421～429）

この地区では土坑３基、集石遺構が９ヶ所を検出した。また南部の遺物集中範囲があり、多量の遺物が出土している。その他に、次項で述べるが、この地区では北半部を中心に土器・陶磁器の他に多量の布目瓦が出土している。

土坑に伴う土器

60土から須恵器の小片が若干出土しているのみである。時期決定については、古代の広範な時期の中であり、詳細を知ることは困難である。

集石遺構に伴う土器

図化したものは集石７出土の須恵器杯A（421）のみである。その他に図化していないものは、集石１では須恵器杯A他若干、集石３では須恵器甕類・壺類が若干、集石７では421他須恵器杯Aが若干、集石９では須恵器杯・甕類が若干と、いずれも多い出土ではない。これらの時期決定については、古代の広範な時期の中であり、詳細を知ることは困難である。

検出面・トレンチ確認の土器・陶磁器

検出面での遺物量は多い。縄文時代後期とみられる土器の他、みられたものは食膳具では須恵器杯A・B、土師器杯A・椀、黒色土器杯、灰釉陶器椀がみられ、煮炊具では土師器甕類、貯蔵具では須恵器甕類・壺類、

陶器壷類と、時期・種別ともに多岐にわたる。これらは瓦とほぼ同一面からの出土であり、一番新しい陶器壷類が中世の遺物であることから、D地区の周辺は中世以降に影響を受けていると思われる。

カ　E地区の様相（430～438）

この地区全体は粘土で覆われており、南西の一部に台状地形２、中央部を東西に石列３がある。トレンチ下から土坑２基、溝３条を確認している。この地区の遺物は、二つに南側の台状地形２周辺と、粘土下層確認のため掘り下げたグリッド・トレンチからの遺物に大別される。

台状地形に伴う土器・陶磁器（検出面）

図化したものは、陶器碗（437）・壷（438）、青磁碗（435）・瓶（436）、である。陶器類は古瀬戸・常滑産とみられ、中世の遺物であることから、台状地形２の時期決定についてはそれに拠った。またその周囲についても中世に影響を受けたと考えられる。

溝に伴う土器

土器は１点のみで、須恵器杯蓋B（430）がみられる。須恵器蓋Bは、須恵器杯Bに伴うもので、古代１～７期の主要な食膳具であることから、それに拠った。

石列に伴う土器・陶磁器

石列３でみられた土師器杯A（431）、須恵器杯B（432）の２点を図化している。それ以外では灰釉陶器壷類の小片がみられる。本址の時期決定については、灰釉陶器壷類は古代９期以降にみられるため、それも参考としている。

グリッド・トレンチ・検出面確認の土器

縄文土器では中期の深鉢・有孔鍔付土器とみられる小破片がみられた。古代以降のものは須恵器杯B・甕類、土師器杯、黒色土器椀、灰釉陶器椀・段皿等、古代の食膳具・煮炊具ともにみられたが、その他に古瀬戸の陶器碗もみられたことから、中世２期までの遺物が含まれている。

（２）時期別の様相

ここでは、各地区での様相をもとに、前述の土器形式によって判断した時期ごとの遺構の在り方をみていく。

ア　縄文時代の様相

縄文時代の遺構はないが、遺物はみられる。確認されたものはいずれもA地区のもので、検出面の251、トレンチの265、87住混入の141を図化しているが、251のように、まとまった形での出土もみられることから、比較的近在での遺構の存在が考えられる。今回の調査範囲内に該期の遺構はないが、後述する石器とともに、北東の柳田遺跡の遺物との検討が必要である。

イ　古墳時代後期の様相

A地区では78、85住、８土、B地区では52、54土、C地区では98、100、101、104、105、106、107、108、109、110、112住、P68、117が該当する。A地区の85住は、混入の可能性もあるため不確定な点もあるが、78住は大規模流路等に切られながらも、良好な遺物を出土する住居址であり、西側の大村集落の下にもその続きが存在するものと考えられる。C地区では多くの住居址が該当する。奈良時代にかけて連続する遺構もあり、それらを含めて、西側の谷状地形に落ち込んでいく方面を除いて、集落が広がっていたことが想像される。

ウ　奈良時代の様相

A地区では81住から該期の遺物がみられるが、混入の可能性があるため不確定である。B地区の91住は円面硯の他須恵器高盤・椀等を出土したもので、その他の土師器甕等一括の良好な資料を得ることができた住居址である。遺物からある程度高い階層の住居址であると考えられる。C地区では97、99、102住が該当するが、これら以外にも、古墳時代の住居址のうち奈良時代までの連続が考えられるものもあり、古墳時代後期から奈良時代前期にかけて、有力な集落が営まれていたことが推定できる。

エ　平安時代前期の様相

A地区では81、82、84、85、87、92、96住が該当する。これらのうち81、82、84、87、96住はA地区北西の

北東部分で切り合い関係となっている。大穴川がここを流れるのはもう少し後であることから、平安時代前期の段階では安定した高台であったと思われる。B地区では93住が該当するが、西側ではトレンチ調査の結果遺構の存在はあまり考えられず、南側にその広がりがあると思われる。C地区の103、110、111、113住でも該期の遺物がみられる。いずれも後代の遺構からの混入品であるか、該期の遺構が上面に存在したか、両方の可能性がある。

オ　平安時代中期の様相

A地区では78、80、84、88、90、95住、凹1において該期の遺物がみられた。しかしいずれの住居址もその時期のものではなく、混入或いは80、88、90、94住のように、遺構の判別のできないものである。該期の遺構が存在したことは確実であろうが、その位置など具体的な根拠が乏しい一群である。

カ　平安時代後期の様相

A地区では78、79、81、83、89住において該期の土器が出土しており、83住が該当すると考えられる。その他の住居址の遺物は、混入品と見られ、該期の遺構が存在していた可能性を示している。89住は大規模流路2に切られる住居址で、全体を確認していないため確証はないが、大穴川の氾濫とも言うべきこの流路に断ち切られているようである。この流路の時期決定の根拠ともなる住居址である。C地区では110、111、113住が該期の住居址である。小型化していく土師器杯A・皿等を出土している。

キ　中世の様相

A地区では17土、石列4、石列5、C地区では1竪、26土、E地区では台状地形2が該当する。これらからみられた遺物は青磁・白磁・青白磁といった輸入陶磁器、古瀬戸、常滑産等の陶器、在地産の内耳鍋である。いわゆるかわらけの類はみられない。出土地区別はA地区が最も多い。青磁では龍泉窯碗とみられる小片（298）もみられる。白磁では玉縁口縁の碗（297）、内面見込み部に櫛目文のある碗（231）があり、中世1期のものとみられる。検出面では山茶碗が2点（299、300）出土している。両方とも底部の破片でありまた台状地形1の上面検出面からは特殊なものとして渥美産の蓮弁文壺（302）が出土している。これは経塚等に用いられるもので、渥美半島古窯独特のデザインといわれる。C地区の1竪からは、図化していないが内耳鍋片1点がみられ、中世2期まで下がる可能性がある。26土からは小片ではあるが青白磁輪花皿（410）が出土している。流路2からは、見込み部に使用痕、朱墨痕のある青磁碗（415）が出土している。E地区では、青磁で龍泉窯瓶或いは鉢とみられるもの（436）、同安窯碗の小片（435）が出土している。

（3）文字関係資料

円面硯が2点出土している。294はA地区北西の、大規模流路1と2の間の中洲状部分からの出土で、遺構に伴うものではない。硯面と脚部の一部が残存するのみの小片である。硯面のうち陸部はほとんど残っておらず、海部の一部のみで、使用痕は不明瞭である。脚部には縦方向の沈線が刻まれているが、単位などについては不明である。口径は10.4cmと推定されるが、器高は不明である。333はB地区91住出土のもので、脚部の半分近くを欠損し、また歪みもあるが全体形の判るもので、口径11.3cm、底径19.4cm、器高5.4cmを測る。硯面は海部の半分が欠損しているが、陸部は完存し、使用痕が認められる。脚部には長方形の透かし彫りが24単位施されているとみられる。

（4）まとめ

今回の調査では、古墳時代～奈良・平安時代を中心に多くの遺物の出土がみられたが、A地区を中心に縄文時代の遺物もみられ、北西に隣接する柳田遺跡と関連があると思われる。またこの地区は9世紀後半の平安時代前期の遺物を出土する住居址が中心となっている。B地区の91住は、奈良時代の一括資料として良好に保たれ、円面硯を伴っての出土は、その階層についても示唆を与えてくれている。C地区では遺構外からも多量の土器・陶磁器がみられた。整理期間の関係上全てを図化し得ることはできなかったが、遺物の多さは、それだけ濃密な遺構分布を示し、古墳時代後期から奈良時代前期を中心とし、中世に至るまで集落が長く営まれたことを示している。D・E地区では瓦に伴って出土し、瓦の存在した時期に関して示唆するものであると考える。

中世の遺物もそれほど多くはないが出土がみられたため、中世遺構の存在を示唆する資料を得ることができたといえる。特に蓮弁文壺は全国的にも出土例は少なく、経塚等の仏教関連遺構からの出土が知られていることから、そうした中世の仏教施設が近在に存在したことを示している。円面硯等の特殊遺物は、次項で述べる瓦とともにこの遺跡の特殊性を示すものであるといえる。

註1　社団法人長野県史刊行会1988「長野県史　考古資料編　全一巻（四）　遺構・遺物」
註2　松本市教育委員会1994「松本市　出川南遺跡Ⅳ　平田里古墳群　－緊急発掘調査報告書－」
註3　長野県埋蔵文化財センター 1990「中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書4」松本市内その1　総論編
註4　平凡社1989「日本陶磁体系7　常滑 渥美 越前 珠洲」

第9表　土器観察表

No.	区	実測番号	出土地点	種別	器種	残存度		法量（）内は復元値			色調		整形・調整・形態の特徴等
						口径	底部	口径	底部	器高	外面	内面	
1	A区	78住-03	78住No.6	土師器	小型甕D	1/3	完	(12.8)	6.7		黒褐	黒褐～暗褐	ロクロナデ　内：口縁付近にカキ目　外：カキ目　底部：回転糸切り　口縁：ヨコナデ
2	A区	78住-02	78住床面	土師器	小型甕D	1/6		(9.4)			暗褐	黒褐	ロクロナデ　内外：カキ目　口縁：ヨコナデ
3	A区	78住-01	78住No.4	土師器	小型甕Dか		完		6.2		褐	褐、一部黒変	ロクロナデ　外：一部カキメか
4	A区	78住-20	78住No.11	土師器	小型甕Dか		2/3		(5.5)		褐	褐	ロクロナデ　底部：回転糸切り
5	A区	78住-17	78住No.22床面	土師器	甕か		完		5.9		淡褐	暗褐～褐	内外：ナデ　磨滅著しい
6	A区	78住-04	78住No.3	土師器	甕A	1/10		(16.4)			淡褐	暗褐	内外：ナデ　口縁：ヨコナデ
7	A区	78住-14	78住No.2	土師器	甕A	1/4		(17.6)			褐	褐	内外：ナデ　口縁：ヨコナデ
8	A区	78住-05	78住No.22床面	土師器	甕A	1/2		(19.0)			淡褐～黒褐	淡褐	内外：ナデ　口縁：ヨコナデ
9	A区	78住-15	78住No.17	土師器	甕Aか	2/3		17.4			暗褐	暗褐	内外：工具ナデ　口縁：ヨコナデ
10	A区	78住-16	78住No.16	土師器	甕A	1/2	完	(21.8)	9.4	31.8	暗褐	淡褐	内外：板状工具ナデ　口縁：ヨコナデ　底部：ナデ
11	A区	78住-06	78住No.21床面	土師器	甕F	一部欠		(22.4)			淡褐、一部黒変	淡褐	内外：工具ナデ後ミガキ　口縁：ヨコナデ
12	A区	78住-18	78住No.12	土師器	杯A		2/3		(5.8)		淡褐	褐	ロクロナデ　底部：磨滅・不明
13	A区	78住-19	78住No.8	土師器	杯A		1/2		(6.2)		褐	褐	ロクロナデ　底部回転糸切り
14	A区	78住-21	78住No.10	土師器	杯A		1/3		(6.4)		褐	褐	ロクロナデ　内：タール状付着物　底部：回転糸切り
15	A区	78住-24	78住フク土	黒色土器A	杯Aor椀	1/8		(13.3)			褐	黒	ロクロナデ　内面：ミガキ（単位不明）後黒色処理　口縁：ヨコナデ
16	A区	78住-22	78住No.8	黒色土器A	杯A		1/4		(5.8)		褐	褐	ロクロナデ　内面：ミガキ(単位不明)後黒色処理、黒メケ　底部：回転糸切り
17	A区	78住-08	78住床面	須恵器	杯A		1/4		(7.0)		暗灰	暗灰	ロクロナデ　内外：火だすき痕　底部：回転糸切り
18	A区	78住-09	78住SE	須恵器	杯A		1/6		(6.8)		灰	灰	ロクロナデ　底部：回転糸切り
19	A区	78住-10	78住Eベルト	須恵器	杯A		1/4		(6.2)		灰	灰	ロクロナデ　内：火だすき痕、使用痕　回転糸切り
20	A区	78住-11	78住SE	須恵器	杯A		1/3		(6.8)		灰～暗橙褐	灰	ロクロナデ　回転糸切り
21	A区	78住-13	78住No.24カマド	軟質須恵器	杯A	3/4	完	13.1	6.2	3.6	灰白～淡褐	灰白	ロクロナデ　回転糸切り　口縁：ヨコナデ
22	A区	78住-25	78住フク土	須恵器	甕B	1/10		(8.2)			灰	灰	ロクロナデ　ヨコナデ
23	A区	78住-12	78住床面	須恵器	甕AorD	1/16		(24.0)			灰	灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ
24	A区	78住-07	78住床面	土師器	羽釜	1/4		(23.6)			暗褐	暗褐	内：工具ナデ　外：ハケ目　口縁：ヨコナデ　鍔部：剥離
25	A区	79住-04	79住SEフク土	土師器	甕B		1/8		(10.2)		暗褐	褐	ロクロナデ　内：工具ナデ　外：ハケメ　下半削りか（磨滅）　底部：ナデ
26	A区	79住-06	79住SEフク土	土師器	小型甕Dか		1/8		(9.8)		淡褐	暗褐～褐	ロクロナデ　底部：回転糸切り
27	A区	79住-08	79住SEフク土	黒色土器A	杯A		4/5		(4.7)		褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　底部：回転糸切り
28	A区	79住-07	79住SEフク土	黒色土器A	椀		1/3		(6.9)		褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　外：付高台後ナデ
29	A区	79住-05	79住SEフク土	須恵器	杯A		1/8		(7.2)		淡灰	淡灰	ロクロナデ　底部：回転糸切り
30	A区	79住-03	79住SEフク土	須恵器	杯B		1/5		(10.9)		暗灰	暗灰	ロクロナデ　外：底面ヘラ削り　付高台後ナデ
31	A区	79住-01	79住SEフク土	灰釉陶器	椀		1/3		6.7		淡褐灰	淡褐灰	ロクロナデ　内：見込みに使用痕　外：付高台後ナデ　底部：回転ヘラ削り　施釉：漬掛け　大原2
32	A区	79住-02	79住SEフク土	灰釉陶器	椀		1/3		8.6		淡褐灰	淡褐灰	ロクロナデ　外：回転糸切りか　付高台後ナデ　施釉：漬掛け　虎渓山
33	A区	80住-04	80住No.7	土師器	小型甕D	2/3	完	(20.1)	8.9	13.4	淡褐	淡褐	内：上半カキメ、下半工具ナデ　外：カキ目、下端手持ちヘラ削り　底部：回転糸切り　口縁：ヨコナデ
34	A区	80住-01	80住フク土	黒色土器A	杯A	1/8		(14.3)			淡褐～褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ後黒色処理　口縁：ヨコナデ
35	A区	80住-02	80住フク土	黒色土器A	杯A	1/3	完	(13.0)	5.3	4.1	褐～黒	黒	ロクロナデ　内：ミガキ（放射状）後黒色処理　口縁：ヨコナデ　底部回転糸切り
36	A区	80住-03	80住No.3	黒色土器A	皿B	完	ほぼ完	13.1	6.8	3.0	淡褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ（放射状）後黒色処理　外：付高台後ナデ　口縁：ヨコナデ
37	A区	81住-03	81住SWフク土	土師器	甕B	1/4		(21.4)			褐	褐	ロクロナデ　外：ハケ目(磨滅)　口縁：ヨコナデ
38	A区	81住-04	81住No.4	土師器	小型甕B	1/2		(15.6)			褐	褐	内：ナデか(磨滅)　外：削りか(磨滅)　口縁：ヨコナデ
39	A区	81住-06	81住No.2	土師器	小型甕か	1/2	1/2	(11.0)	(5.8)	9.0	褐	淡褐	内外：工具ナデ　底部：ナデ　口縁：擬似口縁か
40	A区	81住-12	81住No.4	土師器	小型甕B	1/6		(17.0)			淡褐～暗褐	褐	内：輪積み痕、指頭圧痕、工具ナデ　外：ナデ、ハケ目　口縁：ヨコナデ
41	A区	81住-08	81住No.4	土師器	小型甕Bか		1/6		(10.6)		褐	褐	内：指頭圧痕、頸部工具ナデ　外：ハケ目　口縁：ヨコナデ
42	A区	81住-07	81住SEフク土	土師器	甕B	1/3		(17.6)			褐	淡褐	内：工具ナデ・指頭圧痕　外：ハケ目・削りか　底部：ナデ
43	A区	81住-05	81住SEフク土	土師器	甕A		1/3		(10.4)		褐	褐	内：工具ナデ　外：ナデ　底部：ナデ
44	A区	81住-18	81住NEフク土	土師器	椀		1/2		(7.8)		淡褐	淡褐～暗褐	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り
45	A区	81住-02	81住NEフク土	土師器	杯A		1/4		(5.6)		褐	淡褐	ロクロナデ　底部：回転糸切り
46	A区	81住-21	81住No.1	土師器	杯A	ほぼ完	完	14.4	5.9	3.1	淡褐～暗褐	淡褐～暗褐	ロクロナデ　底部：回転糸切り　口縁：ヨコナデ
47	A区	81住-17	81住NEフク土	黒色土器A	杯A	1/8	1/2	(11.9)	(4.7)	3.6	褐	暗褐～黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　底部：回転糸切り　口縁：ヨコナデ
48	A区	81住-15	81住NEフク土	黒色土器A	杯A		2/5		(8.1)		褐	黒	ロクロナデ　ミガキ(放射状)後黒色処理　底部：回転糸切り
49	A区	81住-16	81住NEフク土	黒色土器A	杯A		完		5.7		褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(放射状)後黒色処理　底部：回転糸切り
50	A区	81住-14	81住NEフク土	黒色土器A	杯A		3/5		6.1		褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(横)後黒色処理　底部：回転糸切り(磨滅)
51	A区	81住-09	81住カマドN	須恵器	甕B	1/12		(18.6)			灰	灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ
52	A区	81住-01	81住No.1	須恵器	杯A	7/8	完	14.8	6.0	4.6	淡褐～灰	灰	ロクロナデ　底部：ヘラ切り後一部工具ナデ　口縁：ヨコナデ
53	A区	81住-11	81住SEフク土	須恵器	杯A	1/8	1/4	(11.0)	(4.5)	3.4	灰白～暗灰	灰白～暗灰	ロクロナデ　底部：磨滅　口縁：ヨコナデ　磨滅著しい

No.	区	実測番号	出土地点	種別	器種	残存度		法量 ( )内は復元値			色調		整形・調整・形態の特徴等
						口径	底部	口径	底部	器高	外面	内面	
54	A区	81住-13	81住NEフク土	須恵器	杯A		1/3		(5.6)		暗灰	暗灰	ロクロナデ　底部：回転糸切り
55	A区	81住-10	81住SWフク土	須恵器	杯B	1/8		(14.1)			淡黄灰	淡黄灰	ロクロナデ　外：高台剥離　口縁：ヨコナデ
56	A区	81住-22	81住NEフク土	陶器	壺類		1/8		(11.8)		淡灰～灰	灰	ロクロナデ　外：回転ヘラ削りか、削り出し高台　内外：自然釉付着、見込み及び底部に付着物あり　渥美・常滑産
57	A区	81住-19	81住SWフク土	灰釉陶器	碗	1/8		(15.6)			淡灰	淡灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ　施釉：漬掛け　大原2
58	A区	81住-20	81住NEフク土	灰釉陶器	碗		1/8		(9.6)		淡灰	淡灰	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　施釉：漬掛け　大原2
59	A区	82住-01	82住SWフク土	土師器	甕		一部		(10.4)		褐	褐	ナデ
60	A区	82住-04	82住フク土	土師器	甕		1/2		(8.4)		褐	黒	内：ナデ　外：削り、スス付着　底部：ナデ
61	A区	82住-03	82住No.6	土師器	杯A	1/6	1/4	(15.3)	(7.6)	4.1	褐	褐	ロクロナデ　底部回転糸切り　口縁：ヨコナデ
62	A区	82住-02	82住SWフク土	土師器	杯A		2/3		(7.2)		褐	褐	ロクロナデ　底部：回転糸切りか
63	A区	82住-05	82住フク土	黒色土器A	碗		1/4		(7.2)		淡褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り
64	A区	82住-07	82住SWフク土	須恵器	蓋B	1/10		(15.0)			灰	灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ
65	A区	82住-06	82住カマドN	須恵器	杯A	1/8		(13.0)			灰	灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ
66	A区	83住-10	83住NWフク土	土師器	小型甕D		1/3		(6.6)		淡褐	淡褐	ロクロナデ　底部：回転糸切りか
67	A区	83住-03	83住No.8	黒色土器A	杯Aor碗	1/4		(12.6)			暗褐～褐	黒～褐	ロクロナデ　ミガキ(放射状)後黒色処理　口縁：ヨコナデ
68	A区	83住-07	83住NEフク土	黒色土器A	杯A		1/4		(6.3)		褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　底部：回転糸切り
69	A区	83住-08	83住フク土	黒色土器A	杯A		1/4		(4.5)		暗褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　底部回転糸切り
70	A区	83住-06	83住NEフク土	黒色土器A	碗		1/8		(6.4)		暗褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　底部：回転糸切り
71	A区	83住-05	83住NEフク土	土師器	皿A	1/8	1/3	(10.4)	(5.0)	1.6	橙褐	橙褐	ロクロナデ　底部：回転糸切り　口縁：ヨコナデ
72	A区	83住-09	83住NWフク土	土師器	杯A	1/8	1/8	(10.5)	(6.0)	1.8	淡褐	淡褐	ロクロナデ　底部：磨滅不明　口縁：ヨコナデ
73	A区	83住-04	83住NEフク土	土師器	杯A		1/2		(6.0)		暗褐～褐	暗褐	ロクロナデ　底部：回転糸切り
74	A区	83住-01	83住No.1	土師器	杯A		1/4		(6.6)		淡褐	褐	ロクロナデ　底部：回転糸切り
75	A区	83住-02	83住No.2	土師器	碗		完		7.0		褐	淡褐	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り
76	A区	83住-11	83住NWフク土	灰釉陶器	碗		1/2		(6.6)		淡灰	淡灰	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り　施釉：漬掛け　丸石
77	A区	83住-12	83住フク土	灰釉陶器	碗		2/3		(7.4)		黄灰	淡灰～黄灰	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り　施釉：漬掛け　丸石
78	A区	84住-22	84住SEフク土	土師器	鉢か		2/3		(8.6)		暗褐	黒	内外：工具ナデ後黒色処理　底部：工具ナデか
79	A区	84住-10	84住No.7	土師器	小型甕Dか	1/6		(17.6)			淡褐～暗褐	淡褐	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ
80	A区	84住-11	84住SWフク土	土師器	甕B	1/8		(17.0)			褐	褐	ロクロナデ　内：口縁付近カキメ　外：ハケメ　口縁：ヨコナデ
81	A区	84住-12	82住SEフク土	土師器	小型甕D	1/8		(18.4)			褐	褐	ロクロナデ　内：カキメ　口縁：ヨコナデ
82	A区	84住-14	84住No.6	土師器	甕B		1/8		(13.2)		暗褐	褐	ロクロナデ　外：ハケメ　底部：ナデ
83	A区	84住-15	84住Wフク土	土師器	小型甕D		1/4		(6.8)		暗褐	淡褐	ロクロナデ　底部：回転糸切り
84	A区	84住-05	84住No.2	土師器	杯A	1/8	完	(12.8)	5.6	4.1	褐	褐	ロクロナデ　底部：回転糸切り　口縁：ヨコナデ
85	A区	84住-01	84住床面	土師器	杯A		1/2		(5.7)		褐	暗褐	ロクロナデ　底部：回転糸切り
86	A区	84住-02	84住No.9	土師器	杯A		完		6.1		淡褐	褐	ロクロナデ　底部：回転糸切り
87	A区	84住-03	84住NWフク土	土師器	杯A		完		5.4		淡褐	淡褐	ロクロナデ　底部：回転糸切り
88	A区	84住-04	84住NWフク土	土師器	杯A		1/8		(6.4)		淡褐	淡褐	ロクロナデ　底部：回転糸切り
89	A区	84住-07	84住フク土	土師器	碗		1/3		(8.4)		淡褐	淡褐	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り
90	A区	84住-08	84住フク土	土師器	碗		2/3		6.2		褐	褐	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り
91	A区	84住-09	84住Nベルト	土師器	碗		1/2		(9.8)		褐	褐	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り
92	A区	84住-06	84住No.4	土師器	碗		完		6.9		淡褐	淡褐、一部黒変	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り
93	A区	84住-13	84住フク土	土師器	碗		一部欠		6.8		淡褐	淡褐	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　底部：回転糸入り
94	A区	84住-16	84住No.8	黒色土器A	杯Aor碗	1/3		(14.2)			褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　口縁：ヨコナデ
95	A区	84住-17	不明	黒色土器A	杯Aor碗	1/4		(14.6)			褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　口縁：ヨコナデ
96	A区	84住-18	84住Nベルト	黒色土器A	杯A		1/2		(5.6)		淡褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　底部：回転糸切り
97	A区	84住-19	84住Wフク土	黒色土器A	杯A		1/2		(5.6)		褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(放射状)後黒色より　底部：回転糸切り
98	A区	84住-20	84住Nベルト	黒色土器A	杯A		1/2		(4.2)		褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　底部：回転糸切り
99	A区	84住-21	84住Wフク土	黒色土器A	碗		2/3		(6.6)		褐	褐	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り
100	A区	84住-26	84住フク土	須恵器	蓋B		1/4				灰	灰	ロクロナデ　外：回転ヘラ削り　ツマミ部：貼付け後ナデ
101	A区	84住-24	84住フク土	須恵器	杯B		1/8		(14.0)		灰	灰	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　底部：回転ヘラ削り
102	A区	84住-23	84住フク土	須恵器	杯B		1/3		(8.2)		灰	灰	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　底部：回転ヘラ削り
103	A区	84住-25	84住NWフク土	須恵器	短頸壺		1/4		(8.4)		暗灰	灰	ロクロナデ　外：回転ヘラ削り　付高台後ナデ
104	A区	84住-28	84住No.3	須恵器	甕A	1/8		(27.0)			灰	灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ
105	A区	84住-27	84住SWフク土	須恵器	甕A	1/20		(33.0)			灰	暗灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ
106	A区	84住-29	84住SWフク土	須恵器	甕D						暗灰	灰	内：当て具痕　外：タタキメ　突帯部貼付け後ナデ
107	A区	84住-36	84住Nベルト	灰釉陶器	皿	1/6		(19.6)			淡灰	淡灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ　施釉：刷毛塗り　光ヶ丘1
108	A区	84住-31	84住SWフク土	灰釉陶器	碗		1/3		(8.6)		淡灰	淡灰	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切りか　施釉範囲無し　大原2

No.	区	実測番号	出土地点	種別	器種	残存度		法量（）内は復元値			色調		整形・調整・形態の特徴等
						口径	底部	口径	底部	器高	外面	内面	
109	A区	84住-30	84住NWフク土	灰釉陶器	椀		1/3		(8.3)		灰	灰	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り　施釉：漬掛け　大原2
110	A区	84住-33	84住フク土	灰釉陶器	椀		1/4		(8.4)		灰	灰	ロクロナデ　内：重ね焼き痕　外：ヘラ削り、付高台後ナデ　施釉：不明　大原2
111	A区	84住-37	84住SWフク土	灰釉陶器	皿	1/6	1/4	(13.4)	(6.0)	3.2	淡灰	淡灰	ロクロナデ　外：回転ヘラ削り　付高台後ナデ　口縁：ヨコナデ　底部：回転ヘラ削り　施釉：漬掛け　大原2
112	A区	84住-35	84住カマド	灰釉陶器	椀	1/4		(13.5)			淡灰	淡灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ　施釉：不明　大原2
113	A区	84住-32	84住カマド	灰釉陶器	椀		1/4		(6.1)		灰	灰	ロクロナデ　内：重ね焼き痕　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り　施釉：不明　大原2
114	A区	84住-34	84住NWフク土	山茶碗	皿or椀		1/6		(11.6)		淡灰	灰	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　底部：回転ヘラ削り
115	A区	85住-01	85住No.14	土師器	杯	1/5	1/2	(12.8)	11.5	4.8	褐、一部黒変	褐	内：ミガキ(磨滅)　外：ミガキ　底部：板状工具削り　口縁：ヨコナデ
116	A区	85住-02	85住SWフク土	土師器	杯	1/3	1/3	(13.3)	(10.6)	5.3	褐、一部黒変	黒	内：ミガキ　外：ミガキ　底部：板状工具削り　口縁：ヨコナデ
117	A区	85住-03	85住SWフク土	土師器	杯	一部		(11.8)			暗褐	黒	内：ミガキ　外：ミガキ　口縁：ヨコナデ
118	A区	85住-04	85住SEフク土	土師器	高杯						暗褐	褐	内：指押さえか(磨滅)、輪積み痕　外：磨滅不明
119	A区	85住-21	85住NEフク土	須恵器	蓋or杯	1/8		(10.8)			暗灰	暗灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ
120	A区	85住-05	85住No.8	土師器	甕	1/4		(16.2)			褐	褐	内：ハケ目か(磨滅)　外：磨滅不明　口縁：ヨコナデ
121	A区	85住-18	85住フク土	土師器	壺	1/4		(16.0)			淡褐	淡褐	内外：工具ナデ　口縁：ヨコナデ
122	A区	85住-17	85住No.7	土師器	甕						淡褐	暗灰褐～黒褐	内：輪積み痕、指頭圧痕、工具ナデ　外：工具ナデ
123	A区	85住-20	85住No.15	土師器	甕or甑						淡褐～黒	褐	内外：輪積み痕、工具ナデ
124	A区	85住-19	85住NEフク土	土師器	甕		1/6		(10.2)		淡褐	暗褐	内外：輪積み痕、工具ナデ　外：下半削り　底部：不明
125	A区	85住-25	85住No.5	土師器	鉢A	1/6		(21.2)			褐～暗褐	褐	内：輪積み痕、ナデ　外：工具ナデ(磨滅著しい)、スス付着　口縁：ヨコナデ
126	A区	85住-26	85住No.12	土師器	甑						褐～黒褐	褐	内：工具ナデか(磨滅)　外：ナデ後ミガキ(縦、磨滅)　把手部：貼り付け
127	A区	85住-06	85住No.1	黒色土器A	杯A	3/8	完	(12.4)	5.7	4.0	淡褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　底部：回転糸切り　口縁：ヨコナデ
128	A区	85住-07	85住No.6	黒色土器A	杯A	3/8	完	(12.1)	4.7	4.3	淡褐、一部黒変	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　底部：回転糸切り
129	A区	85住-08	85住No.9	黒色土器A	杯A	一部	完	(12.4)	5.2	3.6	褐、一部黒変	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　底部：回転糸切り、口縁：ヨコナデ
130	A区	85住-09	85住NEフク土	黒色土器A	杯A		完		5.9		褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　底部：回転糸切り
131	A区	85住-10	85住フク土	黒色土器A	杯A		2/3		5.1		淡褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　底部：回転糸切り
132	A区	85住-16	85住NEフク土	黒色土器A	杯A		1/3		(6.0)		褐	淡褐～黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　底部：回転糸切り
133	A区	85住-11	85住No.3	黒色土器A	椀		完		8.6		淡褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り
134	A区	85住-12	85住No.13	黒色土器A	椀		完		6.5		淡褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り
135	A区	85住-13	85住NEフク土	黒色土器A	椀		1/4		(6.2)		淡褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(放射状)後黒色処理　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切りか
136	A区	85住-14	85住フク土	黒色土器A	椀		1/4		(9.8)		褐～淡褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(放射状)後黒色処理　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り
137	A区	85住-15	85住NEフク土	黒色土器A	椀		1/4		(6.6)		淡褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ(単位不明)後黒色処理　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り
138	A区	85住-22	85住SEフク土	須恵器	壺類						暗灰	暗灰	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り
139	A区	85住-23	85住NEフク土	須恵器	壺類		1/10		(13.8)		暗褐	茶褐	ロクロナデ　外：ヘラ削り、付高台後ナデ
140	A区	85住-24	85住SEフク土	土製品	羽口			外径(6.0)	内径(3.0)		淡褐	淡褐	外：指ナデ、一部被熱
141	A区	87住-12	87住P6	縄文土器	深鉢・把手か						暗褐	暗褐	
142	A区	87住-08	87住フク土SE	須恵器	甕AorD	1/16		(30.4)			灰	淡灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ
143	A区	87住-09	87住No.2他	須恵器	甕AorD	1/6		(27.0)			灰～暗灰	暗灰	外：タタキメ後ロクロナデ　内：ロクロナデ（アテ具痕ナデ消される）　口縁：ヨコナデ　78住と遺構間接合
144	A区	87住-05	87住SE	須恵器	蓋B	1/12		(14.4)			暗灰	暗灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ
145	A区	87住-06	87住フク土SE	須恵器	蓋B	1/12		(16.5)			暗灰～灰	暗灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ
146	A区	87住-07	87住フク土SE	須恵器	蓋B	1/10		(16.4)			暗褐～暗灰	暗灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ
147	A区	87住-04	87住SE	須恵器	杯Aか	1/8		(13.6)			暗灰～灰	灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ
148	A区	87住-03	87住P1	須恵器	杯A		1/4		(6.2)		暗灰	暗灰	ロクロナデ　底部：回転糸切り　内外：火だすき痕
149	A区	87住-13	87住ベルト	須恵器	杯B		1/8		(10.2)		暗灰	暗灰	ロクロナデ
150	A区	87住-02	87住フク土	黒色土器A	杯A	1/6	完	(12.5)	6.4	5.2	淡褐	黒	ロクロナデ　内面：ミガキ後黒色処理　口縁：ヨコナデ　底部：回転糸切り
151	A区	87住-01	87住SE	土師器	小型甕Dか	1/10		(16.4)			褐	暗褐	
152	A区	87住-10	87住SEフク土	土製品	羽口	1/2					褐	褐	指頭圧痕　一部被熱
153	A区	87住-11	87住No.1	土製品	羽口	1/2					暗灰	暗褐～褐	端部：溶滓付着　一部被熱
154	A区	89住-06	89住フク土上層	土師器	円筒形土器						暗褐～褐	暗褐～褐	内外：輪積み痕　内：指ナデ　外：ハケ目
155	A区	89住-05	89住フク土下層	土師器	小型甕D		1/2		(8.0)		淡褐	淡褐	ロクロナデ　外：カキ目（磨滅）
156	A区	89住-04	89住フク土下層	土師器	耳皿	1/2	完		3.9	2.8	淡褐	淡褐	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ　底部：回転糸切り
157	A区	89住-01	89住フク土上層	土師器	椀		3/4		(8.2)		淡褐	淡褐	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　底部：磨滅不明
158	A区	89住-03	89住フク土上層	黒色土器A	椀						灰褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ（放射状）後黒色処理　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り
159	A区	89住-02	89住フク土下層	黒色土器A	椀		一部欠		6.5		褐	黒	ロクロナデ　内：ミガキ（放射状）後黒色処理　外：付高台後ナデ　底部：回転糸切り
160	A区	89住-08	89住フク土上層	須恵器	杯A		1/4		(7.2)		暗灰	暗灰	ロクロナデ　内外：火だすき痕　底部：回転糸切り
161	A区	89住-09	89住フク土上層	須恵器	杯B		1/6		(8.4)		暗灰	灰	ロクロナデ　外：付高台後ナデ
162	A区	89住-07	89住フク土下層	灰釉陶器	椀		1/3		(6.8)		灰	灰	ロクロナデ　外：回転ヘラ削り　付高台後ナデ　施釉：漬掛け　大原2
163	A区	90住-01	90住N-Sトレンチ	土師器	杯A	1/5		(14.2)			橙褐～暗褐	淡褐～褐	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ

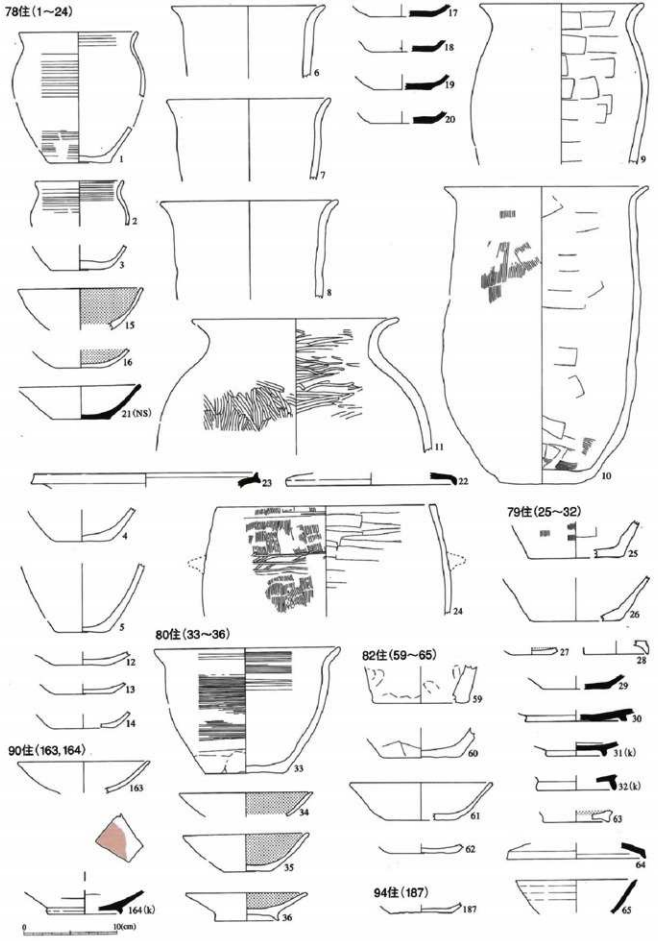
No.	区	実測番号	出土地点	種別	器種	残存度		法量（ ）内は復元値			色調		整形・調整・形態の特徴等
						口径	底部	口径	底部	器高	外面	内面	
164	A区	90住-02	90住SWフク土	灰釉陶器	椀		1/10		(8.2)		淡灰	淡灰	ロクロナデ 内：見込みに使用痕・朱墨痕 外：回転ヘラ削り、付高台後ナデ 底部：回転糸切り 施釉：漬掛け 大原2
165	A区	92住-05	92住No.2	土師器	小型甕D	1/4	1/3	(9.4)	(5.5)	6.7	褐～暗褐	黒褐	ロクロナデ 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
166	A区	92住-06	92住P7.9	土師器	小型甕D	1/5		(11.2)			暗褐～黒褐	黒褐	ロクロナデ 内：口縁付近カキメ 外：カキメ 口縁：ヨコナデ
167	A区	92住-04	78住SEフク土	土師器	杯A	1/5		(16.8)			暗褐	暗褐	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ
168	A区	92住-01	78住No.23	土師器	杯A	一部欠	完	12.8	4.7	4.0	褐	褐	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ 底部：回転糸切り
169	A区	92住-03	92住No.6	土師器	杯A		一部欠		6.0		淡褐	淡褐	ロクロナデ 底部：回転糸切りか（磨滅）
170	A区	92住-02	78住No.5	土師器	杯A		完		5.1		褐	褐	ロクロナデ 底部：回転糸切り
171	A区	92住-09	92住No.10	黒色土器A	杯A	1/4	完	(16.8)	7.4	5.2	淡灰	黒	ロクロナデ 内：ミガキ（放射状・横）黒色処理 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
172	A区	92住-11	92住No.20	黒色土器A	杯A	1/2	完	(16.4)	6.6	5.2	淡褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(単位不明)後黒色処理 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
173	A区	92住-08	92住No.4	黒色土器A	杯A	2/3	完	(13.6)	5.2	3.8	淡褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ（放射状・横）後黒色処理 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
174	A区	92住-10	92住No.17	黒色土器A	杯A	1/6	完	(13.0)	5.6	5.6	淡褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(単位不明)後黒色処理 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
175	A区	92住-07	78住No.6	黒色土器A	杯A		完		4.8		暗褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ（放射状）後黒色処理 底部：回転糸切り
176	A区	92住-12	92住P7	黒色土器A	杯A	1/3		(15.8)			淡褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(単位不明)後黒色処理 口縁：ヨコナデ
177	A区	92住-13	92住No.9	黒色土器A	杯A	1/6		(15.0)			暗褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ（放射状・横）後黒色処理 口縁：ヨコナデ
178	A区	92住-14	92住Nベルト	黒色土器A	杯or椀	1/8		(12.0)			淡褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ（放射状・横）後黒色処理 口縁：ヨコナデ
179	A区	92住-15	78住No.18	黒色土器A	椀		1/3		6.1		淡褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ（放射状）後黒色処理 外：付高台後ナデ 底部：回転糸切りか
180	A区	92住-16	92住No.3	黒色土器A	椀	1/12	完	(14.7)	6.9	4.1	暗褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ（放射状、横）後黒色処理 外：付高台後ナデ 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
181	A区	92住-19	92住No.1	須恵器	短頸壺	1/3	完	(8.2)	6.2	12.4	暗灰	灰	ロクロナデ 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
182	A区	92住-17	78住Eベルト	須恵器	杯A		1/2		(6.0)		灰	灰	ロクロナデ 内外：火だすき痕 底部：回転糸切り
183	A区	92住-18	92住確認トレンチ	須恵器	杯A		1/2		(7.4)		暗灰	暗灰	ロクロナデ 底部：回転糸切り
184	A区	92住-20	78住SEフク土	灰釉陶器	皿or椀	1/10		(13.1)			灰	灰	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ 施釉：刷毛塗りか 光ヶ丘
185	A区	92住-21	78住床面	灰釉陶器	皿or椀	1/8		(14.0)			灰	灰	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ 施釉：漬掛けか 大原2
186	A区	92住-22	78住床面	灰釉陶器	椀		1/6		(6.8)		灰	灰	ロクロナデ 内：重ね焼き痕 外：付高台後ナデ 底部回転ヘラ削り 施釉：漬掛け 大原2
187	A区	94住-01	94住Wフク土	土師器	杯A		1/8		(6.8)		淡褐	褐	ロクロナデ 底部：回転糸切り
188	A区	95住-04	95住SWフク土	土師器	小型甕D	1/3		(10.5)			暗褐	淡褐～暗褐	ロクロナデ 外：カキ目 口縁：ヨコナデ
189	A区	95住-11	95住SWフク土	土師器	小型甕D		一部残		(8.6)		暗褐	淡褐	ロクロナデ 外：カキ目 底部：不明
190	A区	95住-06	95住No.1	土師器	小型甕D		4/5		3.7		暗褐	暗褐～褐	ロクロナデ 内：一部工具ナデか 外：カキ目 底部：回転糸切り後ナデ
191	A区	95住-03	95住No.3	黒色土器A	椀		4/5		(7.3)		淡褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(単位不明)後黒色処理 外：付高台後ナデ 底部：回転糸切り
192	A区	95住-01	95住SWフク土	土師器	杯A		1/4		(6.3)		褐	淡褐～灰褐	ロクロナデ 底部：回転糸切り
193	A区	95住-02	95住SWフク土	土師器	杯A		2/3		(6.3)		淡褐～灰褐	褐	ロクロナデ 底部：回転糸切りか(磨滅)
194	A区	95住-06	95住Nフク土	土師器	甕A	1/6		(26.4)			褐	暗褐	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ 内面及び外面口縁付近スス付着
195	A区	95住-10	95住Nフク土	須恵器	甕類か		1/8		(9.5)		淡灰	淡灰	ロクロナデ 外：下半ヘラ削り 底部：不明
196	A区	95住-08	95住No.2	灰釉陶器	椀	3/8		(13.8)			淡灰	淡灰	ロクロナデ 外：下半回転ヘラ削り 口縁：ヨコナデ 施釉：漬掛け 大原2
197	A区	95住-07	95住Sフク土	灰釉陶器	椀	1/8		(15.4)			灰	淡灰	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ 施釉：漬掛け 大原2
198	A区	95住-09	95住フク土	灰釉陶器	椀		1/4		(7.1)		淡灰	淡灰	ロクロナデ 外：付高台後ナデ 底部：回転ヘラ削りか 大原2
199	A区	96住-17	96住No.17	黒色土器A	杯A	1/4	1/6	(13.2)	(6.6)	(2.6)	黒褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(単位不明)後黒色処理 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
200	A区	96住-16	82住Eベルト	黒色土器A	杯A	1/3	完	(12.8)	5.5	3.8	褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(単位不明)後黒色処理 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
201	A区	96住-18	96住No.2	黒色土器A	杯A	1/3	完	(12.2)	5.4	4.1	褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(単位不明)後黒色処理 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
202	A区	96住-13	96住No.4	黒色土器A	杯A	1/4	1/4	(12.8)	(5.6)	4.6	淡褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(単位不明)後黒色処理 口縁：ヨコナデ 底部：回転糸切り
203	A区	96住-19	96住Nフク土	黒色土器A	杯Aor椀	1/4		(15.3)			褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(単位不明)後黒色処理 口縁：ヨコナデ
204	A区	96住-15	96住SEフク土	黒色土器A	杯A	1/4	1/3	(14.2)	(7.4)	4.1	褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(単位不明)後黒色処理 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
205	A区	96住-21	96住No.6	黒色土器A	杯A		完		7.0		褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(放射状・横)後黒色処理 底部：回転糸切り
206	A区	96住-20	96住No.7	黒色土器A	杯A		完		6.6		褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(単位不明)後黒色処理 底部：回転糸切り
207	A区	96住-22	82住SEフク土	黒色土器A	椀		1/3		(6.4)		褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(単位不明)後黒色処理 外：付高台後ナデ 底部：回転糸切り
208	A区	96住-06	96住No.5	土師器	甕B	1/5		(25.2)			褐	褐	ロクロナデ 内：口縁付近カキ目 口縁：ヨコナデ
209	A区	96住-03	82住No.2	土師器	甕B		1/4		(11.1)		褐	褐	ロクロナデ 内：全面に付着物 外：ハケメ、下端手持ちヘラ削り 底部：ナデ
210	A区	96住-07	96住No.12	土師器	小型甕D	1/6		(20.4)			褐	褐	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ
211	A区	96住-08	96住No.13	土師器	小型甕D	1/4		(19.0)			褐	褐	ロクロナデ 内：カキ目 外：カキ目か（磨滅） 口縁：ヨコナデ
212	A区	96住-05	96住No.5	土師器	甕Bか		1/3		(9.0)		褐	褐	ロクロナデ 外：下端手持ちヘラ削り 底部：回転糸切り
213	A区	96住-02	82住Wベルト	土師器	小型甕Dか		1/2		(8.2)		褐	褐	ロクロナデ 底部：磨滅不明
214	A区	96住-04	82住No.1	土師器	杯A	完	完	13.1	5.7	4.4	淡褐	褐	ロクロナデ 内外：スス付着 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
215	A区	96住-09	96住Sフク土	土師器	杯A	1/6		(17.8)			褐	褐	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ
216	A区	96住-10	96住No.11	土師器	杯A	1/4	1/3	(14.6)	(7.6)	3.4	淡褐	淡褐	ロクロナデ 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
217	A区	96住-01	８２住SEフク土	土師器	杯A		完		6.4		褐	褐	ロクロナデ 底部：回転糸切り
218	A区	96住-14	96住Sフク土	土師器	杯A		1/3		(5.6)		暗褐	暗褐	ロクロナデ 底部：回転糸切りか

No.	区	実測番号	出土地点	種別	器種	残存度 口径	残存度 底部	法量（）内は復元値 口径	法量 底部	法量 器高	色調 外面	色調 内面	整形・調整・形態の特徴等
219	A区	96住-12	82住No.15	土師器	杯A		1/2		(6.8)		褐	褐	ロクロナデ 底部；回転糸切りか（磨滅）
220	A区	96住-11	96住No.14	土師器	杯Aor椀	1/6		(13.6)			褐	褐	ロクロナデ 口縁；ヨコナデ
221	A区	96住-27	96住No.14	須恵器	甕D						灰白	灰白	ロクロナデ 頸部；貼り付け 突帯；貼り付け後ナデ
222	A区	96住-26	96住Nフク土	須恵器	長頸壷か		1/10		(6.6)		灰	灰	ロクロナデ 外；下端-ヘラ状工具痕か、付高台後ナデ
223	A区	96住-25	96住Sフク土	須恵器	蓋B	1/10		(11.6)			暗灰	暗灰	ロクロナデ 口縁；ヨコナデ
224	A区	96住-24	96住No.3	軟質須恵器	杯A	ほぼ完	完	13.7	5.8	4.5	淡灰～暗褐	灰	ロクロナデ 底部；回転糸切り 口縁；ヨコナデ
225	A区	96住-23	82住SEフク土	須恵器	杯A		1/6		(9.0)		灰	灰	ロクロナデ 底部；回転糸切り
226	A区	96住-29	82住No.9	灰釉陶器	椀	1/6	1/2	(16.4)	(7.5)	(5.5)	灰	灰	ロクロナデ 内；重ね焼き痕、使用痕 外；回転ヘラ削り、付高台後ナデ 底部；回転ヘラ削り 口縁；ヨコナデ 施釉 漬掛け 大窯2
227	A区	96住-30	82住SEフク土	灰釉陶器	小瓶						灰	淡灰	ロクロナデ 施釉；漬掛け
228	A区	96住-28	82住No.10	灰釉陶器	椀		完		7.4		灰	灰	ロクロナデ 内；重ね焼き痕、使用痕 外；ヘラ削り、付高台後ナデ 底部；ヘラ削り 施釉；漬掛けか 大窯2か
229	A区	土7-01	土7	土師器	杯A	1/10		(14.6)			褐	褐	内外；手持ちヘラ削り 口縁；ヨコナデ
230	A区	土8-01	土8	須恵器	杯D	1/4		(12.6)			淡灰	灰	ロクロナデ 口縁；ヨコナデ
231	A区	土17-01	土17	白磁	碗		完		6.3		乳白	乳白	ロクロナデ 内；ミコミ-櫛目文 外；付高台後ナデ 底部；回転ヘラ切り 素地；灰白色
232	A区	凹地-01	凹地SWフク土	土師器	杯A		ほぼ完		5.2		褐	褐	ロクロナデ 底部；回転糸切り
233	A区	凹地-02	凹地SWフク土	黒色土器A	杯A		1/3		(6.7)		褐	黒	ロクロナデ 内；ミガキ(単位不明)後黒色処理 底部；回転糸切り
234	A区	凹地-03	凹地フク土	須恵器	壷B						暗橙褐	暗橙褐	ロクロナデ ツマミ部；貼り付け後ナデ
235	A区	凹地-04	凹地SWフク土	須恵器	蓋B	1/6		(19.4)			暗灰	暗灰	ロクロナデ 口縁；ヨコナデ
236	A区	凹地-08	凹地フク土	須恵器	杯A	1/10	1/2	(13.8)	(8.4)	3.9	灰	灰	ロクロナデ 底部；回転糸切り 口縁；ヨコナデ
237	A区	凹地-09	凹地NWフク土	須恵器	杯A	1/3	ほぼ完	(13.1)	6.3	4.3	淡灰	灰	ロクロナデ 底部；回転糸切り 口縁；ヨコナデ 内外；火だすき痕
238	A区	凹地-07	NWベルト	須恵器	杯A		完		(7.1)		灰	灰	ロクロナデ 底部；回転糸切り
239	A区	凹地-10	凹地NEフク土	須恵器	杯A		1/2		(7.2)		灰	灰	ロクロナデ 底部；回転糸切り
240	A区	凹地-06	凹地SWフク土	須恵器	杯A		1/3		(6.0)		灰	灰	ロクロナデ 底部；回転糸切り
241	A区	凹地-05	不明	須恵器	杯A		1/8		(5.7)		灰	灰	ロクロナデ 底部；回転糸切り
242	A区	凹地-11	凹地SEフク土	須恵器	壷類		1/6		(11.6)		淡灰	灰	ロクロナデ 外；削り 付高台後ナデ
243	A区	凹地-12	凹地SWフク土	灰釉陶器	皿	1/8		(15.0)			灰	灰	ロクロナデ 口縁；ヨコナデ 施釉；漬掛け 大窯2か
244	A区	石列-01	石列NEフク土	土師器	杯A		完		5.1		褐	褐	ロクロナデ 底部；回転糸切り
245	A区	石列-02	石列NEフク土	土師器	杯A		1/6		(7.0)		褐	褐	ロクロナデ 底部；回転糸切り
246	A区	石列-03	石列NEフク土	須恵器	杯A		1/3		(6.0)		灰	灰	ロクロナデ 底部；回転糸切り
247	A区	石列-04	石列フク土	山茶碗	碗		1/6		(7.6)		白灰	白灰	ロクロナデ 外；付高台後ナデ 高台端部にモミ・植物の圧痕 底部；回転糸切り
248	A区	石列-05	石列フク土	山皿	皿	1/3	1/3	(8.8)	(5.0)	1.7	灰	白灰	ロクロナデ 内；中央に指頭圧痕 口縁；ヨコナデ 底部；回転糸切り
249	A区	石列-06	石列フク土	青磁	碗						淡緑	淡緑	ロクロナデ 内；沈線 外；削り 素地；灰色 龍泉窯
250	A区	流-01	フク土	灰釉陶器	皿		1/3		(7.7)		淡灰	淡灰	ロクロナデ内；重ね焼き痕 外；回転ヘラ削り 付高台後ナデ 底部；回転ヘラ削り 施釉；漬掛け
251	A区	G-09	N315 E156	縄文土器	深鉢	一部		(38.4)			淡褐	淡褐	内；ナデ 外；縄文（RL横転がし） 口縁；ヨコナデ
252	A区	G-02	N306 E180	土師器	甕Bか		1/6		(11.6)		褐	暗褐	内；ロクロナデ 外；削り 底部；ナデ
253	A区	G-01	N315 E174	土師器	杯A		2/3		(6.1)		褐	褐	ロクロナデ 底部；回転糸切り
254	A区	G-03	N313 E175	須恵器	杯A		1/4		(7.0)		灰	灰	ロクロナデ 底部；回転糸切り
255	A区	G-06	N313 E175	灰釉陶器	小瓶か		完		3.6		淡灰	淡灰	ロクロナデ 底部；回転糸切り 施釉；不明
256	A区	G-07	N315 E174	灰釉陶器	壷か		3/4		5.8		淡灰	淡灰	ロクロナデ 外；回転ヘラ削り 底部；回転糸切り 施釉；剥離不明
257	A区	G-05	N312 E174	灰釉陶器	壷		1/4		(8.2)		淡灰	淡灰	ロクロナデ 外；下端削り 底部；回転糸切り 施釉；剥離・不明
258	A区	G-08	N313 E175	灰釉陶器	椀	1/8		(16.6)			灰	灰	ロクロナデ 口縁；ヨコナデ 施釉；剥離・不明
259	A区	G-04	N318 E174	灰釉陶器	椀		1/3		(8.2)		淡灰	淡灰	ロクロナデ 外；付高台後ナデ 底部；回転糸切り 丸石2か
260	A区	T-06	トレンチ4-NE	縄文土器	深鉢		2/3	(10.2)			褐	褐	ナデ 底部；網代痕
261	A区	T-05	トレンチ2-SW	土師器	甕A		完		6.3		褐	褐	内外；ナデ 底部；木葉痕か
262	A区	T-04	トレンチ2-NE	土師器	甕Bか		1/3		(7.8)		黒褐	暗褐	ロクロナデ 底部；回転糸切り
263	A区	T-01	トレンチ10-NE	土師器	杯A		1/4		(5.0)		褐	褐	ロクロナデ 底部；回転糸切り
264	A区	T-02	トレンチ2-NE	土師器	椀		1/3		(6.4)		褐	褐	ロクロナデ 外；付高台後ナデ 底部；回転糸切り
265	A区	T-03	トレンチ2-SW	黒色土器A	椀		完		4.9		淡褐	黒	ロクロナデ 内；ミガキ(単位不明)後黒色処理 外；付高台後ナデ 底部；回転糸切り
266	A区	T-17	トレンチ2-SW	須恵器	甕	1/12		(30.2)			暗灰	暗灰	ロクロナデ 外；輪積み痕 口縁；ヨコナデ
267	A区	T-18	トレンチ6-No.1	須恵器	甕	1/6		(24.6)			灰白	灰白	ロクロナデ 外；頸部-波状文 口縁；ヨコナデ 脆弱・磨滅著しい
268	A区	T-19	トレンチ6-No.10	須恵器	甕						灰白	灰白	頸部；ロクロナデ 内；当て具痕（磨滅） 外；タタキメ（磨滅） 脆弱・磨滅著しい
269	A区	T-12	トレンチ6-NW	須恵器	蓋Dか	1/8		(9.2)			灰	灰	ロクロナデ 口縁；ヨコナデ
270	A区	T-13	トレンチ3-NE	須恵器	蓋B	1/10		(15.4)			黒灰	黒灰	ロクロナデ 口縁；ヨコナデ
271	A区	T-09	トレンチ6-NW	須恵器	杯	1/10		(17.4)			暗灰	暗灰	ロクロナデ 口縁；ヨコナデ
272	A区	T-10	トレンチ2-SW	須恵器	杯A	1/6		(12.6)			灰	灰	ロクロナデ 口縁；ヨコナデ
273	A区	T-07	トレンチ3-NE	須恵器	杯A		1/4		(5.2)		暗灰	暗灰	ロクロナデ 内；火だすき痕 底部；回転糸切り

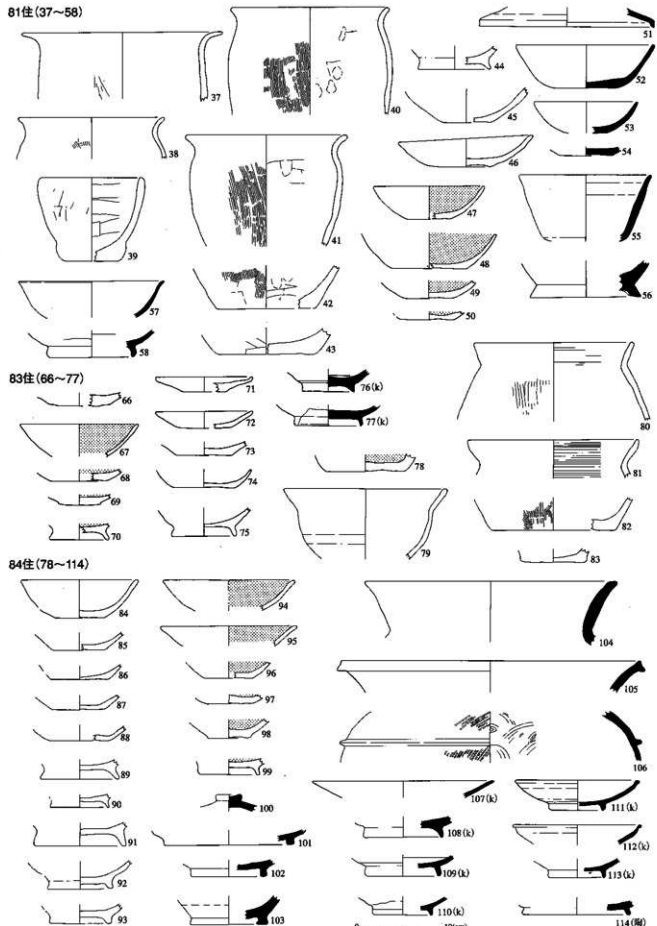
No.	区	実測番号	出土地点	種別	器種	残存度		法量 ( )内は復元値			色調		整形・調整・形態の特徴等
						口径	底部	口径	底部	器高	外面	内面	
274	A区	T-08	トレンチ6-NW	須恵器	杯A		1/8		(8.4)		灰	灰	ロクロナデ 底部：回転糸切り
275	A区	T-20	トレンチ14-NE	須恵器	杯A	1/8		(11.6)			灰	灰	ロクロナデ 外：線刻 口縁：ヨコナデ
276	A区	T-11	トレンチ2-SW	須恵器	杯B		1/4		(9.0)		灰	灰	ロクロナデ 外：付高台後ナデ 底部：回転糸切り
277	A区	T-14	トレンチ3-NE	須恵器	壷瓶		1/4		(8.0)		茶灰～暗灰	暗灰	ロクロナデ 外：回転ヘラ削り 付高台後ナデ 底部：回転ヘラ削り
278	A区	T-16	トレンチ2-NE	灰釉陶器	椀		1/6		(7.4)		灰白	灰白	ロクロナデ 内：見込み-重ね焼き痕 外：付高台後ナデ 底部：回転糸切り 丸石2
279	A区	T-15	トレンチ3-NE	灰釉陶器	椀		1/8		(6.6)		灰白	灰白	ロクロナデ 内：見込み-使用痕 外：付高台後ナデ 底部：回転糸切り 釉：刷毛
280	A区	ST-01	サブトレ2-SW	土師器	甕B		1/4		(8.6)		暗褐	暗褐	ロクロナデ 内：工具ナデ 底部：ナデ
281	A区	ST-02	サブトレ3-NW	土師器	甕B		1/6		(10.0)		褐	褐	ロクロナデ 内：ハケメか
282	A区	ST-03	サブトレ1-NW	黒色土器A	椀		1/4		(5.8)		暗褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(単位不明)後黒色処理 外：付高台後ナデ 底部：回転糸切り
283	A区	ST-08	サブトレ3-NW	須恵器	壷B	1/4		(14.1)			茶灰	暗灰	ロクロナデ 外：回転ヘラ削り 口縁：ヨコナデ
284	A区	ST-05	サブトレ3-NW	須恵器	杯A	一部残	1/8	(13.2)	(7.6)	4.2	灰	灰	ロクロナデ 内：火だすき痕、見込み-使用痕 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
285	A区	ST-06	サブトレ1-NW	須恵器	杯A	1/4	1/3	(13.0)	(7.2)	3.9	灰	灰	ロクロナデ 内外：火だすき痕 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
286	A区	ST-04	サブトレ-NE	須恵器	杯A		1/2		(5.6)		暗灰	暗灰	ロクロナデ 底部：回転糸切り
287	A区	ST-07	サブトレ1-NW	須恵器	杯B		1/3		(7.0)		灰	灰	ロクロナデ 外：付高台後ナデ 内：回転ヘラ削りか
288	A区	ST-09	サブトレ1-NW	須恵器か	長頸壷C		完		6.2		灰白	灰白	ロクロナデ 外：一部回転ヘラ削りか 底部：回転糸切り 全体に歪む
289	A区	検-03	検出面No.78	黒色土器A	杯A	1/4	完	(13.2)	5.8	3.9	灰褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(単位不明)後黒色処理 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
290	A区	検-04	検出面No.101	黒色土器A	杯A	1/2	完	(13.4)	5.8	4.5	褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(単位不明)後黒色処理 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
291	A区	検-01	検出面No.84	黒色土器A	杯A		1/2		(6.4)		褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(放射状、横)後黒色処理 底部：回転糸切り
292	A区	検-02	検出面No.32	黒色土器A	杯A		完		6.4		淡褐	黒	ロクロナデ 内：ミガキ(単位不明)後黒色処理 底部：回転糸切り
293	A区	検-05	検出面No.101	土師器	盤B		1/4		(9.0)		褐	褐	ロクロナデ 外：付高台後ナデ
294	A区	検-07	検出面No.22	須恵器	円面硯	1/6		(10.4)			灰	灰	口縁：貼り付け後ヨコナデ 見込み：ロクロナデ、 使用痕あり 外：ロクロナデ後沈線 底部：ロクロナデ
295	A区	検-15	検出面NW	須恵器	不明	1/3		(7.0)			暗灰褐	暗灰褐	ロクロナデ 内：ミコミ(?)部剥離 胴(?)部：貼り付け、単位不明 口縁：ヨコナデ 本体下端に破断面あり
296	A区	検-11	検出面NE	白磁	碗	1/10		(14.8)			灰白	灰白	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ 釉調：灰白色
297	A区	検-12	検出面NE	白磁	碗	1/8		(14.0)			灰白	灰白	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ 釉調：灰白色 玉縁口縁
298	A区	検-08	検出面No.31	青磁	碗						灰白	灰白	ロクロナデ 内：沈線 外：削り 釉調：暗緑色、ガラス質 龍泉窯
299	A区	検-13	検出面NE	山茶碗	碗		1/3		(6.8)		淡黄灰	淡黄灰	ロクロナデ 内：見込みに使用痕 外：付高台後ナデ、モミor植物の圧痕 底部：回転ヘラ削り
300	A区	検-14	検出面NE	山茶碗	碗		1/3		(6.0)		淡黄灰	淡黄灰	ロクロナデ 外：付高台後ナデ、モミor植物の圧痕 底部：回転糸切り
301	A区	検-06	検出面No.1	土器	須恵質擂鉢	1/8		(26.6)			灰	灰	手づくね 内：工具ナデ、沈線 外：削り 口縁：ヨコナデ
302	A区	検-10	検出面No.4	陶器	蓮弁文壷						灰	灰	ロクロナデ 内：輪積み痕あり 外：蓮弁文、自然釉(暗緑色)付着 渥美窯
303	A区	検-09	検出面No.9	土製品	羽口	1/3		外径:7.5	内径:2.1		灰～暗褐、一部黒変	褐、一部黒変	外：指ナデ 一部被熱・溶滓付着
304	B区	91住-02	91住ベルトS	土師器	甕A	1/16		(26.0)			暗褐～黒褐	暗褐	内外：工具ナデ 口縁：ヨコナデ
305	B区	91住-03	91住SEフク上	土師器	甕A		完		6.9		褐～黒褐	淡褐	内外：工具ナデ 底部：木葉痕
306	B区	91住-06	91住NWフク上	土師器	甕B		1/3		(7.0)		黒褐	暗褐	内：工具ナデ 外：ハケメ 底部：木葉痕か
307	B区	91住-08	N219 E207	土師器	甕		1/3		(5.8)		褐	淡褐	内外：工具ナデ 底部：ナデ
308	B区	91住-11	N216 E207	土師器	甕A		1/4		(6.4)		淡褐～暗褐	淡褐	内：工具ナデ 外：ナデ 底部：木葉痕か
309	B区	91住-04	91住No.2	土師器	甕A		1/2		(7.2)		褐	褐	内外：工具ナデ 内：輪積み痕 底部：ナデ
310	B区	91住-07	91住P1	土師器	甕		1/4		(9.2)		暗褐	淡褐	内外：工具ナデ 底部：ナデ
311	B区	91住-10	91住P1	土師器	小型甕A		1/4		(6.6)		褐	褐	内外：工具ナデ 底部：工具ナデ
312	B区	91住-15	91住No.15	土師器	甕A		一部欠		(7.6)		暗褐～黒褐	暗褐	内外：工具ナデ 底部：工具ナデ
313	B区	91住-13	91住P1	土師器	甕A	1/6		(27.0)			褐～暗褐	褐	内外：工具ナデ 外：輪積み痕 口縁：ヨコナデ
314	B区	91住-14	91住No.1	土師器	甕A	1/3		(22.6)			暗褐	暗褐	内外：工具ナデ 内：輪積み痕 口縁：ヨコナデ
315	B区	91住-09	91住P1	土師器	小型甕A	1/6		(12.2)			褐	褐	内外：工具ナデ 口縁：ヨコナデ
316	B区	91住-01	N219 E210	土師器	小型甕	1/6		(14.0)			褐	暗褐	内外：ナデ 口縁：ヨコナデ
317	B区	91住-16	91住カマドS	土師器	小型甕A	3/4	完	(26.4)	13.5	26.3	褐～暗褐	褐～黒褐	内外：工具ナデ 内：輪積み痕、スス付着 口縁：ヨコナデ
318	B区	91住-30	91住P1	土師器	甕B	1/6		(27.0)			褐	暗褐	工具ナデ 内：輪積み痕 外：ハケ目 口縁：ヨコナデ
319	B区	91住-31	91住P1	土師器	甕B		一部欠		7.2		暗褐	暗褐	内外：工具ナデ 内：輪積み痕 外：ハケメ 底部：木葉痕
320	B区	91住-12	N216 E204	土師器	杯		1/12		(6.8)		淡褐	黒	内：ミガキ(放射状、横)後黒色処理 外：磨滅不明
321	B区	91住-29	91住床面直上	須恵器	高盤B	1/2	3/4	23.2	(13.4)	7.2	淡黄灰	淡黄灰	ロクロナデ 外：回転ヘラ削り、付高台後ナデ 口縁ヨコナデ
322	B区	91住-28	91住床面直上	須恵器	高盤	1/2		(24.3)			白灰	白灰	ロクロナデ 外：回転ヘラ削り、付高台後ナデ 口縁：ヨコナデ
323	B区	91住-22	91住SEフク土	須恵器	蓋B	1/8		(8.8)			灰	灰	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ
324	B区	91住-24	91住No.29	須恵器	蓋B	1/2		(13.8)		2.6	灰	灰	ロクロナデ 外：上半-回転ヘラ削り ツマミ：貼り付け後ナデ 口縁：ヨコナデ
325	B区	91住-23	N216 E110	須恵器	蓋B	1/10		(15.2)		3.4	淡灰	淡灰	ロクロナデ ツマミ：貼り付け後ナデ 口縁：ヨコナデ
326	B区	91住-25	91住フク土	須恵器	蓋B	1/4		(15.2)			灰	灰	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ
327	B区	91住-26	91住No.11	須恵器	高杯A	1/3		(15.6)			淡褐	淡褐	ロクロナデ 外：杯部下半-回転ヘラ削り、脚部貼り付け(欠損) 口縁：ヨコナデ
328	B区	91住-17	91住No.21	須恵器	杯A	7/8	完	13.2	6.0	3.9	灰～暗灰	暗灰	ロクロナデ 底部：ヘラ切り後ナデ 口縁：ヨコナデ

No.	区	実測番号	出土地点	種別	器種	残存度		法量 ( )内は復元値			色調		整形・調整・形態の特徴等
						口径	底部	口径	底部	器高	外面	内面	
329	B区	91住-18	91住No.3	須恵器	杯A	3/4	一部欠	14.1	7.0	4.9	淡灰	淡灰	ロクロナデ　底部：ヘラ切り後工具ナデ
330	B区	91住-19	91住SEフク土	須恵器	杯A	1/6		(13.6)			暗灰	灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ
331	B区	91住-20	91住No.16	須恵器	杯A	3/4	完	12.6	4.6	4.6	灰～暗灰	暗灰	ロクロナデ　底部：ヘラ切り後ヘラ削り、ヘラ記号　口縁：ヨコナデ
332	B区	91住-21	91住No.39	須恵器	椀か	1/4	1/2	(14.4)	(5.6)	8.1	灰	灰	ロクロナデ　外：沈線、下半ヘラ削り　底部：ヘラ切り後工具ナデ　口縁：ヨコナデ
333	B区	91住-27	91住No.38	須恵器	円面硯	完	1/2	11.3	(19.4)	5.4	灰～黒灰	灰	ロクロナデ　脚部：貼り付け　口縁・脚端部：ヨコナデ　スカシ：ヘラ状工具によるくりぬき(推定24単位)　硯面に使用痕
334	B区	91住-06	91住SEフク土	土師器	高杯		1/2		(6.4)		淡褐	褐	内：ナデ　外：ミガキか(磨滅著しい)　裾部：剥離
335	B区	93住-01	93住No.1	須恵器	甕B						白灰	白灰	内：磨滅不明　外：タタキメ、高台剥離
336	B区	土52-01	土1フク土	土師器	高杯	1/6		(20.4)			褐	暗褐	内外：ミガキ(磨滅著しい)　口縁：ヨコナデ
337	B区	土54-01	土3フク土	土師器	甕	1/6		(19.0)			褐	褐	内外：工具ナデ　口縁：ヨコナデ
338	C区	97住-04	97住No.7	土師器	甕B	1/5		(24.6)			褐	褐	内：ロクロナデ　外：ハケ目　口縁：ヨコナデ
339	C区	97住-05	97住No.9	土師器	甕B	1/8		(23.9)			淡褐～暗褐	淡褐～暗褐	ロクロナデ、内：一部工具ナデか　外：ハケ目　口縁：ヨコナデ
340	C区	97住-02	97住No.1	土師器	小型甕D	1/3	完	16.8	8.4	10.7	褐～暗褐	褐	ロクロナデ　内：一部黒変　外：火だすき痕　底部：回転糸切り　口縁：ヨコナデ
341	C区	97住-03	97住No.9	土師器	甕B		一部		(9.6)		褐～暗褐	淡褐	内外：ハケ目　外：下端削り　底部：ナデ
342	C区	97住-01	97住No.3	須恵器	杯A	3/4	5/6	13.3	6.7	4.8	灰～淡灰	灰	ロクロナデ　底部：ヘラ切り後ナデ　口縁：ヨコナデ
343	C区	98住-01	98住Efフク土	土師器	杯D	1/8		(11.6)			暗褐	暗褐	内：ミガキか(磨滅)　外～底部：削り　口縁：ヨコナデ
344	C区	98住-02	98住フク土	土師器	杯D	1/8	1/8	(10.2)	(7.0)		褐～暗褐	褐～暗褐	内：ミガキか(磨滅)　外～底部：削り(磨滅)　口縁：ヨコナデ
345	C区	99住-01	99住No.3	土師器	甕B	ほぼ完		(19.9)			暗褐～褐	褐～暗褐	ロクロナデ　内：輪積み痕、ハケ目後工具ナデ　外：輪積み痕、ハケ目、一部黒変　下端手持ちヘラ削りか　口縁：ヨコナデ
346	C区	99住-07	99住No.1	土師器	甕A	1/2		20.9			褐～暗褐	褐	内外：輪積み痕、工具ナデ、外：下端手持ちヘラ削り　口縁：ヨコナデ
347	C区	99住-06	99住Wフク土	土師器	甕Aか		1/16		(11.4)		橙褐	淡褐～暗褐	内：指ナデ　外～底部：磨滅不明
348	C区	99住-04	99住No.2	土師器	杯D	1/3	ほぼ完	(13.2)	12.6	4.6	褐～暗褐	淡褐～淡灰褐	内：ミガキ(磨滅)　外：手持ちヘラ削り　底部：手持ちヘラ削り　口縁：ヨコナデ
349	C区	99住-02	99住カマド	土師器	杯D	1/4		(13.2)			褐～暗褐	黒	内：ミガキ後黒色処理　外：ナデ、下端～底部：手持ちヘラ削り　口縁：ヨコナデ
350	C区	99住-03	99住Eフク土	土師器	杯Dか	1/5		(17.8)			褐～黒	褐～黒	内：ミガキ後黒色処理　外：ミガキ　底部：手持ちヘラ削り(磨滅)　口縁：ヨコナデ
351	C区	102住-03	102住No.1	土師器	小型甕	1/8		(12.1)			暗褐	黒～黒褐	内：工具ナデ後ミガキ(磨滅)後黒色処理　外：工具ナデ(磨滅)　口縁：ヨコナデ
352	C区	102住-04	102住No.1	土師器	小型甕	2/5		(12.8)			橙褐～暗褐	黒褐	内：工具ナデ・ミガキ後黒色処理　外：ナデ　口縁：ヨコナデ
353	C区	102住-07	102住No.2	土師器	小型甕		3/4		6.3		暗褐	暗褐～黒褐	内：工具ナデ　外ナデか(磨滅)　底部：ナデ
354	C区	102住-09	102住No.7	土師器	甕	1/3		(19.4)			淡褐、一部黒変	褐～暗褐	内・外：輪積み痕、工具ナデ　口縁：ヨコナデ
355	C区	102住-11	102住No.5	土師器	甕	1/6	完	(18.8)	5.9	40.8	褐～暗褐	褐～暗褐	内外：輪積み痕、工具ナデ　底部：木葉痕、ナデ　口縁：ヨコナデ
356	C区	102住-08	102住No.5	土師器	甕	1/4		(24.1)			橙褐	橙褐	内：指頭圧痕・工具ナデ　外：工具ナデ(磨滅)　口縁：ヨコナデ
357	C区	102住-06	102住No.5	土師器	甕	1/6		(24.4)			橙褐～黒褐	褐	内外：ナデ(磨滅)　口縁：ヨコナデ
358	C区	102住-10	102住No.3	土師器	甕	ほぼ完	完	14.7	7.3	24.7	褐、黒変	褐～暗褐	内外：輪積み痕、工具ナデ　口縁：ヨコナデ　底部：木葉痕、ナデ
359	C区	102住-02	102住カマド	土師器	甑	1/16		(22.2)			淡褐	淡褐～淡灰褐	ロクロナデ　外：ハケ目(磨滅)　口縁：ヨコナデ
360	C区	102住-01	102住NEフク土	須恵器	杯D	1/8		(10.3)			褐	橙褐	ロクロナデ　外：回転ヘラ削り　口縁：ヨコナデ
361	C区	103住-01	103住E-Wベルト	灰釉陶器	椀		1/2		(7.0)		淡灰	淡灰	ロクロナデ　外：付高台後ナデ　底部：回転ヘラ削り　丸石2
362	C区	104住-04	104住NEフク土	須恵器	高杯						灰	灰	ロクロナデ　脚部：上半・下半に透かし、中位に沈線
363	C区	104住-02	104住SEフク土	土師器	高杯						橙褐	黒	内：ミガキ後黒色処理　外：工具ナデ後ミガキ　脚部：内面削り、端部：ヨコナデ
364	C区	104住-01	104住フク土	土師器	甕		1/4		5.6		橙褐	橙褐	内：工具ナデ　外：ナデ、一部ハケ目　底部：ナデか
365	C区	104住-05	104住No.1	土師器	甕	1/3	1/2	(18.1)	(9.6)	34.7	淡褐～黒褐	淡褐～黒褐	内外：輪積み痕、工具ナデ　外面：スス付着　底部：木葉痕　口縁：ヨコナデ
366	C区	104住-03	104住No.2	土師器	羽釜	1/3		20			黄褐	黄褐	内：工具ナデ・ハケ目　外：工具ナデ、僅かにハケ目　鍔部：欠損　口縁：ヨコナデ
367	C区	105住-05	105住No.1	土師器	甕	ほぼ完	1/3	18.1	(7.3)	30.2	褐～暗褐	褐	内外：輪積み痕、工具ナデ　外：下半～底部削り　口縁：ヨコナデ
368	C区	106住-04	105住フク土	土師器	甕		1/12	(17.0)			淡橙褐	橙褐	内：工具ナデ　口縁：ヨコナデ
369	C区	105住-01	105住No.1	須恵器	高杯						青灰～赤灰	青灰	ロクロナデ　外：杯部下半削りか　脚部透かし
370	C区	106住-03	105住フク土	須恵器	杯or蓋						青灰	薄青灰	ロクロナデ、口縁：ヨコナデ
371	C区	106住-02	106住NWフク土	須恵器	擂鉢		1/6		(10.4)		灰	灰	ロクロナデ　内：欠損不明　底部：手持ちヘラ削り
372	C区	106住-01	106住SEフク土	土師器	杯or高杯	1/8		(14.6)			橙褐～赤褐	橙	表面磨滅、調整不明
373	C区	107住-06	107住SEフク土	土師器	甕B	1/6		(15.0)			橙褐	橙褐	内：ナデ、口縁付近ハケ目　外：ハケ目　口縁：ヨコナデ
374	C区	107住-04	107住SEフク土	須恵器	蓋A	1/6		(10.4)			灰	薄青灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ
375	C区	107住-01	107住フク土	須恵器	杯	1/6		(12.6)			青灰	青灰	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ
376	C区	107住-02	107住フク土	須恵器	杯	1/10		(13.6)			灰	灰白	ロクロナデ　口縁：ヨコナデ　有台か
377	C区	107住-05	107住SWフク土	須恵器	高杯						灰白	灰白	ロクロナデ、磨滅著しい
378	C区	107住-03	107住NWフク土	須恵器	鉢						灰白	灰白	ロクロナデ　内：口縁付近に沈線か
379	C区	108住-01	108住No.1	須恵器	杯		完		8.4		薄橙	橙	ロクロデ　底部：ヘラ切り後僅かにハケ目
380	C区	110住-08	110住フク土	土師器	甕	1/8		(18.6)			暗褐～橙褐	暗褐～橙褐	内：工具ナデ　外：ハケ目　口縁：ヨコナデ
381	C区	110住-09	110住フク土	土師器	甑		1/3		(10.0)		黄橙	赤橙	内：工具ナデか　外：工具ナデ　下端：削り
382	C区	110住-05	110住フク土	土師器	甕		1/2		(6.6)		褐	灰褐	内外・底部：工具ナデ
383	C区	110住-04	110住フク土	土師器	甕		1/4		(7.6)		橙褐	褐	内外：工具ナデ

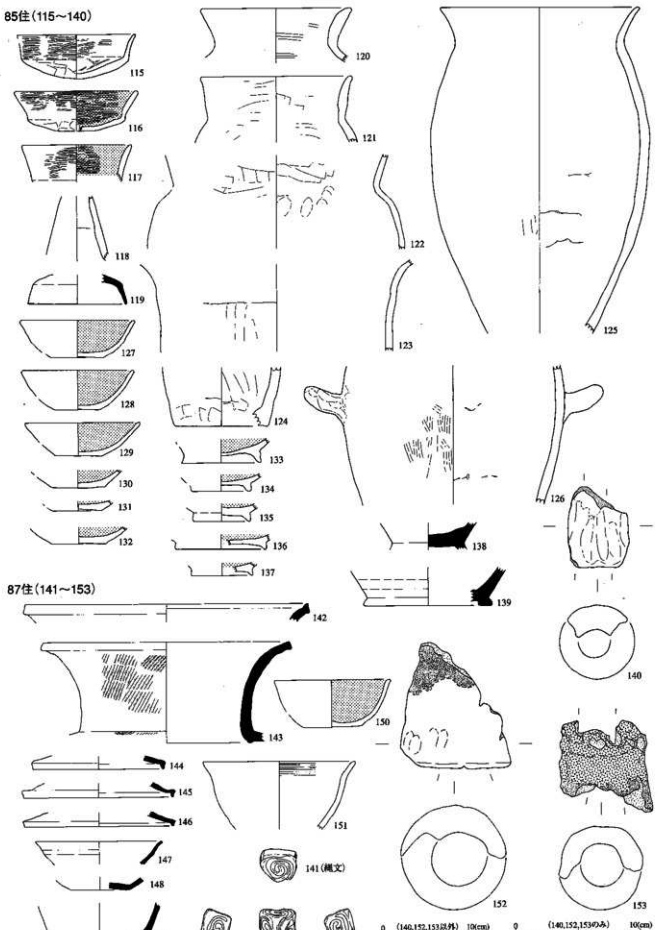
No.	区	実測番号	出土地点	種別	器種	残存度		法量 ( )内は復元値			色調		整形・調整・形態の特徴等
						口径	底部	口径	底部	器高	外面	内面	
384	C区	110住-06	11住フク土	土師器	甕		1/4		(8.5)		橙	橙	内：ナデ・工具ナデ(磨滅) 外：ナデ(磨滅)
385	C区	110住-01	110住フク土	土師器	杯	1/10		(13.8)		3.5	浅橙～橙	黒	内：ミガキか(磨滅、不明)後黒色処理 外：ミガキ(磨滅) 底部：磨滅不明
386	C区	110住-03	110住No.1	土師器	杯						褐、一部黒変	黒	内：ミガキか(磨滅、不明)後黒色処理 外上半-磨滅 下半-手持ちヘラ削り(磨滅)
387	C区	110住-02	110住フク土	土師器	杯						浅橙	灰褐	内：ミガキか(磨滅、不明) 外：上半-強いヨコナデ 下半：手持ちヘラ削りか(磨滅)
388	C区	110住-10	110住No.2	土師器	杯A	1/6	2/3	(9.6)	4.7	2.1	浅橙	浅橙	ロクロナデ 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
389	C区	110住-12	110住カマド	土師器	杯A	1/3	完	(15.2)	6.6	4.6	浅橙	灰褐	ロクロナデ 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
390	C区	110住-11	110住No.1	土師器	杯A	1/4		(14.7)			橙褐	浅橙	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ
391	C区	110住-07	110住No.1	土師器	杯か	1/4	1/4	(23.3)	(14.4)	6.0	橙～褐	浅橙	内外：ナデ(磨滅、ロクロの使用は不明)、底部：手持ちヘラ削りか(磨滅)
392	C区	111住-09	11住No.7	土師器	羽釜	1/16		(27.0)			暗褐	黒褐	内：ハケ目 外：ナデ(磨滅) 鍔：貼り付け後工具ナデ 口縁：工具ナデ
393	C区	111住-02	111住カマド	土師器	杯A	1/8	1/2	(10.4)	(5.2)	2.5	浅黄橙	浅黄橙	ロクロナデ 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
394	C区	111住-01	111住No.1	土師器	杯A	1/3	完	(10.5)	6.1	2.4	浅橙	浅橙	ロクロナデ 底部：回転糸切り 口縁ヨコナデ
395	C区	111住-04	111住No.2	土師器	皿	1/6		(16.0)			黄褐	褐	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ
396	C区	111住-08	111住カマド	土師器	椀	1/8		(15.4)			橙褐	褐	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ
397	C区	111住-03	111住No.5	黒色土器A	椀	完	3/4	9.3	5.1	4.1	浅橙	黄橙	ロクロナデ 内：ミガキ(黒色処理されていない)、スス付着、付高台後ナデ
398	C区	111住-06	111住フク土	灰釉陶器	椀	1/8		(15.4)			灰白	灰白	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ 丸石2
399	C区	111住-07	111住フク土	灰釉陶器	椀	1/8		(14.6)			灰白	灰白	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ 丸石2か
400	C区	111住-05	111住No.6	灰釉陶器	椀		完		7.3		灰白	灰白	ロクロナデ 外：付高台後ナデ 底部：回転糸切り
401	C区	112住-03	112住No.3	土師器	小型甕	1/2	完	(12.8)	8.6	18.9	暗褐	暗褐	内：輪積み痕、指頭圧痕、工具ナデ 外：輪積み痕、工具ナデ 底部：工具ナデ
402	C区	112住-02	112住No.4	土師器	小型甕	一部残	完	(12.6)	10.5	14.6	淡褐～暗褐	黒褐	内外：輪積み痕、工具ナデ 底部：工具ナデor削り
403	C区	112住-01	112住カマド	土師器	甕		1/3		(7.5)		褐	褐	内外：工具ナデ 底部：ナデ
404	C区	112住-04	112住No.1	土師器	甕	完	完	16.2	5.8	24.9	褐～暗褐	黒褐～暗褐	内外：輪積み痕、工具ナデ 底部：ナデ 口縁：ヨコナデ
405	C区	112住-05	112住No.6	土師器	甕	一部欠	完	20.2	6.9	38.4	暗褐～黒褐	淡褐～暗褐	内外：輪積み痕、工具ナデ 外：スス付着 底部：木葉痕 口縁：ヨコナデ
406	C区	113住-01	113住フク土	土師器	椀B	1/4	ほぼ完	(9.2)	(4.4)	2.9	褐	淡褐	ロクロナデ 外：付高台後ナデ 底部：回転糸切りか 口縁：ヨコナデ
407	C区	113住-02	113住No.3	土師器	椀B	ほぼ完	ほぼ完	9.5	4.9	3.4	褐	褐	ロクロナデ 外：付高台後ナデ 底部：ナデ 口縁：ヨコナデ
408	C区	113住-03	113住No.3	灰釉陶器	短頸壷	1/2		12.6			灰	灰	ロクロナデ 外：胴部-回転ヘラ削り 口縁：ヨコナデ 施釉：刷毛掛け(刷毛跡が明瞭に残る)
409	C区	土24-01	土24フク土	土師器	甕		完		6.8		暗褐～黒褐	褐	内：工具ナデ 外：ハケ目 底部：植物の圧痕
410	C区	土26-01	土26フク土	青白磁	輪花皿	1/6		(10.5)			青白	青白	型づくり 輪花：単位不明 素地：白色
411	C区	土32-01	土32フク土	土師器	鉢	1/6		(11.6)			褐	黒褐	ミガキ(磨滅)後黒色処理
412	C区	土32-02	土32フク土	灰釉陶器	椀		1/4		(7.6)		白灰～黄灰	黄灰	ロクロナデ 内：ミコミに使用痕 外：付高台後ナデ 底部：回転糸切り
413	C区	P68-01	P68フク土	土師器	甕		2/3		(6.8)		暗褐	淡褐	内：工具ナデ 外：工具ナデか 底部：ナデ
414	C区	P117-01	P117フク土	土師器	甕	1/6		(22.0)			褐	褐	内：工具ナデ 外：工具ナデ、ハケ目 口縁：ヨコナデ
415	C区	流路1-01	流路1フク土	青磁	碗		1/2		(4.3)		淡緑	淡緑	ロクロナデ 内：ミコミに使用痕・朱墨痕 外：回転ヘラ削り、削り出し高台 底部：回転ヘラ削り 素地：黄灰色
416	C区	G-01	N132 E228	須恵器	甕	1/4		(13.2)			暗灰	暗灰	ロクロナデ 頸部：貼り付け 口縁：ヨコナデ
417	C区	G-02	N129 E231	須恵器	壷	1/12		(13.8)			黒灰	暗灰	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ
418	C区	検-01	検出面No.11	土師器	甕		完		6.2		褐、一部黒変	暗褐	内：工具ナデ 外：工具ナデか(磨滅) 底部：ナデ
419	C区	検-03	検出面No.9	土師器	甕	1/4	完	(15.8)	6.0	34.0	褐～黒褐	暗褐	内外：輪積み痕、ナデ、指頭圧痕 底部：ナデ 口縁：ヨコナデ
420	C区	検-02	検出面No.2	土師器	甕	1/8		(26.6)			暗褐	暗褐	内外：輪積み痕、工具ナデ 口縁：ヨコナデ
421	D区	集石-01	集石7	須恵器	杯A	一部残	1/3	(11.5)	(7.3)	2.9	淡灰～灰	淡灰～灰	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ 底部：ヘラ切り後手持ちヘラ削り
422	D区	集中-02	遺物集中範囲No.4	土師器	小型甕B	一部残		(18.0)			暗褐	暗褐	ロクロナデ 内：工具ナデ、口縁付近-カキ目 外：ハケ目 口縁：ヨコナデ
423	D区	集中-01	遺物集中範囲	黒色土器A	杯A	1/8	3/8	(11.4)	(4.8)	3.8	淡褐	黒	ロクロナデ内：ミガキ(単位不明)後黒色処理 口縁：ヨコナデ 底部：回転糸切り
424	D区	T-01	トレンチ3	須恵器	甕		1/8		(12.6)		灰～暗灰	暗灰	内：ナデ 外：タタキメ、下半に手持ちヘラ削り 底部：ナデ
425	D区	T-02	トレンチ5	須恵器	杯A	1/8	完	12.3	5.5	3.8	暗灰	暗灰	ロクロナデ 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
426	D区	検-01	検出面	土師器	甕B		3/4		(7.8)		褐～暗褐	褐	内：ナデ、ミコミ部に指頭圧痕 外：ハケ目 底部：ナデ
427	D区	検-02	検出面	土師器	杯か		1/8		(21.4)		暗褐	黒	内：磨滅不明、黒色処理、炭化物付着 外：付高台後ナデ 底部：磨滅不明
428	D区	検-04	検出面	須恵器	杯A		1/6		7.2		灰	灰	ロクロナデ 底部：ヘラ切り後回転ヘラ削り、ヘラ記号
429	D区	検-03	検出面	須恵器	杯A	1/16	1/5	(14.4)	(11.4)	4.2	暗灰	灰	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ 底部：ヘラ切り後回転ヘラ削り、ヘラ記号
430	E区	溝-01	溝No.2	須恵器	蓋B	1/4		(14.6)			灰	灰	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ
431	E区	石列-01	石列	土師器	杯A	1/3	1/4	(14.0)	(6.4)	3.9	褐	褐	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ 底部：磨滅不明
432	E区	石列-02	石列	須恵器	杯B	1/5	2/3	(15.0)	(8.9)	7.2	灰	灰	ロクロナデ 外：付高台後ナデ 底部：回転糸切り 口縁：ヨコナデ
433	E区	G-01	N300 E130	須恵器	杯B	1/12	1/8	(15.4)	(9.5)	6.6	灰～暗灰	灰～暗灰	ロクロナデ 外：下半-回転ヘラ削り、付高台後ナデ 口縁：ヨコナデ
434	E区	G-02	N315 E130	須恵器	甕	一部残		(28.2)					ロクロナデ 内：当て具痕 外：タタキメ 口縁：ヨコナデ
435	E区	検-02	検出面No.2	青磁	碗	1/8		(14.4)			淡緑	淡緑	ロクロナデ 内：沈線よる施紋 口縁：ヨコナデ 素地：灰色 同安窯
436	E区	検-03	検出面No.2	青磁	皿or鉢	1/12		(15.4)			青灰	青灰	ロクロナデ 口縁：ヨコナデ 素地：灰色 龍泉窯
437	E区	検-01	検出面No.137	陶器	碗	1/9		(14.3)			黄灰	黄灰	ロクロナデ 外：沈線 口縁：ヨコナデ 素地：淡灰色 古瀬戸
438	E区	検-04	検出面No.215	陶器	壷		1/3		(8.2)		灰	灰	ロクロナデ 内：工具ナデ 外：下半-手持ちヘラ削り 底部：ナデ 東海系無釉陶器(常滑窯)



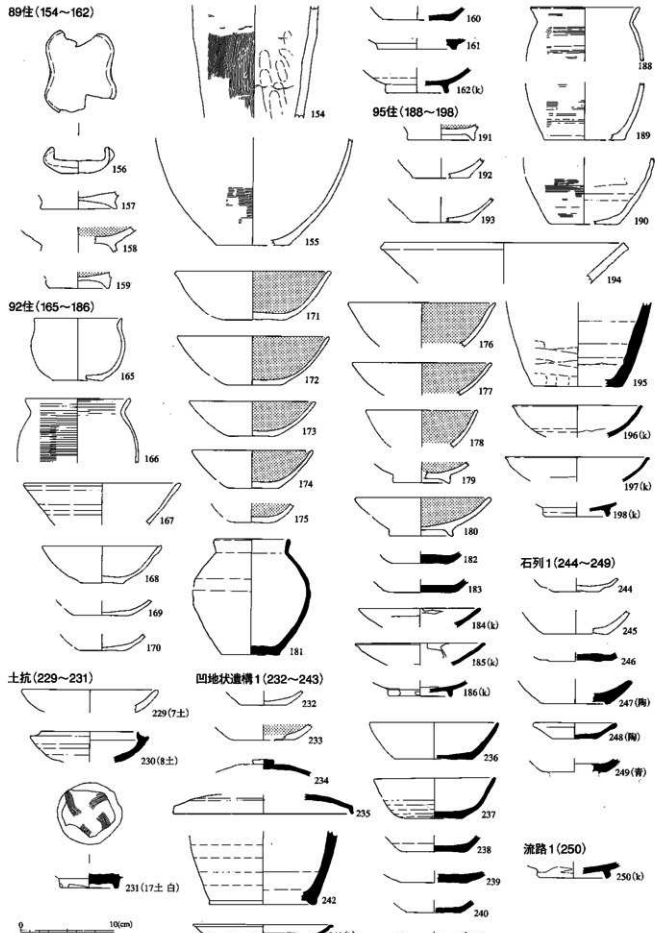
第21図　土器・陶磁器(A地区1)



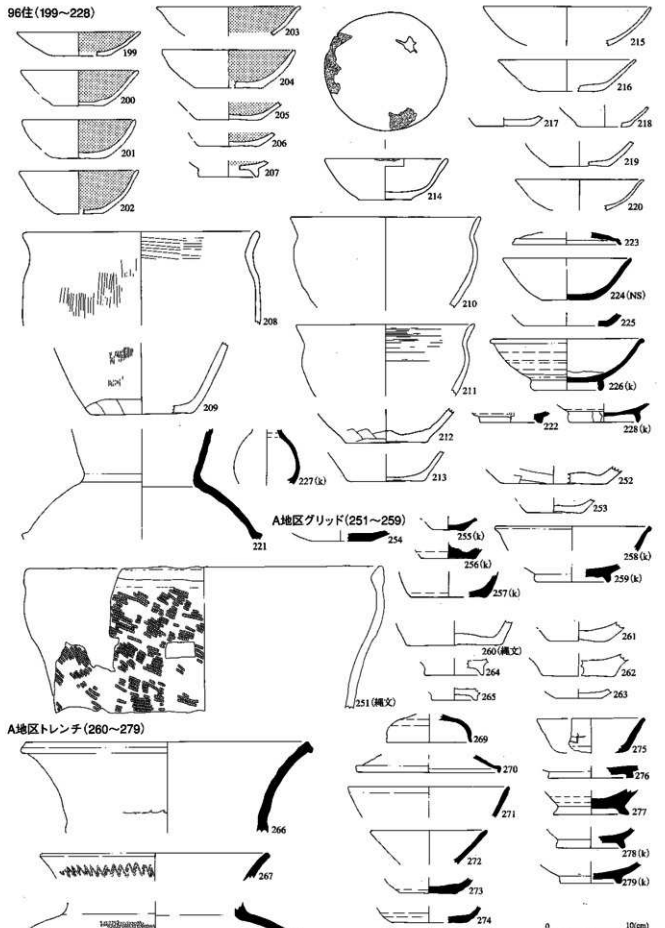
第22図　土器・陶磁器(A地区2)



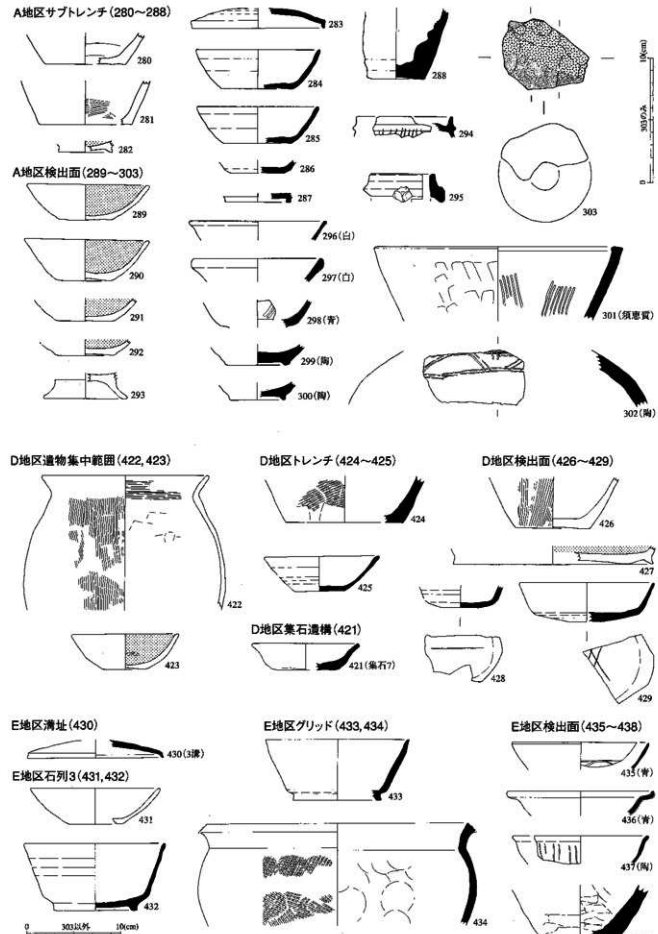
第23図　土器・陶磁器(A地区3)



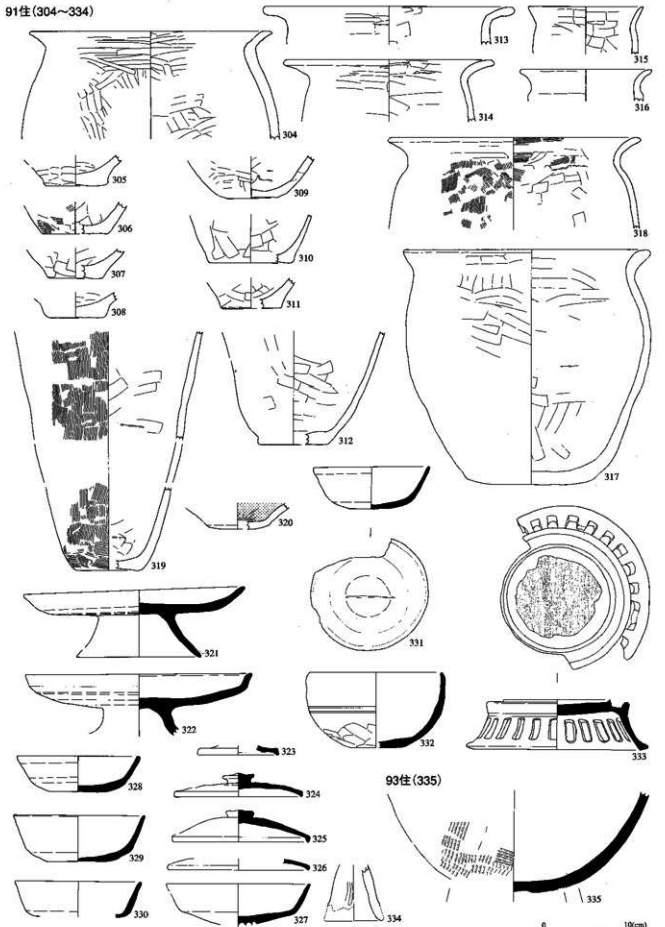
第24図　土器・陶磁器(A地区4)



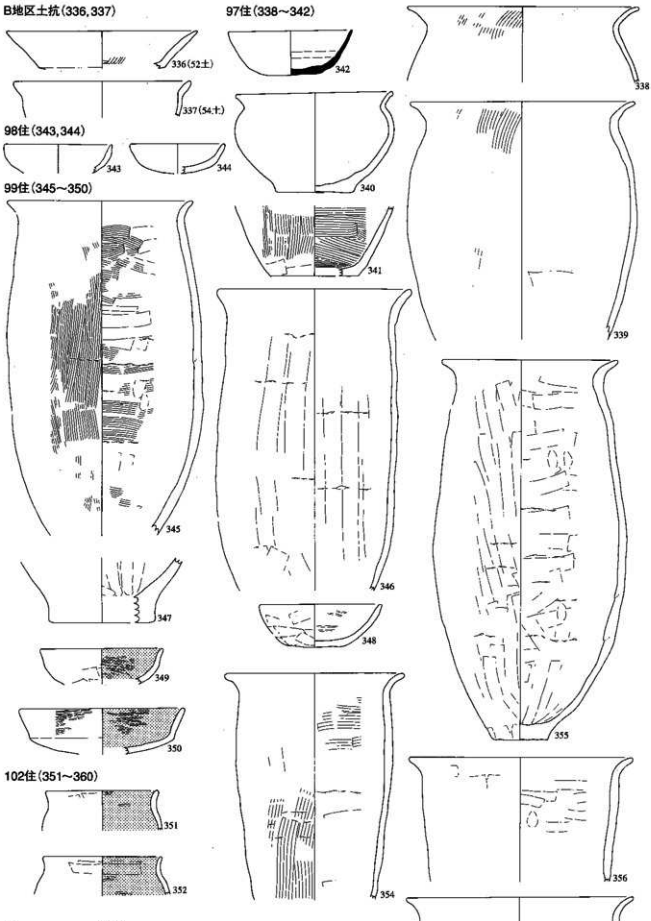
第25図　土器・陶磁器(A地区5)



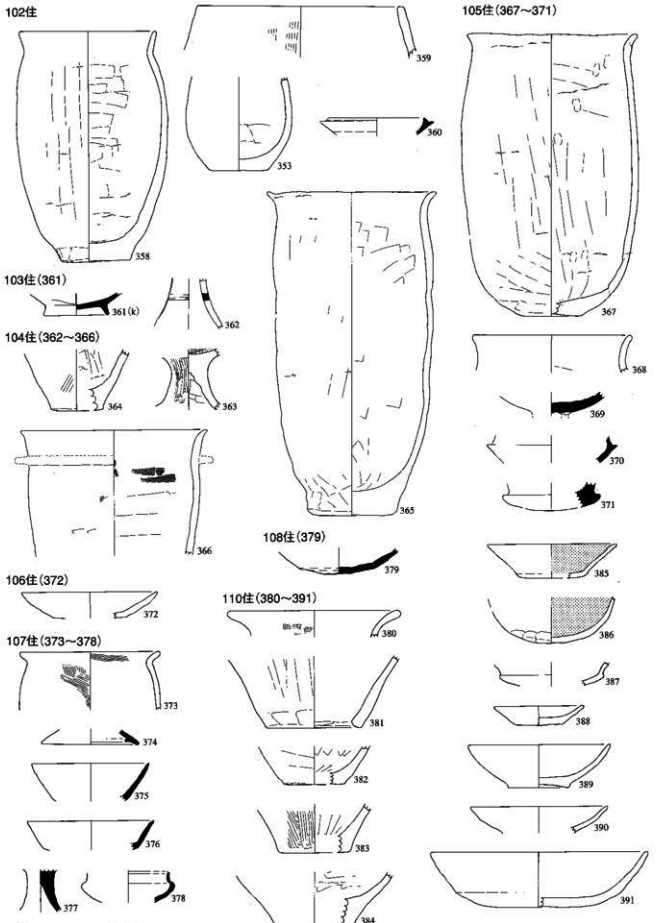
第26図　土器・陶磁器(A地区6, D, E地区)



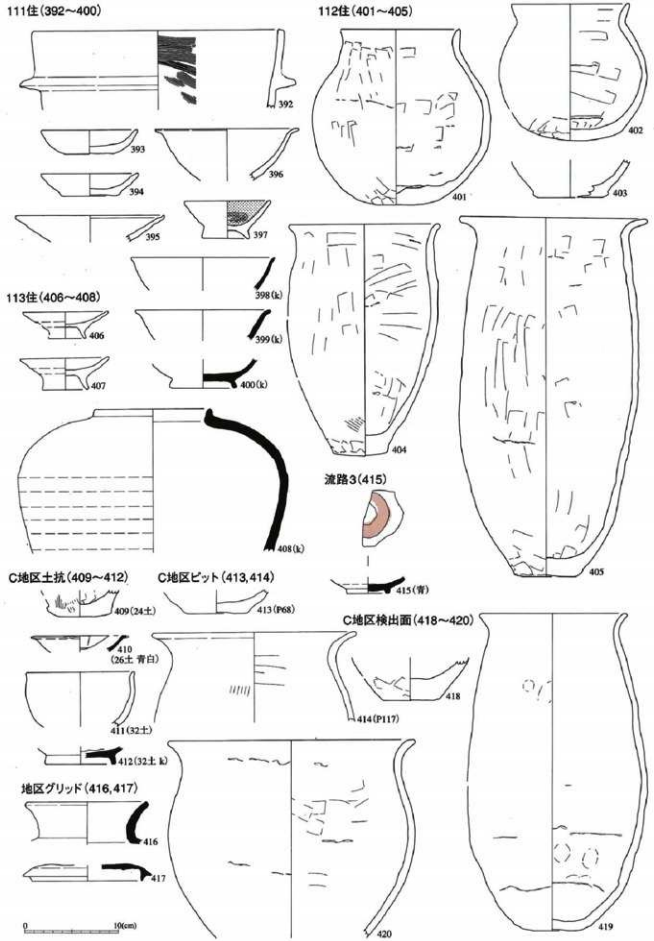
第27図　土器・陶磁器(B地区1)



第28図　土器・陶磁器(B地区2, C地区1)



第29図　土器・陶磁器(C地区2)



第30図　土器・陶磁器(C地区3)

2 古瓦

今回の調査で出土した古瓦には、(1)鴟尾、(2)軒丸瓦、(3)軒平瓦、(4)隅平瓦、(5)丸瓦、(6)平瓦、(7)不明瓦質製品があり、総数は1,258点を数え、総重量は、206kg以上ある。全てが破片で、完形品はない。発掘現場においては、古瓦を確認した時点で、調査地区毎に1から順番に番号を付け、出土地点を記録している。今回の報告にあたっては、新たに番号を付け直さず、そのまま調査地区と番号との組み合わせ（例えば、A地区で6番目に出土した破片はA006）で報告していく。このため、出土を確認した時点で、土器等を古瓦として誤認したため、欠番が生じたり、複数の瓦片に1つの番号を付けて、後に枝番（例えば、A001_1とA001_2）を付けた資料もある。また、古瓦片を土器等と誤認し、出土地点が記録できなかったものも若干ある。異なる地点から出土し、整理作業時に接合した破片については、破片毎の番号とは別に、接合破片全体の番号（接合した破片のうち、最も数の小さい番号の前に接合番号を意味するRを冠した、例えばD001とD825が接合した場合RD001）もつけた。個々のデータは、計測が可能な1,377点について、鴟尾片、不明瓦製品を除き出土古瓦一覧表、軒丸瓦一覧表、軒平瓦一覧表に掲載した。出土古瓦一覧表については、接合資料についても、破片毎に掲載し、別に接合資料一覧表も作成した。なお、ほとんどの破片が遺物包含層と検出面からの出土であるため、古瓦出土状況図（第31～33図）を作成し、出土地点を図示した。

(1) 鴟尾（図版34，35）

3点の破片が出土している。3点とも胎土は白色・黒色の微～砂粒と石英砂粒が混入し、色調は灰白色(2.5YR7/1)である。3点は大きさ、胎土、形状等から、1対の鴟尾の破片と考えられる。うちRD001(D001・D825)、D826の2点は、大棟から妻側を見た場合の左側面破片で、縦帯が1条の突帯のみで表現される。鰭部は内外面ともに段型はなく、外面のみに縦帯際から鰭部端にかけて直に沈線を引くのみである。胴部は残存部分が少ないためはっきりしないが、おそらく素文と考えられる。全体の大きさは、形状等から、高さ90cm前後であろう。

2（RD001）は基底部を含む破片で、鰭部・胴部・腹部が残り、高さは52cm程を測る。縦帯は腹部接合部と鰭部端の間の鰭部寄りに、基底部下端から1.2cm上を始点に貼り付けられ、幅2.5～3.2cm、高さ1.5～1.8cmを測る。断面形は胴部側に稜線が寄る三角形を呈する。

基底部下端面には、幅3.4～3.6cmを測り、ケズリ痕が残る。腹部接合部には半円形の刳り形がわずかに残存し、ケズリ痕と布目痕が認められる。

鰭部には幅0.6cm程のヘラ状工具による押引きで表現された4条の沈線がある。沈線の間隔は、縦帯貼り付け部分で、基底部から1～2条目間が13cm、2～3条目間が15cm、3～4条目間で13cmを測る。平行に引かれた沈線は、それぞれ75°程の傾きがある。端面は断面四角形を呈し、角を丸く削り落としてある。このため稜線ははっきりしないが、幅は3.0cm程を測る。端面の大部分はナデ調整がされるが、一部に平行叩き目を加える。タタキ調整は意図的に行われていると思われる。

胴部は内外面ともに無文で、外面は縦帯取付部～腹部接合部にかけては、外面ケズリ後ナデ、僅かに残存する腹部接合部の頭部側は布目痕、内面にはナデがされる。厚さは縦帯取付部～腹部接合部で2.0～3.5cm、腹部接合部の頭部側で1.3～2.5cmを測る。全体的に見ると基底部が厚く、上方に向かうにつれて、薄くなっている。腹部接合部では約50°の傾きで外に折れ、大棟側から見ると、腹部と鰭部はここから奥に向かってラッパ状に拡がる形になる。

腹部はごく僅かに胴部との接合部分際が残存し、厚さは1.5～3.0cmを測る。外面には平行叩目、内面にはナデ痕がある。

1（D826）は、推定高21cmの破片で、縦帯は腹部接合部と鰭部端の間、胴部側に貼り付けられ、弧を描く。幅は2.0～2.5cm、高さ1.4～1.7cmを測る。断面は三角形を呈し、稜線はほぼ中央にある。

鰭部は、厚さ2.0～2.7cmを測る。端面はケズリ痕が残る。丸みをおびて稜線はなく、厚さは2.0～2.7cmを測

る。外面には３条の沈線があり、基底部側から１条目は75°、２条目は約90°、３条目は約110°程の角度で引かれる。この角度の変化と形状から、屈曲が強くなる後部頂部際の破片と考えられる。本資料と２が同一個体であるならば、鰭部の形状等から、本資料の１条目と２の４条目は、同一沈線の両端である可能性が高い。

胴部は厚さ2.0～2.7cmで、頂部側に向かって薄くなる。２は腹部接合部で折れて外反していたのに対し、僅かに弧を描く程度である。

腹部は接合部で2.5cmを測る。外面はケズリ後ナデ、内面はナデ痕が残る。

D621は９×７cm、厚さ1.8～2.3cmを測る小破片で、図化できなかった。端面が一部残存しているが、どこの部分の破片なのかは分からない。片面には突帯端部状の貼り付け部分が認められる。調整については、突帯状の貼付く面にナデ痕、反対側には平行叩き目痕が見える。

（２）軒丸瓦（第36図・第13表）

瓦当面が確認できる破片が14点出土している。２種類の文様があり、①四葉複弁蓮花文が６（D012）、７（D623）、８（D013）、D041の４点、②六葉素弁蓮花文が、３（A036）、４（A136）、５（E111）の３点である。その他の7点は残存部分が少なく、文様がはっきりしないが、内３点（D742、E215、D706）は胎土や形状から①四葉複弁蓮花文、１点（D537）は②六葉素弁蓮花文の可能性がある。

①　四葉複弁蓮花文軒丸瓦

胎土には白色微～砂粒、石英砂粒が混入し、焼成は普通。瓦当氾を用いて作られ、瓦当面は内区のみで構成される。素文の周縁は中高の直立縁である。瓦当裏面は、裏面中央部が窪み、端に向かって厚くなる。中房の断面は台形を呈し、蓮子は１＋９個を配し周環はない。彫り込みの深い花弁は、弁端が周縁で途切れ、子葉が内区外端まで伸びている。丸瓦部との接合方法は、瓦当面裏側を彫り込むことなく、それぞれの上端を揃えて貼り合わせ、補強用の粘土を足している。周縁は丸瓦接合部で幅が広く、下方に向かって徐々に狭くなる。

②　六葉素弁蓮花文軒丸瓦

胎土には白色微粒、石英砂粒が混入している。焼成が若干あまいためか、①の四葉複弁蓮花文軒丸瓦に比べ、やや風化し、瓦当面は磨滅している。瓦当氾を用いて作られており、瓦当面は内区のみで構成される。周縁は直立縁裏側にも直立状の縁が付く特徴的な形態を呈する。高縁周縁は素文で、その幅は瓦当面の大きさに比べ狭い。瓦当裏面は、中央部が薄く、端部に向かって徐々に厚くなる。中房の断面は台形を呈し、蓮子は１＋６個を配し、周環はない。花弁は中房端から伸びている。丸瓦部が残存する破片はない。

（３）軒平瓦（第37図・第12表）

瓦当面が確認できる破片が13点出土している。全て瓦当氾を用いない押印文で、内区、外区の区分がない。基本的には類似する施文文様だが、押印の配置等に相違点が認められるため、４種に分類した。１種は、10（D627_2）の１点、2種も９（A001_２）の１点、３種は11（D476）、D769の２点、４種は12（A094）の１点である。残存部分が少なく、文様がはっきりしないものが８点あるが、内６点（A013、D785、D570、E006、A091、E216）は１種または２種のいずれか、２点（A033・D083）は３種または４種のいずれかと思われる。

１種は、瓦当面上端から下端にかけて、断面円形の棒状工具側面を垂直方向に間隔をあけて押し当て、連続する区画をつくり、その中間に同工具の先端を突き刺すことによってできる円形の窪みを縦に２個並べて配している。２種は１種と似るが、区画内に円形の窪みが縦横２列あり、窪みは計４個ある。３種は１・２種より細い工具を瓦当面上端から下端にかけて角度をつけて押し引いて、連続した三角形もしくは台形の区画をつくり、円形の窪みを１つ配している。円形の窪みは、棒状工具先端部分を突き刺して回転させ、拡げ

ている。4種は、3種に似るが、端の区画に円形の窪みが認められない点で区別した。

（4）隅平瓦（第37図・第10表）

13（D484）、14（D628）、RD657（D657・D660）の3点が出土した。何れも破片で、全形は不明だが、焼成以前に片側の上端部から側面にかけて斜めに切り取られている。幅が平瓦の半分程度しかない点に疑問が残るが、形状から隅平瓦と推定した。隅平瓦を使用する建物は、寄棟屋根もしくは入母屋屋根に類する構造に限定される。

13と14は両端が残存し、幅は13が11.1cm、14が12.5cmを測る。胎土には、白色・黒色微～細粒、石英砂粒が混入している。側面形状は斜めに切り取られている右側で分類1、左側は分類7である。RD657は右側面と上端部のみ残存し、幅、長さとも不明、側面形状は分類7である。

（5）丸瓦（第39図・第10表）

計353点が出土した。この内3点の拓影及び断面図を掲載している。全形を推定できる破片はない。両端の残存する破片は3点あり、残存部分での幅は、20（RE059）が12.2cm、D402が10.7cm 、A067が同じく10.7cmを測る。凹面の調整痕が判る破片は245点あり、内236点が布目痕、8点がナデ痕、1点（D098）にはケズリ状の強いハケメ（後一部にナデ）調整痕が認められる。凸面の調整痕が判る破片は209点あり、ナデが151点、平行叩き目が31点、縄目18点、格子目が5点ある。その他に平行叩き目後ナデが3点（D315、D575、D586）、縄目後ナデが1点（D358）あるが、意図的に行なわれたものかは、はっきりしない。側面の調整分類は、125点の内、ケズリ痕が123点を占め、布目後ケズリ（D016）、ナデ（E041）が各1点ある。端面の調整は、48点の内、ケズリ痕が47点を占め、平行タタキ目が1点（A124_7）ある。側面および端面の形状は、平瓦とも同一の分類で行った。多様な形状があるため側面は10形式、端面は6形式に分類し、第12表出土古瓦側面・端面の形状分類にそれぞれの占める割合を掲載した。

（6）平瓦（第38、39図・第10表）

計952点が出土した。この内4点の拓影及び断面図を掲載している。全形を推定できる破片19（RD493）が1点のみある。長さは37.6cm、幅は上端部際で19.8cmを測る。その他に幅を推定できる破片が2点あり、18（RE201）は28.0cm、17（D733）は21.7cmを測る。凹面の調整痕が判る破片は790点あり、内762点が布目痕、10点がナデ痕、16点が布目後ナデ、2点（D286、D635）が、布目後平行叩き目である。凸面の調整痕が判る破片は747点あり、ナデが281点、縄目221点、平行叩き目が159点、格子目が64点ある。その他に格子目後ナデ21点、平行叩き目後ナデが1点（D430）があるが、意図的に行なわれたものかは、はっきりしない。側面の調整分類は、329点の内、ケズリ痕が315点を占め、その他、布目後ケズリ痕7点、布目後ナデ痕4点（E071、E089、E168、E190）、布目2点（E033、E108）、ケズリ後平行叩き目1点（A078）がある。端面の調整分類は、48点の内、ケズリ痕が47点を占め、平行叩き目1点（D430）がある。

（7）不明瓦質製品（第37図）

15（E164）は、約12×8cmを測る遺具瓦の破片と思われるが、種類はわからない。胎土に白色・黒色微～粗粒、石英砂粒が混入している。色調は凹面10YR 6/1（褐灰）、凸面5B 5/1（青灰）を呈する。厚さは2.7cm程、隆帯状の貼付け部分は剥離のため不明だが、残存部厚で3.6cmを測る。凹面には、布目痕が残り、端部際には指ナデ、ケズリ痕が見える。凸面には隆帯が2本残るが、大部分が剥離していて、高さや断面形は不明である。側面が僅かに残存するが、へらケズリ調整がされ、側面形態は、分類3である。

第10表　古瓦一覧表

挿図番号	地区名	注記ID	瓦種別code	法量(cm) 最大幅	最大厚	色調 凹面,色相	凹面,明/彩	凸面,色相	凸面,明/彩	側面形状	端面形状	調整 凹面	凸面	側面	端面	備考
	A	001_1	1	5.1	1.9	N	5/0	N	5/0			1	3			
9	A	001_2	3	13.9	2.8	N	6/0	N	7/0							
	A	002	2	3.9	1.1	10YR	7/1	10YR	7/1	5	1	1	2	1	1	
	A	003	1	9.5	1.8	10YR	8/2	10YR	7/3			0	4			
	A	004	1	5.2	2.1	7.5YR	8/2	10YR	7/2			1	4			
	A	005	1	12.0	2.7	10YR	7/1	5Y	6/1	4		1	4	1		凸面叩目後ナデ
	A	006	1	9.3	1.5	10YR	7/3	7.5YR	8/3			0	0			
	A	007	1	5.9	2.2	5Y	5/1	5YR	4/2	4	1	1	1	1	1	
	A	008	1	6.3	1.6	7.5YR	4/1	7.5YR	5/1		1	1	1		1	
	A	009	1	8.0	1.7	7.5YR	5/2	7.5YR	5/2			1	1			
	A	010	1	3.8	2.4	2.5YR	5/2	5YR	4/3			1	1			
	A	011	2	7.7	1.7	2.5Y	8/1	10YR	8/3	7		0	2		1	
	A	012	1	8.5	1.0	10YR	6/3	10YR	4/1		1	1	1		1	
	A	013	3	10.2	2.4	7.5YR	7/3	7.5YR	8/2							
	A	014	1	7.5	1.7	7.5YR	7/1	7.5YR	7/1	4	1	1	2	1	1	
	A	015	2	6.0	1.8	10YR	6/2	10YR	7/1		2	2	2		1	
	A	016	2	8.0	1.4	2.5Y	8/2	10YR	7/3	7		0	2	1		
	A	017	1	7.2	2.4	7.5Y	7/1	N	8/0			1	4			
	A	018	1	4.6	2.5	5YR	5/4	5YR	6/4			1	1			
	A	019	1	5.7	2.7	N	7/0	N	6/0			1	2			
	A	020	1	3.5	2.2	10YR	6/2	5Y	6/1			1	1			
	A	021	2	6.7	1.5	10YR	8/3	7.5YR	8/1			0	0			
	A	022	1	3.3	2.2	5Y	6/1	7.5R	6/2			1	4			
	A	023	1	2.5	2.4	N	7/0	N	7/0			1	4			
	A	024	2	6.8	1.4	10YR	3/2	10YR	6/2	7		0	0	1		
	A	025	1	9.2	1.9	10YR	8/1	5Y	8/1			1	4			
	A	026	1	8.6	2.1	10YR	8/1	5Y	8/1			1	4			
	A	027_2	1	2.6	1.8	N	5/0	N	6/0			1	1			
	A	028	1	15.7	2.9	10YR	7/1	5Y	6/1	4	1	1	2	1	1	
	A	029_1	1	12.2	2.5	7.5YR	8/1	10YR	8/2		6	0	4	1		
	A	029_2	1	10.7	2.4											
	A	030	1	5.3	2.2	2.5Y	8/2	5Y	8/2			1	0			
	A	031	1	2.8	2.5	10YR	8/2	5Y	5/1			0	0			
	A	032	1	5.7	2.2	7.5Y	7/1	7.5Y	6/1			1	2			
	A	033	3			10YR	8/1	10YR	8/1							
	A	034	1	4.2	2.2	7.5Y	7/1	7.5Y	6/1			1	2			
	A	035	0									0	0			
3	A	036	4			10YR	8/1	10YR	7/3							
	A	037	1	7.2	3.1	10YR	7/3	10YR	8/2	4		1	0	1		
	A	038	1	9.0	1.6	7.5YR	8/2	7.5YR	8/3			1	2			
	A	039	1	7.3	2.1	5Y	6/1	5Y	6/1	1		1	4	1		
	A	040	0									0	0			
	A	041	2	4.2	1.1	7.5Y	7/1	7.5Y	7/1			1	4			
	A	042	1	8.2	2.1	5YR	5/2	5Y	6/1	5		1	1	1		
	A	043	1	5.1	2.5	5YR	6/2	5YR	5/2			1	4			
	A	044	1	5.6	1.9	10R	5/1	5YR	5/2	1	1	1	1	1	[illegible]	
	A	045	1	4.4	2.1	5YR	6/6	5YR	5/3			1	1			
	A	046	1	5.4	1.9	7.5YR	6/2	7.5YR	5/2		1	1	1		1	
	A	047	1	9.1	2.5	10YR	8/1	7.5YR	8/1	4		0	0	2		
	A	048	1	2.4	2.0	N	6/0	N	7/0	6		1	5	1		焼成時に変形
	A	049	1	5.7	2.5	7.5YR	8/1	5Y	7/1	3		1	4	1		
	A	050	1	7.5	2.4	10R	5/3	10R	5/3			1	1			
	A	051	1	7.5	1.9	5Y	5/1	10YR	6/2	5	1	1	1	1	1	
	A	052	1	7.0	2.1	10YR	7/2	10YR	8/2	1		1	0	2		
	A	053	2	7.0	1.9	N	5/0	N	6/0			1	2			
	A	054	2	7.4	1.6	7.5Y	6/1	7.5Y	7/1	7		1	2	1		
	A	055	2	6.4	1.8	N	7/0	5Y	7/1			1	2			
	A	056	1	5.8	2.2	5Y	6/1	5Y	6/1			1	4			
	A	057	1	4.6	2.5	N	5/0	N	5/0			2	4			
	A	058	2	3.5	1.5	7.5YR	7/3	10YR	7/1			1	2			
	A	059	1	7.8	3.1	7.5YR	8/1	10YR	8/3	4	1	1	2	1	1	
	A	060_1	2	6.5	1.7	7.5YR	3/1	7.5YR	8/3		2	1	4		1	
	A	060_2	1	3.5	1.7	N	6/0	N	6/0							
	A	061	2	4.1	1.4	10YR	8/3	10YR	7/3			0	0			
	A	062	1	6.9	2.0	7.5YR	6/2	7.5YR	8/1	6		1	4	1		
	A	063	2	5.5	1.4	5Y	4/1	5Y	4/1	7		1	2	1		
	A	064	2	4.2	1.9	10YR	8/3	10YR	8/2	7		0	4	1		
	A	065	1	4.5	2.0	5Y	5/1	7.5YR	6/1			1	1			
	A	066_1	1	3.3	1.9	5YR	6/4	5YR	6/4			1	4			
	A	066_2	2	2.6	1.8	10YR	8/2	10YR	8/2	7		1	4	1		
	A	067	2	5.9	1.6	10YR	3/1	10YR	7/3	7		1	2	1		
	A	068	2	7.5	1.3	10YR	8/1	10YR	7/3	7	1	1	2	1	1	
	A	069	2	7.6	1.4	10YR	8/1	10YR	7/3	7		1	2	1		
	A	070	1	12.1	1.9	5YR	6/3	5YR	6/2	4	1	1	4	1		
16	A	071	1	9.1	2.3	2.5YR	6/2	7.5YR	7/2	2		1	4	1		
	A	072	1	13.7	2.8	10YR	8/1	10YR	8/2	4		1	4	1		
	A	073	1	9.2	2.7	7.5YR	8/1	N	8/0	4		1	4	1		
	A	074	1	6.2	(1.7)	7.5YR	8/1	N	8/0	4		0	3	2		
	A	075	1	10.1	2.1	10YR	6/1	N	6/0			1	2			
16	A	076	1	9.6	2.0	2.5YR	5/2	10R	5/2		1	1	4		1	
	A	077	1	6.2	2.0	5YR	6/2	7.5YR	7/2			1	4			
	A	078	1	10.3	2.6	N	6/0	N	6/0	3	5	2	4	3	1	
	A	079	1	11.0	2.3	10YR	7/2	10YR	8/1	5		1	4	1		
	A	080	1	8.4	2.4	10YR	8/1	10YR	8/2			1	4			
	A	081	1	11.4	2.5	10YR	8/1	10YR	8/1			1	0			
	A	082	1	9.0	3.2	10YR	7/1	10YR	7/1			1	2			
	A	083	1	10.2	3.1	7.5YR	7/1	7.5YR	7/2		1	1	4		1	
	A	084	1	8.[illegible]	2.4	7.5YR	6/1	7.5YR	6/1			1	4		1	
	A	085	1	8.0	2.9	N	5/0	N	4/0		3	1	2			焼成時に亀裂入る
	A	086	1	14.1	2.2	7.5YR	8/3	7.5YR	8/2	1		1	2	1		
	A	087	2	4.6	1.1	10YR	5/1	10YR	5/1	7		1	2	1		
	A	088	1	7.7	2.7	7.5YR	6/1	10YR	5/1			1	4			
	A	089	1	6.5	2.2	7.5YR	8/1	10YR	7/2			1	4			
	A	090	1	14.6	2.6	7.5YR	6/1	10YR	7/1	5		1	2	1		
	A	091	3			N	8/0	N	8/0							
	A	092	2	4.0	1.1	7.5YR	7/1	5Y	6/1			1	2			
	A	093	1	7.1	2.6	10YR	7/3	10YR	8/3			1	4			
12	A	094	3	8.8	1.7	N	5/0	N	6/0							
	A	095	2	7.7	2.0	10YR	8/1	10YR	8/2	7		1	4	1		
	A	096	1	10.0	1.8	10YR	8/1	10YR	8/3			1	4			
	A	097	1	13.0	2.9	10YR	8/1	10YR	8/2	3	3	1	4	1	3	
	A	098	1	10.2	2.4	7.5YR	7/1	10YR	7/1	3		1	4	1		
	A	099	1	6.2	1.9	7.5YR	7/1	7.5YR	7/1	4		1	2	1		
	A	100	1	11.5	2.4	7.5YR	7/3	7.5YR	8/3	1	4	1	2	1	1	
	A	101	2	8.0	1.2	10YR	7/3	10YR	8/3			1	2			
	A	102	1	7.6	2.1	10YR	8/1	10YR	8/3			1	4			
	A	103	1	8.7	3.0	7.5YR	7/3	7.5YR	8/3	5		1	2	1		
16	A	104	1	10.7	2.4	2.5YR	5/2	10R	5/2			1	4			
	A	105	1	3.6	2.7	10YR	7/1	10YR	7/1			1	2			
	A	106	1	3.3	2.4	N	4/0	N	6/0			1	4			
	A	107	2	4.4	1.7	10YR	8/1	10YR	7/3	7	1	1	2	1	1	
	A	108_1	1	6.0	1.8	7.5YR	7/3	7.5YR	8/3			0	2			
	A	108_2	0									1	0			
	A	109	1	7.7	2.5	10YR	7/3	10YR	8/2			1	2			
	A	110	1	8.0	2.4	10YR	8/2	10YR	8/2			0	4			
	A	111	2	4.8	1.3	7.5Y	7/1	7.5Y	7/1			1	2			
	A	112_1	1	4.2	1.7	7.5YR	6/1	N	6/0			1	1			
	A	112_2	1	3.2	2.1	7.5YR	7/1	10YR	7/1			1	1			
	A	113_1	1	3.4	1.7	10YR	7/1	10YR	7/1			1	0			
	A	113_2	1	8.0	1.6	10YR	5/1	N	6/0			1	4			
	A	114	2	6.5	1.4	10YR	8/1	10YR	8/2			2	2			
	A	115	2	3.3	1.1	5YR	6/4	7.5YR	8/3			0	0			
	A	116	1	6.0	1.8	10YR	7/3	10YR	7/4			1	4			
	A	117_1	0									0	0			
	A	117_2	1	4.9	2.1	5YR	5/3	5YR	5/3	5		1	1	1		
	A	117_3	1	6.0	1.8	10YR	8/2	10YR	8/2	1		1	2	1		
	A	118_1	0									0	0			
	A	118_2	1	3.7	1.9	7.5YR	8/1	7.5YR	8/1		1	1	0		1	
	A	119	0									0	0			
	A	120	1	4.0		7.5YR	7/2	7.5YR	7/1	4		1	3	1		
	A	121	1	6.6	2.2	N	5/0	N	6/0	4		1	2	1		
	A	122_1	1	5.2	2.4	N	7/0	N	7/0		1	1	4		1	
	A	122_2	1	1.5	1.7	5Y	7/1	5Y	7/1			0	0			
	A	123_1	2	4.6	1.4	10YR	6/2	10YR	7/1			2	2			
	A	123_2	1	1.5	1.5	5Y	5/1	N	6/0		1	1	4		1	
	A	123_3	1	8.7	1.5	7.5YR	8/1	10YR	7/2	5	1	1	1	4	1	
	A	123_5	1	3.5	1.6	10YR	5/1	10YR	6/1		1	2	2		1	
	A	123_7	0									0	0			
	A	123_8	0									0	0			
	A	123_9	1	3.2	2.0	2.5YR	6/6	2.5YR	6/6			1	1			
	A	124_1	1	5.7	1.5	N	6/0	N	6/0	4		1	2	1		
	A	124_2	2	4.7	(0.8)	5YR	5/4	7.5YR?	5/1?			1	3			
	A	124_3	2	4.1	1.3	7.5YR	8/1	7.5YR	7/2	7		0	0	2		
	A	124_4	2	3.9	0.9	7.5YR	3/3	7.5YR	8/3	5		1	4	1		
	A	124_5	2	7.2	2.6	7.5YR	8/2	7.5YR	7/2			0	4			
	A	124_6	2	5.0	1.2	5Y	6/1	5Y	7/1	7		1	2	1		
	A	124_7	2	4.7	1.6	10YR	8/1	10YR	8/1		2	3	2		3	
	A	124_8	1	4.[illegible]	1.3	10YR	6/1	10YR	6/1			0	0			
	A	125_1	2	6.2	1.7	7.5YR	8/2	7.5YR	8/3			0	0			
	A	125_2	2	5.0	(1.2)	7.5YR	8/2	7.5YR	6/2			0	0			

挿図番号	地区名	注記ID	瓦種別code	法量(cm) 最大幅	最大厚	色調 凹面,色相	凹面,明/彩	凸面,色相	凸面,明/彩	側面形状	端面形状	調整 凹面	凸面	側面	端面	備考
	A	125_3	1	3.9	1.7	5YR	6/4	5YR	6/4			1	0			
	A	125_4	1	1.9	2.0	7.5YR	7/4	7.5YR	7/4			1	0			
	A	125_5	1	6.1	1.3	5YR	5/6	5YR	7/4	4	1	1	1	1	1	
	A	125_6	1	3.3	1.5	5YR	6/4	5YR	6/6		1	1	1		1	
	A	125_8	1	3.6	2.2	5Y	5/1	7.5YR	7/4			1	1			
	A	127_1	1	6.8	1.9	5YR	7/8	5YR	5/2	4	1	1	1	2	2	
	A	127_2	1	2.0	2.5	5YR	6/6	5YR	6/6			1	1			
	A	127_3	1	3.0	1.4	5YR	5/6	5YR	5/6			1	1			
	A	127_4	0													
	A	128	2	3.0	1.5	7.5YR	7/1	7.5YR	7/2			1	1			
	A	129_1	1	3.9	1.9	5YR	5/3	5YR	5/3			1	0			
	A	129_2	2	4.2	1.2	5YR	5/6	5YR	6/4			0	0			
	A	130_1	4			5Y	7/1	5Y	7/1							
	A	130_2	1	5.9	1.5	2.5Y	6/0	10YR	5/2	4	1	1	1	1		
	A	131	4			10YR	7/1	10YR	7/1							
	A	132	1	7.7	2.6	5YR	8/4	5YR	8/4			0	0			
	A	133	2	3.0	1.3	N	5/0	N	3/0		1	1	1		1	
	A	134	1	11.7	2.2	7.5YR	4/2	7.5YR	6/6	4	1	1	1	1	1	
	A	135	1	8.5	1.8	10YR	8/3	10YR	8/3	1	1	0	0	1	1	
4	A	136	4			5YR	5/4	5YR	6/4			1	0			
	A	137_1	1	3.5	2.5	5YR	7/6	7.5YR	8/3	1		1	0	2		
	A	137_2	1	1.6	2.2	5YR	6/4	5YR	6/4							
	A	137_3	0									3	1			
	A	138_1	1	5.0	1.9	10YR	6/1	7.5YR	7/1		1	1	2		1	
	A	138_2	1	3.9	1.6	7.5YR	8/1	7.5YR	8/1	4		1	0	2		
	A	139	1	3.4	1.5	5YR	6/4	5YR	6/4		1	1	1		1	
	A	140	2	3.8	1.8	N	8/0	10YR	7/3			1	0			
2	D	001	5													
	D	002	1	14.4	2.5	N	5/0	N	6/0	1		1	2	1		
	D	003	1	5.3	2.4	N	5/0	N	5/0			1	4			
	D	005	1	4.5	1.8	5Y	8/1	5Y	8/1			0	4			
	D	006	1	5.1	1.8	N	4/0	5Y	8/1			1	0			
	D	007	1	7.1	2.1	5Y	8/1	5Y	7/1		1	1	1		1	
	D	008	1	16.6	2.2	N	5/0	N	5/0	6		1	5	1		焼成時亀裂アリ
	D	009	1	12.8	2.1	5Y	8/1	5Y	7/1	4		1	4	1		
	D	010	1	6.2	2.7	N	6/0	N	6/0	1		1	0	1		
	D	011	1	12.6	2.8	10YR	8/1	10YR	8/1	4		1	4	1		
6	D	012	4													
8	D	13_1	4													
8	D	13_2	4													
	D	014	2	8.0	1.9	5Y	8/2	5Y	8/2	6		1	0	1		
	D	015	1	7.3	2.2	5Y	6/1	N	6/0			1	1			
	D	016	2	6.0	1.5	N	5/0	N	5/0	5		1	4	4		
	D	017	2	6.4	1.7	2.5Y	8/2	5Y	8/2		1	1	2		1	
	D	018	1	13.0	2.4	5Y	6/1	N	6/0	4	1	5	4	1	1	
	D	019	1	3.2	2.5	10YR	8/3	2.5YR	8/3			1	2			
	D	020	1	4.4	1.6	10YR	8/2	10YR	8/3		1	1	0		1	
	D	022	2	6.1	1.9	10YR	8/3	10YR	8/3			1	2			
	D	023	1	8.0	2.4	2.5Y	8/2	5Y	8/2			0	0			
	D	024	1	9.6	2.5	2.5Y	8/2	5Y	8/2			0	0			
	D	025	2	5.3	1.8	10YR	8/3	10YR	8/3			1	2			
	D	026	1	6.3	2.9	5Y	8/2	5Y	8/1	4		0	4		1	
	D	027	1	3.5	2.4	7.5YR	8/1	7.5YR	8/1			0	0			
	D	028	2	6.5	1.5	5Y	8/1	5Y	8/2			0	0			
	D	029	1	7.4	2.0	5YR	7/8	5YR	7/6			1	1			
	D	030	1	13.3	2.0	5Y	5/1	N	7/0	1	1	1	1	1	1	
	D	031	1	7.5	2.3	N	5/0	N	6/0	1	1	1	1	1	1	
	D	032	1	7.3	2.5	5YR	7/8	5YR	7/8			1	1			
	D	033	1	12.1	2.4	7.5YR	7/4	10YR	8/4		1	0	0		2	
	D	034	1	8.6	2.0	N	6/0	N	6/0			1	1			
	D	035	1	4.8	1.9	10YR	8/3	10YR	8/3	1	2	0	0	1	1	
	D	036	1	4.3	1.7	2.5Y	7/2	7.5Y	8/1	6		1	5	1		
	D	037	1	6.1	1.6	7.5YR	8/3	10YR	8/3			1	1			
	D	038	1	10.3	2.5	7.5YR	8/4	7.5YR	8/4		1	1	1		1	
	D	039	1	6.3	1.7	10YR	6/2	5Y	6/1		1	1	1		1	
	D	040	1	7.7	2.2	10YR	8/1	5YR	8/4			1	1			
	D	041	4			5Y	7/1	5Y	7/1							
	D	042	1	8.0	2.9	5Y	5/1	N	5/0			1	1			
	D	043	1	10.3	2.2	N	5/0	N	6/0	4	1	1	1	1	1	
	D	044	1	5.1	2.1	5Y	7/2	5Y	7/1			1	2			
	D	045	1	6.3	1.7	5Y	8/2	5Y	8/1			1	5			
	D	046	1	6.0	3.1	N	7/0	5Y	8/2			1	2			
	D	047	1	4.5	3.0	N	7/0	5Y	8/2			1	2			
	D	048	2	7.0	1.8	7.5YR	8/1	10YR	4/6	4		1	2	1		
	D	049	1	4.4	1.9	10YR	5/1	10YR	4/1			0	0			
	D	050	1	5.8	1.8	5YR	7/8	5YR	6/4	1		0	4	1		

挿図番号	地区名	注記ID	瓦種別code	法量(cm) 最大幅	最大厚	色調 凹面,色相	凹面,明/彩	凸面,色相	凸面,明/彩	側面形状	端面形状	調整 凹面	凸面	側面	端面	備考
	D	051	1	3.0	2.0	5YR	7/8	5YR	7/8		1	0	1		1	
	D	052	2	5.5	(1.7)	5YR	7/8	5YR	6/6			0	1			
	D	053	1	8.7	2.1	N	6/0	N	5/0	1	1	1	1	1	1	
	D	055	1	12.1	2.3	10Y	6/0	10Y	7/0	1	1	1	1	4	1	
	D	056	2	5.7	1.4	N	5/0	N	6/0			1	2			
	D	057	1	11.1	1.9	N	4/0	5R	5/1	1	1	1	1	1	1	
	D	058	1	4.5	2.2	N	6/0	N	5/0		1	1	1		1	
	D	059	1	8.8	1.9	N	5/0	N	5/0	1	1	1	1	1	1	
	D	060	1	4.1	1.4	5Y	8/1	5Y	8/1	4		1	2	1		
	D	061	1	5.1	1.6	N	5/0	N	5/0	6		1	1	4		
	D	062	1	5.8	2.4	N	7/0	N	8/0			1	1	1		
	D	063	1	9.8	2.1	10YR	8/6	10YR	8/3			1	1			
	D	064	1	6.4	2.1	5Y	8/2	10YR	8/2		1	1	0		2	
	D	065	1	7.2	2.2	5Y	8/2	10YR	8/2		1	1	0		2	
	D	066	1	5.0	2.5	7.5Y	8/1	7.5Y	7/1			0	4			
	D	067	1	3.0	1.9	N	6/0	N	6/0			1	2			
	D	068	1	5.7	1.8	2.5Y	8/2	N	8/0			0	5			
	D	069	1	11.1	2.8	10YR	8/3	10YR	8/2	1	2	1	0	1	1	
	D	070	1	8.0	2.4	2.5YR	7/2	10YR	8/2	1		1	1	1		
	D	071	1	8.0	2.2	N	6/0	N	6/0	5		1	5	1		
	D	072	1	6.2	1.9	10YR	8/2	10YR	8/2			0	4			
	D	073	1	5.4	1.7	10YR	8/2	10YR	8/2			1	0			
	D	074	1	11.5	2.8	N	6/0	N	6/0	4	2	1	2	1	1	焼成時変形、亀裂
	D	075	2	4.3	1.4	N	8/0	N	8/0	7		0	0	2		
	D	076	1	3.0	1.4	N	8/0	N	8/0		1	1	1		1	
	D	077	1	3.1	1.9	2.5YR	6/6	2.5YR	6/6	4		1	1	1		
	D	078	1	3.4	1.9	5YR	5/2	5YR	5/2			1	1			
	D	080	1	7.2	1.5	N	6/0	N	6/0	5	1	1	2	1	1	
	D	081	1	5.7	1.8	7.5YR	8/4	7.5YR	8/4	4	1	1	1	1	1	
	D	082	2	1.5		7.5YR	7/1	7.5YR	7/1		1	1	3		1	
	D	083	3													
	D	084	1	5.7	1.7	10YR	8/1	N	8/0			1	3			
	D	085	1	12.7	2.7	N	7/0	5Y	8/1	4		1	2	1		
	D	086	1	8.4	2.0	10YR	8/2	10YR	8/1		1	1	0		2	
	D	087	1	4.5	1.3	5YR	7/6	5YR	6/6	4	1	1	1	1	1	
	D	088	1	6.5	2.8	5YR	5/4	5YR	6/2			1	1			
	D	089	2	5.4	(1.3)	10YR	6/1	10YR	7/1			3	0			
	D	90_1	1	6.9	2.2							0	0			
	D	90_2	1	5.9	2.1							0	0			
	D	091	1	8.5	2.0	10YR	8/2	10YR	8/2			1	2			
	D	092	2	3.5	2.3	5Y	8/1	N	8/0		3	1	2		1	
	D	093	2	8.0	1.3	7.5Y	7/1	5Y	8/2	7		1	0	2	2	
	D	094	1	7.9	1.6	10YR	8/4	10YR	8/3		1	0	0		2	
	D	095	1	7.4	2.4	N	7/0	7.5Y	7/1			1	1			
	D	096	2	6.8	1.9	10YR	8/2	10YR	8/2	10		7	0	2		
	D	097	1	4.8	1.2	10YR	8/2	10YR	8/3			0	0			
	D	098	1	2.9	1.3	5Y	7/1	5Y	6/1	4		1	2	1		
	D	099	1	8.4	2.1	7.5YR	8/3	5Y	7/2			1	1			
	D	100	1	7.1	1.9	10YR	8/3	10YR	7/1	1	2	1	2	1	1	
	D	101	1	7.6	2.1	10YR	7/2	7.5YR	7/3			1	0			
	D	102	2	4.6	1.9	5Y	6/1	5Y	6/1			1	1			
	D	103	1	5.1	1.5	10YR	7/2	10YR	7/2	1		1	0	2		
	D	104	1	2.1	2.2	10YR	5/1	10YR	5/1			1	1			
	D	105	1	5.1	1.8	10YR	6/1	5Y	7/1		1	1	1		1	
	D	106	1	7.8	1.5	7.5YR	8/3	7.5YR	7/3			1	1			
	D	107	1	4.6	2.4	10YR	8/2	10YR	7/2			0	1			
	D	108	1			5YR	6/4	5YR	6/4			3	1			
	D	109	1	7.5	1.5	N	8/0	10YR	8/1			0	0			
	D	110	1	5.1	1.6	10YR	8/2	10YR	8/2	5		1	2	1		
	D	111	1	14.2	2.9	10YR	8/2	10YR	8/2	6	1	0	2	2	2	
	D	112	1	2.5	1.8	10YR	8/3	10YR	8/2		1	1	0		1	
	D	113	1	4.2	2.2	5Y	5/1	7.5YR	7/4			1	1			
	D	114	1	2.1	2.4	10YR	8/3	10YR	8/1	6		0	2	1		
	D	115	1	4.0	1.6	5Y	7/1	10YR	8/1			1	0			
	D	116	1	7.1	1.6	5Y	7/1	10YR	8/1			1	0			
	D	117	1	4.6	1.6	10YR	7/1	10YR	8/1	5		1	5	1		
	D	118	1	4.4	1.2	10YR	8/3	10YR	8/2	1		0	0	2		
	D	119	1	5.4	1.7	N	8/0	10YR	8/1			1	5			
	D	120	1	2.7		7.5YR	8/3	7.5YR	8/3			1	1			
	D	121	1	8.0	2.0	5Y	8/1	5Y	7/1			1	1			
	D	122	2	5.1	0.9	10YR	8/3	10YR	8/3	7		1	0	1		
	D	123	1	5.1	1.4	10YR	7/2	10YR	7/1			1	2			
	D	124	1	3.2	1.7	10YR	8/3	10YR	8/2	1		0	0	2		
	D	125	1	7.1	2.3	10YR	8/2	10YR	8/3			0	0			
	D	126	1	6.3	2.0	5Y	7/1	5Y	8/1	4	1	1	0	1	2	
	D	127	1	5.9	2.5	5Y	3/1	N	6/0			1	1			

挿図番号	地区名	注記ID	瓦種類code	法量(cm) 最大幅	最大厚	色調 凹面、色相	凹面、明/彩	凸面、色相	凸面、明/彩	側面形状	端面形状	調整 凹面	凸面	側面	端面	備考
	D	128	2	4.0	1.3	10YR	8/2	10YR	8/1	7		0	0	2		
	D	129	1	11.5	2.1	N	6/0	N	5/0	6		1	4	1		
	D	130	1	2.8	2.3	10YR	8/3	10YR	8/2			0	0			
	D	131	1	6.0	1.3	10YR	7/2	10YR	7/2	4		0	0	1		
	D	132	1	3.6	2.1	10YR	7/1	10YR	7/1			1	1			
	D	133	2	4.7	1.1	N	8/0	10YR	7/1	7	1	1	2	1	1	
	D	134	1	7.8	2.5	5YR	7/6	5YR	7/6		1	1	1		2	
	D	135	1	11.2	2.2	5YR	7/6	5YR	7/6			1	1			
	D	136	1	5.0	2.0	10YR	8/2	10YR	8/1	1	4	0	0	1	1	
	D	137	1	8.4	2.2	N	7/0	N	7/0			1	1			
	D	138	1	6.3	2.0	7.5YR	8/3	7.5YR	8/3			1	1			
	D	139	2	4.4	1.4	10YR	8/2	10YR	8/1	7		0	0	2		
	D	140	1	8.9	1.6	10YR	7/2	7.5YR	8/3	7		0	2	2		
	D	141	2	6.6	1.1	10YR	7/3	10YR	6/1	7		1	2	1		
	D	142	2	5.6	1.4	N	6/0	N	6/0	5	6	1	0	1	1	
	D	143	1	6.1	2.1	10YR	6/1	10YR	7/1			1	1			
	D	144	1	9.4	2.3	N	6/0	N	6/0	8		1	8	1		焼成時の亀裂あり
	D	145	1	7.8	1.9	N	5/0	N	5/0	5		1	1	1		
	D	146	1	3.7	2.5	N	4/0	N	4/0			0	4			
	D	147	2	3.0	1.8	N	5/0	N	6/0	5	1	1	2	1	1	
	D	148	1	2.6	1.5	10YR	8/2	10YR	8/1			0	4			
	D	149	1	3.2	1.7	10YR	8/3	10YR	7/1			1	2			
	D	150	2	6.7	2.0	10YR	7/2	10YR	8/1			0	0			
	D	151	1	6.7	2.0	10YR	8/2	10YR	6/1		1	1	1		1	
	D	152	1	8.8	2.5	10YR	8/3	10YR	8/2			1	4			
	D	153	1	5.8	2.2	5Y	6/1	10YR	6/1		1	1	1		1	
	D	154	1	7.6	2.0	10YR	8/1	10YR	7/2	4		1	0	2		
	D	155	1	3.2	1.7	10YR	8/2	10YR	8/2			0	0			
	D	156	1	5.2	2.4	10YR	8/1	10YR	8/2	6		1	2	1		
	D	157	0			5Y	6/1					1	3			
	D	158	2	6.1	1.1	10YR	7/2	10YR	8/2	7	1	0	0	2	2	
	D	159	0			10YR	8/2					1	3			
	D	160	1	3.2	1.4	10YR	7/1	10YR	7/1			1	2			
	D	161	0									3	1			
	D	162	1	4.6	1.9	5YR	6/3	5YR	6/4			1	1			
	D	163	2	5.5	1.7	10YR	7/2	10YR	7/2	5		0	0	2		
	D	164	1	6.9	1.9	5YR	6/6	5YR	7/6			1	1			
	D	165	2	5.9	1.5	10YR	7/2	10YR	7/2			1	4			
	D	166	1	4.6	1.8	10YR	8/1	10YR	8/1			1	2			
	D	167	1	7.6	1.9	10YR	7/1	N	8/0			1	1			
	D	168	1	4.3	1.7	N	4/0	N	5/0	5		1	1	1		
	D	169	0									3	3			
	D	170	2	3.8	1.6	5Y	7/1	5Y	7/1			1	0			
	D	171	2	6.5	1.5	5Y	7/1	10YR	7/1	7		1	2	1		
	D	172	1	5.2	1.4	10YR	8/2	10YR	8/3			1	4			
	D	173	2	5.5	1.6	5Y	6/1	N	8/0	7	1	1	2	1		
	D	174	1	3.9	1.9	N	7/0	N	7/0			1	1			
	D	175	1	5.5	2.0	5YR	5/4	5YR	5/4			1	1			
	D	176	1			7.5YR	6/4	7.5YR	6/4			1	3			
	D	177	0					7.5YR	7/3			3	1			
	D	178	1	7.4	2.3	10YR	8/1	10YR	7/1	5		1	2	1		
	D	179_1	1			7.5YR	7/1	7.5YR	7/1			1	3			
	D	179_2	1			7.5YR	6/2	7.5YR	6/2			0	1			
	D	180	1	8.0	1.7	7.5YR	6/3	5Y	7/1	3		1	2	1		
	D	181	1	4.6	2.0	10YR	6/3	10YR	6/2	1		1	1	1		
	D	182	1	5.2	2.5	10YR	8/1	10YR	7/2		1	1	0		2	
	D	183	1	7.3	2.8	N	6/0	N	5/0			1	2			
	D	184	1	4.2	1.4	N	8/0	10YR	8/1	7		1	2	1		
	D	185	1	3.5	1.7	7.5YR	7/3	10YR	8/4		2	1	2		1	
	D	186	1	8.5	1.5	7.5YR	6/6	10YR	7/2	1		0	0	2		
	D	187	1	4.8	2.0	5Y	7/1	5Y	8/2			0	0			
	D	188	1	4.8	1.6	7.5YR	8/3	7.5YR	8/3	1	1	5	2	1	1	
	D	189	1	5.5	2.1	5Y	7/1	10YR	6/1			1	5			
	D	190	1			2.5YR	8/2	2.5YR	8/2			1	5			
	D	191	1	6.6	2.0	N	6/0	N	6/0			1	1			
	D	192	1	10.5	2.5	10YR	8/1	N	8/0	5	1	1	2	1	1	
	D	193	1	9.5	2.4	10YR	8/1	N	8/0	1	1	1	4	1	1	
	D	194	1	4.6	2.1	N	7/0	10YR	6/1			1	1			
	D	195	1	6.7	2.0	5YR	6/4	10YR	6/3	6	1	1	1	1	1	
	D	196	1	3.9	2.0	5YR	6/4	N	8/0			1	1			
	D	197	2	5.5	1.8	10YR	8/2	10YR	8/2	5	1	0	0	2	1	
	D	198	1	9.6	2.1	10YR	6/1	N	7/0			1	1			
	D	199	2	5.4	1.6	10YR	8/1	10YR	8/2			1	0			
	D	200	1	10.1	2.5	10YR	8/1	10YR	7/1			1	2			
	D	201	2	4.1	1.2	5Y	6/1	5Y	7/1			1	2			
	D	202	1	8.6	2.1	2.5YR	5/2	5YR	6/1	4	1	1	1	1		

挿図番号	地区名	注記ID	瓦種類code	法量(cm) 最大幅	最大厚	色調 凹面、色相	凹面、明/彩	凸面、色相	凸面、明/彩	側面形状	端面形状	調整 凹面	凸面	側面	端面	備考
	D	203	1	2.0	1.9	5YR	6/2	5YR	6/3			1	1			
	D	204	1	8.2	2.0	5Y	6/1	10YR	4/1	9		1	1	4		
	D	205	1	7.2	2.2	N	4/0	N	4/0	9		1	1	1		
	D	206	1	5.7	2.3	5YR	6/4	7.5YR	7/2			1	1			
	D	207	1	12.2	2.3	N	7/0	N	7/0	6	1	1	1	1	1	
	D	208	1	5.1	1.6	10YR	4/1	N	4/0	9		1	1	4		
	D	209	1	13.7	2.1	10YR	6/1	N	6/0		5	1	1		1	
	D	210	1	7.9	2.0	5YR	5/3	5YR	5/4			1	1			
	D	211	1	5.9	2.1	5YR	5/3	5YR	7/6	2	1	1	1	1	1	
	D	212	1	5.8	1.6	5Y	7/1	5Y	7/1			1	2			
	D	213	2	4.3	0.9	10YR	8/1	10YR	8/1	5		1	0	2		
	D	214	2	3.6	1.2	10YR	8/1	5Y	7/1	4		1	0	2		
	D	215	1	4.0	1.5	N	7/0	N	6/0	4	1	1	5	1	1	
	D	216	1	7.5	2.0	7.5YR	8/3	7.5YR	8/3			1	2			
	D	217	2	3.5	1.3	10YR	8/3	10YR	7/2	5		1	2	1		
	D	218	1	7.0	1.8	10YR	5/1	10YR	5/1	4	1	1	1	1	1	
	D	219	1	6.0	1.4	10YR	8/2	10YR	8/3	1		1	2	1		
	D	220	1	3.3	1.3	N	6/0	N	6/0			1	2			
	D	221	1	6.6	2.2	10YR	8/2	10YR	8/3	1		1	2	1		
	D	222	1	3.2	2.3	10YR	8/2	10YR	8/3			1	2			
	D	223	1	4.2	1.9	5Y	6/1	N	6/0		1	5	2		1	
	D	224	1	4.1	2.3	N	6/0	10YR	6/1	1		1	2	1		
	D	225	1	5.6	1.3	5Y	7/1	10YR	8/4			1	2			
	D	226	1	7.1	1.8	N	5/0	N	5/0	4		0	5	1	1	
	D	227	1	4.0	1.8	10YR	8/1	10YR	8/2	4	1	0	4	2	2	
	D	228	1	8.2	1.8	10YR	6/1	7.5YR	7/2	1		0	0	2		
	D	229	1	4.3	1.4	10YR	8/3	10YR	8/3		1	0	0		2	
	D	230	1	5.7	1.3	10YR	8/2	10YR	8/3	5		1	2	1		
	D	232	1	4.9	1.6	10YR	8/2	10YR	8/3	5		1	2	1		
	D	234	1	6.7	2.1	10YR	8/2	10YR	8/3			0	0			
	D	235	2	3.0	1.2	N	8/0	10YR	8/3		1	2	2		2	
	D	236	1	4.8	1.3	10YR	8/3	10YR	8/2			1	2			
	D	237	1	6.3	1.6	10YR	8/2	10YR	8/2	1	1	1	0	2	2	
	D	239	1	3.5	1.6	10YR	8/3	10YR	8/2	1		1	2			
	D	238	1	4.8	1.6	10YR	8/2	10YR	8/3			1	2	1		
	D	240	0									0	0			
	D	241	1	5.1	1.9	5Y	7/1	10YR	8/1	5	1	1	5	1		
	D	242_1	1	7.2	1.7	5Y	6/1	7.5YR	7/1			1	5			
	D	242_2	1	4.2	1.3	10YR	8/2	10YR	8/3			1	2			
	D	243	2	4.8	1.0	10YR	8/1	10YR	7/1		1	1	2		1	
	D	244	1	7.2	2.0	N	5/0	N	6/0	6		1	2	1		焼成時の亀裂あり
	D	245	1	10.5	1.4	5Y	7/1	5Y	7/1	6	1	1	8	1	1	
	D	246	2	7.5	1.7	10YR	8/3	10YR	6/2	5		1	2	1		
	D	247	1	3.8	1.2	5Y	5/1	N	5/0			2	2			
	D	249	2	2.8	1.0	5Y	6/1	5Y	6/1			1	0			
	D	250	2	4.3	1.2	5Y	7/1	N	8/0			1	5			
	D	251	1	5.2	1.9	5Y	7/1	5Y	7/1	5	1	1	5	1	1	
	D	252	1	6.7	1.3	10YR	8/3	10YR	8/3			1	4			
	D	253	1	6.2	2.9	10YR	8/2	10YR	8/3	1	3	1	2	1	1	
	D	254	2	6.3	1.3	10YR	8/2	10YR	8/3			1	2			
	D	255	0									0	0			
	D	256	2	3.0	0.8	7.5YR	7/2	7.5YR	7/2			1	0			
	D	257	1	10.1	2.3	10YR	8/3	10YR	8/2	5		1	2	1		
	D	258	1	10.0	1.7	10YR	8/2	10YR	8/2			1	2			
	D	259	1	5.7	1.1	10YR	8/2	10YR	8/3			1	2			
	D	260	1	12.0	2.1	N	6/0	N	3/0		1	1	3		1	
	D	261	1	5.6	1.6	10YR	8/1	7.5YR	7/2	5	1	1	2	1	1	
	D	262	1	5.4	1.6	10YR	8/1	10YR	8/2	7		1	4	2		
	D	263	2	6.3	1.5	10YR	7/1	10YR	8/2		1	2	0		1	
	D	264	2	2.7	1.1	5Y	7/1	5Y	7/1	10		1	2	1		
	D	265	1	3.6	2.3	10YR	8/2	7.5YR	8/3	1		1	2	1		
	D	266	1	6.1	1.6	N	5/0	7.5YR	7/1		1	2	0		1	
	D	267_1	1	2.6	2.5	N	6/0	7.5YR	7/1			1	4			
	D	267_2	1	3.4	1.7	10YR	8/3	10YR	8/2		1	0	0		2	
	D	267_3	2	2.8	1.2	5Y	8/2	10YR	8/1	6		0	0	2		
	D	268	1	4.0	1.9	10YR	8/2	10YR	8/3	1		1	2	1		
	D	269	1	3.9	2.2	5Y	7/1	5Y	7/1	3		1	5	1		
	D	270	2	3.6	1.0	10YR	6/1	10YR	7/1	10		1	4	1		
	D	271	1	8.6	1.7	10YR	8/2	10YR	8/3	4		1	0	1		
	D	272	1	5.4	1.8	10YR	8/2	10YR	8/2	4		1	0	1		
	D	273	2	6.2	1.4	N	8/0	10YR	8/1		1	1	5		1	
	D	274	1	3.8	1.4	N	6/0	N	6/0			1	4			
	D	275	2	2.2	1.0	10YR	6/1	5Y	6/1	5		1	4	1		
	D	276	1	6.4	1.9	10YR	8/3	10YR	7/1	1		1	2	1		
	D	277	1	9.4	2.6	10YR	8/2	7.5YR	6/2	5	2	1	4	1	1	
	D	278	1	9.8	1.8	10YR	8/3	10YR	8/2	3	2	1	0	1	1	

挿図番号	地区名	注記ID	瓦種別code	法量(cm) 最大幅	法量(cm) 最大厚	色調 凹面、色相	色調 凹面、明/彩	色調 凸面、色相	色調 凸面、明/彩	側面形状	端面形状	調整 凹面	調整 凸面	調整 側面	調整 端面	備考
	D	279	1	5.0	2.2	10YR	8/1	10YR	8/2	4		0	4	2		
	D	280	1	6.6	2.2	10YR	8/2	10YR	8/2		1	0	4		2	
	D	281	1	7.2	2.0	10YR	7/1	5YR	6/2	4		1	4	1		
	D	282	2	6.8	1.8	10YR	8/2	10YR	7/2			1	2			
	D	283	1	4.0	1.7	10YR	8/3	10YR	8/3	5		1	0	2		
	D	284	1	6.7	2.4	10YR	6/1	5YR	7/1	1	2	1	4	1	1	
	D	285	1	11.0	1.7	N	6/0	N	5/0			1	4			
	D	286	1	7.7	2.3	10YR	8/1	10YR	8/2	5		6	2	1		
	D	287_1	2	4.1	1.1	10YR	7/1	10YR	8/2	7		0	2	2		
	D	287_2	1	9.7	1.7	10YR	8/1	10YR	8/3	4	1	1	2	1	1	
	D	288	1	5.2	1.9	7.5YR	6/1	N	6/0			1	2			
	D	289	2	2.9	1.1	5Y	8/1	5YR	8/2			0	0			
	D	290	2	4.1	1.7	10YR	7/2	10YR	6/1	1		0	4	1		
	D	291	2	5.7	1.6	10YR	7/2	10YR	6/1			0	4			
	D	292	2	2.9	1.6	5Y	8/2	2.5Y	8/2	7		0	0	2		
	D	293	1	2.4	2.1	5Y	6/1	5YR	7/1			1	5			
	D	294	1	4.1	2.2	10YR	8/1	10YR	8/1		1	1	0		2	
	D	295	1	5.2	1.8	5Y	7/2	5YR	7/2		2	1	2		1	
	D	296	1			5Y	8/1	5Y	8/1			0	0			
	D	297	0									0	0			
	D	298	1	5.8	2.3	2.5Y	8/2	5Y	8/2			1	0			
	D	299	1	6.0	2.3	5Y	8/2	10YR	8/3			1	0			
	D	300	1	5.8	2.2	10YR	8/2	7.5YR	8/3			1	2			
	D	301	1	2.9	1.4	5Y	7/2	5Y	7/3	7		1	2		1	
	D	302	0			10YR	8/2					1	3			
	D	303	1	6.3	1.4	10YR	8/2	10YR	8/3	5		1	2		1	
	D	304	1	6.2	1.2	5Y	7/1	N	8/0			1	5			
	D	305	1	3.9	2.2	7.5YR	8/3	7.5YR	8/3			1	1			
	D	306	1	3.0	1.2	7.5YR	7/3	7.5YR	8/3			1	0			
	D	307	1	3.6	1.8	10YR	7/2	2.5Y	8/2			0	0			
	D	308	1	2.7	1.4	7.5YR	7/1	7.5YR	7/1	5		1	2	1		
	D	309	1	6.9	2.2	N	6/0	N	5/0			1	1			
	D	310	2	4.3	1.6	5Y	6/1	5Y	6/1	5		1	1	1		
	D	311	1	6.8	2.3	10YR	5/1	10YR	5/1		1	1	1		1	
	D	312	1		(1.0)	2.5YR	6/6	5YR	5/6			3	3			
	D	313	1	5.9	1.6	5YR	6/6	5YR	7/6		2	1	1		1	
	D	314	2	2.1	0.9	2.5Y	8/2	2.5Y	8/2	1		0	0			
	D	315	2	3.5	1.2	5Y	6/1	5Y	7/1			1	6			
	D	316	1	6.3	2.9	7.5Y	8/1	2.5Y	8/2		2	0	0		2	
	D	317	1			7.5YR	8/1	2.5Y	8/3			0	1			
	D	318	1	3.3	2.1	10YR	8/2	10YR	8/3			0	0			
	D	319	2	2.2	1.9	7.5Y	8/1	5Y	8/2		1	0	2		1	
	D	320	1	7.5	2.1	10YR	8/2	10YR	8/3			0	0			
	D	346	1	7.4	2.2	7.5Y	8/1	5Y	7/1		1	1	2		1	
	D	321	1	8.3	1.5	10YR	8/3	10YR	8/4	1		1	2	1		
	D	322	1	5.3	2.5	5YR	6/3	5YR	6/4			1	1			
	D	323	1	4.9	1.9	5Y	6/1	5YR	5/2		1	1	1		1	
	D	324	1	8.9	1.9	7.5YR	8/4	7.5YR	8/1	1		1	4	1		
	D	345	1	4.7	1.6	10YR	6/1	N	8/0			1	2			
	D	347	1	4.7	1.6	N	6/0	N	6/0			1	2			
	D	348	1	3.6	1.2	10YR	7/2	10YR	8/3			1	2			
	D	349	1	5.0	1.3	10YR	7/2	10YR	8/3			1	2			
	D	350	1	6.2	(1.2)	7.5Y	8/1	7.5Y	8/1			3	1			
	D	351	1	5.3	1.6	2.5Y	8/2	5Y	8/2			0	4			
	D	352	1	11.9	3.7	N	6/0	N	7/0	1	1	1	2	1	1	
	D	353	1	5.0	1.5	10YR	7/3	7.5YR	8/4			0	2			
	D	354	2	4.8	1.9	2.5Y	7/2	5Y	7/2	7		1	2	1		
	D	355	2	4.0	1.3	5Y	7/2	5Y	7/2	5		1	2	1		
	D	356	1	6.6	2.4	N	5/0	N	5/0	4		1	2	1	1	焼成時の変形・亀裂あり
	D	357	1	9.2	2.4	10YR	6/1	N	6/0	9		1	1	1		
	D	358	2	3.6	1.9	7.5YR	7/3	7.5YR	6/1	8		1	7	1	1	
	D	359	1	5.9	1.6	10YR	8/1	5Y	7/1		1	1	0	2	2	
	D	360	1	5.9	2.1	N	5/0	N	7/0			1	1			
	D	361	1	9.4	2.8	10YR	8/1	7.5YR	7/2	4		1	0	1		
	D	362	2	6.0	1.5	5YR	5/6	7.5YR	5/3	7		1	2	1		
	D	363	1	3.7	1.7	7.5YR	7/3	7.5YR	8/3	1		1	2	1		
	D	364	2	4.5	1.3	5Y	7/1	10YR	7/1	7		1	0			
	D	365	1	9.3	2.1	7.5YR	6/3	10YR	7/3		1	1	1		1	
	D	366	1	10.7	2.4	7.5YR	6/6	7.5YR	7/3	6		1	2	1		
	D	367	1	4.5	2.2	5Y	6/1	N	6/0	4		1	2	1		
	D	368_1	1	3.3	1.6	5Y	8/2	5Y	8/2			1	2			
	D	368_2	1	3.6	1.8	5Y	7/2	5Y	7/2			1	2			
	D	369	1	2.7	1.1	5YR	6/4	5YR	6/4	3		1	1			
	D	370	1	4.1	1.8	7.5Y	5/1	7.5Y	5/1			1	2			
	D	371	1	3.0	2.4	N	6/0	N	5/0			1	5			
	D	372	1	4.9	1.9	5Y	4/1	5Y	7/1			0	4			

挿図番号	地区名	注記ID	瓦種別code	法量(cm) 最大幅	法量(cm) 最大厚	色調 凹面、色相	色調 凹面、明/彩	色調 凸面、色相	色調 凸面、明/彩	側面形状	端面形状	調整 凹面	調整 凸面	調整 側面	調整 端面	備考
	D	373	1	7.9	1.8	10YR	7/2	10YR	8/3			1	2			
	D	374	1	2.6	2.1	N	6/0	N	5/0	4		1	2	1		
	D	375	1	11.5	2.7	N	5/0	5Y	8/1	6	1	1	5	1	1	焼成時の亀裂あり
	D	376	2	5.7	1.6	5Y	8/1	5Y	8/2	7		0	0	2		
	D	377	1	4.0	1.9	5Y	4/1	5Y	7/1			1	0			
	D	378	1	5.5	1.7	N	5/0	7.5Y	7/1	5		1	8	1		
	D	379	1	11.1	1.9	10YR	8/3	10YR	8/2	6		1	2	1		
	D	380	1	1.9	1.8	5Y	7/1	5Y	7/1			1	0			
	D	381	1	3.5	(1.5)	5Y	4/1	5Y	7/2			3	4			
	D	382	2	3.9	1.6	2.5Y	8/2	2.5Y	8/2			1	0			
	D	383	1	2.4	1.9	5Y	7/1	5Y	7/1	6		1	2	1		
	D	384	2	3.1	2.0	10YR	8/1	2.5Y	8/2			0	0			
	D	385	1	4.9	1.8	5Y	8/1	5Y	7/1		1	1	2		1	
	D	386	1	7.9	1.6	7.5Y	7/1	N	6/0			1	2			
	D	387_1	1	4.8	1.5	N	5/0	7.5Y	7/1			1	8			
	D	387_2	1	2.8	1.5	N	5/0	7.5Y	7/1			1	8			
	D	388	1	12.5	2.1	N	5/0	N	5/0		2	1	8		1	
	D	389	1	4.9	2.5	10YR	7/2	10YR	8/2	1		0	4	2		
	D	390_1	1	8.9	2.5	5Y	6/1	5Y	6/1			1	8	1		
	D	390_2	1	9.9	2.0	N	5/0	5Y	7/1			1	2	1		
	D	391	1	10.7	2.0	N	5/0	7.5YR	8/1	8	2	1	8	1	1	
	D	392	1	3.4	1.6	10YR	6/2	10YR	5/1			1	2			
	D	393	1	4.4	1.5	5Y	7/1	5Y	7/1			1	5			
	D	394	1	6.6	1.6	10YR	8/2	10YR	8/2			1	2			
	D	395	1	5.2	2.7	10YR	7/2	5Y	5/1			0	4			
	D	396_1	1	4.7	1.4	7.5YR	8/1	5Y	8/1		1	0	0		1	
	D	396_2	2	2.2	1.3	5Y	8/1	5Y	8/1			1	2			
	D	397	1	7.7	2.6	10YR	8/2	10YR	8/3	1		1	2	1		
	D	398	1	8.7	1.5	10YR	7/2	7.5YR	8/1	1		1	2	1		
	D	399	0	4.9	2.0	10YR	8/2	10YR	8/2			1	0			
	D	400	1	7.6	1.7	N	6/0	N	6/0	5		1	2	1		
	D	401	1	9.9	2.4	5Y	6/1	N	6/0	4		1	8	1		
	D	402	2	3.0	1.5	2.5Y	8/2	5Y	8/2	7		0	0	2		
	D	403	2	6.0	1.9	2.5Y	8/2	5Y	8/2	7	1	0	0	2	2	
	D	404	0	4.7	2.4	10YR	7/2	5Y	6/1			0	4			
	D	405	2	3.9	1.2	10YR	8/2	10YR	8/4	1		1	0			
	D	406	1	4.2	1.8	N	6/0	N	6/0	1	1	1	2	2	2	
	D	407	1	2.5	1.9	10YR	8/2	5Y	8/1			1	0			
	D	408	1	3.3	1.9	7.5YR	8/1	10YR	8/1	1		0	0	2		
	D	409	1	2.6	0.2	N	5/0	N	5/0			1	2			
	D	410	1	5.4	1.9	7.5Y	6/1	N	6/0			1	2			焼成時の亀裂あり
	D	411	1	2.6	1.5	5Y	7/1	5Y	7/1	1		1	5	1		
	D	412_1	2	1.9	1.4	5Y	7/1	5Y	6/1			1	2			
	D	412_2	1	3.8	2.4	5Y	8/1	10YR	8/2	1		0	4	2		
	D	413	1	3.6	0.8	10YR	8/4	10YR	8/4			1	0			
	D	414_1	2	3.4	1.1	5Y	8/1	N	8/1	5		1	2	1		
	D	414_2	2	2.1	1.0	7.5Y	6/1	5Y	7/1	5		1	2	1		
	D	415	1	3.1	2.1	10YR	8/2	10YR	8/2			1	2			
	D	416	1	3.9	1.3	10YR	8/1	10YR	8/1	4		0	0	2		
	D	417	2	4.7	1.6	10YR	8/2	7.5Y	8/1			1	0			
	D	418	1	4.8	1.5	5Y	5/1	7.5Y	7/1			1	2			
	D	419	1	4.7	1.2	7.5YR	8/1	10YR	8/1			0	0			
	D	420	1	6.1	2.6	10YR	8/3	10YR	8/2			1	0			
	D	421	1	5.1	1.9	5Y	7/1	5Y	8/1			1	2			
	D	422	1	8.2	2.2	10YR	8/2	10YR	8/3	1		1	4	2		
	D	423	1	10.4	2.6	10YR	8/3	10YR	8/2	1		1	0	2		
	D	424	1	9.8	2.4	10YR	8/2	10YR	8/3		2	0	0		2	
	D	425	0	3.3	1.9	5Y	7/1	5Y	8/1			1	5			
	D	426	1	8.3	1.7	5Y	8/1	5Y	8/1	4		1	5	1		
	D	427	1	4.3	1.9	5Y	6/1	5Y	6/1			1	2	1	1	
	D	428	1	5.6	1.9	10YR	7/3	10YR	8/2			1	2			
	D	429	1	6.6	1.7	10YR	7/3	10YR	8/2			1	2			
	D	430	1	8.6	2.2	10YR	8/2	10YR	8/2		2	1	6		4	
	D	431	1	8.5	1.6	7.5YR	7/1	7.5YR	7/1			1	2			
	D	432	1	7.0	1.0	2.5YR	8/2	2.5YR	8/2			3	2			
	D	433	1	7.3	1.6	7.5YR	6/2	10YR	7/2	5		1	2	1		
	D	434	1	5.0	2.4	10YR	8/2	10YR	8/2			0	2			
	D	435	1	9.3	2.2	10YR	7/2	10YR	7/2			0	0			
	D	436	1	3.5	2.3	10YR	8/3	10YR	8/1			0	0			
	D	437	1	12.2	2.1	10YR	5/1	N	4/0		1	1	4		1	
	D	438	2	3.2	1.0	5Y	7/1	7.5Y	6/1			1	2			
	D	439	1	6.0	1.4	10YR	8/2	10YR	8/2			1	2			
	D	440	1	6.3	1.2	10YR	7/1	10YR	8/2	1		1	0	2		
	D	441	1	6.6	1.7	10YR	6/1	N	8/0			1	2			
	D	442_1	2	2.5	0.9	10YR	7/1	10YR	7/1			0	2			
	D	442_2	1	3.2	1.3	10YR	8/1	10YR	8/4			1	0	2		

挿図番号	地区名	注記ID	瓦種別code	法量(cm) 最大幅	最大厚	色調 凹面、色相	凹面、明/彩	凸面、色相	凸面、明/彩	側面形状	端面形状	調整 凹面	凸面	側面	端面	備考
	D	443	1	5.8	1.2	10YR	8/3	10YR	8/2			1	2			
	D	444	1	7.4	1.6	N	5/0	N	6/0		1	1	2			
	D	445_1	1	5.0	0.9	5Y	6/1	5Y	6/1	5		1	2	1		
	D	445_2	1	2.2	2.0	5Y	6/1	10YR	4/1			1	1			
	D	446_1	1	1.1	2.0	10YR	6/1	10YR	4/1	3		1	5	1		
	D	446_2	1	4.4	1.8	N	6/0	7.5YR	6/1	4	1	1	2	1		
	D	447	1	5.3	2.0	10YR	7/2	10YR	7/2	1		0	4	1		
	D	448	2	4.0	2.3							0	0			
	D	449	1	3.0	1.8	10YR	8/1	10YR	8/1	4		0	0	2		
	D	450	1	5.8	1.9	10YR	5/1	N	5/0	5		1	2	1		
	D	451	1	5.3	1.3	N	6/0	N	6/0			1	2			
	D	452	1	3.7	(1.0)	5YR	6/4	5YR	6/4			1	3			
	D	453	2	3.6	1.0	2.5GY	5/1	N	6/0	5		1	1	1		
	D	454	1	11.7	1.9	5YR	6/4	5YR	6/4	4		1	2	1		
	D	455	2	3.9	1.4	N	5/0	N	6/0			1	1			
	D	456	1	10.6	1.9	5Y	6/1	10YR	4/1	9	1	1	1	1	5	
	D	457	1	4.6	1.8	N	4/0	N	4/0	9	1	1	1	4	1	
	D	458	1	4.9	2.2	10YR	8/2	10YR	8/2			0	0			
	D	459	2	4.2	1.2	10YR	8/1	10YR	8/2			1	0			
	D	460	1	9.0	2.6	N	6/0	N	5/0	6	1	5	2	1	1	
	D	461	1	8.4	1.8	7.5Y	7/1	10YR	8/1		1	3	2		1	
	D	462	1	6.2	1.7	10YR	8/1	10YR	8/1			5	0			
	D	464	1	8.6	1.5	10YR	8/1	10YR	8/1			1	0			
	D	465	1	10.0	2.0	10YR	8/3	10YR	8/2	5		1	2	1		
	D	466	1	9.7	1.8	10YR	8/4	10YR	8/3	5		1	2	1		
	D	468	1	5.4	1.7	10YR	6/1	10YR	6/1			1	2			
	D	469	4	4.0	1.8	5Y	8/1	5Y	8/1							
	D	470	1	5.6	1.6	10YR	8/1	10YR	8/1	4		1	0	2		
	D	471	1	13.5	1.9	10YR	6/1	10YR	4/1	6		1	5	1		
	D	472	1	13.3	2.2	10YR	8/3	2.5Y	8/2	7	1	1	2	1	1	
	D	473	1	5.2	1.9	10YR	8/4	10YR	8/2			0	0			
	D	474	1	10.7	2.4	2.5Y	8/2	10YR	8/3	6	4	1	0	1		
	D	475	1	6.8	1.2	10YR	8/1	10YR	8/3			1	0			
11	D	476	3	15.0	2.0	5Y	8/1	2.5Y	8/2							
	D	477	1	10.1	2.2	2.5Y	8/2	2.5Y	8/2	5		1	2	1		
	D	478	2	4.4	1.3	5Y	7/1	5Y	7/1			1	0			
	D	479	1	8.7	1.9	10YR	8/3	10YR	8/4	1		1	4	1		
	D	480	1	3.3	1.7	N	8/0	7.5Y	6/1		1	1	5			
	D	481	1	2.5	2.0	N	4/0	N	5/0			1	1			
	D	482	2	4.4	1.3	10YR	8/3	10YR	8/4	5		1	2	1		
	D	483	2	4.6	1.4	5Y	8/1	10YR	7/3	7		0	0	2		
13	D	484	6	11.1	1.8	N	5/0	N	6/0			1	2	1	1	
	D	485	1	5.4	2.2	2.5Y	8/2	5Y	8/2	4		1	0			
	D	486	1	6.3	2.2	10YR	8/4	10YR	8/1			1	2			
	D	487	1	3.4	2.3	2.5Y	8/1	10YR	8/2			1	0			
	D	488	1	4.6	1.3	7.5Y	5/1	7.5Y	5/1	7		1	1	1		
	D	489	1	13.0	2.4	2.5Y	8/2	2.5Y	6/1			0	4			
	D	490	1	5.5	2.1	5Y	5/1	5Y	7/1			0	0			
	D	491	1	6.0	2.3	5Y	7/1	7.5Y	8/1			5	0			
	D	492	1	7.7	2.2	2.5Y	8/2	2.5Y	4/1		1	0	4			
19	D	493	1	8.9	2.2	10YR	7/1	2.5Y	8/3	1		1	2	1		
	D	494	1	8.9	2.7	5Y	5/1	5Y	6/1			1	2			焼成時の亀裂アリ
	D	495	1	7.7	1.8	N	6/0	N	5/0	4		1	5	1		
	D	496	1	12.2	1.5	10YR	8/2	10YR	8/4	1	1	1	2	1	1	
	D	497	1	3.2	1.5	2.5Y	8/1	2.5Y	7/2	4		0	5	2		
	D	498	2	5.7	1.6	10Y	6/1	10YR	8/2	5		1	2	1		
	D	499	2	7.3	1.7	2.5Y	8/4	2.5Y	7/4	3		0	4	1		
	D	500	1	2.7	2.1	7.5YR	5/4	7.5YR	6/6	9		1	0	1		
	D	501	1	3.8	1.9	10YR	7/3	10YR	7/3			1	1			
	D	502	1	5.5	1.8	2.5Y	7/1	2.5Y	7/2	4		1	1	1		
	D	503	1	5.0	1.3	10YR	8/1	10YR	5/4			3	1			
	D	504	1	5.0	(0.7)	10YR	6/1	5YR	6/4	4		1	3	2		
	D	505	1	5.0	(1.3)	10YR	6/1	10YR	7/1			1	3			
	D	506	1	6.1	1.7	10YR	6/1	10YR	6/1		1	1	1		5	
	D	507	1	13.6	1.6	10YR	6/1	10YR	7/1	5		1	1	1		
	D	508	1	3.4	(1.1)	10YR	6/1	10YR	6/1			1	3			
	D	509	3	4.1	1.4	2.5Y	8/2	2.5Y	8/2			1	0			
	D	510	2	3.0	1.3	10YR	8/3	10YR	8/3	5		1	0	2		
	D	511	1	6.2	2.1	7.5YR	6/1	7.5YR	7/1	5		1	2	1		
	D	512	1	8.3	1.6	10YR	6/1	10YR	8/1	5		1	3	1		
	D	513	2	4.8	1.1	7.5YR	8/3	7.5YR	8/3			0	2			
	D	514	1	10.9	1.8	2.5YR	6/6	2.5YR	6/6	4	1	1	1	1	1	
	D	515	1	10.1	2.0	5YR	6/3	5YR	6/4	4	1	1	1	1	1	
	D	516	1	8.3	1.1	5YR	7/4	5YR	7/4			1	1			
	D	517	2	6.1	1.2	10YR	6/1	10YR	6/1			1	4			
	D	518	2	4.6	1.3	2.5YR	8/2	2.5YR	8/2	7		0	0	2		
	D	519	1	7.1	1.6	2.5Y	8/2	2.5Y	8/2			0	0			
	D	520	1	5.2	2.0	10YR	8/2	10YR	8/2			0	0			
	D	521	1	6.1	1.3	N	3/0	10YR	8/1		1	1	5		1	焼成時の亀裂アリ
	D	522	1	7.2	2.3	10YR	7/1	10YR	7/1	4	1	1	1	1	1	
	D	523	1	9.6	2.5	10YR	8/1	10YR	8/2	6		0	4	2		
	D	524	2	4.5	1.7	5YR	6/3	7.5YR	5/2	3	1	1	1	1	1	
	D	525	1	6.6	2.0	7.5YR	8/1	7.5YR	6/2			1	2			
	D	526	2	7.2	1.4	N	8/0	10YR	8/1	7		1	5	1		
	D	527	2	3.5	1.6	7.5YR	7/1	10YR	7/1			1	2			
	D	528	2	3.7	1.7	7.5YR	8/3	10YR	8/3	3		1	0	2		
	D	529	2	6.5	1.8	7.5YR	8/3	10YR	8/3			1	0			
	D	530	1	7.8	2.4	10YR	7/2	10YR	7/2	3	1	1	2	1	1	
	D	531	2	3.6	1.1	10YR	8/1	10YR	8/1			0	0			
	D	532	1	7.4	2.0	10YR	6/1	N	6/0		4	1	5		2	
	D	533	2	5.6	2.0	10YR	8/3	10YR	8/1			1	2			
	D	534	2	3.2	1.2	10YR	8/1	5Y	8/2			0	0			
	D	535	1	5.3	2.0	10YR	7/1	10YR	6/1		4	1	5		1	
	D	536	1	5.9	2.0	7.5YR	8/1	7.5YR	8/1	4		5	4	1		
	D	537	2	5.5	2.0	N	4/0	N	4/0		1	0	2		1	
	D	538_1	1	2.2	1.7	10YR	8/1	10YR	8/1			1	2			
	D	538_2	0	6.7	1.6	10YR	8/1	10YR	8/1							
	D	539	2	3.7	1.1	5Y	7/1	5Y	7/1			1	3			
	D	540	2	6.6	1.5	2.5Y	8/2	10YR	8/2	7		0	0	1		
	D	541	1	6.4	1.7	10YR	8/1	10YR	7/1	4		1	3	1		
	D	542	1	10.6	1.6	10YR	7/2	10YR	7/2	1	1	1	2	1	1	
	D	543	2	3.3	1.7	5Y	8/1	2.5Y	8/2	7		0	0	1		
	D	544	2	4.1	2.0	10YR	8/2	10YR	8/3			0	4			
	D	545	1	7.6	1.6	10YR	6/1	N	6/0			1	2			
	D	546	2	4.5	1.6	10YR	8/2	10YR	7/2	5		1	2	1		
	D	547	2	5.0	1.5	N	3/0	10YR	4/1		1	1	4		1	
	D	548	2	7.1	1.5	10YR	4/1	N	5/0	3		1	2	1		
	D	549	2	4.4	1.8	10YR	7/1	10YR	7/1	5	1	1	2	1	1	
	D	550	2	5.1	1.4	10YR	6/1	10YR	7/1	5		1	3		1	
	D	551	1	6.3	2.1	10YR	6/1	N	5/0			1	1			
	D	552	1	5.7	1.4	10YR	8/2	10YR	8/2			5	0			
	D	553	2	4.2	1.4	10YR	7/2	10YR	8/1			1	0			
	D	554_1	2	2.5	1.1	7.5YR	7/1	10YR	8/1			1	2		1	
	D	554_2	2	4.1	1.3	10YR	8/1	N	8/0			0	2	1		
	D	555	1	4.0	2.1	10YR	6/1	10YR	6/1	3		1	2	1		
	D	556	1	9.3	2.6	10YR	8/1	10YR	7/1		1	0	0		2	
	D	557	1	10.3	3.0	7.5YR	7/1	7.5YR	6/1	5		1	2	1		
	D	558	2	3.3	1.3	N	5/0	10YR	5/1	5		1	3	1		
	D	559	1	7.3	2.6	7.5YR	7/2	10YR	7/1			1	2			
	D	560	1	5.4	2.0	10YR	8/2	10YR	7/2			1	1			
	D	561	1	7.0	1.8	10YR	8/3	10YR	8/3	3		1	2	1		凸面に3本の平行沈線
	D	562	2	3.0	1.5	10YR	8/2	10YR	8/1	5		1	0	1		
	D	563	1	6.2	2.4	10YR	8/4	10YR	8/1			1	2			
	D	564	1	8.1	2.2	10YR	6/1	10YR	7/1	5	1	5	4	1	1	
	D	565	1	8.1	1.3	5Y	7/1	5Y	7/1			1	5			
	D	566	2	3.4	1.2	5YR	8/1	5YR	8/1			0	0			
	D	567	2	7.0	1.4	N	5/0	10Y	5/1	5		1	2	1		
	D	568	1	11.4	2.4	N	5/0	N	5/0			1	2			
	D	569	1	7.2	1.4	7.5YR	7/1	10YR	8/1	5		1	2	1		
	D	570	3													
	D	571	2	5.1	1.8	10YR	8/1	10YR	7/2	7		1	0	2		
	D	572	1	7.1	2.2	10YR	8/3	10YR	8/1			0	0			
	D	573	4													
	D	574	1	6.6	2.2	7.5YR	8/1	7.5YR	8/1	2		1	4	1		
	D	575	2	5.5	1.1	7.5YR	7/2	7.5YR	7/2	5		2	6	1		
	D	576	1	4.5	2.0	7.5YR	8/1	7.5YR	8/1			0	0			
	D	577	1									0	4			
	D	578	2	4.5	1.5	10YR	8/2	10YR	8/1			0	2			
	D	579	2	4.0	(1.2)	N	8/0	10YR	8/2			0	3			
	D	580	1			7.5YR	7/1					0	4			
	D	581	2	3.3	1.3	10YR	8/3	10YR	8/3			0	0			
	D	582	1	10.2	2.5	N	6/0	N		4		5	2			
	D	583	1	8.4	1.9	7.5YR	8/1	10YR	8/2	6	1	0	4	1		
	D	584	2	4.9	1.6	10YR	8/2	10YR	8/2	5		1	0	2		
	D	585	2	2.5	1.2	10YR	8/1	10YR	8/1	7		0	0	2		
	D	586	2	3.4	1.7	5Y	7/1	5Y	7/1	7		1	6	1		
	D	587	1	4.5	1.6	10YR	8/2	10YR	8/2			1	2			
	D	588	2	4.0	1.3	10YR	8/1	10YR	8/1		1	1	0		2	
	D	589	1	6.1	(1.8)	10YR	7/2	10YR	7/2			3	4			
	D	590	2	6.2	1.6	7.5Y	7/1	7.5Y	7/1	7		1	0	2		
	D	591	2	4.3	1.5	10YR	8/1	10YR	8/1			0	0			
	D	592	1	5.7	2.5	7.5YR	6/3	10YR	8/1			1	0			

挿図番号	地区名	注記ID	瓦種別 code	法量(cm) 最大幅	最大厚	色調 凹面、色相	凹面、明/彩	凸面、色相	凸面、明/彩	側面形状	端面形状	調整 凹面	凸面	側面	端面	備考
	D	593	1	8.2	2.4	7.5YR	6/3	10YR	8/2	5		1	0	2		
	D	594	2	2.0	1.4	5Y	5/1	N	5/0	5		1	2	1		
	D	595	1	4.2	2.2	10YR	8/3	10YR	8/2	7		0	4	2		
	D	596	1	11.4	2.9	7.5YR	7/2	7.5YR	8/2	4		1	6	2		
	D	597	2	3.4	(1.1)	10YR	8/1	10YR	8/1	7		0	3	2		
	D	598	1	1.9	1.7	10YR	8/2	10YR	8/1	4		1	6	2		
	D	599	1	11.3	2.0	10YR	5/1	10YR	7/1	6		1	8	1		焼成時の亀裂あり
	D	600	1	5.5	2.2	N	8/0	10YR	8/1		1	1	2		1	
	D	601	1	4.7	1.9	10YR	7/1	10YR	8/1	4		1	4	1		
	D	602	4													
	D	603	2	3.7	1.3	10YR	7/1	10YR	7/1			1	2			
	D	604	1	3.0	2.0	7.5YR	6/1	N	6/0			1	5			
	D	605	1	4.2	1.6	10YR	8/2	10YR	7/2		2	1	0		1	
	D	606	1	3.1	1.7	N	6/0	N	6/0			1	5			
	D	607	1	5.6	1.8	10YR	6/2	7.5YR	8/3		2	1	4		1	
	D	608	1	3.6	1.5	5YR	6/4	5YR	7/6			0	4			
	D	609	1	7.9	1.9	10YR	7/2	10YR	8/2			1	2			
	D	610	2	5.1	1.5	7.5Y	7/1	7.5Y	7/1	7		1	0	2		
	D	611	0									0	0			
	D	612	2	9.4	1.3	10YR	8/2	10YR	8/3	5		1	2	1		
	D	613	1	3.8	2.1	7.5YR	7/2	7.5YR	7/2			1	1			
	D	614	2	5.6	1.1	10YR	6/1	10YR	6/1	7		1	2	1		
	D	615	1	2.8	1.4	N	8/0	N	7/0			1	2			
	D	616	2	2.2	1.6	10YR	8/3	10YR	8/2	5		0	2	1		
	D	617	0			10YR	7/1					1	3			
	D	618	1	5.3	1.7	5Y	7/1	5Y	7/1	8		1	8	1		
	D	619_1	0									0	6			
	D	619_2	1	10.1	2.9	10YR	8/2	10YR	8/2	1		1	4	1		
	D	620	1	8.8	2.4	10YR	8/2	10YR	8/2	4	4	1	2	1	1	
	D	621	5			2.5Y	8/1	2.5Y	8/1							
	D	622	1	12.2	2.1	10YR	8/1	10YR	8/1	6		1	2	2		
7	D	623	4													
	D	624	1	12.6	1.7	7.5YR	7/1	10YR	8/1	1	1	1	2	1	1	
	D	625	1	8.6	2.4	10YR	8/2	10YR	8/3	1		1	2	1		
	D	626	1	7.1	1.9	10YR	6/2	10YR	7/1	1		1	2	1		
	D	627_1	1	4.0	2.3	10YR	8/2	10YR	8/2	4		1	4	1		
10	D	627_2	3													
14	D	628	6	13.5	1.8	10YR	5/1	10YR	6/1	1	1	1	2	1	1	
19	D	629	1	7.8	1.5	10YR	8/2	2.5YR	8/3			1	0	1	1	
10	D	630	3													
	D	631	1	12.5	2.6	10YR	8/2	10YR	8/2	4	1	0	4	1	3	
	D	632	1	6.3	1.2	2.5YR	6/6	2.5YR	6/6	4		1	4	1		
	D	633	1	12.8	2.0	10YR	8/4	10YR	8/3	1	1	1	0	2	2	
	D	634	2	6.6	1.7	10YR	8/1	10YR	7/1	7		1	2	1		
	D	635	1	11.4	2.7	10YR	8/2	10YR	8/2			0	2			
	D	636	1	12.4	3.3	10YR	6/1	N	5/0	4	1	1	2	1	1	
	D	637	1	12.0	3.1	7.5YR	6/2	N	7/0	4	1	1	2	1	1	
	D	638	1	9.5	2.2	5Y	7/1	5Y	7/1			1	2			
	D	639	2	4.2	1.4	5Y	7/1	5Y	7/1	7		1	2	1		
	D	640	2	4.6	1.4	5Y	7/1	5Y	7/1			1	2			
	D	641	1	9.8	2.0	N	5/0	N	5/0			1	8			
	D	642	1	8.7	1.7	N	5/0	N	5/0	4		1	8	1		
	D	643	1	8.2	1.8	N	5/0	N	5/0	4		1	8	1		
	D	644	1	4.8	1.8	10YR	8/2	10YR	8/2	1		1	2	1		
	D	645	1	3.1	1.7	N	6/0	N	6/0			1	2			
	D	646	1	5.0	1.3	10YR	7/2	10YR	7/2			1	0			
	D	647	2	2.5	1.3	10YR	7/2	10YR	7/2			1	0			
	D	648	1	5.1	1.7	5Y	7/1	10YR	7/1		1	1	0		2	
	D	649	2	2.4	1.5	7.5Y	7/1	7.5Y	7/1			0	0			
	D	650	1	7.0	1.8	5Y	7/1	10YR	7/1			1	0			
	D	651	1	6.6	1.7	N	5/0	7.5Y	7/1	5		1	8	1		
	D	652	1	3.3	1.9	10YR	6/1	N	4/0			1	4			
	D	653	1	5.1	3.5	N	4/0	N	6/0	4		1	2	1		
	D	654	1	5.8	1.5	10YR	8/3	10YR	7/2		1	1	0		1	
	D	655	1	3.6	3.1	N	4/0	N	7/0			1	2			
	D	656	1	7.2	1.7	10YR	6/1	10YR	8/1	5		1	5	1		
	D	657	6	10.0	2.2	10YR	8/2	10YR	8/2			0	0	2		二角
	D	658	1	5.0	2.0	N	6/0	N	6/0			1	5			
	D	659	1	9.1	1.9	10YR	8/2	10YR	8/1		1	1	2			
	D	660	6	4.7	2.2	10YR	8/2	10YR	8/2			0	0	2		三角
	D	661	1	5.6	2.2	7.5YR	6/2	7.5YR	7/2			1	0			
	D	662	1	4.4	1.5	N	5/0	7.5Y	7/1			1	5			
	D	663_1	1	2.4	1.5	N	5/0	7.5Y	7/1			1	5			
	D	663_2	1	3.6	2.7	N	7/0	N	7/0		1	1	2		1	
	D	664	1	5.0	1.9	10YR	8/3	10YR	8/3		1	1	0		2	
	D	665	1	6.4	2.0	10YR	8/3	10YR	8/2	5	4	1	8	1	1	

挿図番号	地区名	注記ID	瓦種別 code	法量(cm) 最大幅	最大厚	色調 凹面、色相	凹面、明/彩	凸面、色相	凸面、明/彩	側面形状	端面形状	調整 凹面	凸面	側面	端面	備考
	D	666	1	7.6	2.0	10YR	8/2	7.5YR	8/4	1		1	2	1		
	D	667	1	6.2	1.9	10YR	8/3	10YR	8/2			1	8			
	D	668	1	3.6	1.4	10YR	8/2	10YR	8/1			1	4			
	D	669	1	5.9	1.8	10YR	8/3	10YR	8/2		1	1	0		2	
	D	670	0									0	0			
	D	671	1	6.0	2.3	10YR	7/2	10YR	8/2	1	1	2	2	1	1	
	D	672	1	10.[illegible]	2.3	10YR	8/3	10YR	8/1			0	2			
	D	673	1	10.4	1.9	10YR	8/2	10YR	8/1	7		1	4	1		
	D	674	1	6.0	2.2	10YR	4/1	10YR	8/2		1	0	4		1	
	D	675	1	9.6	2.7	N	5/0	N	5/0	4		1	5	1		焼成時の亀裂あり
	D	676	2	6.2	1.9	10YR	8/2	10YR	8/3	7		0	2	2		
	D	677	1	11.2	2.4	10YR	8/2	N	7/0			1	8			
	D	678	1	7.1	1.7	10YR	8/3	10YR	8/2	5		1	8	1		
	D	679	1	9.[illegible]	2.5	10YR	8/3	10YR	8/3			1	2			
	D	680	1	8.5	1.8	10YR	8/3	10YR	8/2			1	8			
	D	681	1	6.9	1.9	10YR	8/2	10YR	6/1		2	1	2		1	
	D	682	1	3.5	1.4	10YR	8/2	10YR	8/2	1		1	2	1		
	D	683	1	9.0	2.1	10YR	8/2	7.5YR	8/3	1		1	2	1		
	D	684	1	14.2	2.3	10YR	8/3	10YR	8/3	5		0	2	1		
	D	693	1	7.6	2.2	N	7/0	10YR	6/1			5	2			
	D	685	1	10.8	2.1	N	6/0	N	6/0	5		1	2	1		
	D	686	1	11.3	1.6	N	6/0	5Y	7/1	5	1	1	2	1	1	
	D	687	1	5.2	1.4	10YR	8/3	10YR	8/3			1	4			
	D	688	1	8.7	2.3	N	5/0	N	5/0	5		1	2	1		
	D	689	1	4.7	1.2	10YR	8/1	10YR	8/3	1		1	0	2		
	D	690	1	4.6	1.5	10YR	8/2	10YR	8/2		1	1	2		1	
	D	691	1	4.6	1.9	7.5YR	6/3	7.5YR	6/1	6		1	2	1		
	D	692	1	5.3	1.1	N	4/0	N	6/0	5		1	2	1		
	D	694	1	9.0	1.8	10YR	7/2	10YR	8/1	4	1	1	4	2	2	
	D	695	1	9.8	1.9	5Y	7/1	10YR	7/1	6		1	5	1		
	D	696	1	8.2	2.5	N	6/0	N	4/0			1	2	1		
	D	697_1	1	2.6	1.1	10YR	5/1	10YR	8/1			1	5			
	D	697_2	1	5.5	1.5	10YR	6/2	5Y	7/1			1	5			
	D	698	1	4.5	2.1	10YR	7/1	N	6/0		1	1	2		1	
	D	699	1	8.5	2.0	N	7/0	10YR	6/1	1	1	2	2	1	1	
	D	700	1	4.4	1.8	N	5/0	10YR	8/1	5		1	5	1		
	D	701	2	6.[illegible]	1.9	2.5Y	8/2	5Y	8/2	7	1	0	0	2	2	
	D	702	1									0	0			
	D	703	1	5.6	1.3	10YR	6/1	5Y	7/1		1	1	5		1	
	D	704	1	4.1	1.5	10YR	8/2	10YR	8/1			1	5			
	D	705	2	3.5	1.2	10YR	8/1	10YR	8/1		1	1	2		1	
	D	706	4													
	D	707	2	2.6	0.8	10YR	7/2	10YR	7/1			1	2			
	D	708	1	4.0	2.4	10YR	4/1	10YR	4/1	6		1	0	1		
	D	709	1	3.9	1.8	10YR	6/2	10YR	7/1	6		1	0	1		
	D	710	2	3.6	1.4	10YR	8/2	10YR	8/2		1	1	0		2	
	D	711	1	4.9	1.8	10YR	8/2	10YR	8/2		1	1	2		2	
	D	712	1	7.2	1.9	7.5YR	8/3	10YR	8/3			1	4			
	D	713	1	11.0	2.1	10YR	7/2	10YR	8/2	1		1	2	1		
	D	714_1	0									0	0			
	D	714_2	0									0	0			
	D	714_3	1	9.0	1.4	10YR	8/3	10YR	8/3		4	1	2	1	1	
	D	715	1	5.0	1.5	N	5/0	N	6/0	5		1	2	1		
	D	716	2	4.9	1.4	10YR	7/1	5Y	7/1			1	2			
	D	717	1	4.4	2.0	10YR	7/2	10YR	8/3			1	2			
	D	718	1	5.6	2.0	N	6/0	N	6/0			1	2			焼成時の亀裂あり
	D	719	1	2.7	1.6	7.5YR	7/1	7.5YR	7/1			1	4			
	D	720	1	5.4	0.9	N	6/0	N	5/0			2	2			
	D	721	1			7.5YR	6/2	7.5YR	6/2			0	0			
	D	722	1	3.2	1.5	N	6/0	N	5/0			1	5			
	D	723	2	5.1	1.3	10YR	6/1	N	6/0			1	2			
	D	724	1	5.0	2.0	10YR	7/2	7.5YR	7/4		1	0	0		2	
	D	725	1	5.5	2.2	10YR	8/2	10YR	8/1	1		1	0	2		
	D	726	1	6.9	2.1	10YR	8/2	10YR	8/2			1	0			
	D	727	1	2.2	2.1	10YR	7/2	10YR	7/2			0	0			
	D	728	1	3.4	1.1	10YR	7/2	10YR	7/2		1	1	5		2	
	D	729	1	2.8	1.7	7.5YR	6/1	7.5YR	6/1	4		1	2	2		
	D	730	2	7.6	1.3	7.5YR	6/1	7.5YR	7/1	5		1	2	1		
	D	731	1	6.7	1.8	10YR	6/1	N	6/0		2	1	3		1	
	D	732	1	6.7	1.9	10YR	8/2	7.5YR	6/1		1	0	0		2	
17	D	733	1	17.0	2.1	N	6/0	N	7/0	5.6	1	1	5	1	1	
	D	734	1	11.8	1.5	N	5/0	N	7/0			1	2			
	D	735	1	5.0	2.3	5Y	5/3	2.5Y	6/6		1	1	1		2	
	D	736	1	12.0	2.0	5Y	5/3	2.5Y	6/6	9	1	1	1	4	1	
	D	737	1	5.3	2.6	N	6/0	N	5/0			1	2			
	D	738	2	3.2	1.4	N	8/0	10YR	8/1	5		2	2		1	

挿図番号	地区名	注記ID	瓦種別code	法量(cm) 最大幅	最大厚	色調 凹面、色相	凹面、明/彩	凸面、色相	凸面、明/彩	側面形状	端面形状	調整 凹面	凸面	側面	端面	備考
	D	739	2	7.0	2.1	7.5YR	5/0	7.5YR	5/3			1	0			
	D	740	1	2.9	1.4	2.5Y	8/2	2.5Y	8/2		1	0	0		2	
	D	741	1	3.9	1.6	10YR	7/1	10YR	8/1			1	2			
	D	742	4													
	D	743	2	2.7	1.0	10YR	6/1	10YR	6/1			1	2			
	D	744	1	3.6	1.5	10YR	7/1	10YR	6/2			1	2			
	D	745	1	5.0	1.8	N	6/0	10YR	6/1		2	1	0		1	
	D	746	1	7.4	1.6	N	6/0	N	5/0			1	2			
	D	747	1	6.5	1.4	N	6/0	N	6/0		4	1	2		1	
	D	748	1	12.0	2.8	10YR	8/3	10YR	7/2	1		1	2	1		
	D	749	1	9.7	2.0	10YR	8/3	2.5YR	8/2	7		1	2	1		
	D	750	1	7.1	2.0	10YR	4/1	10YR	4/1			1	2			
	D	751	2	5.4	1.2	10YR	7/1	10YR	6/1	5		1	2	1		
	D	752	1	3.6	1.6	N	5/0	7.5Y	7/1			1	5			
19	D	753	1	7.5	2.0	10YR	7/1	2.5Y	8/3	1		1	2	1		
	D	754	1	4.9	2.0	10YR	4/1	10YR	6/1		1	1	0		2	
	D	755	1	4.4	1.9	10YR	7/1	10YR	7/1			1	2			
	D	756	1	7.2	1.6	5Y	7/1	5Y	7/1	7		1	2	1		
	D	757	1	9.2	2.3	10YR	8/3	10YR	8/2	4		1	2	1		
	D	758	1	5.6	1.9	N	7/0	10YR	6/1	5		1	5	1		
	D	759	1	7.4	1.4	10YR	6/1	10YR	8/1		1	1	5		1	
	D	760	1	8.4	2.2	N	6/0	N	5/0			1	2			
	D	761	1	3.9	1.4	10YR	7/1	10YR	7/1	6		1	5	1		
	D	762	1	12.1	2.0	10YR	7/2	10YR	8/2	1		1	2	1		
	D	763	1	9.5	1.8	7.5YR	6/2	7.5Y	7/1			1	4			
	D	765	1	7.1	1.5	5Y	7/1	5Y	7/1		1	1	4			
	D	766	1	8.5	2.0	10YR	8/3	10YR	8/2			1	5			
	D	767_1	1	6.3	1.8	10YR	7/2	10YR	8/2	1	4	1	2	1	1	
	D	767_2	1			10YR	8/3	10YR	8/2	1	1	1	2	1	1	
	D	768	1	4.2	1.4	10YR	6/1	10YR	6/2			1	4			
	D	769	3									1				
	D	770	1	2.3	1.8	5Y	7/1	5Y	7/1			1	0			
	D	771_1	1	3.0	1.5	5Y	7/1	10YR	7/1		1	1	0		2	
	D	771_2	1	3.8	1.7	5Y	7/1	10YR	7/1			1	0			
	D	772	1	8.0	1.9	7.5YR	7/1	7.5YR	6/1	4		1	4	2		
	D	773	1	6.8	1.9	10YR	7/1	N	6/0	4	1	1	2	1	1	
	D	774	1	5.0	1.5	7.5YR	6/2	7.5YR	6/2	1		1	2	1		
	D	775	1	11.4	2.6	10YR	8/2	10YR	8/2			1	2			
	D	776	1	11.1	2.1	10YR	8/1	10YR	7/1			1	5			
	D	777	1	3.5	1.0	10YR	7/1	10YR	7/1			1	2			
	D	778	1	6.5	1.7	N	6/0	N	6/0			1	5			
	D	779	1	8.0	1.5	10YR	6/1	10YR	6/2			1	2			
	D	780	1	6.0	1.5	N	6/0	N	7/0	1		1	2	1		
	D	781	1	2.9	1.2	10YR	7/2	10YR	7/2			1	0			
19	D	782	1	17.9	2.0	10YR	8/1	2.5Y	8/3	1	1	3	0	1	1	
	D	783	1	4.1	1.9	10YR	8/3	10YR	8/3		1	0	0		2	
	D	784	1	4.7	1.5	10YR	8/2	10YR	8/3			1	2			
	D	785	3													
	D	786	1	6.2	1.8	7.5YR	6/1	5Y	6/1	4		1	2	1		
	D	787	1	7.6	2.2	10R	5/1	N	4/0	4	1	1	1	1	[illegible]	
	D	788	1	3.7	1.0	10YR	7/2	10YR	6/2			0	0			
	D	789_1	1	4.6	2.1	10YR	6/1	10YR	6/1			1	0			
	D	789_2	1	8.4	2.4	N	5/0	N	5/0	4		5	2	1		
	D	789_3	1	13.1	2.2	N	5/0	N	5/0	1	1	1	2	1	[illegible]	
	D	789_4	2	6.4	1.3	10YR	6/2	10YR	7/2		1	1	2		[illegible]	
	D	789_5	1	10.4	2.1	10YR	8/1	N	8/0		1	1	4		1	
	D	790_1	1	2.4	1.8	5Y	6/1	7.5YR	7/1			1	5			
	D	790_2	1	3.2	1.6	5YR	7/6	5YR	7/6	6		1	1	2		
	D	790_3	2	3.7	1.6	10YR	8/3	10YR	8/2	5	1	0	2	2	2	
	D	791_1	1	3.2	1.8	5YR	7/6	5YR	7/6			1	1			
	D	791_2	1	4.4	2.6	5YR	7/6	5YR	7/6			1	4			
	D	792_1	2	2.0	0.9	7.5YR	5/3	7.5YR	5/3	7		1	0	1		
	D	792_3	1	6.6	1.8	7.5YR	7/3	7.5YR	7/3			1	1			
	D	792_4	1	10.8	1.6	10YR	7/2	10YR	8/2	5	1	1	2	1	1	
	D	793_1	1	3.6	1.4	N	6/0	N	6/0			1	2			
	D	793_2	1	4.0	2.6	N	5/0	N	7/0			1	1			
	D	793_3	1	4.1	1.9	10YR	7/1	10YR	6/1			1	1			
	D	793_4	2	4.1	1.0	10YR	7/1	10YR	7/1	7		1	2	1		
	D	793_5	2	4.8	1.3	10YR	8/1	10YR	7/1			0	0			
	D	794_1	1	3.1	1.4	10YR	7/1	10YR	7/1			1	2			
	D	794_2	1	3.3	1.8	10YR	7/2	10YR	8/3			2	2			
	D	794_3	1	1.5	1.8	5YR	7/4	5YR	7/6			1	1			
	D	794_4	1	1.5	2.0	5YR	6/4	5YR	6/4			1	1			
	D	794_5	1	2.2	2.0	10YR	6/1	5YR	6/4		1	1	1		1	
	D	794_6	1	2.8	1.8	5YR	7/6	5YR	7/6		1	0	1		2	
	D	794_7	2	3.9	1.5	10YR	7/2	10YR	7/3			1	1			

挿図番号	地区名	注記ID	瓦種別code	法量(cm) 最大幅	最大厚	色調 凹面、色相	凹面、明/彩	凸面、色相	凸面、明/彩	側面形状	端面形状	調整 凹面	凸面	側面	端部	備考
	D	794_8	2	3.0	1.4	10YR	8/1	10YR	6/2	7		0	0	1		
	D	794_9	1	4.5	1.2	10YR	8/3	10YR	8/3	4		1	2	1		
	D	794_10	2	3.9	1.8	10YR	8/1	10YR	8/2			0	0			
	D	794_11	1	2.7	1.6	10YR	8/3	7.5YR	8/3			0	1			
	D	796_1	2	4.6	1.0	10YR	6/1	10YR	6/1			1	2			
	D	796_2	2	5.8	1.2	10YR	6/1	10YR	6/1	5		1	2	1		
	D	797_2	1	3.5	1.2	N	5/0	7.5Y	7/1			1	0			
	D	797_3	2	4.7	1.3	10YR	7/2	10YR	8/1			1	0			
	D	797_4	2	2.9	1.0	10YR	7/1	10YR	7/1			1	0			
	D	797_5	2	3.0	1.4	10YR	7/1	10YR	6/1			1	2			
	D	797_6	1	2.8	1.9	10YR	5/1	10YR	4/1			1	2			
	D	797_7	2	1.9	1.1	10YR	7/2	10YR	7/2	5		1	0	2		
	D	797_8	1	1.6	2.0	10YR	8/2	10YR	8/2	4		0	0	2		
	D	797_10	1	1.4	1.7	10YR	7/1	10YR	7/1			1	2			
	D	797_11	1	2.0	1.6	10YR	7/1	10YR	7/1	4		0	4	1		
	D	797_12	1	2.1	1.8	10YR	7/1	10YR	7/1		1	1	5		1	
	D	797_13	1	2.0	1.6	10YR	6/1	N	6/0	1		1	2	1		
	D	797_14	2	3.3	2.1	10YR	8/2	10YR	8/2	5		1	2	1		
	D	797_16	2	3.4	1.0	10YR	8/3	10YR	7/2	7		1	0	2		
	D	797_18	1	3.1	1.4	10YR	8/2	10YR	7/2	1		1	0	1		
	D	797_19	1	2.5	1.2	10YR	7/1	10YR	7/1			0	0			
	D	797_20	2	2.1	1.2	5Y	7/1	5Y	7/1	4		1	2	1		
	D	798_1	2	6.1	1.4	7.5Y	7/1	7.5Y	7/1		1	1	2		1	
	D	798_2	1	2.9	2.1	N	7/0	7.5YR	6/1			2	2			
	D	798_3	1	7.3	2.4	10YR	6/1	10YR	6/1	1		1	0	2		
	D	798_4	1	7.2	1.7	7.5YR	8/3	7.5YR	8/4			1	1			
	D	799_1	1	5.4	2.2	10YR	8/3	10YR	8/3			0	4			
	D	799_2	1	2.7	1.4	10YR	7/1	10YR	7/1			1	0			
	D	799_3	2	6.2	1.4	5Y	7/1	5Y	7/1			0	0			
	D	799_5	2	4.6	2.0	10YR	8/1	10YR	8/1			1	0			
	D	799_6	2	8.0	1.8	10YR	8/3	10YR	8/3	7		1	0	1		
	D	800	2	5.1	1.6	7.5YR	7/1	7.5YR	7/1	5	1	1	2	1	1	
	D	801	1	6.1	1.5	N	6/0	N	7/0			1	4			
	D	802_1	1	3.8	1.2	10YR	5/1	10YR	8/1			1	2			
	D	802_2	1	8.3	2.1	2.5YR	6/2	2.5YR	6/4			1	1			
	D	802_3	1	8.2	2.6	7.5YR	7/1	7.5YR	7/1		1	1	1		1	
	D	802_5	1	6.3	2.1	5YR	6/4	5YR	6/8			1	1			
	D	802_7	1	7.1	2.9	10YR	7/2	7.5YR	8/2			0	0			
	D	802_8	1	4.6	1.8	5YR	7/6	2.5YR	6/6			1	1			
	D	803_1	2	2.5	(0.7)	10YR	7/1	10YR	7/1	7		3	0	2		
	D	803_2	2	2.1	1.0	10YR	7/1	10YR	7/1			1	2			
	D	803_3	0			7.5YR	6/2	7.5YR	6/2			0	0			
	D	803_4	2	2.8	(1.0)	10YR	8/2	10YR	8/2	7		3	0	2		
	D	804_1	1	3.3	2.0	5YR	7/8	5YR	7/6			1	1			
	D	804_2	1	5.6	1.3	N	5/0	N	6/0	3		1	2	1		焼成時の亀裂あり
	D	805_1	2	2.0	1.1	10YR	7/2	10YR	6/2			1	0			
	D	805_3	1	3.9	(1.4)	10YR	6/1	N	6/0			1	3			
	D	806_1	1	3.0	1.8	10YR	8/2	10YR	7/2	1		1	0	1		
	D	806_2	2	1.6	1.6	10YR	8/2	10YR	8/3	3	1	0	0	2	2	
	D	806_3	1	1.6	1.6	5YR	7/6	5YR	6/8	5		0	1	1		
	D	806_4	2	8.1	1.5	10YR	7/1	10YR	7/1			1	4			
	D	806_5	2	4.4	1.0	10YR	6/1	10YR	6/1			1	2			
	D	806_6	1	3.7	1.8	10YR	8/3	10YR	8/1	1		0	0	2		
	D	806_7	1	8.3	1.1	5YR	7/4	5YR	7/4		1	1	[illegible]		1	
	D	807	1	12.5	3.0	10YR	4/1	N	5/0	6	1	1	4	1	3	
	D	808	1	4.9	2.2	10YR	6/1	10YR	4/1			1	5			
	D	809	1	10.6	1.8	10YR	8/1	10YR	8/1	4	1	1	4	2	1	
	D	810	1	11.0	2.1	10YR	6/1	N	8/0			5	4			
	D	811	1	11.9	1.8	10YR	6/1	10YR	8/1	1		1	4	2		
	D	812	1	6.7	1.9	10YR	8/3	10YR	8/2	4		1	2	1		
	D	813	1	8.5	1.9	10YR	8/1	10YR	8/2	4	1	0	4	2	2	
	D	814	1	10.6	2.0	10YR	8/2	10YR	8/2	5	1	1	2	1	1	
	D	815	1	11.6	2.5	10YR	6/1	N	6/0			1	3			
	D	816	1	7.0	1.6	10YR	8/2	10YR	8/2	5	1	1	5	3	2	
	D	817	2	5.9	1.5	10YR	7/2	10YR	8/2	5		1	2		1	
	D	818	2	7.9	1.5	10YR	7/2	10YR	7/2	5		1	2		1	
	D	819	1	5.5	2.3	N	5/0	N	7/0	4		1	1	1		
	D	820	1	5.0	1.8	10YR	8/1	10YR	8/3	4		0	0	2		
	D	821	1	6.1	2.1	5YR	6/4	5YR	7/6			1	1			
	D	822	2	7.1	2.0	10YR	8/2	10YR	8/3		2	1	2		1	
	D	824	2	4.9	2.0	10YR	6/1	10YR	7/1		1	1	0		2	
2	D	825	5													
1	D	826	5													
	D	827	1	3.6	1.6	7.5YR	8/4	7.5YR	8/4			1	1			
	D	828	0			N	5/0					1	3			
	D	829	2	2.9	1.0	10YR	7/1	10YR	8/1			1	4			

挿図番号	地区名	注記ID	瓦種別 code	法量(cm) 最大幅	最大厚	色調 凹面、色相	凹面、明/彩	凸面、色相	凸面、明/彩	側面形状	端面形状	調整 凹面	凸面	側面	端面	備考
	D	830	2	1.4	0.9	10YR	7/1	10YR	8/1	4		1	0	1		
	D	831	2	3.2	1.4	2.5YR	6/6	2.5YR	6/6	7	1	1	2	1	1	
	D	832	0					5YR	8/4			3	1			
	D	833	1	2.5	1.8	N	5/0	N	6/0	6		1	0	1		
	D	834	0					7.5YR	6/3			3	1			
	D	835	0			7.5Y	7/1					1	3			
	D	836	0			N	8/0					1	3			
21	E	001	2	8.3	2.2	N	5/0	N	5/0	7	1	1	1			
	E	002	2	8.4	1.8	10YR	8/2	10YR	8/1	7		0	1	1		
	E	003	1	9.5	2.1	7.5YR	8/3	10YR	8/2	6		1	2			側面に縦条痕
	E	004	1	2.2	1.9	5YR	5/6	5YR	6/8	5		1	1	1		
	E	005	1	12.1	2.1	5YR	6/6	5YR	7/4	4	1	1	1	1	1	
	E	006	1	7.4	1.8	5YR	4/4	5YR	4/4			1	1			
	E	007	2	2.7	1.7	7.5YR	8/1	10YR	8/2	7	1	0	0	2	2	
	E	008	2	3.2	1.5	7.5YR	8/1	10YR	8/2		1	0	0		2	
	E	009	2	4.5	2.0	7.5YR	7/6	7.5YR	8/1			0	2			
	E	010	1	3.7	2.0	10YR	8/2	10YR	8/1		1	0	4		2	
	E	011	2	4.2	1.2	10YR	7/1	10YR	6/1			1	2			凹面布目後ケズリ
	E	012	2	5.5	1.2	7.5YR	6/6	10YR	8/3			0	0			
	E	013	2	4.3	1.1	7.5YR	8/1	7.5YR	8/1	7		1	2			
	E	014	1	6.4	2.4	7.5YR	7/2	7.5YR	6/1			1	2			
	E	015	2	5.3	1.0	7.5YR	7/4	7.5YR	7/6			0	0			
	E	016	1	3.6	1.8	10YR	8/3	10YR	8/3			0	0			
	E	017	0									0	0			
	E	018	1	11.2	1.5	7.5YR	7/3	7.5YR	7/3	4		1	1	1		
	E	019	1	8.6	1.5	7.5YR	7/3	7.5YR	7/3	4		1	1			
	E	020	1	6.9	2.1	10YR	6/1	10YR	6/1			1	1			
	E	021	1	13.5	3.1	5YR	7/1	5YR	7/1	1		1	1	1		
	E	022	1	6.6	0.9	7.5YR	6/1	7.5YR	7/1			1	4			
	E	024	1	6.3	2.6	10YR	7/2	5YR	8/1			0	0			
	E	025	1	6.3	2.0	10YR	4/1	10YR	5/3			0	1	1		
	E	026	2	5.5	1.0	7.5YR	8/1	7.5YR	8/1	7		1	2			
	E	027	2	7.2	1.2	2.5YR	6/0	2.5YR	6/0			1	2			
	E	028	2	3.8	1.4	7.5YR	4/3	7.5YR	7/6			1	2			
	E	029	1	12.1	2.1	7.5YR	6/8	7.5YR	7/1	4	1	1	1	1	1	
	E	030	1	6.4	1.6	10YR	8/2	10YR	8/1			1	0			
	E	031	1	8.8	2.0	N	5/0	10YR	6/1	1		1	2	1		
	E	032	1	3.5	2.2	5YR	7/6	5YR	7/6			1	1			
	E	033	1	4.0	1.5	10YR	8/3	7.5YR	8/3	1		1	4	6		
	E	034	1	10.1	2.3	10YR	8/2	10YR	8/1			0	0			
	E	035	1	7.9	2.2	10YR	8/2	10YR	8/2			1	0			
	E	036	3	11.1	2.9	10YR	7/1	5Y	6/1							
	E	037	1	13.0	2.6	10YR	7/1	N	6/0	4	1	1	2	1	1	
	E	038	1	9.2	2.9	10YR	8/2	10YR	8/2			0	0			
	E	039	1	9.5	2.2	10YR	8/2	10YR	8/2	1		1	0	1		
	E	040	1	7.0	2.1	10YR	7/1	10YR	6/1	4		1	1	1		
	E	041	2	6.2	1.6	10YR	7/2	10YR	8/2	5		1	2	1		凹面布目後ナデ
	E	042	1	5.8	2.6	10YR	8/2	10YR	8/1	2		1	4	2		
	E	043	2	7.2	1.6	10YR	8/3	10YR	8/2	7		1	2	2		
	E	044	2	5.9	1.5	7.5YR	7/4	7.5YR	7/4		1	0	0		1	
	E	045	2	6.8	1.4	7.5YR	7/3	7.5YR	7/3			0	0			
	E	046	2	6.6	1.2	7.5YR	7/6	10YR	7/3			0	0			
	E	047	2	5.5	1.5	10YR	7/1	10YR	7/1	7		1	2	1		
	E	048	1	6.9	1.2	N	6/0	N	6/0	5		1	2	1		
	E	049	2	3.8	1.6	10YR	7/1	10YR	7/1	5		1	2	1		
	E	050_1	2	5.7	1.4	10YR	8/3	10YR	8/3	5		1	2	1		
	E	050_2	1	3.4	1.7	7.5YR	8/1	7.5YR	8/1	4	1	0	0	2	2	
	E	051_1	1	6.9	1.4	5YR	7/6	5YR	8/4	4	1	1	1	1	1	
	E	051_2	1	4.1	1.6	7.5YR	8/1	7.5YR	8/2	4	2	1	0			
	E	052_1	1	5.2	2.2	5YR	7/6	7.5YR	7/3			1	1			
	E	052_2	1	8.6	2.3	7.5YR	7/1	7.5YR	6/1		1	1	1		1	
	E	053	2	3.5	1.3	7.5YR	8/1	7.5YR	8/1	7		0	0	2		
	E	054	2	7.3	1.9	5YR	8/1	5Y	7/1	7		1	2	1		
	E	055	2	7.1	1.6	7.5YR	7/3	10YR	8/2	7		0	0	1		
	E	056	1	10.2	2.5	10YR	8/1	10YR	8/3	1		1	4	1		
	E	057	2	6.9	1.4	10YR	7/1	10YR	8/1	7		1	2	1		
	E	058	2	5.8	1.4	7.5YR	8/1	7.5YR	7/6	5		1	0	1		
20	E	059	2	7.2	1.7	10YR	8/2	10YR	8/2	7	1	1	4	1		
20	E	060	2	3.7	1.2	10YR	8/2	10YR	8/2			1	4			
20	E	061	2	6.1	1.2	10YR	8/2	10YR	8/2			1	4			
	E	062	2	5.8	1.1	10YR	8/3	10YR	8/3	7	1	1	2	1	1	
	E	063	2	4.2	1.7	N	6/0	5Y	6/1	5		1	2	1	1	
	E	064	1	5.1	1.4	N	6/0	N	6/0			1	2			
	E	065	2	3.7	1.2	7.5YR	7/2	10YR	8/1			1	4			凸面平行叩目後ナデ
	E	066	2	5.4	1.2	7.5YR	7/2	10YR	8/1	7		1	4	1		
	E	067	1	4.6	1.9	10YR	6/1	10YR	5/1			1	1			

挿図番号	地区名	注記ID	瓦種別 code	法量(cm) 最大幅	最大厚	色調 凹面、色相	凹面、明/彩	凸面、色相	凸面、明/彩	側面形状	端面形状	調整 凹面	凸面	側面	端面	備考
	E	068	2	3.7	1.1	10YR	8/2	10YR	8/2			0	0			
	E	069	1	4.6	1.8	7.5YR	8/3	7.5YR	7/3	4		1	1	1		
	E	070	1	5.6	1.9	10YR	8/1	10YR	8/1			1	1			
	E	071	1	11.9	2.6	10YR	6/1	N	5/0	4		1	1	5		
	E	072	1	4.1	1.9	10YR	7/2	10YR	6/1			1	1			
	E	073	1	5.6	(1.5)	N	8/0	N	8/0			1	3			
	E	074	1	9.2	2.0	5YR	7/6	5YR	7/4	4	1	1	1	1	1	
	E	075	1	4.0	2.0	5YR	6/4	5YR	6/4		1	0	1		1	
	E	076	1	6.5	1.9	10YR	5/1	10YR	5/2		1	1	1		1	
	E	077	1	7.0	2.1	10YR	6/2	5YR	7/2	5		1	1	1		
	E	078	1	8.1	2.0	10YR	5/1	10YR	4/1		1	1	1		1	
	E	079	1	7.6	2.0	N	7/0	N	7/0	4	1	1	2	1	1	
	E	080	1	6.1	1.6	7.5YR	6/2	7.5YR	6/2	4		1	1	1		
	E	081	1	6.4	1.7	2.5Y	5/0	2.5Y	5/0	4	1	1	1	1	1	
	E	082	2	6.9	1.6	10YR	6/1	N	5/0							
	E	082	2	6.9	1.6	10YR	6/1	N	5/0	5		1	1	1		
	E	083	1	3.3	1.4	10YR	6/1	N	6/0			1	2			
	E	084	2	3.2	1.3	10YR	7/2	10YR	6/2	7		1	2	1		
	E	086	1	4.8	2.1	N	8/0	N	8/0	6		1	2	1		
	E	087	1	6.0	2.3	10YR	6/3	10YR	7/1			1	1			
	E	089	1	6.7	1.8	2.5YR	4/4	2.5YR	4/4	4		1	1	3		
	E	090	2	5.3	1.3	10YR	8/3	10YR	8/2			1	0			
	E	091	1	6.5	2.1	10YR	6/2	5YR	6/2			1	1			
	E	092	1	10.6	2.3	N	8/0	N	7/0			1	1			
	E	093	1	3.0	2.0	10YR	6/1	10YR	6/2			1	1			
	E	094	1	2.6	1.0	N	8/0	N	8/0	5		1	2	1		
	E	095	1	3.7	1.8	7.5YR	7/1	10YR	7/1	4		1	1	1		
	E	096	2	4.1	1.4	7.5YR	6/3	7.5YR	7/2		1	1	1		1	
	E	097	1	7.2	2.1	7.5YR	8/3	7.5YR	7/3			1	1			
	E	098	1	3.4	1.7	10YR	7/1	10YR	7/2	4		1	1	1		
	E	099	1	6.8	1.4	10YR	8/3	10YR	8/3	4		0	0	1		
	E	100	1	2.2	1.3	10YR	7/1	7.5YR	6/1			1	2			
	E	101	1	8.7	2.0	7.5YR	8/3	7.5YR	8/3	1		1	2	1		
	E	102	1	3.3	1.7	7.5YR	7/1	7.5YR	7/1	4		1	4	1		
	E	103	1	5.4	1.6	N	4/0	N	4/0	1		1	[illegible]	1		
	E	104	2	4.9	1.5	10YR	8/2	10YR	8/3			0	0			
	E	105	1	5.0	1.8	N	6/0	N	7/0			1	4			
	E	106	1	3.7	1.9	7.5YR	8/1	7.5YR	8/1			0	0			
	E	107	1	3.9	1.8	10YR	8/2	10YR	8/3			0	0			
	E	108	1	5.7	1.5	7.5YR	7/1	7.5YR	7/2	2		1	4	6		
	E	109	1	3.7	1.7	7.5YR	7/2	7.5YR	6/1	6		1	4	1		
	E	110	1	3.2	1.9	N	6/0	N	6/0			1	1			
5	E	111	4			5Y	7/1	5Y	7/1							
	E	112	2	6.2	1.3	10YR	6/1	10YR	6/1			1	2			
	E	113	1	5.2	2.0	2.5YR	5/0	5YR	5/1		1	1	4		1	
	E	114	1	4.6	2.4	7.5YR	7/2	7.5YR	8/1	4		0	0	2		
	E	115	1	5.0	2.0	10YR	6/1	10YR	8/1	4		1	4	1		
	E	116	2	6.6	1.3	7.5YR	8/3	7.5YR	8/3	7		0	0	1		
	E	117	1	4.0	2.0	10YR	7/1	10YR	7/1	7		1	2	1		
	E	118	2	3.2	1.4	10YR	8/2	10YR	8/2			1	2			
	E	119	2	4.2	1.6	10YR	7/1	10YR	7/1	5		1	2・4	1		
	E	120	0			7.5YR	7/6	7.5YR	8/1			0	0	2	2	
	E	121	2	2.9	1.9	10YR	7/1	10YR	7/1	7		1	2	1		
	E	122	1	5.4	2.0	10YR	6/1	10YR	6/1		1	1	2		1	
	E	123	2	4.0	1.3	10YR	7/3	10YR	8/2	7		1	2	1		
	E	124	4			10YR	6/1	N	6/0			1	2	1		
	E	125	2	7.1	1.3	10YR	8/1	10YR	8/1	7		1	5	1		
	E	126	1	7.4	1.4	N	7/0	N	6/0	4	1	1	2	1	1	
	E	127	2	7.3	1.9	10YR	8/2	10YR	8/2	7		1	4	1		
	E	128	1	6.8	1.7	N	6/0	N	6/0		1	0	0		2	
	E	129	2	3.5	1.2	10YR	8/1	10YR	8/1	7		0	0	2		
	E	130	2	4.3	1.9	10YR	8/2	10YR	8/2		1	0	0		2	
	E	131	1	16.5	2.7	10YR	8/2	10YR	8/3	7		1	2・4	2		
	E	132	1	2.5	1.6	7.5YR	6/4	7.5YR	6/4	7		0	0	2		
	E	133	2	3.2	0.9	10YR	8/0	10YR	8/0	7	1	0	0	2	2	
	E	134	2	2.6	1.6	10YR	6/1	10YR	6/1	7		1	3	1		
	E	135	2	5.3	1.5	10YR	8/4	10YR	8/4	5	1	0	0	2	2	
	E	136	2	8.1	2.0	10YR	8/2	10YR	8/2	7		1	4	1		
	E	137	2	5.8	1.7	10YR	8/2	10YR	7/3	5		1	2	1		
	E	138	2	4.9	1.8	7.5YR	8/3	7.5YR	8/1	7		0	2	1		
	E	139	2	6.4	1.7	10YR	8/1	10YR	8/1	7	1	1	3	1	1	
	E	140	2	5.5	1.3	10YR	7/1	N	8/0	7		1	2	1		
	E	141	1	4.3	1.5	7.5YR	7/1	7.5YR	7/2	1		1	2	1		
	E	143	1	5.4	2.3	7.5YR	8/1	7.5YR	8/3	4		1	0	1		
	E	143_1	1	2.1	1.8	10YR	8/2	10YR	8/3			1	1			
	E	143_2	1	(4.4)	(1.0)	10YR	8/2	10YR	8/2			3	1			

挿図番号	地区名	注記ID	瓦種別code	法量(cm) 最大幅	法量(cm) 最大厚	色調 凹面、色相	色調 凹面、明/彩	色調 凸面、色相	色調 凸面、明/彩	側面形状	端面形状	調整 凹面	調整 凸面	調整 側面	調整 端面	備考
	E	144	2	5.7	2.0	7.5YR	6/1	7.5YR	6/1	7		1	1	1		
	E	145	2	4.6	1.5	10YR	7/1	10YR	7/1		1	1	2		1	
	E	146	2	3.7	1.2	10YR	8/4	10YR	8/1			0	0			
	E	147	2	2.5	1.0	7.5YR	8/1	7.5YR	8/1			0	0			
	E	149	2	3.0	1.1	2.5YR	6/6	2.5YR	6/6	7	1	1	2	1	1	
	E	150	1	8.2	2.1	N	6/0	N	6/0			1	5			焼成時に大きく変形
	E	151	1	3.8	2.3	10YR	6/1	N	7/0			1	4			
	E	152	1	11.0	1.5	7.5YR	8/3	7.5YR	7/3	7		1	1	1		
	E	153	1	9.6	1.6	10YR	8/2	10YR	8/3			1	2			
	E	154	1	5.2	1.8	10YR	8/1	10YR	8/1		1	0	4		2	
	E	155	1	8.6	1.4	7.5YR	8/1	7.5YR	8/4			1	4			
	E	156	1	9.8	1.8	N	8/0	10YR	8/2	4	1	1	5	1	1	
	E	157	1	3.3	2.4	N	6/0	N	6/0	4		1	2	1		
	E	158	1	6.0	2.3	7.5YR	7/2	7.5YR	7/2		1	1	1		1	
	E	159	1	6.3	2.0	10YR	8/3	10YR	8/3			5	2			
	E	160	2	2.8	1.3	N	8/0	N	8/0			1	2			
	E	161	2	3.4	1.4	10YR	7/3	10YR	7/3			0	0			
	E	162	0									0	0			
	E	163	1	7.1	1.7	10YR	8/2	7.5YR	6/1			1	1			
15	E	164	0			10YR	6/1	5B	5/1			1	2			凸面に墨書
	E	165	2	8.2	1.3	7.5YR	8/2	7.5YR	8/1	7		2	2	1		
	E	166	2	6.1	1.7	5Y	7/1	7.5YR	8/1	5		1	1	1		
	E	167	1	5.2	2.0	5YR	5/2	7.5YR	5/1			1	1			
	E	168	1	1.5	2.1	10YR	6/1	10YR	6/1	5		1	1	5		
	E	169	1	10.0	2.1	5YR	4/1	5YR	4/1	4		1	1	1		
	E	170	1	7.0	2.2	10YR	5/1	N	7/0	4		1	4	1		
	E	171	1	5.8	1.9	10YR	5/1	10YR	5/1	2		1	2	1		
	E	172	1	2.8	1.7	5YR	7/4	5YR	7/4			1	1			
	E	173	1	10.5	2.1	7.5YR	8/1	7.5YR	8/1		1	1	0		1	
	E	174	0									0	0			
	E	175	2	5.1	1.6	10YR	7/1	10YR	7/1		1	1	0		2	
	E	176	1	9.7	2.2	N	5/0	N	5/0	2	1	1	4	1	1	凹面に沈線あり
	E	177	1	6.1	1.5	10YR	8/3	10YR	8/3	6	1	1	1	1	1	
	E	178	1	4.3	2.5	10YR	8/1	10YR	8/1			1	0			
	E	179	1	10.1	2.3	7.5YR	8/2	7.5YR	8/2		1	1	2	1		
	E	180	1	7.3	1.5	N	6/0	N	6/0	2		1	2		1	
	E	181	1	3.4	(1.6)	5Y	6/1	7.5YR	7/2			1	3			
	E	182	1	9.2	2.3	7.5YR	6/1	10YR	7/1			1	1			
	E	183	1	3.1	1.6	10YR	8/2	10YR	8/2			1	4			
	E	185	1	4.3	2.7	10YR	8/2	10YR	8/2	4		0	0	1		
	E	186	1	6.6	2.0	7.5YR	8/1	7.5YR	8/3		1	0	4		1	
	E	187	1	7.1	2.0	10YR	8/2	10YR	6/1	1		0	2	1		
	E	188	1	7.2	1.8	10YR	5/1	N	5/0		1	1	1		1	
	E	189	1	8.6	2.3	10YR	6/1	10YR	6/1	6	1	1	4	1	1	
	E	190	1	5.7	1.6	7.5YR	8/1	7.5YR	8/1	5	1	1	4	5	1	
	E	191	2	5.1	1.6	5Y	7/1	5Y	7/1			1	2			
	E	192	1	10.8	2.3	N	8/0	10YR	7/1	4	1	1	1	1	1	
	E	193	1	7.3	1.4	N	6/0	N	6/0	4		1	4			
	E	194	1	3.6	2.5	10YR	7/2	N	8/0			1	1			
	E	195	2	3.1	1.2	10YR	5/1	10YR	5/1	5		1	2	1		
	E	196	2	3.5	1.6	10YR	6/1	10YR	6/1			1	2			
	E	197	2	2.2	1.5	10YR	7/2	10YR	7/2		1	0	2	1		
	E	198	1	3.6	2.1	10YR	7/2	10YR	7/2			1	2			
	E	199	1	7.9	1.8	10YR	8/2	10YR	8/2			1	2			凹面布目後ナデ
	E	200	1	6.7	2.2	5YR	6/4	5YR	7/6			1	1			
18	E	201	1	10.8	3.1	N	5/0	N	5/0	4		1	2	1		
	E	202	1	6.9	1.9	N	6/0	N	6/0			1	1			
	E	203	1	9.3	2.6	10YR	8/1	10YR	8/1		1	0	4		1	
	E	204	1	9.5	2.5	10YR	8/1	10YR	8/1	7	4	0	0	2	2	
	E	205	1	4.8	2.2	10YR	7/2	10YR	7/3			1	1			
	E	206	2	6.2	1.4	10YR	8/3	10YR	8/3	7		1	0	2		
	E	207	2	2.6	2.0	10YR	7/1	10YR	8/1	5		1	0	1		
	E	208	0									3	1			
	E	209	1	4.4	1.6	10YR	7/2	10YR	7/1			1	1			
	E	210	1	6.6	2.2	10YR	8/2	10YR	8/2	4	1	0	0	2	2	
	E	211	2	5.2	1.9	10YR	8/2	7.5YR	8/3	5	1	1	0	2	2	
	E	212	1	4.9	2.0	N	6/0	N	6/0			1	1			
	E	213	1	3.8	2.2	10YR	8/2	10YR	8/2	2		0	0	2		
	E	214	1	6.5	2.4	10YR	8/3	10YR	7/2			1	2			
	E	215	4			5Y	7/1	5Y	6/1							
	E	216	3	13.4	2.7	10YR	6/1	10YR	6/1							
	E	217	2	1.7	1.5	10YR	8/1	10YR	8/1			0	0			
	E	218	1	8.0	3.0	10YR	6/2	10YR	6/2	5		1	2	1		
	E	219	1	6.5	3.0	10YR	6/1	10YR	7/2			1	2			
	E	221	1	13.6	2.6	10YR	6/1	N	6/0	5	1	1	4	1	1	
	E	222	2	1.8	1.3	10YR	8/2	10YR	8/2			0	0			

挿図番号	地区名	注記ID	瓦種別code	法量(cm) 最大幅	法量(cm) 最大厚	色調 凹面、色相	色調 凹面、明/彩	色調 凸面、色相	色調 凸面、明/彩	側面形状	端面形状	調整 凹面	調整 凸面	調整 側面	調整 端面	備考
	E	223	1	5.6	1.7	10YR	7/1	10YR	6/1		2	1	4		1	
	E	224	1	5.3	1.9	10YR	8/2	10YR	8/2	7		1	0	2		凹面に線あり
	E	225	2	4.[illegible]	1.2	7.5YR	6/1	7.5YR	6/1			1	4			
	E	226	1	3.0	2.0	10YR	7/1	10YR	8/1	5		1	2	1		
	E	227	1	3.8	1.9	7.5YR	7/3	7.5YR	7/2			1	[illegible]			
	E	228	1	[illegible]	2.0	10YR	8/1	10YR	8/1		1	0	4		1	
	E	229	2	4.4	1.5	10YR	7/3	10YR	8/3	5		1	2	1		
	E	230	2	1.5	1.1	10YR	8/1	10YR	8/1	4		0	4	1		
	E	231_1	2	4.6	1.5	10YR	7/2	10YR	8/1			1	0			
	E	231_2	2	3.7	1.6	10YR	7/1	10YR	8/2			1	0			
	E	232	2	3.4	1.5	10YR	7/1	10YR	7/1			1	2			
	E	234	1	4.5	1.7	N	5/0	N	5/0	4		1	2	1		
	E	235	2	6.2	1.8	10YR	8/4	10YR	8/4			0	0			
	E	236	0									0	0			
	E	237	2	6.0	1.1	10YR	8/2	10YR	8/2	7		0	0	2		
	E	238	2	9.1	1.6	10YR	8/3	10YR	8/2		1	0	4		1	
	E	239	1	8.7	2.8	10YR	8/2	10YR	8/2	4		0	4	2		
	E	240	2	6.6	1.9	10YR	7/2	10YR	8/1	5		0	2	1		
	E	241	2	5.7	2.0	10YR	8/3	10YR	8/3	6	1	0	2	1	1	
	E	242	2	6.9	1.8	10YR	8/3	10YR	8/3	7		1	0	1		
	E	243	2	3.5	1.4	10YR	7/2	10YR	8/3			1	2			
	E	244	1	12.3	1.9	7.5YR	6/1	7.5YR	7/1	4		1	4	1		
	E	245	2	7.0	1.4	N	8/0	10YR	8/1	7	4	1	2	1		端面に格子目
	E	246	2	5.5	0.9	7.5YR	7/1	7.5YR	7/1	7	1	1	2	1	1	
	E	247	2	3.0	1.5	7.5YR	7/1	10YR	7/1			1	2			
	E	248	2	2.0	1.1	10YR	6/1	10YR	7/1	5		1	2	1		
	E	249	1	4.6	1.8	7.5YR	7/2	10YR	6/1	4		1	0	2		
	E	250	2	2.7	1.0	10YR	8/3	10YR	8/3	5		1	2	1		
	E	251	2	4.0	1.5	10YR	8/3	10YR	8/3			0	2			
	E	252	1	4.5	2.1	10YR	7/2	10YR	6/2			1	4			
	E	253	1	5.5	1.7	10YR	8/4	10YR	8/2	5		0	4	1		
	E	254	1	3.6	1.9	10YR	6/3	10YR	7/2	5		1	1	1		
	E	255	2	2.4	1.5	10YR	8/3	10YR	8/3			0	0			
	E	256	1	5.8	1.7	10YR	6/1	N	7/0			1	5			
	E	257	1	5.7	2.7	10YR	7/1	10YR	7/1	4		1	0	1		
	E	258	2	4.8	1.6	10YR	8/3	10YR	8/3	5	1	1	2	1	1	
18	E	259	1	19.5	2.7	N	5/0	N	5/0	4		1	2	1		
	E	260	2	7.2	(1.5)	5YR	5/2	5YR	6/4			1	3			
	E	261	1	9.9	2.6	10YR	7/1	10YR	7/1			1	1			
	E	262	1	6.2	1.5	10YR	5/1	10YR	4/1			1	4			
	E	263	1	6.6	2.1	5Y	6/1	5Y	6/1	4		1	4	1		
	E	264	1	3.4	1.8	5YR	4/3	5YR	4/1		1	1	4		1	
	E	265	1	10.2	2.6	N	8/0	N	8/0		1	1	4		4	
	E	266	1	5.4	2.3	5YR	6/4	5YR	6/4	5		1	1			
	E	267	1	5.6	1.9	10YR	8/2	10YR	8/3			1	4			
	E	268	2	4.0	1.3	10YR	7/2	10YR	8/2			1	0	1		
	E	269	1	6.6	1.5	10YR	8/3	7.5YR	8/4			1	2			
	E	270	1	5.1	2.1	10YR	8/2	10YR	8/2		1	1	0		1	
	E	271	2	3.1	1.3	10YR	8/1	10YR	8/1			0	0			
	E	272	2	3.0	1.0	10YR	8/2	10YR	8/3	5		1	2	1		
	E	273	1	19.6	2.7	10YR	8/1	10YR	8/3	1		0	4	2		
	E	274	2	8.2	1.0	10YR	7/1	N	8/0	7	1	1	5	1	1	
	E	275	1	9.2	1.9	N	4/0	N	4/0		1	1	1		1	
	E	276	1	8.5	1.4	5YR	7/6	5YR	7/6			1	1			
	E	277	1	3.2	1.9	10YR	5/1	N	5/0			1	1			
	E	278	1	4.2	2.1	10YR	8/1	10YR	8/1	4		1	4	2		
	E	279	2	4.3	2.0	10YR	8/2	10YR	8/2	5		0	0	2		
	E	280	1	10.7	1.8	7.5YR	6/1	7.5YR	7/1	4		1	4	1		
	E	281	1	8.4	2.2	N	5/0	N	6/0	1		1	4	1		
	E	282	2	[illegible]	1.1	10YR	6/1	10YR	6/1	5		1	2	1		
	E	283_1	2	2.7	1.4	10YR	7/1	10YR	7/1		1	1	0		2	
	E	283_2	2	3.4	1.4	5Y	7/1	5Y	7/1	5		1	3	1		
	E	283_3	0									0	0			
	E	283_4	2	2.6	(1.5)	10YR	8/2	10YR	8/3			1	0			
	E	284_1	2	4.2	1.0	7.5YR	7/4	10YR	8/2	7		0	0	2		
	E	284_2	1	6.0	1.8	10YR	5/2	5YR	5/3	4	1	1	1	1		
	E	285_1	2	3.5	(1.0)	10YR	5/3	5YR	6/4		1	1	3		1	
	E	285_2	2	3.6	1.0	10YR	6/2	5YR	6/4			1	3			
	E	285_3	2	3.1	1.5	2.5YR	6/6	2.5YR	5/6			1	1			
	E	285_4	1	1.3	1.5	5YR	6/4	7.5YR	7/2			1	1			
	E	285_5	1	2.7	2.0	5YR	6/3	5YR	6/4		1	1	1		1	
	E	285_6	1	4.2	2.0	5YR	7/4	5YR	7/6			1	1			
	E	285_7	1	1.6	2.1	10YR	6/2	5YR	7/6			1	1			
	E	285_8	2	2.7	1.4	7.5YR	8/1	7.5YR	7/2			1	1			
	E	285_9	2	5.4	1.4	10YR	8/1	10YR	8/1			1	0			
	E	285_10	1	5.1	2.2	10YR	8/2	10YR	8/3			0	0			

挿図番号	地区名	注記ID	瓦種別code	法量(cm) 最大幅	最大厚	色調 凹面,色相	凹面,明/彩	凸面,色相	凸面,明/彩	側面形状	端面形状	調整 凹面	凸面	側面	端面	備考
	E	286	2	3.9	1.2	10YR	7/1	5YR	8/1			1	2			
	E	287	1	14.2	1.9	5YR	4/3	5YR	4/1	7	1	1	4	1	1	
	E	288_1	2	7.0	0.9	N	6/0	N	6/0	7		1	4	1		
	E	288_2	2	5.1	1.2	7.5YR	8/1	7.5YR	8/1			1	2			
	E	289	2	4.0	0.9	7.5YR	8/3	7.5YR	8/3			1	2			
	E	290	1	4.5	2.1	10YR	6/1	10YR	6/2	1	1	1	1	1	1	
	E	291_1	2	1.0	1.0	N	8/0	N	8/0			1	4			
	E	291_2	2	3.5	1.5	5Y	7/1	5Y	7/1			1	2			
	E	291_3	2	3.8	1.0	10YR	6/1	5Y	7/1			1	2			
	E	291_4	2	2.0	1.2	10YR	8/1	10YR	7/1	4		0	0			
	E	291_5	2	3.0	(1.1)	N	8/0	N	8/0			1	3			
	E	291_6	0									0	0			
	E	292	0									3	1			
	E	293	2	2.8	2.1	5Y	7/1	5Y	7/1	5		3	1	1		
	E	294_1	1	4.9	1.0	10YR	4/1	10YR	6/1	4		0	4	2		
	E	294_2	2	1.7	1.3	7.5YR	8/1	7.5YR	8/1			1	0			
	E	294_3	2	3.1	1.3	10YR	8/2	10YR	8/3			0	0			
	E	294_4	1	5.5	2.4	10YR	8/2	10YR	8/2	4		0	4	2		
	E	295	1	5.1	2.3	10YR	7/2	N	5/0			1	1			
	E	296	0													
	E	297	0													
	E	298	0													

第11表　凡例

瓦種別code	瓦種別
0	不明
1	平瓦
2	丸瓦
3	軒平瓦
4	軒丸瓦
5	鴟尾
6	隅平瓦

凹面code	調整(凹面)
0	マメツ
1	布目
2	ナデ
3	ハクリ
4	平行叩目
5	布目後ナデ
6	布目後平行叩目
7	ハケメ後ナデ

凸面code	調整(凸面)
0	マメツ
1	縄目
2	ナデ
3	ハクリ
4	平行叩目
5	格子目
6	平行叩目後ナデ
7	縄目後ナデ
8	格子目後ナデ

側面code	調整(側面)
1	ケズリ
2	マメツ
3	ケズリ後平行叩目
4	布目後ケズリ
5	布目後ナデ
6	布目

端面code	調整(端面)
1	ケズリ
2	マメツ
3	平行叩目
4	ケズリ後平行叩目
5	布目後ケズリ

注1．並びはA区、D区、E区の順
注2．最大幅は残存部の長さ
注3．最大厚は最も厚い部分の長さ、推定値については(　)で表記
注4．色相・明度・彩度は標準土色帖により分類

側面の調整

調整	平瓦	丸瓦	合計
ケズリ	315	123	438
ケズリ後平行叩目	1	0	1
布目後ケズリ	7	1	8
ナデ	0	1	1
布目後ナデ	4	0	4
布目	2	0	2
マメツ	69	46	115
合計	398	171	569

端面の調整

調整	平瓦	丸瓦	合計
ケズリ	183	47	230
平行叩目	3	1	4
ケズリ後平行叩目	2	0	2
布目後ケズリ	2	0	2
マメツ	45	18	63
合計	235	66	301

凹面の調整

調整	平瓦	丸瓦	合計
布目	762	236	998
ナデ	10	8	18
布目後ナデ	16	0	16
布目後平行叩目	2	0	2
ハケメ後ナデ	0	1	1
マメツ	140	101	241
ハクリ	8	5	13
合計	938	351	1289

凸面の調整

調整	平瓦	丸瓦	合計
縄目	221	18	239
ナデ	281	151	432
平行叩目	159	31	190
格子目	64	5	69
平行叩目後ナデ	1	3	4
縄目後ナデ	0	1	1
格子目後ナデ	21	0	21
マメツ	180	131	311
ハクリ	10	10	20
合計	937	350	1287

第12表　軒平瓦観察表

長さ単位：(cm)

挿図番号	番号	文様	瓦当部 残存度	内区 径	厚	中房 径	高	蓮子数	花弁長	外区 有無	周縁 幅	高さ	色調	裏面 色調	調整	丸瓦部 調整 凹面	凸面	側面	端面	残存幅	厚	側面の形状
8	D013	四葉複弁蓮花文	2/3	(11.2)	1.0~2.0	4.8~5.0	0.3~0.8	1+9	2.6~2.9	無	0.6~1.8		7.5R7/0	7.5R7/0	ケズリ・ナデ	布目	平行叩目・ナデ	ケズリ		5.0	1.3	9
7	D023	四葉複弁蓮花文	9/10	10.4~11.0	1.5~2.4	4.5~5.0	0.2~0.8	1+9	2.6~3.0	無	0.6~0.8	0.0~0.7	7.5R6/0	7.5R6/0	ケズリ・ナデ							
6	D012	四葉複弁蓮花文	9/10	(11.3)~11.8	0.9~2.0	4.9~5.4	0.0~0.7	1+9?	2.7~3.0	無	0.7~1.5	0.5~0.6	5YR7/1	5YR7/1	ケズリ・ナデ							
	D041	四葉複弁蓮花文	1/8		0.5~1.3	4.8~5.1	0.2~0.6	1+9					7.5R7/0	7.5R7/0	ナデ							
	D742	四葉複弁蓮花文?	1/6	0.9~1.8						無	0.4~2.5	0.5~3.4	10R6/1	10R6/1	ケズリ・ナデ							
	E315	四葉複弁蓮花文?	1/7		0.8~1.7					無	1.4~2.0	1.1~1.4	5YR6/1	5YR6/1	ナデ							
	D706	四葉複弁蓮花文?	1/9		1.0~1.9					無			7.5R8/0	7.5R8/0	ケズリ・ナデ							
4	A136	六葉素弁蓮花文	1/4	(10.0~10.6)	0.7~1.7	3.6	0.0~0.4	1+6	2.8~3.5		(1.3)		5YR6/8	5YR6/8	ナデ							
5	E111	六葉素弁蓮花文	1/4	(10.6)	0.5~1.2		0.0~0.4		2.9~3.2	無	0.5~0.9	0.4~0.7	7.5R7/0	7.5R7/0	マメツ							
3	A036	六葉素弁蓮花文	1/4	(10.8)	0.8~1.5					無	1.0~1.3	0.1~0.4	7.5YR7/4	7.5YR8/1	ナデ							
	D537	六葉素弁蓮花文?	1/6	(9.8)	0.8~1.5					無	0.7~0.9	0.3~0.4	7.5Y7/1	5Y7/1	マメツ	布目	ナデ			6.3	1.3	
	E124	不明		(14.0)							1.5	1.5	2.5Y6/0	2.5Y6/0		布目	平行叩目			4.3	1.4	
	A130_1	不明									1.7		5Y7/1	5Y7/1								
	D469	不明									0.8~0.9	6.7	5YR6/8	5YR6/8	マメツ							

第13表　軒丸瓦観察表

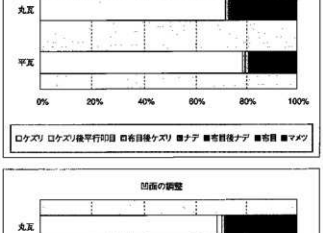
長さ単位：(cm)

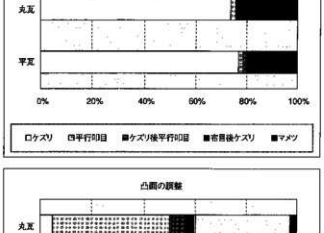
挿図番号	番号	文様	瓦当部 残存度	上弦幅	弧深	下弦幅	厚	色調	裏面 色調	調整	筒部 形状	幅	平瓦部 凹面	凸面	側面	端面	残存幅	厚	側面の形状
9	A001_2	押印文（2）	1/2		4.6~4.9		2.2~3.0	7.5YR6/1	7.5YR6/1	ナデ	[illegible]	2.2~2.5	布目	ナデ	ケズリ		13.5	2.9	1
10	RD627_2	押印文（1）	4/5		5.8~6.3		2.3~2.6	7.5YR8/2	7.5YR8/2	ナデ	[illegible]	2.5~2.8	布目	ナデ	ケズリ		21.2	2.3	1
	A013	押印文（1 or 2 ?）	1/3		4.9~5.2		2.8~3.0	7.5YR8/2	7.5YR8/2	ナデ	[illegible]	2.7~2.8	布目	ナデ	ケズリ		10.6	2.3	1
	D785	押印文（1 or 2 ?）	1/5		4.5~4.7		2.4~3.1	7.5YR8/2	7.5YR8/2	ナデ	[illegible]	3.3~3.4	布目				6.5	1.9	
	D570	押印文（1 or 2 ?）	1/6					7.5YR8/2	7.5YR8/2				布目	ナデ	マメツ		10.6	3.0	
	E036	押印文（1 or 2 ?）	1/5					7.5YR7/1	7.5YR7/1				布目	ナデ			10.6	2.6	
	A091	押印文（1 or 2 ?）					2.9~3.0	7.5YR7/1	7.5YR7/1	ナデ									
	E216	押印文（1 or 2 ?）	1/6				1.7	7.5YR8/2	7.5YR6/1				布目	ナデ・平行叩目	マメツ		11.6	2.5	
11	D476	押印文（3）	2/3		4.8~5.0		2.4~2.6	2.5YR8/2	2.5YR8/2	ナデ	[illegible]	3.2~3.6	布目	ナデ・平行叩目	ケズリ		14.4	1.9	
12	A094	押印文（4）	1/3		3.6~4.1		1.8~3.0	7.5YR6/1	7.5YR6/1	ナデ	[illegible]	2.0~2.3	布目後ナデ	ナデ・平行叩目	ケズリ		8.5	1.6	
	D709	押印文（3）	1/3		4.2~4.5		2.0	7.5YR8/1	7.5YR8/1	ナデ	[illegible]	2.7~2.8	布目後ナデ	ナデ			9.7	1.8	
	D083	押印文（3 or 4 ?）	1/5				2.8	2.5YR6/1	2.5YR6/1	ナデ									
	A033	押印文（3 or 4 ?）					1.8~2.0	7.5YR8/1	7.5YR8/1	マメツ									

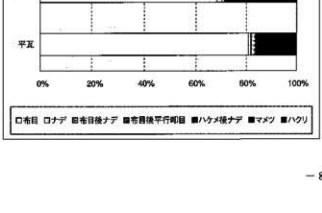
第14表　側面・端面の形状の分類

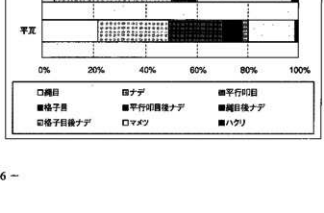
code	側面分類	平瓦	丸瓦	全体	code	端面分類	平瓦	丸瓦	全体
1		25.06%	1.68%	17.88%	1		83.68%	88.71%	84.77%
2		2.53%	0.00%	1.74%	2		9.21%	6.45%	8.61%
3		2.78%	0.00%	1.91%	3		1.26%	1.61%	1.32%
4		35.70%	3.35%	25.52%	4		4.60%	1.61%	3.97%
5		17.97%	37.99%	24.13%	5		0.84%	0.00%	0.66%
6		8.86%	1.68%	6.77%	6		0.42%	1.61%	0.66%
7		4.30%	53.07%	19.44%					
8		0.76%	0.56%	0.69%					
9		2.03%	0.00%	1.39%					
10		0.00%	1.68%	0.52%					

注　側面576点、端面302点分類、codeは左一覧表の側面形状・端面形状に対応





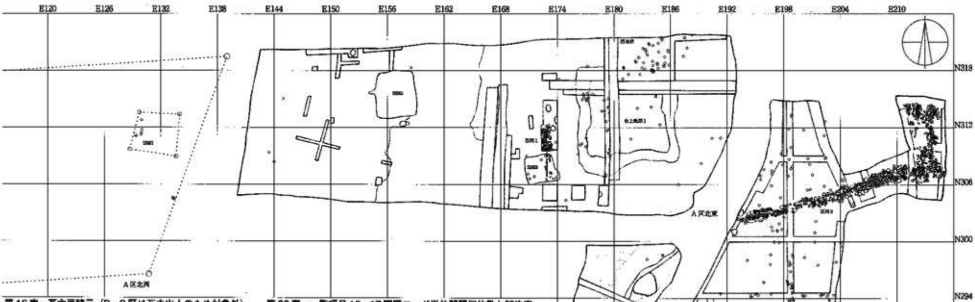




第15表　古瓦接合状況

接合番号	ID	出土遺構・層準	瓦種別資料	総個体数	最大幅(cm)	最大厚(cm)
RA008	A008, A009	A008(SB83 No.04), ＊A009(SB83 No.06)	1	2	12.4	1.7
RA015	A015, A123_1	＊A015(No.001), A123_1(TK)	2	2	8.2	1.8
RA025	A025, A026	A025(No.028), ＊A026(No.029)	1	2	14.9	2.1
RA029_1	A029_1, A029_2	＊A029_1(No.034), A029_2(No.035)	1	2	11.6	2.5
RA032	A032, A034	＊A032(No.038), ＊A034(No.040)	1	2	8.5	2.2
RA043	A043, A088	A043(No.049), ＊A088 (No.119)	1	2	7.7	2.7
RA064	A064, A066_2	＊A064(No.075), A066_2(No.077)	2	2	6.0	1.9
RA065	A065, A125_8, D113	A065(No.076), ＊A125_8(TK 東側), ＊D113(No.120)	1	3	8.5	2.2
RA067	A067, A068, A069, A107	A067(No.079), A068(No.080), A069(No.081), ＊A107(窪地状1東)	2	4	8.4	1.7
RA071	A071, A076, A104	A071(No.086), A076(No.103), ＊A104(No.127)	1	3	16.3	2.4
RA073	A073, A074	＊A073(No.090), A074(No.091)	1	2	9.2	2.7
RA079	A079, A096	＊A079(No.106), A096(No.128)	1	2	17.6	2.3
RA082	A082, A105	＊A082(No.109), A105(窪地状1 NW)	1	2	8.5	3.2
RA083	A083, A084	＊A083(No.110), A084(No.111)	1	2	10.0	3.1
RA124_1	A124_1, E193	＊A124_1(TK), E193(No.211)	1	2	7.4	1.5
RD001	D001, D825	D001(No.001), D825(No.566)	5	2		
RD013_1	D013_1, D013_2	D013_1(No.013), D013_2(No.013)	4	2		
RD015	D015, D127	D015(No.015), ＊D127(No.134)	1	2	13.4	2.5
RD022	D022, D025	＊D022(No.022), D025(No.025)	2	2	7.5	1.9
RD023	D023, D024	D023(No.023), ＊D024(No.024)	1	2	10.0	2.5
RD029	D029, D804_1	＊D029(No.029), ＊D804_1(TK 北西)	1	2	10.6	2.0
RD034	D034, D191	＊D034(No.035), ＊D191(No.199)	1	2	15.1	2.0
RD039	D039, D040	D039(No.040), ＊D040(No.041)	1	2	7.6	2.2
RD046	D046, D047	＊D046(No.047), D047(No.048)	1	2	10.3	3.1
RD053	D053, D058	D053(No.054), ＊D058(No.059)	1	2	8.5	2.2
RD064	D064, D065	D064(No.065), ＊D065(No.067)	1	2	12.2	2.2
RD074	D074, E157	＊D074(No.076), E157(No.171)	1	2	7.5	2.8
RD090_1	D090_1, D090_2	＊D090_1(No.096), D090_2(No.096)	1	2	6.7	2.2
RD093	D93, D590, D610	D93(No.099), ＊D590(No.596), D610(No.615)	2	3	7.7	1.6
RD102	D102, D310	＊D102(No.109), D310(No.322)	2	2	5.5	1.9
RD104	D104, D311	D104(No.111), ＊D311(No.323)	1	2	6.6	2.3
RD112	D112, D267_2	＊D112(No.119), D267_2(No.278)	1	2	5.8	1.8
RD115	D115, D116	＊D115(No.122), ＊D116(No.123)	1	2	11.0	1.6
RD117	D117, D119	D117(No.124), ＊D119(No.126)	1	2	10.6	1.7
RD134	D134, D791_2	D134(No.141), ＊D791_2(TT3)	1	2	8.0	2.6
RD162	D162, D196	D162(No.170), ＊D196(No.206)	1	2	6.7	2.0
RD172	D172, D252	＊D172(No.180), D252(No.263)	1	3	5.5	1.4
RD182	D182, D294	＊D182(No.190), D294(No.306)	1	2	9.5	2.5
RD184	D184, D741, D756	D184(No.192), ＊D741(No.747), ＊D756(No.762)	1	3	10.9	1.6
RD204	D204, D445_2, D456	＊D204(No.215), ＊D445_2(No.443), D456(No.445)	1	3	10.0	2.0
RD208	D208, D457	D208(No.220), ＊D457(No.456)	1	2	5.0	1.3
RD217	D217, D246	D217(No.229), ＊D246(No.258)	2	2	8.0	1.7
RD221	D221, D222	D221(No.233), ＊D222(No.234)	1	2	9.0	2.3
RD223	D223, D288	＊D223(No.236), ＊D288(No.300)	1	2	5.3	1.9
RD226	D226, D285, D495	＊D226(No.238), D285(No.297), ＊D495(No.495)	1	3	17.8	1.8
RD232	D232, D303	＊D232(No.246), D303(No.315)	1	2	3.5	1.6
RD238	D238, D239	D238(No.252), ＊D239(No.251)	1	2	8.4	1.6
RD241	D241, D759	＊D241(No.253), D759(No.765)	1	2	9.4	1.9
RD242_1	D242_1, D790_1	D242_1(No.254), ＊D790_1(TT2)	1	2	8.6	1.8
RD251	D251, D565	＊D251(No.262), D565(No.568)	1	2	9.0	1.9
RD253	D253, D625	＊D253(No.264), D625(No.631)	1	2	6.7	2.9
RD263	D263, D287_1	＊D263(No.274), D287_1(No.299)	2	2	6.6	1.5
RD265	D265, D300, D683	＊D265(No.276), D300(No.312), D683(No.689)	1	3	9.0	2.3
RD273	D273, D526	＊D273(No.284), ＊D526(No.527)	2	2	8.0	1.4
RD276	D276, D767_2	＊D276(No.287), D767_2(No.773)	1	2	15.0	1.9
RD278	D278, D605	＊D278(No.289), D605(No.610)	1	2	14.0	1.8
RD286	D286, D635	D286(No.298), ＊D635(No.641)	1	2	17.1	2.7
RD290	D290, D291	＊D290(No.302), D291(No.303)	2	2	8.7	1.7
RD298	D298, D299	＊D298(No.310), ＊D299(No.311)	1	2	6.0	2.3
RD318	D318, D320	＊D318(No.331), ＊D320(No.333)	1	2	7.3	2.1
RD345	D345, D441	D345(No.339), ＊D441(No.439)	1	2	6.9	1.7
RD348	D348, D349	D348(No.341), ＊D349(No.342)	1	2	7.5	1.3
RD373	D373, D717	D373(No.368), ＊D717(No.723)	1	2	12.0	2.0
RD376	D376, D384, D402, D403, D543, D701	D376(No.371), ＊D384 (No.379), D402(No.398), D403(No.399), D543(No.544), D701(No.707)	2	6	8.1	2.0
RD378	D378, D387_1, D387_2, D651, D662, D663_1, D752, D797_2	＊D378(No.373), D387_1(No.382), D387_2(No.382), ＊D651(No.657), D662(No.668), D663_1(No.669), D752(No.758), D797_2(集石9)	1	8	11.2	1.7
RD388	D388, D391	＊D388(No.384), D391(No.387)	1	2	19.5	2.1
RD389	D389, D395	D389(No.385), ＊D395(No.391)	1	2	5.3	2.7
RD415	D415, D775	D415(No.413), ＊D775(No.781)	1	2	13.7	2.6
RD428	D428, D429	＊D428(No.426), D429(No.427)	1	2	12.5	1.9
RD439	D439, D443	＊D439(No.437), D443(No.441)	1	2	5.8	1.4
RD444	D444, D446_2	D444(No.442), ＊D446_2(No.444)	1	2	10.3	1.8
RD445_1	D445_1, D720	＊D445_1(No.443), ＊D720(No.726)	1	2	5.5	0.9
RD447	D447, D727	D447(No.445), ＊D727(No.733)	1	2	8.7	2.1
RD451	D451, D793_1, E048, E064	D451(No.449), ＊D793_1(TT3), E048(No.051), ＊E064(No.067)	1	4	12.0	1.4
RD462	D462, D464, D470	＊D462(No.462), D464(No.464), D470(No.470)	1	3	8.8	1.7
RD465	D465, D466	＊D465(No.465), D466(No.466)	1	2	10.3	2.0
RD471	D471, D808	D471(No.471), ＊D808(TT No.02)	1	2	15.1	2.2
RD472	D472, D749	＊D472(No.472), D749(No.755)	1	2	13.0	2.2
RD486	D486, D563	D486(No.486), ＊D563(No.565)	1	2	11.2	2.4
RD489	D489, D492	＊D489(No.489), D492(No.492)	1	2	12.5	2.4
RD493	D493, D629, D753, D782	＊D493(No.498), D629(No.635), D753(No.759), D782(No.788)	1	4	19.6	2.2
RD505	D505, D507	D505(No.506), ＊D507(No.508)	1	2	14.0	1.6
RD506	D506, D508	＊D506(No.507), D508(No.509)	1	2	8.6	1.7
RD512	D512, D656	D512(No.513), ＊D656(No.662)	1	2	8.5	1.7
RD528	D528, D529	D528(No.529), ＊D529(No.530)	2	2	8.0	1.8
RD531	D531, D534	D531(No.532), ＊D534(No.535)	2	2	3.5	1.2
RD568	D568, D789_2	＊D568(No.571), ＊D789_2(TT2 北壁際)	1	2	16.5	2.4
RD573	D573, D602	D573(No.577), D602(No.607)	4	2		
RD592	D592, D593	＊D592(No.597), D593(No.598)	1	2	8.6	2.5
RD627_1	D627_1, D631	D627_1(No.633), ＊D631(No.637)	1	2	13.8	2.6
RD627_2	D627_2, D630	D627_2(No.633), D630(No.636)	3	2	20.5	
RD639	D639, D640	＊D639(No.645), ＊D640(No.646)	2	2	8.0	1.4
RD641	D641, D642, D643	＊D641(No.647), D642(No.648), D643(No.649)	1	3	13.0	2.0
RD648	D648, D650, D771_1, D771_2	D648(No.654), ＊D650(No.656), D771_1(No.777), D771_2(No.777)	1	4	12.0	1.8
RD653	D653, D655	＊D653(No.659), D655(No.661)	1	2	10.3	3.5
RD657	D657, D660	＊D657(No.663), ＊D660(No.666)	6	2	8.8	2.2
RD664	D664, D669	＊D664(No.670), D669(No.675)	1	2	10.5	1.9
RD665	D665, D667, D678, D680, D766	＊D665(No.671), D667(No.673), D678(No.684), D680(No.686), ＊D766(No.772)	1	5	26.7	2.0
RD668	D668, D673	D668(No.674), ＊D673(No.679)	1	2	9.0	1.9
RD682	D682, D690	D682(No.688), ＊D690(No.697)	1	2	7.7	1.5
RD688	D688, D696	D688(No.693), ＊D696(No.702)	1	2	15.8	2.5
RD693	D693, D758	＊D693(No.691), D758(No.764)	1	2	12.2	2.2
RD698	D698, D773	＊D698(No.704), D773(No.779)	1	2	11.6	2.1
RD713	D713, D767_1	＊D713(No.719), D767_1(No.773)	1	2	10.8	2.1
RD722	D722, D746, D760	D722(No.728), D746(No.752), ＊D760(No.766)	1	3	15.5	2.2
RD735	D735, D736	＊D735(No.741), D736(No.742)	1	2	14.6	2.3
RD789_1	D789_1, D798_3	D789_1(TT2 北壁際), ＊D798_3(集石1)	1	2	11.0	2.4
RD817	D817, D818	＊D817(TT No.11), ＊D818(TT No.12)	2	2	8.0	1.5
RE007	E007, E008	＊E007(No.009), E008(No.010)	2	2	6.4	1.7
RE018	E018, E019	＊E018(No.021), ＊E019(No.022)	1	2	11.3	1.5
RE059	E059, E060, E061	＊E059(No.062), E060(No.063), E061(No.064)	2	3	10.8	1.7
RE065	E065, E066	＊E065(No.068), ＊E066(No.069)	2	2	5.5	1.2
RE077	E077, E091	＊E077(No.080), ＊E091(No.094)	1	2	11.5	2.1
RE134	E134, E196	＊E134(No.139), ＊E196(No.216)	2	2	8.1	1.6
RE175	E175, E283_1	＊E175(No.192), E283_1(TC, N294-E291)	2	2	7.7	1.6
RE198	E198, E214	E198(No.218), ＊E214(No.237)	1	2	9.5	2.4
RE201	E201, E259	＊E201(No.221), E259(No.282)	1	2	23.5	3.1
RE244	E244, E280	＊E244(No.267), E280(集3, No.3)	1	2	14.0	1.9
RE264	E264, E287	E264(No.287), ＊E287(TT2 No.2)	1	2	14.3	1.9

注. 出土遺構・層準欄中の＊の個体はその接合個体の最大厚



第16表　瓦主要諸元（B・C区は瓦未出土のため対象外）

総回収個体数	1409	総重量（g）　未計測あり算出不能	
欠番率	0.99%	欠番個体数	14
二次元座標記録率	84.17%	二次元座標記録個体数	1186
プロット率	79.70%	プロット可能総個体数	1123
プロット不能率	20.30%	プロット不能個体数	286
単独率	80.65%	総個体数	1395
接合率	19.35%	接合個体数	270
平均接合個体数	2.3	接合資料数	119
分布密度（点/平米）	算出無効	総調査面積（平米）	3070.6
帰属層準推定率	未算出	帰属層準推定個体数	未検証
遺構帰属率	未算出	遺構帰属個体数（記録回収分）	234
実測率	2.08%	実測個体数	29

第17表　個体別資料一覧項目コード

code	項目名称	code	項目名称	code	項目名称
01	地区	08	Y座標値	15	写真
02	ID	09	瓦種別	16	問題code
03	出土遺構1	10	（重量）	17	未決問題
04	出土遺構2	11	（最大幅）	18	欠番情報
05	層序	12	（最大厚）	19	問題有項目
06	二次元記録	13	接合情報		
07	X座標値	14	実測		

＊プロット用に独自管理したデータベースであり、第10表と総個体数は確実に一致しない。明らかなものとしては、未整理個体12個を瓦種別0として個体管理し、カウントしてある。

第18表　瓦種別コード

code	種別名
0	不明
1	平瓦
2	丸瓦
3	軒平瓦
4	軒丸瓦
5	鴟尾
6	隅平瓦

第19表　一覧項目16・17問題コード

code	問題の詳細	A区	D区	E区
01	出土位置不明	有	有	有
02	遺物紛失	有	有	無
03	取り上げNoの重複	有	有	有
04	遺物種別が不明	有	有	有
05	遺物種別が同一座標点に2種以上ある	有	有	有
06	注記IDが同じ	有	無	無
07	十番台帳・荷札の記入間違えが考えられる	有	無	無
08	注記IDが2個ある	無	有	有
09	図面に取り上げNo記入あるも位置記録なし	無	有	無
10	座標の確認必要	無	有	無
11	取り上げ座標点が調査区外の値を取る	無	無	有

第20表　一覧項目16・17問題コード単位問題個体数と解決率

code	個体数	解決数	未解数	解決率
1	21	0	21	0.0%
2	1	0	1	0.0%
3	26	16	10	60.5%
4	20	5	15	25.0%
5	3	3	0	100.0%
6	2	2	0	100.0%
7	7	7	0	100.0%
8	6	2	4	33.3%
9	1	0	1	0.0%
10	17	0	17	0.0%
11	2	0	2	0.0%
計	79	23	56	29.1%

第21表　地区・問題含有項目単位個体数

地区	問題含有項目	計
A	06	54
	09	2
	18	1
	06,09	7
	06,17	7
A計		71
D	17	15
	06	84
	09	19
	18	10
	06,09	17
	06,17	14
	09,17	1
D計		160
E	17	5
	06	33
	09	6
	18	3
	06,09	3
	06,17	4
	09,17	1
E計		55
合計		286

第22表　地区・瓦種単位プロット個体数と率

地区	瓦種別code	計	プロット個体数	プロット率
A	0	9	0	0.0%
	1	118	76	64.4%
	2	39	21	53.8%
	3	5	5	100.0%
	4	4	3	75.0%
	5	0	0	0.0%
	6	0	0	0.0%
計		175	105	60.0%
D	0	37	0	0.0%
	1	655	582	88.8%
	2	187	148	79.1%
	3	7	7	100.0%
	4	10	10	100.0%
	5	4	3	75.0%
	6	4	4	100.0%
計		904	754	83.0%
E	0	10	0	0.0%
	1	176	161	91.5%
	2	125	98	78.4%
	3	2	2	100.0%
	4	3	3	100.0%
	5	0	0	0.0%
	6	0	0	0.0%
計		316	264	83.5%
総計（欠番除く）		1395	1123	80.5%

＊記憶により出土位置に戻した個体があるようだが切り分けできていない。写真属性は未計測個体があり、このデータベースでは削除した。瓦種別も未分類があり、種別単位個数に問題がある。第10表は、個体管理もされず出土遺物も出土位置も調査され遺跡と齟齬した一覧となっている。

＊使用した対象地区の全体図は、N318,E144を仮設原点としたとき最大で東方向に約150cmから200cm程、北方向で約50cmから100cm程の誤差があったため、調査区角の座標値をプロットし合うところまで済ませてある。A区北西の全体図は、調査区と瓦出土遺構のみを対象とした角の座標値をプロットし作成した。また瓦の出土は、E126以西では確認されていないことがプロット用個体管理データベースにより確認できたため、A区北西調査区一部はカットした。また、二次元座標値はA区南東・D区・E区で、グリット設定原点から東へ69mの誤差があったため補正した。上記遺構名称は、記録回収分遺構のみである。

legends
○ 丸瓦　◇ 平瓦　✧ 軒平瓦
⌘ 軒丸瓦　◆ 隅平瓦　△ 鴟尾

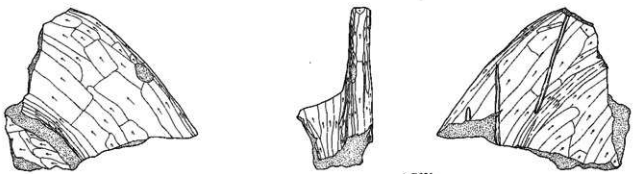
0　scale:1/400　20m

第31図　瓦分布図

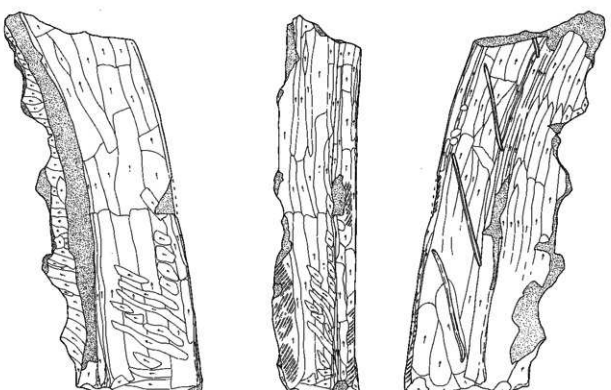
第32図　瓦種別コード1・3・6分布図

地区	出土遺構	計	地区	出土遺構	計	地区	出土遺構	計	地区	出土遺構	計	地区	出土遺構	計	出土遺構記録分	計
A	[illegible]	1	A	石灯1	1	D	集石1	5	D	TT	54	E	TG	5	道路内	73
A	[illegible]	1	A	TG	1	D	集石2	3	D	計	118	E	TK	1	TG・TK	69
A	[illegible]	1	A	TK	1	D	集石9	23	E	建2	1	E	TT	30	TT	62
A	白鳥沢	2	A	TT	3	D	TG	2	E	建3	2	E	計	40	建	234
A	石灯1	2	A	計	8	D	TK	28	E	石灯3	1	●遺構単位加筆取り扱い記録するに留まる。				

第33図　瓦種別コード2・4・5分布図



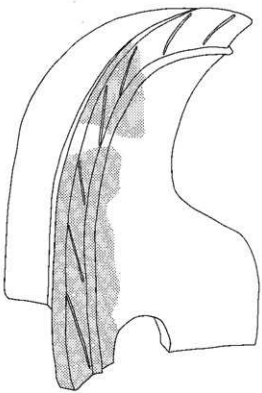
1:D826



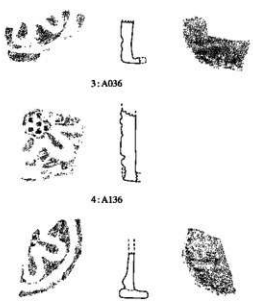
2:RD001(D001・D825)

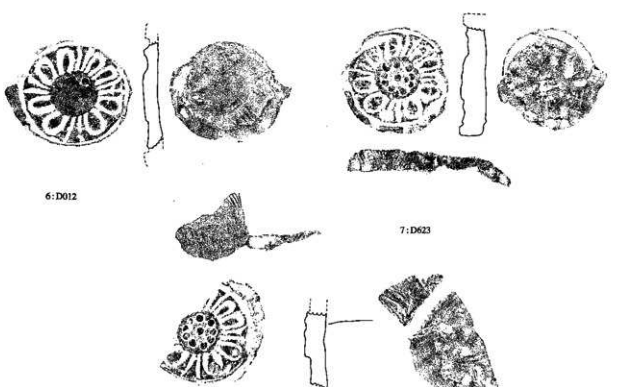
0 10(cm)

第34図　古瓦実測図(1) 鴟尾

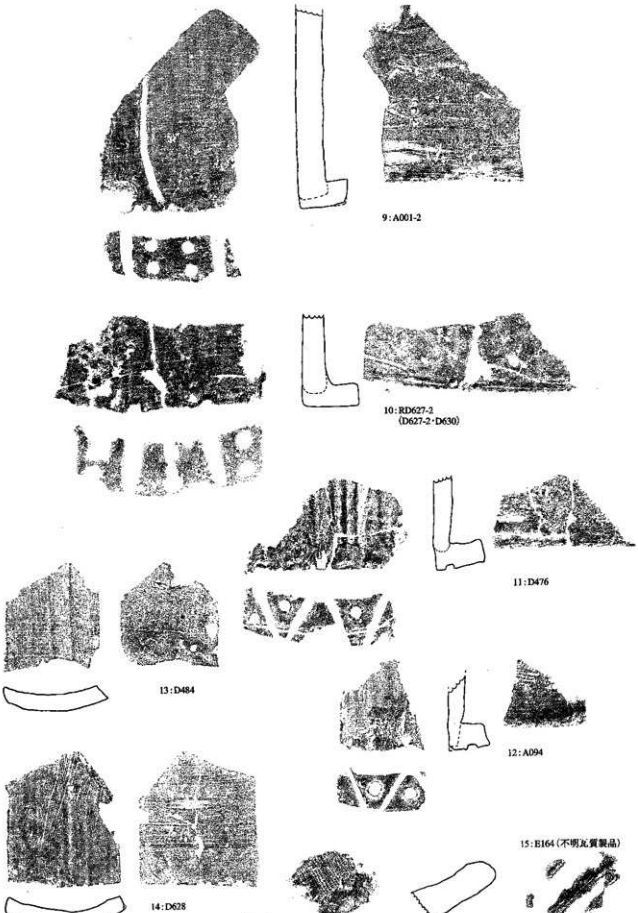


第35図　鴟尾模式図

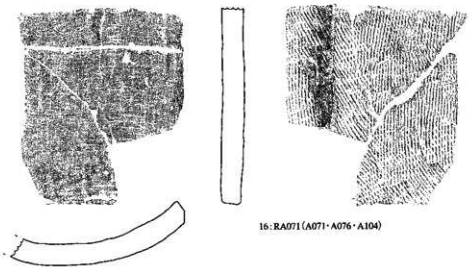




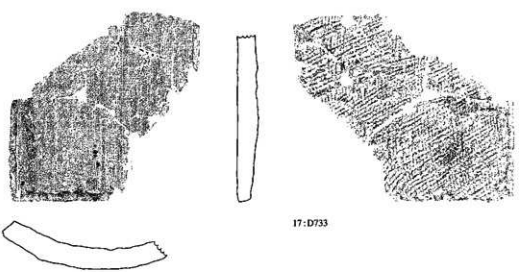
第36図　古瓦実測図(2) 軒丸瓦



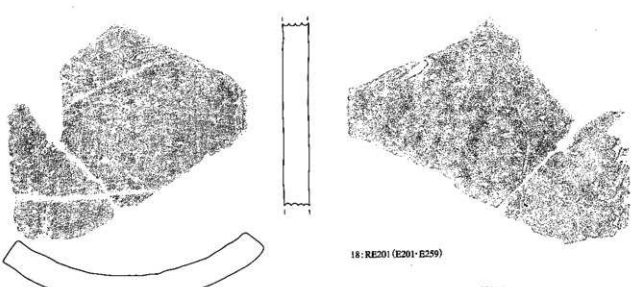
第37図　古瓦実測図(3)　軒平瓦・隅平瓦・不明品



16：RA071（A071・A076・A104）



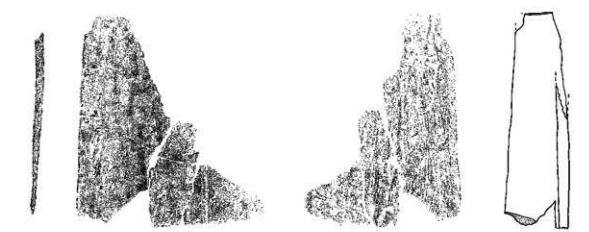
17：D733

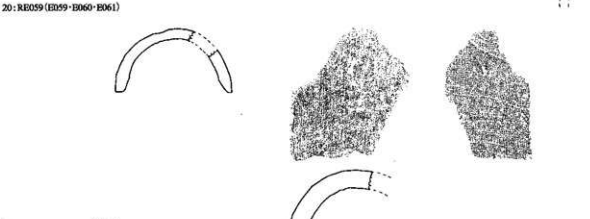


18：RE201（E201・E259）

0 10(cm)

第38図　古瓦実測図（4）平瓦





第39図　古瓦実測図(5) 平瓦・丸瓦

3　金属器

金属器群の概要

大村遺跡第4次調査は5地点に分割調査され、出土した土器の型式から推定されたとみられる縄文時代、古墳時代、古代、中世、近世と推定された遺構が検出されているようである。全地点とも、遺構検出層理面など不明であるものの、いずれの地点からも金属器は回収された。

遺物分布密度で最も高い値を示すのはA地点である。かつA地点は、副産物の全地点における副産物総個体数に占める割合も95.7%と高い。その偏った傾向に注意は必要であるものの、出土位置の多くは検出面とみられ、また寛永通宝も同一面上の出土とみられる位置で回収されており、あわせて注意が必要である。

本調査地における共時的・通時的関係の検討は、援用すべき他の遺物においても帰属層準など不明な点も多く、断念せざるを得なかった。

引用·参考文献

内堀　団　2003「金属器」『平田本郷遺跡4·5』松本市教育委員会 pp59～pp61

太田圭郁　2003「石器」　『平田本郷遺跡4·5』松本市教育委員会 pp62～pp85

第23表　金属製遺物主要諸元

総回収個体数	119	総重量（g）	2,286.4g
単独率（%）	99.5%	総個体数	116
接合率（%）	0.5%	接合個体数（すべて新しい折損）	6
平均接合個体数	3.0	接合資料数	2
金属製遺物分布密度（点/平米）	0.02	調査面積（平米）	4,693.2
二次元座標記録率（%）	48.7%	二次元座標記録個体数	58
帰属層準推定率（%）	0.0%	帰属層準推定個体数	0
遺物単位遺構帰属率（%）	33.6%	遺構帰属個体数	39
遺構単位遺構帰属率（%）	0.05%	回収遺構数（総遺構数）	16（282）
製品率（%）	38.7%	製品個体数	46
実測率（%）	17.2%	実測個体数	20
欠番率（%）	0.2%	欠番個体数	3

第24表　地点別遺構単位製品率

地点名	遺構1	P	BP	UK	計	PR
A地点	SB77		7		7	0.0%
(2,339.5)	SB78		7		7	0.0%
[0.04]	SB79		3		3	0.0%
	SB82	2			2	100.0%
	SB83	1			1	100.0%
	SB84	3			3	100.0%
	SB87		1		1	0.0%
	SB89	1			1	100.0%
	SB92		2		2	0.0%
	SB96	1			1	100.0%
	遺構内	8	20		28	28.5%
	遺構外	22	47	1	70	31.4%
	地点計	30	67	1	98	30.6%
B地点	SB91	3			3	100.0%
(715.0)	遺構内	3			3	100.0%
[0.004]	遺構外					0.0%
	地点計	3			3	100.0%

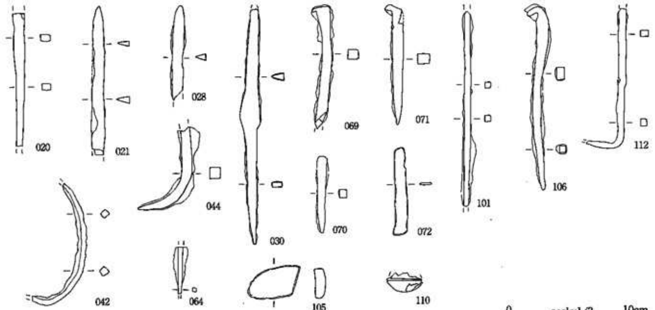
地点名	遺構1	P	BP	UK	計	PR
C地点	SB98		1		1	0.0%
(906.7)	SB109	1			1	100.0%
[0.006]	SB113	1			1	100.0%
	遺構内	2	1		3	66.6%
	遺構外	3			3	100.0%
	地点計	5	1		6	83.3%
D地点	SQ	3	1		4	75.0%
(300.4)	遺構内	3	1		4	75.0%
[0.01]	遺構外	2			2	100.0%
	地点	5	1		6	83.3%
E地点	SX3		1		1	0.0%
(430.7)	遺構内		1		1	0.0%
[0.006]	遺構外	2			2	100.0%
	地点計	2	1		3	66.6%

凡例　P=product　PR=product-reat　BP=by-product　( )内は地点面積　UK=unknown　[ ]内は遺物分布密度

第25表　金属器一覧

ID	地区	出土遺構1	出土遺構2	3D	X座標値	Y座標値	金属種	産物	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	長/幅比	幅/厚比	形状比	形状	形状模様	接合情報	実測	写真	欠番
001	A	SB77	No.1	△	83.700	293.950	F	BP	62.8	51.3	30.3	121.6	1.2	1.7	1.2:1.7	塊状	滓		No	No	No
002	A	SB77	P3	-	-	-	F	BP	28.2	25.3	23.7	19.1	1.1	1.1	1.1:1.1	塊状	滓		No	No	No
003	A	SB77	SW	-	-	-	F	BP	33.9	21.8	14.5	11.0	1.6	1.5	1.6:1.5	塊状	滓		No	No	No
004	A	SB77	NW	-	-	-	F	BP	50.3	33.2	27.7	30.3	1.5	1.2	1.5:1.2	塊状	滓		No	No	No
005	A	SB77		-	-	-	F	BP	49.6	42.9	35.1	71.4	1.2	1.2	1.2:1.2	塊状	滓		No	No	No
006	A	SB77		-	-	-	F	BP	46.6	41.9	30.3	44.6	1.1	1.4	1.1:1.4	塊状	滓		No	No	No
007	A	SB77		-	-	-	F	BP	65.1	48.4	43.5	79.7	1.3	1.1	1.3:1.1	塊状	滓		No	No	No
008	A	SB78	SW	-	-	-	F	BP	71.2	56.5	27.8	136.8	1.3	2.0	1.3:2.0	塊状	滓		No	No	No
009	A	SB78	SW	-	-	-	F	BP	76.0	41.2	29.7	136.0	1.8	1.4	1.8:1.4	塊状	滓		No	No	No
010	A	SB78	SW	-	-	-	F	BP	32.1	25.6	16.5	11.9	1.3	1.6	1.3:1.6	塊状	滓		No	No	No
011	A	SB78	SW	-	-	-	F	BP	67.5	39.9	25.7	48.1	1.7	1.6	1.7:1.6	塊状	滓		No	No	No
012	A	SB78	SW	-	-	-	F	BP	48.9	41.7	30.1	79.6	1.2	1.4	1.2:1.4	塊状	滓		No	No	No
013	A	SB78	SW	-	-	-	F	BP	23.2	17.8	16.8	6.6	1.3	1.1	1.3:1.1	塊状	滓		No	No	No
014	A	SB78	NE	-	-	-	F	BP	36.8	29.3	18.7	18.1	1.3	1.6	1.3:1.6	塊状	滓		No	No	No
015	A	SB79	SE	-	-	-	F	BP	54.2	43.0	24.8	65.3	1.3	1.7	1.3:1.7	塊状	滓		No	No	No
016	A	SB79	SE	-	-	-	F	BP	40.4	32.2	26.3	21.5	1.3	1.2	1.3:1.2	塊状	滓		No	No	No
017	A	SB79	SE	-	-	-	F	BP	20.4	14.0	13.7	2.7	1.5	1.0	1.5:1.0	塊状	滓		No	No	No
018	A	SB82	SW	-	-	-	F	P	46.0	13.8	7.4	6.9	3.3	1.9	3.3:1.9	棒状	刀子状		No	No	No
019	A	SB82	SW	-	-	-	F	P	33.0	12.2	11.9	6.8	2.7	1.0	2.7:1.0	棒状	不明		No	No	No
020	A	SB83	No.1	△	169.100	310.600	F	P	106.0	10.0	6.9	18.4	10.6	1.4	10.6:1.4	棒状	不明		Yes	No	No
021	A	SB84	No.6	△	126.675	314.225	F	P	117.4	12.5	7.9	14.2	9.4	1.6	9.4:1.6	棒状	刀子状		Yes	No	No
022	A	SB84	NW	-	-	-	F	P	52.4	11.8	11.3	12.6	4.4	1.0	4.4:1.0	棒状	不明		No	No	No
023	A	SB84	竈	-	-	-	F	P	43.6	8.7	5.8	3.4	5.0	1.5	5.0:1.5	棒状	不明		No	No	No
024	A	SB87	上層	-	-	-	F	BP	38.5	29.5	21.9	22.6	1.3	1.3	1.3:1.3	塊状	滓		No	No	No
025	A	SB89		-	-	-	F	P	108.4	16.1	20.8	29.4	6.7	0.8	6.7:0.8	棒状	釘状		No	No	No
026	A	SB92	床	-	-	-	F	BP	39.2	35.8	25.1	43.7	1.1	1.4	1.1:1.4	塊状	滓		No	No	No
027	A	SB92	Nベルト	-	-	-	F	BP	72.4	65.5	41.8	166.8	1.3	1.3	1.3:1.3	塊状	滓		No	No	No
028	A	SB96	No.8	△	121.250	313.900	F	P	75.1	11.5	6.5	10.5	6.5	1.8	6.5:1.8	棒状	不明		Yes	No	No
029	A	No.005		×	UK	UK	C	P	32.2	5.4	4.6	3.7	6.0	1.2	6.0:1.2	棒状	不明		No	No	No
030	A	No.010		△	126.000	311.900	F	P	198.0	16.7	9.0	29.9	11.9	1.9	11.9:1.9	棒状	刀子状		Yes	No	No
031	A	No.011		△	86.900	296.425	F	BP	98.5	79.9	31.3	263.1	1.2	2.6	1.2:2.6	塊状	滓		No	No	No
032	A	No.013		△	84.425	293.100	F	BP	82.9	74.8	44.6	228.0	1.1	1.7	1.1:1.7	塊状	滓		No	No	No
033	A	No.015		△	85.325	294.075	F	BP	38.2	33.6	27.0	42.7	1.1	1.2	1.1:1.2	塊状	滓		No	No	No
034	A	No.016		△	83.925	294.330	F	BP	69.3	58.5	40.2	161.6	1.2	1.5	1.2:1.5	塊状	滓		No	No	No
035	A	No.017		△	83.750	294.225	F	BP	86.6	70.2	36.9	227.7	1.2	1.9	1.2:1.9	塊状	滓		No	No	No
036	A	No.018		△	83.700	294.125	F	BP	34.4	29.8	19.2	9.2	1.2	1.6	1.2:1.6	塊状	滓		No	No	No
037	A	No.019		△	83.250	294.275	F	BP	37.5	28.4	16.5	24.1	1.3	1.7	1.3:1.7	塊状	滓		No	No	No
038	A	No.020		△	83.000	294.975	F	BP	27.6	17.9	14.1	5.8	1.5	1.3	1.5:1.3	塊状	滓		No	No	No
039	A	No.021		△	83.050	295.075	F	BP	48.8	33.5	25.5	23.7	1.5	1.3	1.5:1.3	塊状	滓		No	No	No
040	A	No.061		△	174.100	309.600	F	BP	86.3	74.7	36.0	283.2	1.2	2.1	1.2:2.1	塊状	滓		No	No	No
041	A	No.062		△	174.090	309.525	F	BP	45.0	37.7	20.7	68.1	1.2	1.8	1.2:1.8	塊状	滓		No	No	No
042	A	No.072		△	183.675	319.600	F	P	98.1	9.4	8.5	14.1	10.4	1.1	10.4:1.1	棒状	不明		Yes	No	No
043	A	No.082		△	184.780	321.300	F	BP	125.7	78.5	39.6	363.9	1.6	2.0	1.6:2.0	塊状	滓		No	No	No
044	A	No.088		△	181.500	317.200	F	P	78.0	18.8	15.8	27.7	4.1	1.2	4.1:1.2	棒状	不明		Yes	No	No
045	A	No.094		△	175.200	306.750	F	BP	76.4	70.1	35.3	193.6	1.1	2.0	1.1:2.0	塊状	滓		No	No	No
046	A	No.095		△	175.130	308.000	F	BP	103.3	93.1	38.7	331.1	1.1	2.4	1.1:2.4	塊状	滓		No	No	No
047	A	No.095		△	175.130	308.000	F	BP	63.8	59.3	28.8	92.8	1.1	2.1	1.1:2.1	塊状	滓		No	No	No
048	A	No.095		△	175.130	308.000	F	BP	48.7	31.1	18.0	33.2	1.6	1.7	1.6:1.7	塊状	滓		No	No	No
049	A	No.095		△	175.130	308.000	F	BP	42.5	29.3	19.6	14.5	1.5	1.5	1.5:1.5	塊状	滓		No	No	No
050	A	No.095		△	175.130	308.000	F	BP	55.6	27.8	23.1	32.5	2.0	1.2	2.0:1.2	塊状	滓		No	No	No
051	A	No.095		△	175.130	308.000	F	BP	38.2	24.9	10.5	6.2	1.5	2.4	1.5:2.4	塊状	滓		No	No	No
052	A	No.095		△	175.130	308.000	F	BP	28.2	24.6	16.3	5.8	1.1	1.5	1.1:1.5	塊状	滓		No	No	No
053	A	No.095		△	175.130	308.000	F	BP	21.8	19.6	11.6	1.5	1.1	1.7	1.1:1.7	塊状	滓		No	No	No
054	A	No.095		△	175.130	308.000	F	BP	14.2	12.7	10.9	1.4	1.1	1.2	1.1:1.2	塊状	滓		No	No	No
055	A	No.096		△	174.925	307.950	F	BP	74.8	57.8	40.9	132.6	1.3	1.4	1.3:1.4	塊状	滓		No	No	No
056	A	No.096		△	174.925	307.950	F	BP	45.0	31.3	16.8	19.6	1.4	1.9	1.4:1.9	塊状	滓		No	No	No
057	A	No.096		△	174.925	307.950	F	BP	26.2	16.3	11.8	4.4	1.6	1.4	1.6:1.4	塊状	滓		No	No	No
058	A	No.096		△	174.925	307.950	F	BP	19.8	15.4	10.3	2.7	1.3	1.5	1.3:1.5	塊状	滓		No	No	No
059	A	No.096		△	174.925	307.950	F	BP	16.1	11.8	9.9	1.8	1.4	1.2	1.4:1.2	塊状	滓		No	No	No

ID	地区	出土遺構1	出土遺構2	3D	X座標値	Y座標値	金属種	産物	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	長/幅比	幅/厚比	形状比	形状	形状機能	接合情報	実測	写真	欠番
060	A	No.097		△	175.200	307.740	F	BP	96.1	71.4	28.7	232.8	1.3	2.5	1.3:2.5	塊状	滓		No	No	No
061	A	No.097		△	175.200	307.740	F	BP	46.8	33.1	10.6	10.5	1.4	3.1	1.4:3.1	塊状	滓		No	No	No
062	A	No.097		△	175.200	307.740	F	BP	17.8	16.5	8.4	1.8	1.1	2.0	1.1:2.0	塊状	滓		No	No	No
063	A	No.097		△	175.200	307.740	F	BP	15.3	14.1	8.4	1.8	1.1	1.7	1.1:1.7	塊状	滓		No	No	No
064	A	No.098		△	175.200	307.790	F	P	38.1	11.5	7.6	3.0	3.3	1.5	3.3:1.5	棒状	不明		Yes	No	No
065	A	No.098		△	175.200	307.790	F	BP	100.4	92.8	48.0	452.2	1.1	1.9	1.1:1.9	塊状	滓		No	No	No
066	A	No.098		△	175.200	307.790	F	BP	29.9	29.6	12.2	7.2	1.0	2.4	1.0:2.4	塊状	滓		No	No	No
067	A	No.099		△	175.300	307.775	F	BP	96.8	56.0	29.6	126.8	1.7	1.9	1.7:1.9	塊状	滓		No	No	No
068	A	No.099		△	175.300	307.775	F	BP	23.4	14.8	8.5	2.6	1.6	1.7	1.6:1.7	塊状	滓		No	No	No
069	A	No.100		△	181.400	317.000	F	P	97.8	19.0	16.8	30.2	5.1	1.1	5.1:1.1	棒状	釘状		Yes	No	No
070	A	No.113		△	182.700	318.675	F	P	61.5	11.1	8.0	8.4	5.5	1.4	5.5:1.4	棒状	釘状		Yes	No	No
071	A	No.118		△	182.800	317.100	F	P	95.3	13.2	14.2	22.6	7.2	0.9	7.2:0.9	棒状	不明		Yes	No	No
072	A	No.134		△	152.050	319.100	UK	P	69.3	11.6	1.6	10.8	6.0	7.3	6.0:7.3	塊状	不明		Yes	No	No
073	A	No.138		△	129.575	299.875	C	P	25.0	25.0	1.4	3.1	1.0	17.9	1.0:17.9	板状	寛永通宝		No	No	No
074	A	TK		-	-	-	F	P	39.4	8.8	8.2	4.0	4.5	1.1	4.5:1.1	棒状	不明		No	No	No
075	A	TK		-	-	-	F	BP	53.6	51.9	32.3	86.0	1.0	1.6	1.0:1.6	塊状	滓		No	No	No
076	A	TK		-	-	-	F	BP	103.7	80.5	36.4	434.8	1.3	2.2	1.3:2.2	塊状	滓		No	No	No
077	A	TK		-	-	-	F	P	34.1	7.8	7.7	2.8	4.4	1.0	4.4:1.0	棒状	不明		No	No	No
078	A	TK		-	-	-	F	P	36.0	7.8	7.8	3.6	4.5	1.0	4.5:1.0	棒状	不明		No	No	No
079	A	TK		-	-	-	F	P	59.2	11.5	10.9	9.7	5.1	1.1	5.1:1.1	棒状	釘状		No	No	No
080	A	TT3		-	-	-	F	BP	54.9	47.1	20.5	72.8	1.2	2.3	1.2:2.3	塊状	滓		No	No	No
081	A	TT3		-	-	-	F	BP	23.5	23.2	19.8	11.1	1.0	1.2	1.0:1.2	塊状	滓		No	No	No
082	A	TT4																			Yes
083	A	TY	北西	-	-	-	C	P	24.8	24.7	1.5	2.8	1.0	16.5	1.0:16.5	板状	元豊通宝		No	No	No
084	A	TK	北西	-	-	-	F	P	50.8	12.9	11.3	11.7	3.9	1.1	3.9:1.1	棒状	不明		No	No	No
085	A	TG	N315,E174	-	-	-	F	BP	86.7	69.0	31.5	206.3	1.3	2.2	1.3:2.2	塊状	滓		No	No	No
086	A	TG	N315,E174	-	-	-	F	BP	26.9	25.3	18.9	22.3	1.1	1.3	1.1:1.3	塊状	滓		No	No	No
087	A	SX1		-	-	-	F	BP	67.1	47.8	21.6	70.1	1.4	2.2	1.4:2.2	塊状	滓		No	No	No
088	A	SX1	Nベルト	-	-	-	F	BP	40.6	35.8	28.2	41.2	1.1	1.3	1.1:1.3	塊状	滓		No	No	No
089	A	TK		-	-	-	F	P	39.8	34.3	7.0	10.4	1.2	4.9	1.2:4.9	板状	不明		No	No	No
090	A	TK		-	-	-	F	P	36.9	9.4	8.0	5.1	3.9	1.2	3.9:1.2	棒状	不明		No	No	No
091	A	TK		-	-	-	F	P	28.5	10.2	9.5	5.0	2.8	1.1	2.8:1.1	棒状	不明		No	No	No
092	A	TK		-	-	-	F	P	33.0	10.4	9.5	5.8	3.2	1.1	3.2:1.1	棒状	不明		No	No	No
093	A	TK		-	-	-	F	BP	53.4	51.6	30.5	92.1	1.0	1.7	1.0:1.7	塊状	滓		No	No	No
094	A	TK		-	-	-	F	BP	67.4	44.5	14.6	53.9	1.5	3.0	1.5:3.0	塊状	滓		No	No	No
095	A	TK		-	-	-	F	BP	31.8	27.3	20.2	23.7	1.2	1.4	1.2:1.4	塊状	滓		No	No	No
096	A	TK		-	-	-	F	BP	19.3	16.0	13.1	5.8	1.2	1.2	1.2:1.2	塊状	滓		No	No	No
097	A	SX1	N313,E175																		Yes
098	A	TG	N313,E175	-	-	-	F	P	22.3	8.2	7.0	1.7	2.7	1.2	2.7:1.2	棒状	不明		No	No	No
099	A	TG	N313,E175	-	-	-	F	P	29.0	11.2	12.7	3.4	2.6	0.9	2.6:0.9	棒状	釘状		No	No	No
100	A	TG	N312,E174	-	-	-	F	UK	33.0	24.0	12.7	8.9	1.4	1.9	1.4:1.9	塊状	UK		No	No	No
101	B	SB91	N0.36	△	164.075	216.600	F	P	84.8	12.3	10.6	11.1	6.9	1.2	6.9:1.2	棒状	不明	102,103	Yes	No	No
102	B	SB91	N0.36	△	164.075	216.600	F	P	48.8	9.3	7.1	4.5	5.2	1.3	5.2:1.3	棒状	不明	101	Yes	No	No
103	B	SB91	N0.36	△	164.075	216.600	F	P	22.8	10.8	8.0	1.7	2.1	1.4	2.1:1.4	棒状	不明	101	Yes	No	No
104	C	SB98	E	-	-	-	F	BP	56.2	43.6	22.7	22.3	1.3	1.9	1.3:1.9	塊状	滓		No	No	No
105	C	SB109	No.1	△	173.975	139.750	F	P	46.5	26.3	8.7	17.3	1.8	3.0	1.8:3.0	板状	不明		Yes	No	No
106	C	SB113	No.2	△	164.400	137.150	F	P	147.7	16.7	16.7	45.2	8.8	1.0	8.8:1.0	棒状	釘状		Yes	No	No
107	C	TK		-	-	-	F	P	49.0	36.1	13.0	19.5	1.4	2.8	1.4:2.8	板状	鎌状		No	No	No
108	C	TK		-	-	-	F	P	60.5	11.1	10.8	10.7	5.5	1.0	5.5:1.0	棒状	釘状		No	No	No
109	C	TK		-	-	-	F	P	58.0	9.4	7.2	4.8	6.2	1.3	6.2:1.3	棒状	不明		No	No	No
110	D	No.103		△	197.925	272.300	C	P	27.6	19.4	1.3	3.7	1.4	14.9	1.4:14.9	板状	鈴状		Yes	No	No
111	D	TT5		-	-	-	F	P	49.5	42.8	6.9	9.9	1.2	6.2	1.2:6.2	板状	不明		No	No	No
112	D	SQ	No.1	△	195.050	267.150	F	P	58.2	7.7	6.9	4.2	7.6	1.1	7.6:1.1	棒状	不明	113,114	Yes	No	No
113	D	SQ	No.1	△	195.050	267.150	F	P	38.2	6.6	6.3	2.8	5.8	1.0	5.8:1.0	棒状	不明	112	Yes	No	No
114	D	SQ	No.1	△	195.050	267.150	F	P	32.7	7.5	5.3	2.3	4.4	1.4	4.4:1.4	棒状	不明	112	Yes	No	No
115	D	SQ	No.3	△	195.150	269.350	F	BP	94.5	59.0	34.6	146.6	1.6	1.7	1.6:1.7	塊状	滓		No	No	No
116	E	TT4	No.1	△	204.100	299.925															Yes
117	E	No.150		×	UK	UK	C	P	26.9	21.9	21.3	4.1	1.2	1.0	1.2:1.0	塊状	鈴状		No	No	No
118	E	No.172		×	UK	UK	F	P	45.7	6.5	6.2	2.4	7.0	1.0	7.0:1.0	棒状	不明		No	No	No
119	E	SX3	N306,E202	-	-	-	F	BP	63.4	61.7	27.7	111.4	1.0	2.2	1.0:2.2	塊状	滓		No	No	No



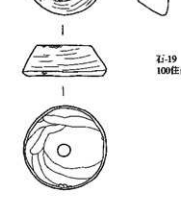
第40図　金属器実測図

4　石器（第10表）

縄文時代の石器は、A地区を中心に黒曜石・チャート片がみられ、そのほとんどは剥片であるが、若干の石鏃、石匙がみられる。また打製石斧はA・C地区でみられるが、97住のものは混入と考える。また黒曜石の石核も出土している。古代以降の石器は、C地区を中心に、砥石を主としてみられ、113住からは置砥石２点が出土している。100住からは古墳時代後期とみられる紡錘車（第41図）が出土している。断面形が台形のほぼ完形品で、下面は削り調整され、側面には使用痕とみられる筋が入っている。上面のＺ字状の削りは後世についたものとみられる。この他、P26からは穿孔された楕円形板状の黒雲母片岩が出土しており、篦状垂飾ともみられ古墳時代のものと考える。以下、出土石器については第26表の通りであり、備考欄に写真と記載のあるものは、写真図版として提示している。

第26表　石器一覧表

No.	地区	遺構	器種	破損状況	法量(cm)・(g) 長さ	幅	厚さ	重量	材質	時期	備考
1	A北西	87住	石匙か剥片		20	14	3	0.5	黒曜石	縄文時代	87住SW
2	A北西	石列2	剥片		19	10	3	0.5	黒曜石	縄文時代	
3	A北西	大境横流路2	剥片		24	15	6	1.6	黒曜石	縄文時代	
4	A北西	T6	剥片		19	12	6	1.2	黒曜石	縄文時代	
5	A北西	T6	剥片		26	23	9	3.7	黒曜石	縄文時代	
6	A北西	不明T	石核		37	36	37	52.0	黒曜石	縄文時代	周囲、下部に剥離痕有り
7	A北西	ST1	石匙か	先端部欠	28	29	9	6.5	黒曜石	縄文時代	
8	A北西	ST3	剥片		26	20	7	3.8	黒曜石	縄文時代	
9	A北西	検出面中央	剥片		27	16	11	5.4	黒曜石	縄文時代	
10	A北西	検出面	剥片		30	21	12	6.0	黒曜石	縄文時代	
11	A北西	検出面	剥片		25	18	8	2.5	黒曜石	縄文時代	
12	A北西	検出面	小刃石器		18	17	4	1.1	黒曜石	縄文時代	
13	A北西	検出面	剥片		20	12	1	0.5	チャート	縄文時代	
14	A北東	田地1	石匙か剥片		25	15	4	1.8	黒曜石	縄文時代	
15	A北東	T2	打製石斧		135	80	25	318.4	粘板岩	縄文時代	
16	A北東	T2	剥片		26	26	5	4.8	チャート	縄文時代	
17	B	グリッド	剥片		24	16	10	3.3	黒曜石	縄文時代	
18	C	97住	打製石斧	一部欠	112	79	27	304.1	粘板岩	縄文時代	写真
19	C	100住	紡錘車	完形	上面29	下面44	17	68.2	滑石	古墳時代後期	使用痕有　第40図　写真
20	C	103住	敲石		74	59	31	429	輝石	平安時代か	103住カマド　自然石か
21	C	105住	石鏃	一部欠	24	13	3	0.9	黒曜石	縄文時代	105住Wベルト
22	C	106住	剥片		50	33	12	17.2	黒曜石	縄文時代	105住Wベルト
23	C	113住	置砥石	一部欠	57	18	13	23.0	溶質凝灰岩	近世の撹乱か	113住カマドNo.4 面使用痕有り　写真
24	C	113住	置砥石		188	56	32	394.7	砂質凝灰岩	平安時代か	3 面使用痕有り、1 面自然面　写真
25	C	P26	篦状垂飾か	穿孔部欠損	60	34	7	23.0	黒雲母片岩	古墳時代	径5～6mの穿孔有り　写真
26	C	撹乱3	敲石	完形	250	109	65	3090.0	砂岩	不明	3 面使用痕有り　写真
27	C	No.1	凹石(焼き石)	完形	112	96	60	753.6	溶質凝灰岩	中世～近世か	凹部深35mm
28	D	遺物集中域1	黒曜石片		19	13	8	2.0	黒曜石	縄文時代	
29	D	検出面北	剥片		25	18	7	2.8	黒曜石	縄文時代	
30	D	検出面	未製品か剥片		57	33	14	31.5	チャート	縄文時代	黒色
31	D・E	検出面	石匙	完形	57	23	11	15.4	チャート	縄文時代	赤褐色
32	E	T5	黒曜石片		20	13	6	1.3	黒曜石	縄文時代	
33	E	T6	剥片		26	16	7	1.9	黒曜石	縄文時代	
34	E	№182	手持ち敲石	完形	129	35	21	159.0	砂岩	近世か	上下面使用痕有り



第41図　石器実測図

第4章 調査のまとめ

今回で大村遺跡の調査は6回目となった。第2章第3節で述べた通り、古瓦の出土する本遺跡を含めて、かつては広い範囲を「大村遺跡」としていたが、発掘調査の増加とともに、いくつかの別の遺跡として扱うようになり、現在に至っている。今回の調査によって、その「大村遺跡」にも、いろいろな側面があることが明らかになった。時代別、種別でも様々な性格を持っており、今回任意に設けた調査区からも窺うことができる。以下では、各地区毎に明らかになった事柄についてまとめてみたい。

A地区　前回調査地のすぐ南側に当たるのが本地区の北西部で、そこにみられる黄褐色砂質土の範囲が、大六川の旧流路であった可能性がある。その両岸から破壊された住居址を確認している。右岸に当たる部分は、現在の大村集落の北部へ続く微高地となっており、その下に更に集落址が連続することは確実と思われる。左岸に当たる部分には北東部も含まれ、この部分の住居址内からは瓦が出土するものもあり、また検出面上からも多くの瓦を確認している。北東部では、台状地形1とした黒色土の硬化面を確認したが、版築の状況は確認できず、古代寺院の基壇と考えることは難しい。北東部検出面において出土した瀧美産蕙弁文瘴は、経塚等で用いられることが多いようであり、中世に仏教関連施設が存在した可能性を残した。また、台状地形1の西側で、グリッド調査により検出した石列1は水路とみられ、下げた面からは古瓦が多く出土したことから、瓦が用いられた建物の廃絶時に存在していた古代の遺構の残存部分かもしれない。

B地区　本地区は、検出時には遺物も少なく、暗褐色土の広がりがあるのみ、という感を受けたが、遺構確認のためのサブトレンチを設定した結果、円面硯の出土があり、91住が確認された。この住居址は奈良時代の比較的富裕な階層の住居址とみられ、高盤、円面硯という、同時期の竪穴住居址（97住等）とは異なる遺物が出土している。西側にある93住等の存在から、集落が更に南西方面に広がる可能性を考えたい。

C地区　数多くのピットを確認している。古代の所産と考えられるものもあるが、多くは中世まで下る建物址の柱穴と推測する。残念ながら、組み合わせから建物の柱配りを明らかにすることはできなかった。本地区の南西側は緩やかな谷状地形となり、谷底に大六川が流れていたと推測するが、その斜面部分では遺構はみられず、上面の平坦な部分に集落が展開している。古墳時代以降、奈良・平安時代の遺構が密集し、中世の遺構と同様、ほとんどの遺構が東寄りに存在した。川の際よりも安全な部分に居住域があったためであろう。また、この地区では「焼土範囲」とした、住居址の痕跡と思われる遺構を9ヶ所確認しているが、これらは、地表が古代においては現在より高低差があり、その高い部分に存在した遺構が、中世以降の開発などによって削られた結果によるものと考えている。

D地区　当初トレンチ調査のみの予定であったが、瓦の多量出土により、急きょ面的調査を行った地区である。昭和40～41年の緊急分布調査においてA地区とした部分で、その際には瓦の他、遺構として礫敷きが確認されている。今回の調査では、まず当時のトレンチを確認するため南北方向にトレンチ1を設定した。しかし、断面観察の結果からは昭和のトレンチを確認できず、当時の調査地点を把握できなかった。このトレンチ1に直交させて設定した3本のトレンチからは多量の瓦が出土したため、特に瓦出土の多い部分を中心に約300㎡を面的調査に切り替えた。その結果、数ヶ所の集石範囲を確認し、集石内から鴟尾片が2点出土した。確認された集石は、古瓦を伴うものも多く、古代建築物のグリ石の可能性もあるが、この地区がは場整備では盛り土となって保存されるため、それ以上の拡張は行わず、いくつかの集石遺構の平面及び断面観察のみを行った。その結果、浅い皿型の掘り方で、内部に礫があることを確認できた。この地区では、第31～33図の瓦出土状況図に示した通り、E地区より一段低く、粘質土を除去したところで瓦が出土しており、古代の瓦葺建物の存在を想定した場合、その廃絶時点の地表は、この粘質土下の面ではないかと考えられる。

E地区　A地区の東半部分及びD地区において瓦が多量に出土したため、両地区に挟まれた部分に遺構の存在を想定して面的調査を行った地区である。表土を取り去る際に直線状の石列を検出し、現況の水田境とも

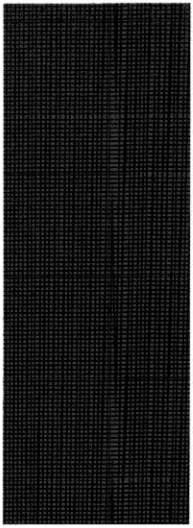
異なり、また暗渠とも考え難いことから石列3とした。この石列の詳細な用途は不明であるが、E地区全面に存在する粘土層上面の高さが、この石列を挟んで南北で約10cm異なることから、この一帯が粘土を堆積するような湿地帯であった時期に、南側への流入を防ぐための土留め的な役割を有していたのではないかとも考えられる。石列の上面標高は633.70m前後でほぼ一定であることからも、人為的な土留めという可能性を考えたい。また、A地区でみられた台状地形と類似した高まりが本地区の南西隅でみられた。しかし、一部が水田の畦畔を造る際に削られてしまっており、全体形が不明である。上面から中世とみられる青磁碗片等が出土していることから、台状地形1と同様のものである可能性がある。この地区でも瓦が多く出土しているが、その多くは厚い粘土層の下、トレンチとして掘り下げた部分からのものが多い。古代の瓦葺建物の存在を想定した場合、その面の上に粘土が堆積し、中世の面ができたものと考えられる。

大村廃寺について　古代に遡る廃寺址の存在について、今回の調査結果から少し考察してみたい。先に結論から言えば、可能性はあるという程度の曖昧なものにならざるを得ない。多量の瓦や、特に鴟尾の出土は、この近在に古代寺院が存在した「物的証拠」には違いない。しかし、出土状況は散乱していて建物等に伴う状況は認められない。遺構についても、D地区にグリ石の可能性を有する集石遺構は存在しているが、上部にあったかもしれない礎石は取り除かれ、調査区内では確認できなかった。地元には出土した礎石と伝承される巨石が数個存在しているが、その出土地点についても現段階では詳細を明らかにはできなかった。

そこで一つの想定として、古代においてD・E地区あるいはそれ以北に、瓦を用いた建物（例えば寺院等）が存在していたと考えてみたい。当時、C地区一帯には古墳時代末期から続く集落が営まれていた。時代が下り中世になると、瓦を用いた建物は既に廃絶し、しかも周囲に粘土の堆積があることから、周辺は湿地化が進んだと思われる。一方、C地区一帯には集落が継続していた。そして、北側の湿地は、オーバーフローにより、南の方へ流れ出したのではないだろうか。それを防ぐために、堆積した粘土の上に東西方向の土手（E地区で検出された石列3）が築かれた。土手の構築材に用いられたのは、廃絶した建物の礎石やグリ石であったろう。また、その時点でA地区及びE地区で検出された台状地形が構築され、何らかの目的を果たしていたと思われる。この想定は、推測の域を出るものではないが、今回の調査結果を総括したものでもある。

そのほか、詳細な位置は不明であるが、E地区の南東にあたる水田から石製地蔵頭（写真図版11）が出土している。昭和10年代頃に、競馬場が廃止となって再び農地化する際に、地元の中野武雄氏が水田工事中に発見したもので、現在個人蔵（中野武氏所有）となっている。地名が、寺田等の小字名等として伝承されている点や台状地形の存在も勘案すると、中世以降にも仏教（寺院）関連の何らかの動きがあったのかもしれない。

最後になりましたが、今回の作業に際して多大なご協力を頂いた大村ほ場整備組合の皆様、地元の皆様、鴟尾に関してご教示を頂いた（財）大阪府文化財センター技師島崎久恵様、そして寒風の中作業に従事して頂いた作業員の皆様方に、この場を借りて厚くお礼申し上げます。



写真図版

調査区域全景（南から、手前はC地区）

A地区北西・北東全景（南から）

C地区全景（南から）

図版1　航空写真1

B地区全景（南から）

91住の円面硯出土状況（北から）

A地区南東・D・E地区全景（南から）

78住のカマド遺物出土状況（西から）

91住の遺物出土状況（東から）

D地区鴟尾（D825）出土状況（東から）

D地区軒丸瓦（D012）他出土状況

図版2　航空写真2・遺物出土状況写真

出土鴟尾（D826）

下　出土鴟尾RD001（D001，D825接合）

調査開始前全景（北から）

図版3　出土鴟尾3面図・調査開始前全景

出土古瓦（軒丸瓦・軒平瓦）

91住出土須恵器（円面硯・高盤他）

出土輸入陶磁器（青磁・白磁）

D・E地区出土　異なる時期の遺物（縄文～中世）

軒丸瓦（D012）

軒平瓦（A094）

渥美産蓮弁文壺（302）

青磁碗（未実測）

青磁碗（249）

青磁碗（未実測）

白磁碗（296）

白磁碗（297）

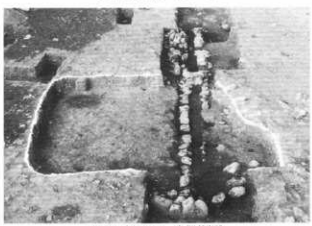
青白磁輪花皿（410）

図版4　瓦・輸入陶磁器・91住遺物

83住遺物出土状況（西から）

83住完掘状況（西から）

石列1（北から、蓋石の載った状態）



石列1（南から、完掘状況）

縄文土器（254）出土状況

85住遺物出土状況（東から）

台状地形1（南から）

凹地状遺構遺物出土状況（西から）

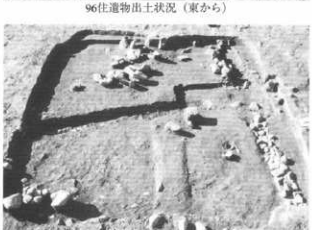
図版5　A地区北東部遺構

A地区北西部北東の住居址群（西から）

82住完掘状況（西から）

96住遺物出土状況（東から）

96住完掘状況（東から）



81住遺物出土状況（西から）

81住カマド脇出土の軒平瓦（A001-2）

84住遺物出土状況（東から）

95住完掘状況（東から）

図版6　A地区北西部遺構1

A地区北西の流路1、大規模流路1（南から）

87住完掘状況（西から）

78住完掘状況（北から）

92住完掘状況（東から）

91住遺物出土状況（東から）

91住完掘状況（東から）

91住遺物出土状況（東から）

93住完掘状況（南から）

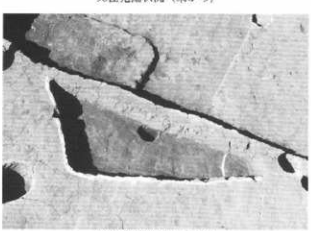
図版7　A地区北西部遺構2・B地区遺構

C地区1検全景（東から）

97住完掘状況（東から）

98住完掘状況（東から）

99住完掘状況（東から）



100住完掘状況（南から）

101住完掘状況（西から）

102住完掘状況（東から）

103住完掘状況（東から）

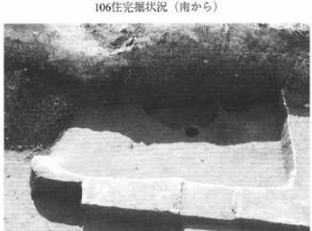
図版8　C地区遺構1

104住完掘状況（東から）

105住完掘状況（東から）

106住完掘状況（南から）

107住完掘状況（北から）



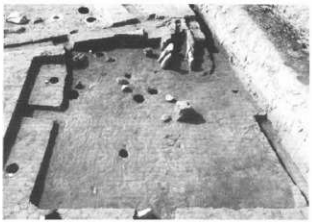
108住完掘状況（北から）

109住完掘状況（西から）

110住完掘状況（東から）

111住遺物出土状況（西から）

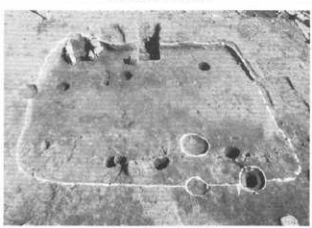
図版9　C地区遺構2



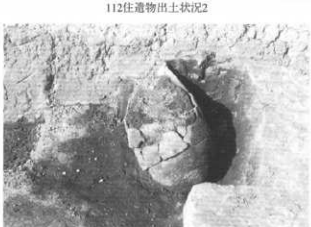
112住完掘状況（東から）

112住遺物出土状況1

112住遺物出土状況2

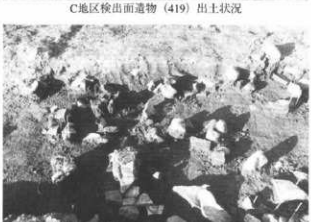


113住完掘状況（西から）



C地区検出面遺物（419）出土状況

集石2（西から）



D地区瓦出土状況

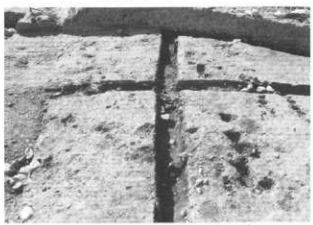
鴟尾（D001）出土状況

図版10　C地区遺構3・D地区遺構

A地区南東部全景（南から）

石列3出土状況（東から）

台状地形2（東から）

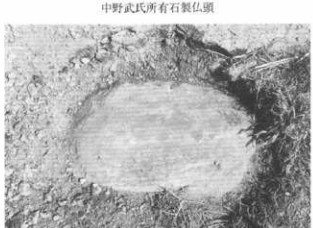


台状地形2下層確認トレンチ（東から）

D・E地区全景（北から）

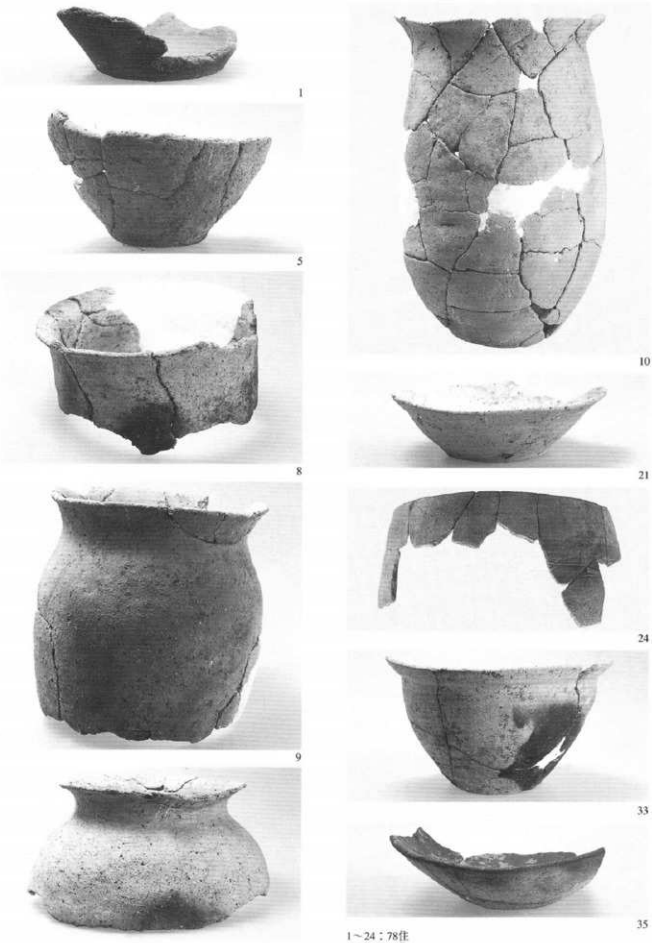
中野武氏所有石製仏頭

中野武氏所有（伝）礎石



B地区北西に移されていた（伝）礎石

図版11　A地区南東全景・E地区遺構・石製仏頭・伝礎石



1～24：78住
33, 35：80住

図版12　A地区78, 80住出土土器

36

38

39

46

47

52

53

56

75

76

77

79

87

92

106

36：80住
38～56：81住
75～77：83住
79～106：84住

図版13　A地区80,81,83,84住出土土器・陶磁器

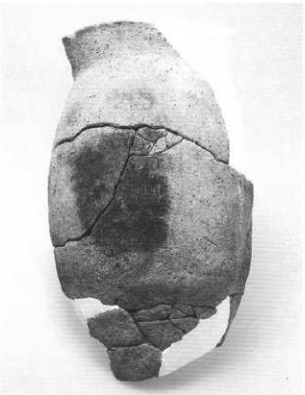
115

127

123

128

129



125

141

143

126

150

115～129：85住
141～150：87住

図版14　A地区85,87住出土土器

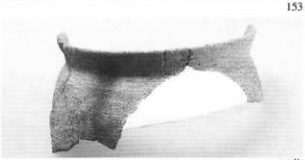
152

155

165

153

166



88住

168

154

171

156

172

152, 153：87住　　154～156：89住
88住：88住　　165～172：92住

図版15　A地区87～89, 92住出土土器・土製品

173

174

180

181

190

196

200

201

202

209

211

214

221

173～181：92住
190、196：95住
200～221：96住

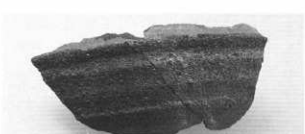
図版16　A地区92, 95, 96住出土土器・陶磁器

224

226

227

228


230

231

224～228：96住　244，245：石列1
230：8土　248：石列4
231：17土　250：流路1
236，237：凹地1　251：グリッド

236

237

244

245

248

250

251

267

図版17　A地区96住，土抗，凹地1，石列，流路1，グリッド出土土器・陶磁器

283

285

288

289

290

294

299

300

301

未実測

未実測

422

432

283～288：サブトレンチ　　422：D地区遺物集中域
289～301，未実測：検出面　　432：E地区石列3

図版18　A地区サブトレンチ，検出面・D地区遺物集中域・E地区石列3出土土器・陶磁器

312

317

319

321

322

324

325

327

328

329

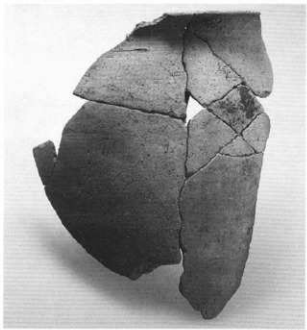
331

332

333

312～333：91住

図版19　B地区91住出土土器



339

345

340

346

342

石-18

348

石-19

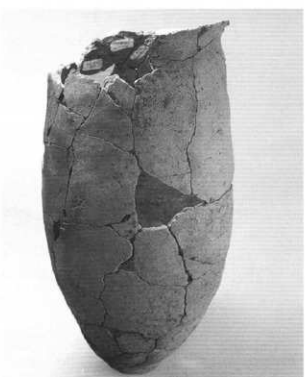
379

339～342, 石-18：97住
石-19：100住
345～348：99住
379：108住

図版20　C地区97, 99, 100, 108住出土土器・石器

354

358



355

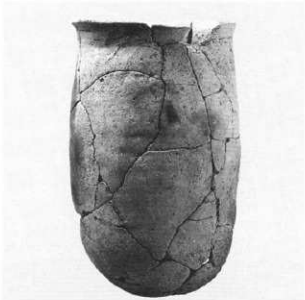
365

363

366

354～358：102住
363～366：104住

図版21　C地区102, 104住出土土器


367

371

384

386

389

391

397

400

406

407

408

石-23

石-24

367，371：105住
384～391：110住
397，400：111住
400～408，石-23，24：113住

図版22　C地区105，110，111，113住出土土器・陶磁器・石器

401

404

402

石-25

石-26

405

419

401～405：112住
石-25：P27
石-26：流路2
419：検出面

図版23　C地区112住、ピット、流路、検出面出土土器・石器

D012瓦当面

D012裏面

D623瓦当面

D623裏面

A036瓦当面

A036裏面

A136瓦当面

A136裏面

D012, D633, A036, A136：軒丸瓦

図版24　出土古瓦（軒丸瓦1）

D013瓦当面

D013裏面

E111瓦当面

E111裏面

A001-2凹面

A001-2凸面

A001-2瓦当面

A094凹面

A094凸面

A094瓦当面

D013, E111：軒丸瓦
A001-2, A094：軒平瓦

図版25　出土古瓦（軒丸瓦2, 軒平瓦1）

D627凹面

D627凸面

D627瓦当面

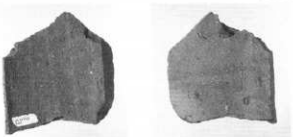
A013瓦当面

D476凹面

D476凸面

D476瓦当面

D769瓦当面



D484凹面

D484凸面

D628凹面

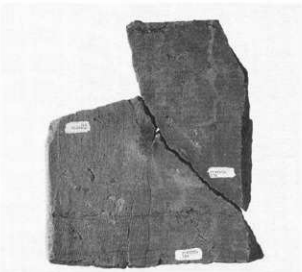
D628凸面

E164凹面

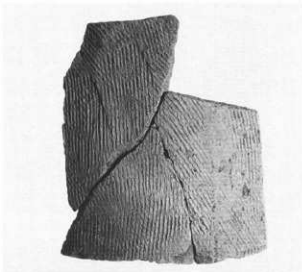
E164凸面

D627, A013, D476, D769：軒平瓦
D484, D628：隅平瓦
E164：不明瓦質製品

図版26　出土古瓦（軒平瓦2, 隅平瓦, 不明瓦質製品）



A071凹面



A071凸面

D733凹面

D733凸面

E201凹面

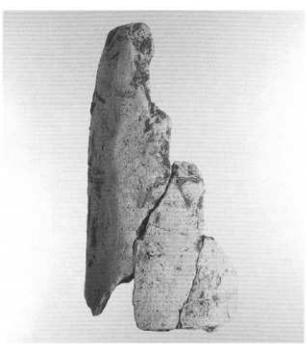
E201凸面

A071, D733, E201：平瓦
次頁RD493：平瓦
RE059, E011：丸瓦

図版27　出土古瓦(平瓦1)

RD493凹面

RD493凸面



RE059凸面

RE059凹面

E001凸面

E001凹面

図版28　出土古瓦（平瓦2, 丸瓦）

大村遺跡緊急発掘調査報告書抄録

ふりがな	おおむらいせきろくきんきゅうはっくつちょうさほうこくしょ
書名	大村遺跡Ⅵ緊急発掘調査報告書
副書名	
巻次	
シリーズ名	松本市文化財調査報告
シリーズ番号	№177
編著者名	澤柳秀利・三村竜一・内堀 団・森 義直
編集機関	松本市教育委員会(松本市立考古博物館)
所在地	〒390-8620 松本市丸の内3番7号(〒390-0823 松本市大字中山3738番地1・℡0263-86-4710)
発行年月日	平成17年2月18日(平成16年度)

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
おおむら 大村	ながのけん まつもとし おおおおず 長野県松本市大字大村5番地1 他	20202	73	36度15分13秒	137度59分30秒	20011119～20020325	13,500㎡	ほ場整備

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
大村	集落跡	縄文 ・ 古墳 ・ 奈良 ・ 平安 ・ 中世	竪穴住居址 36軒 土坑 62基 ピット 155個 竪穴状遺構 1基 溝址 4条 流路址 5条 集石 15ヶ所 石列 5本 台状地形 2ヶ所 凹地状遺構 1ヶ所 焼土範囲 9ヶ所	縄文土器 古墳時代土師器 古代土器・陶磁器(土師器・須恵器・灰釉陶器・陶硯) 中国産磁器(青磁・白磁・青白磁) 中世陶器(瀬戸産・常滑産・古瀬戸産) 金属製品(釘・刀子・鈴・銭貨・不明品) 石製品(紡錘車・打製石斧・石匙・石鏃・砥石)	古墳時代後期から平安時代にかけての集落跡を確認した。古瓦を多量に出土し、鴟尾の一部とみられる破片も確認された。

松本市文化財調査報告177
長野県松本市

大村遺跡Ⅵ

―緊急発掘調査報告書―

発行日 平成17年2月18日
発行者 松本市教育委員会
〒390-8620 長野県松本市丸の内3番7号
印刷 精美堂印刷株式会社